

# Web Survey Creator

リファレンスガイド



© Julian Cole. All rights reserved.  
ISBN 978-1-291-16061-1  
Second Edition

---

# 目次

---

ウェブ上での調査.....	11
ウェブ調査とは?.....	11
ウェブ調査作成時に直面する課題.....	12
ウェブベースの調査ツールの台頭.....	12
デスクトップ型調査作成ソフトウェアは終わったか?.....	12
匿名および非匿名でのウェブ調査.....	13
ウェブ調査構築時の留意点.....	14
設計が重要.....	14
目的に気をつける!.....	14
あいまいさを避ける.....	14
短くする!.....	14
結果とレポートを検討する.....	14
ウェブ調査に WEB SURVEY CREATOR を使う.....	15
初めてWSCを開く.....	15
アカウントを有効にする.....	17
ヘルプ情報.....	17
最初の調査作成.....	21
設計からスタート!.....	22
調査を作成する.....	22
ページを追加する.....	23
質問内容を追加する.....	24
年齢に関する質問を追加する.....	26
製品に関する質問を追加する.....	28
満足度に関する質問を追加する.....	31
記述式質問を追加する.....	32
調査のプレビュー.....	33
他者にプレビューを表示する.....	33
ステップ・バイ・ステップビデオ.....	34
調査で高度なフォーマットを使う.....	35
コンテンツタグとは何か?.....	35
コンテンツタグはどこで使うか?.....	35
コンテンツタグおよび使用方法の一覧.....	35
コンテンツタグの使用例.....	36
調査票のテーマデザイン.....	36
コンポーネント.....	36
テーマの構造.....	37
特定のスタイル.....	38
質問のスタイル.....	39
他のスタイル.....	39
パーセンテージバーとバナー画像.....	39
調査フロー.....	41
調査フローとは何か?.....	41

満足度調査に必要なフローの例.....	42
WEB SURVEY CREATOR で調査フローを作成する .....	43
フロー制御条件.....	44
複数ルールがある条件.....	46
調査デザインに戻る.....	46
フローをテストする.....	47
ステップ・バイ・ステップ ビデオ .....	47
<b>データ 連携.....</b>	<b>49</b>
顧客満足度調査を改善する .....	49
データ連携を設定する .....	51
ステップ1：アクセスコードを作成する.....	51
ステップ2：コンテンツでアクセスコードを使う.....	51
ステップ3：データ連携をテストする.....	52
ステップ・バイ・ステップ ビデオ .....	53
データ連携リファレンス.....	54
より複雑なデータ連携の例ーマトリクス質問.....	54
リファレンスガイドで使用する標準.....	55
データグリッド (例、マトリクス質問) .....	56
数値グリッド.....	56
日付/時間に関する質問.....	56
住所.....	57
E メール.....	57
氏名.....	57
電話番号.....	57
ドロップダウンリスト.....	58
複数選択リスト.....	58
1 行テキスト.....	58
複数行テキスト.....	58
数値.....	58
ランキング.....	59
単一の選択リスト.....	59
スライドバー.....	59
スターレーティング.....	59
<b>調査ディストリビューション.....</b>	<b>61</b>
いつ匿名調査を使うのか.....	62
匿名ディストリビューションを調査作成する.....	62
ディストリビューションを参照する .....	62
調査回答受信を開始/中止する.....	63
調査をオープンする/調査リンクを送信する.....	64
ウェブサイトに調査リンクを配置する.....	64
他のサイトに調査組み込む.....	64
モバイル端末でQR コードを使う.....	64
Facebook またはTwitter で調査を共有する.....	65
回答者がリンクをクリックするとどうなるか? .....	65
ディストリビューションを編集する .....	65
カスタムリンクを設定する.....	67
IP アドレスを追跡する.....	67
調査を開始/停止/再開する.....	67
匿名を取り扱う.....	68
調査完了設定.....	69
調査パスワード.....	70

調査組み込みオプション.....	70
回答者ディストリビューションを作成する.....	70
ディストリビューションに回答者を追加する.....	71
テキストリストから回答者を作成する.....	72
アドレス帳から回答者をインポートする.....	73
招待メールを送信する.....	74
<b>調査レポート.....</b>	<b>77</b>
「レポート」とは何か?.....	78
調査概要を開く.....	78
概要ポータルナビゲーション.....	78
概要チャート进行操作する.....	79
外部ウェブポータルを作成する.....	79
ウェブポータルとは何か?.....	79
ウェブポータルを作成する.....	80
ウェブポータルのアクセス管理.....	86
複数ポータルを作成する.....	86
ポータルを閉鎖する.....	86
WEB SURVEY CREATOR レポート / エクスポート.....	87
回答エクスポート.....	88
選択質問 / コメント.....	89
SPSS エクスポート.....	90
SurveyCraft エクスポート.....	91
過去に作成したレポートを使用する.....	91
<b>市場調査作成.....</b>	<b>93</b>
市場調査専門家がウェブ調査で直面する課題.....	93
複雑なウェブ調査を効率的に作成する.....	94
ソフトウェアの「負担」を避ける.....	94
高品質、バイアスのない回答へのニーズ.....	94
バランスのとれた回答者グループのニーズ.....	94
携帯電話への移行に対応する.....	95
他のソフトウェアパッケージとのインテグレーション.....	95
バイアスを処理する.....	95
選択のランダム化.....	96
マトリクスのランダム化.....	100
ページのランダム化.....	101
ページのランダム化のヒント.....	101
A/B テスト.....	102
<b>クォータ管理.....</b>	<b>105</b>
なぜクォータを使うのか?.....	106
「多ければ多いほど良い」ルール.....	106
「バランスはより良い」ルール.....	106
クォータをどのように管理するか?.....	107
調査の早期終了.....	107
クォータルールを設定する.....	107
困難なクォータを処理する.....	108
クォータオーバーフロー.....	108
クォータ管理のヒント.....	109
調査開始後にクォータを追加する.....	109

調査内の複数箇所でクオータをテストする.....	110
クオータ管理の例.....	111
必要な回答者の決定.....	111
調査を準備する.....	111
性別/年齢/住所に関する質問.....	111
クオータフェイル終了ページ.....	113
クオータを作成する.....	113
クオータビルダーを使う.....	113
ロケーションクオータを作成する.....	116
クオータフェイル終了ページロジックを追加する.....	117
マニュアルのクオータ調整.....	119
クオータを追加する.....	119
クオータを編集する.....	119
一度に複数のクオータを編集する.....	120
クオータを追跡する.....	121
クオータの現在の状況.....	121
回答カウント.....	121
個別質問の統計.....	122
<b>モバイル調査.....</b>	<b>123</b>
モバイル対デスクトップ.....	124
PCは絶滅からはほど遠い.....	124
モバイルが基本を意味しない.....	124
レイアウト管理.....	125
テキスト入力.....	126
質問の「変形」.....	126
調査の「魅力」を維持する.....	127
映像を使おう!.....	127
タッチ対応のスライドバー.....	127
ドラッグとドロップ.....	128
モバイルへの移行（スマートに無理なく）.....	128
調査例.....	128
WSC 調査をモバイル互換にする.....	129
特定のプラットフォームをターゲット化する.....	130
<b>混合モード調査.....</b>	<b>133</b>
CATI によろこそ!.....	133
CATI プロセスの設定（基本）.....	134
設定プロセスの概要.....	135
CATI 回答者.....	137
回答者データの種類.....	137
回答者データのインポート（例）.....	139
システム全体レベルでの CATI 設定の変更.....	144
CATI ユーザーを設定する.....	144
ユーザーフィルターの設定.....	147
タイムゾーンルールを設定する.....	149
CATI ステーションを設定する.....	150
CATI ステータスの設定.....	151
インタビューワースクリーンの設定.....	155
ワークステーションへのスクリーンビューワーのインストール.....	155
ワークステーションにスクリーン共有を設定する.....	160

WSC からワークステーションを見る.....	161
CATI インタビュアーモジュール.....	162
インタビュアーモジュールの主な特徴.....	162
混合モードのワークフロー.....	169
基本的な CATI ワークフロー.....	170
アポイントを作成する.....	172
E メール経由で調査リンクを送信する.....	175
CATI による「次のコンタクト」の見つけ方.....	177
「有効な」回答者の集団を決定する.....	177
「有効な」回答者の順番づけ.....	179
混合モード付録：タイムゾーンコード.....	180
<b>調査パネルインテグレーション.....</b>	<b>193</b>
調査パネルの概要.....	194
調査パネルを使用する.....	195
回答者固有コードを設定する.....	195
調査結果を戻す.....	196
パネルの例：SURVEYVILLAGE.....	197
完了.....	197
対象外.....	197
クォータ除外.....	197
ウェブ調査と CONTACT PROFILER とのインテグレーション.....	199
Contact Profiler とは何か?.....	199
なぜインテグレーションを使うのか?.....	199
誰がインテグレーションを使うのか?.....	199
ウェブ調査インテグレーションの概要.....	199
インテグレーションチェックリスト.....	199
インテグレーションプロセスの概要.....	201
何が起こったのでしょうか?.....	204
CONTACT PROFILER スクリーナと統合する.....	205
回答者スクリーナとは何か?.....	205
Contact Profiler 内のスクリーナ.....	206
Contact Profiler ワークフロー.....	206
どのように WSC は標準ワークフローに適合するか?.....	206
スクリーナインテグレーション (ステップ・バイ・ステップ).....	207
<b>製品テスト.....</b>	<b>211</b>
製品テストの課題.....	212
製品テストを実行するために調査を使用する.....	212
製品のベースリスト.....	212
各製品に関する質問.....	212
高度な調査機能.....	213
ページループ.....	213
フロー制御.....	213
データ連携.....	214
選択リンク.....	214
製品テストの例.....	215
製品.....	215
製品に関する質問.....	215
製品テストを設定する.....	215
例を作成する.....	216

最初の質問.....	216
ループ元のページ.....	217
製品に関する質問.....	217
ブランド名をデータ連携する.....	217
ブランドのモデルをデータ連携する.....	218
フロー制御.....	220
選択リンク.....	223
ページループを構築する.....	225
ページループ (何が起こったのか!?) .....	226
全ページで何の処理をするのか?.....	227
ページループで、しなければならないことと、してはいけないこと.....	228
<b>スクリプティング 入門.....</b>	<b>229</b>
スクリプティングとは何か? .....	230
スクリプティングを行うか、行わないか?.....	230
JAVASCRIPT 入門.....	231
JavaScript は最も人気がある.....	231
JavaScript はどこでも動作する.....	232
JavaScript はイベントに反応する.....	232
JAVASCRIPT の基本.....	232
<script> タグ.....	232
JavaScript は大文字と小文字を区別する.....	232
JavaScript コードの要点.....	233
WSC でスクリプトを追加する.....	239
WSC スクリプティングのオブジェクト.....	239
スクリプティングでどのように質問を使用するか.....	240
調査にスクリプティングを追加する方法.....	240
<b>スクリプティング #101: データ処理.....</b>	<b>243</b>
スクリプトのデータを操作する.....	244
ルール #1: 各質問タイプのためのスクリプト.....	244
ルール #2: データロケーションがスクリプト構文に影響する.....	245
現在のページの質問からデータを取得する.....	245
前ページの質問からデータを取得する.....	245
読み込みおよび書き出し (基本) .....	246
テキスト質問にデータを書き出す.....	246
テキスト質問からのデータ読み込み.....	248
他の質問タイプのためのデータスクリプティング.....	249
選択質問.....	250
複数選択質問はどのように動作するか?.....	252
数値質問.....	253
マトリクス質問.....	253
<b>スクリプティング #101: 回答のバリデーション.....</b>	<b>255</b>
バリデーションは何をするか? .....	256
バリデーションの例.....	256
スクリプトなしでバリデーション可能.....	257
スクリプティングを使用したバリデーション.....	258
なぜスクリプト化されたバリデーションが必要か?.....	258
スクリプト化されたバリデーションはどのように動作するか?.....	258
スクリプト化されたバリデーションロジック.....	258
回答者に表示されるもの.....	259

スクリプト化されたバリデーションの例.....	259
バリデーションスクリプトを準備する.....	260
スクリプトを記述する.....	261
全部をまとめる：最終スクリプト.....	263
<b>スクリプティング#101: インターフェース.....</b>	<b>265</b>
インターフェース微調整の概要.....	266
スクリプトを使用してコンテンツを作成する.....	266
コンテンツコンテナを使用する.....	266
既存のコンテンツを修正する.....	267
UI イベントに対処する.....	269
どのイベントが関連するか?.....	269
どのようにイベントは使用されるか?.....	270
UI イベントの例.....	273
「その他」があるドロップダウンリスト.....	273
<b>スクリプティング#101: ページおよび選択肢の順序付け.....</b>	<b>275</b>
デザイナーのページ順序.....	276
基本的なページ順序.....	276
ページをランダム化する.....	276
ランダム化の他の方法 (A/B テスト).....	277
スクリプティングによるページの順序付け.....	278
例：性別に基づいてページを配列する.....	280
Nutshell のページ順序付け.....	283
選択肢を順序付ける.....	284
選択肢の標準的な順序付け.....	284
スクリプト化された選択肢の順序を設定する.....	284
例：スクリプト化された選択肢配列.....	285
選択質問.....	285
単レンジマトリクス.....	289
デュアルレンジマトリクス.....	292
<b>スクリプティングリファレンス.....</b>	<b>294</b>
スクリプティングオブジェクト.....	295
args (引数).....	295
FUNCTION REFERENCE.....	299
その他のオブジェクト.....	313
SurveyQuestion.....	313
SurveyChoice.....	315
SurveyChoiceTag.....	315
SurveyRow.....	316
SurveyHierarchicalListItem.....	316
SurveyRowTag.....	316
SurveyQuota.....	316
SurveyDistribution.....	317



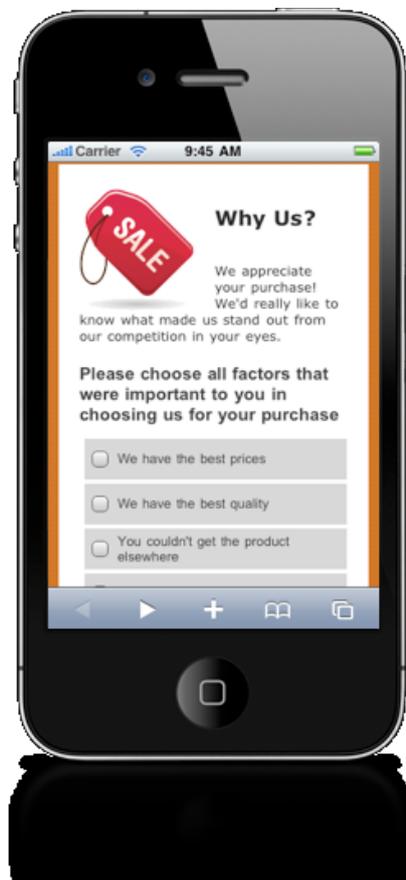
---

# ウェブ上での調査

---

ウェブ調査は非常に素早く大量の回答者からの情報収集する効率的な手段です。

先進的なインターネット対応機器の普及により、質の高いデータをもたらす魅力的な調査の設計が、かつてより容易になりました。



## ウェブ調査とは?

ウェブ調査は、簡単にいえばウェブブラウザ上で論理的に表示され、回答者が回答する質問項目のことであり、質問は単一であることもある。

ウェブ調査の目的は、効率的にデータ収集することである。ウェブを使うことで、多数の人々に素早く、安価に到達することができる。

## ウェブ調査作成時に直面する課題

ウェブ調査には、一定レベルの複雑さがあります。ウェブ調査作成時の主な課題は以下のとおりです。:

- 調査内容が魅力的で読みやすいこと
- 入力項目が簡単であること
- 入力された全データが保存されること
- レポートが生成されること
- その他、招待Eメールの通知など

おそらく、最近生じた最大の課題は、ウェブ調査への参加手段が、この数年 PC からタブレットやスマートフォンに切り替わったことです。これによりコンテンツ管理がより複雑になります。

## ウェブベースの調査ツールの台頭

ウェブ調査のアップ、実行の問題に対処するのは、ウェブ調査作成アプリケーションが必要なのは明らかです。デスクトップおよびウェブベースのアプリケーションが混在していましたが、業界では急速にウェブベースの調査ツールのみになりつつあります。

- ウェブベースのツールはデスクトップベースの競合製品より多くの優位性がある
- あらゆるブラウザでアクセスできる
- ソフトウェアをインストールする必要がない
- データストレージ、およびバックアップなどの関連処理が提供される
- 一般的には月額費用でアクセス可能（多額の初期費用が不要）

ウェブベースのツールが成長した最大の要因の一つは、ここ数年のウェブブラウザの能力の向上です。こうした変化により、代表的なウェブベースの調査ツールは、使いやすいビジュアルデザインツールや、デスクトップアプリケーションにしかなかった機能を開発している。

## デスクトップ型調査作成ソフトウェアは終わったか?

特定の環境においては、デスクトップ型の調査作成ソフトウェアの方が、ウェブベースのそれより適している可能性がある。一般的には大規模な企業および官公庁のみにあてはまる。

- ウェブブラウジングがロックダウンするため非実用的
- 非常に古いブラウザが使われウェブベースツールに対応していない
- 組織方針により、データは内部保管のみで、外部保管ができない

こうした環境下では、**Professional Quest** などのデスクトップ型ソフトウェアが調査作成に使用される。



詳細な情報については以下のウェブサイトを参照してください。

<http://www.professionalquest.com>

## 匿名および非匿名でのウェブ調査

一般的にはウェブ調査の回答者は二通りあります。

匿名回答者	非匿名回答者
回答者は一般的なリンクをクリックし、本人が特定されることはない	回答者にはEメールで回答用のリンクが通知される。回答内容は回答者とリンクされる

調査の大半は、匿名性が望まれている。匿名回答者はより正直な回答をする傾向にある。例えば、従業員調査では、回答内容から回答者を追跡できないため、より正直になる傾向がある。

一方、回答者が誰かに価値がある場合もある。例えば、顧客調査を実施する場合、どの顧客が不満か知ることである。従業員と異なり、問題を識別できるため、特定されることが望まれる。

## ウェブ調査構築時の留意点

調査では、目的や内容が大きく異なりますが、すべての Web 調査に適用されるいくつかの一般的な原則があります。Web アンケートを作成する際に考慮する必要がある重要な点は、以下のとおりです。

### 設計が重要

いかなる調査も、シンプルなものでも、設計の影響は大きいです。設計が良くない調査は、まともなレベルの回答を得られないし、（おそらくあなたが、どのような結果を実際に必要かわからないので）求めている結果を得られない。

### 目的に気をつける！

多くの調査は、単に「フィッシング探検」のごとく作成されています。短い調査が好まれるので、必要以上に長い調査は、回答率の低下をもたらします。

### あいまいさを避ける

質問する場合、回答が、質問の表現に影響を受けないことに気をつけたい。例えば、以下のような場合、回答者をひどく困惑させてしまう。

どの位の頻度で電車に乗りますか？

- 乗らない
- めったに乗らない
- それほど乗らない
- よく乗る

「めったに」と「それほど」の違いは何か？こうしたあいまいさは、避けなければならない。

### 短くする！

長い調査は好まれない。調査が短いほど、より多くの回答を得られるだろう。調査に費やす時間が長いほど、回答内容に注意を払わなくなり、（興味を失い）、好ましくないのは間違いない。

### 結果とレポートを検討する

調査を設計する際、高品質かつ有効なレポートという、究極のゴールを見失いがちです。設計時には、どのようなレポートが必要で、どのようにフィルタリングし、クロス集計するか気を付けてください。質問していない項目に基づいてフィルタリングすることはできません！

# ウェブ調査に Web Survey Creator を使う

適したツールを使用しなければ、ウェブ調査作成を完了できない。多くの選択肢があるが、Web Survey Creator (WSC) の機能によるソリューションを得られるものはほとんどない。この本書の以降の部分では WSC を使ったウェブ調査作成に焦点を当てます。

## 初めて WSC を開く

Web Survey Creator は、最新のブラウザにより、以下のウェブサイトからアクセスできます。

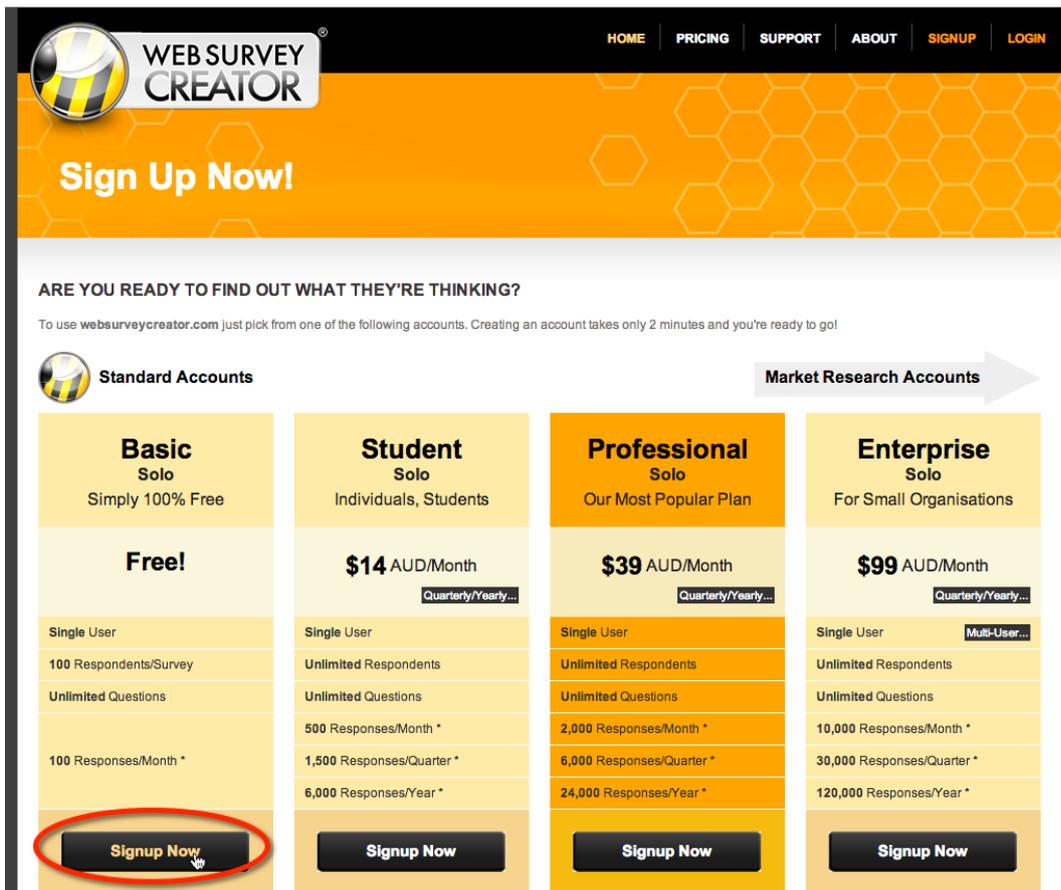
<http://www.websurveycreator.com>

初めてサイトを訪問する際に、ユーザー登録する必要があります。画面上部の SIGNUP をクリックしてください。



どのバージョンのソフトウェアを購入するか選んでください。ソフトウェアを購入しない場合、無料の基本バージョン（Basic）を選んでください。

**Signup Now** ボタンをクリックし、登録作業を開始してください。



**WEB SURVEY CREATOR** HOME PRICING SUPPORT ABOUT SIGNUP LOGIN

# Sign Up Now!

**ARE YOU READY TO FIND OUT WHAT THEY'RE THINKING?**

To use [websurveycreator.com](http://websurveycreator.com) just pick from one of the following accounts. Creating an account takes only 2 minutes and you're ready to go!

**Standard Accounts** Market Research Accounts

Basic Solo Simply 100% Free	Student Solo Individuals, Students	Professional Solo Our Most Popular Plan	Enterprise Solo For Small Organisations
<b>Free!</b>	<b>\$14 AUD/Month</b> <small>Quarterly/Yearly...</small>	<b>\$39 AUD/Month</b> <small>Quarterly/Yearly...</small>	<b>\$99 AUD/Month</b> <small>Quarterly/Yearly...</small>
Single User	Single User	Single User	Single User <small>Multi-User...</small>
100 Respondents/Survey	Unlimited Respondents	Unlimited Respondents	Unlimited Respondents
Unlimited Questions	Unlimited Questions	Unlimited Questions	Unlimited Questions
100 Responses/Month *	500 Responses/Month *	2,000 Responses/Month *	10,000 Responses/Month *
	1,500 Responses/Quarter *	6,000 Responses/Quarter *	30,000 Responses/Quarter *
	6,000 Responses/Year *	24,000 Responses/Year *	120,000 Responses/Year *
<b>Signup Now</b>	<b>Signup Now</b>	<b>Signup Now</b>	<b>Signup Now</b>

Fill in your details, and press the **Create Account** button.



**WEB SURVEY CREATOR** HOME PRICING SUPPORT ABOUT SIGNUP LOGIN

# Sign Up Now!

**Free** **Free** **Details**

**Sign Up Account Details**

Please enter your name, contact email address and a password. Please ensure that your email account can accept email from [system@websurveycreator.com](mailto:system@websurveycreator.com) by adding this address to your spam filter's whitelist.

First Name:  Last Name:   
 Email Address:   
 Password:  Confirm Password:   
 I would like to receive email about updates and news

**Or Sign up with your favorite Social Account**

You can signup for a WebSurveyCreator account using your favorite social account. Simply click the "Sign Up using..." for the social network you would like to connect to and link your account to a new WebSurveyCreator account.

**facebook** **Sign Up using Facebook**

**Time Zone Details**

Please select your country for time zone identification. This will be used to ensure that your surveys and any emails you send out are sent at the right time for where you are. Some countries will have multiple time zones. In this case, after you choose your country, you will be allowed to choose a region within that country.

Select a Country:

**Terms and Conditions**

By clicking the checkbox below you agree to our Terms and Conditions, Privacy and Spam Policies.

I agree to be bound by the "Terms and Conditions", "Privacy Policy", and "Spam Policies".

[Back to Choose Another Plan](#) **Create Account**

**Free**

Thank you for signing up for the Free Edition of Web Survey Creator! Key features of this version are as follows:

- 100 Respondents per Survey
- Unlimited Questions per Survey
- 100 Responses per Month
- Additional Responses available by upgrading to a paid account

If the Free account does not quite meet your requirements then [click here](#) to change to a different plan.

**Free vs. Paid**

You won't be billed for the free edition and you can keep using this edition for as long as you like - it never expires. Great huh? So why would you ever pay for an account?

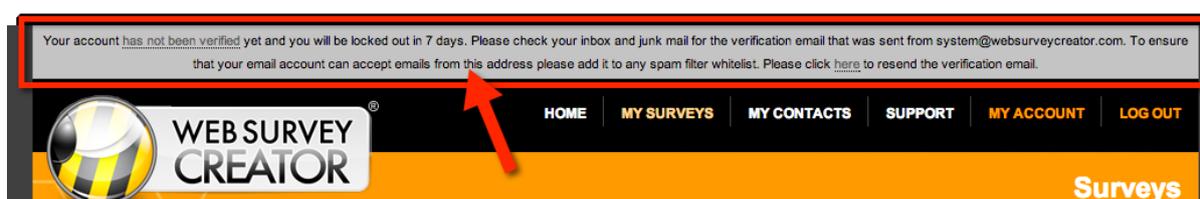
- The 100 respondent limit either does not exist or is higher in paid accounts
- The 100 Responses per period limit...

オプションで Facebook アカウントでログイン可能です。これは他のログインが必要ないことを意味します (Facebook ログインがアカウントのアクセスに必要な全て)。コンピュータで Facebook を開いている場合、Web Survey Creator はログイン内容を尋ねる必要すらありません (誰かが認識されるので、直接調査に行きます)。

## アカウントを有効にする

アカウントを有効にするために、Eメールが送られます。これは、Eメールアドレスが正しく、そしてあなたが Eメールアカウントにアクセスできることを確認するものです。使い勝手をよくするため、システムにはアカウントを有効にするまでに 7日間の猶予があるので、Eメールを待たずに、すぐに使うことができます。

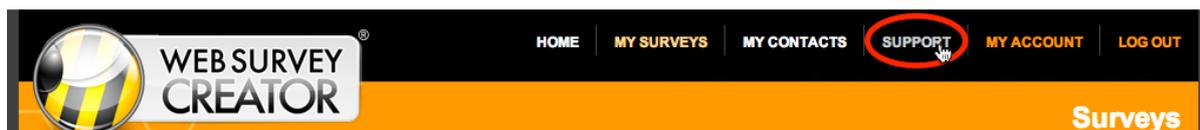
有効化されていないアカウントは、有効化されるまで、画面上部に警告文が表示され続けます。



## ヘルプ情報

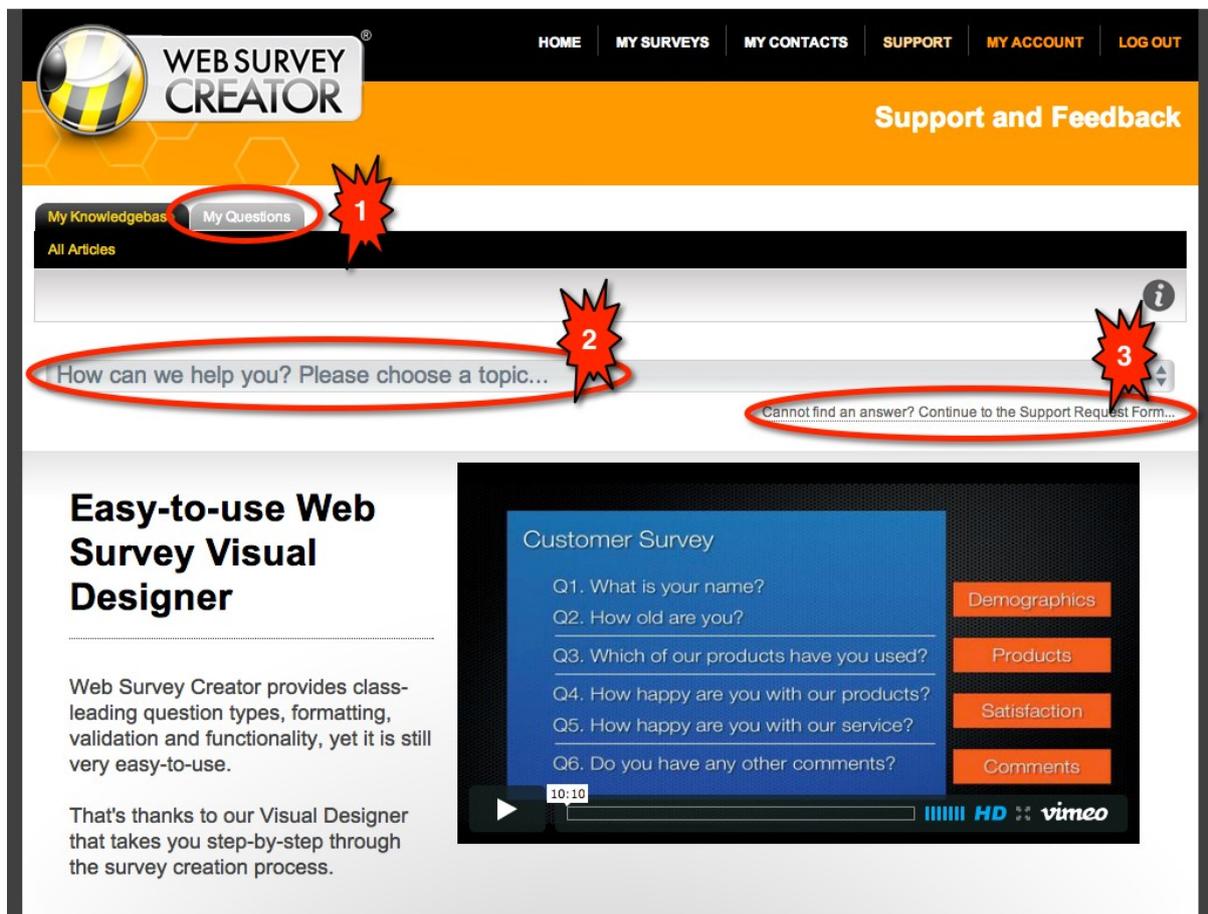
### オンラインヘルプ

オンラインヘルプは、ページ上部の Support menu から入ります。



サポート情報では以下が可能です:

1. 以前質問した項目リストが、ステータスおよび回答内容を含めて表示 (タブが表示されるにはログインする必要があります)
2. ヘルプトピックの選択
3. サポートリクエスト入力用フォームの表示



## チュートリアル

主要分野については、段階的なチュートリアルが提供されます。チュートリアルは、常にツールバーのインフォメーションボタンからアクセスできます。

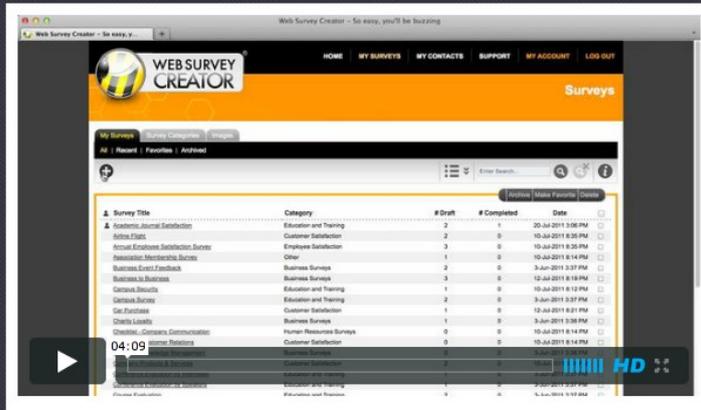


チュートリアルは、このマニュアルにも含まれている、ソフトウェアの主要分野をカバーしています。



# Training Videos

Web Survey Creator is a survey creation tool. These videos show you everything you need to know to create surveys efficiently using this software.



## Managing your surveys

1 year ago

This Web Survey Creator tutorial demonstrates how to manage your surveys through the My Surveys browse.

Key training areas:

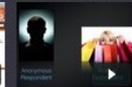
- Navigation within browses
- Filtering and sorting browser content
- Favorites and archived surveys
- Deleting surveys



Managing your surveys



Managing survey images



Managing your Contacts



My First Survey



Creating Flow Control



Collaborating on Surveys





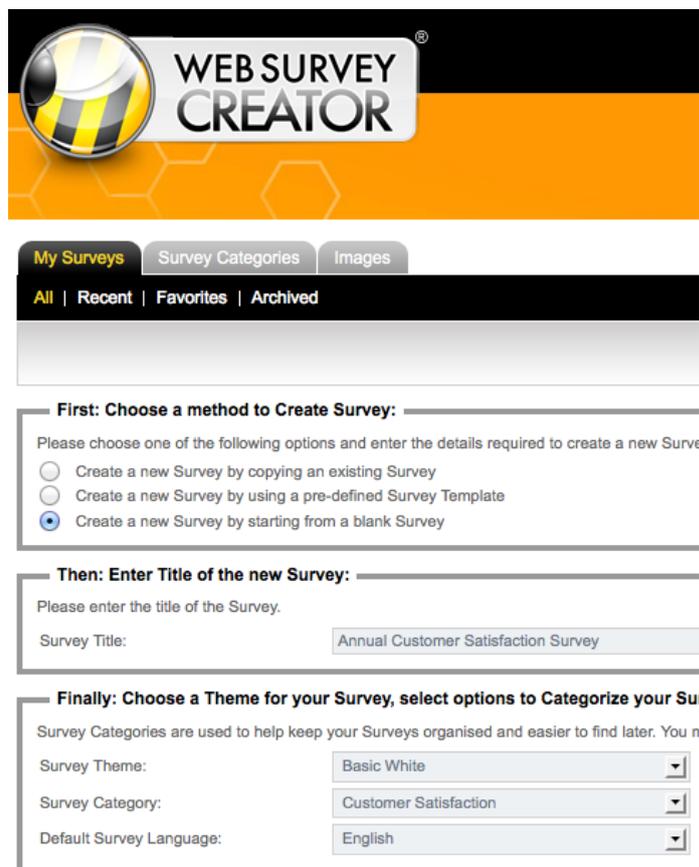
---

# 最初の調査作成

---

このチャプターでは、Web Survey Creator を使って、最初の調査を作成します。

調査作成には多くの異なる方法があります。良い習慣を身につけ、本製品のパワーを使いましょう。



The screenshot displays the 'WEB SURVEY CREATOR' interface. At the top, there is a navigation bar with 'My Surveys', 'Survey Categories', and 'Images'. Below this, there are tabs for 'All', 'Recent', 'Favorites', and 'Archived'. The main content area is divided into three sections:

- First: Choose a method to Create Survey:** This section contains three radio button options:
  - Create a new Survey by copying an existing Survey
  - Create a new Survey by using a pre-defined Survey Template
  - Create a new Survey by starting from a blank Survey
- Then: Enter Title of the new Survey:** This section has a text input field labeled 'Survey Title:' with the value 'Annual Customer Satisfaction Survey' entered.
- Finally: Choose a Theme for your Survey, select options to Categorize your Survey:** This section includes three dropdown menus:
  - 'Survey Theme:' set to 'Basic White'
  - 'Survey Category:' set to 'Customer Satisfaction'
  - 'Default Survey Language:' set to 'English'

## 設計からスタート!

良い調査デザインのカギは、設計です。調査作成のアプローチは、結果の質に影響を与えます。

最初の調査は、以下のような顧客満足度調査だとしましょう

Customer Survey

Q1. What is your name?  
Q2. How old are you?  
Q3. Which of our products do you use?  
Q4. How happy are you with our products?  
Q5. How happy are you with our service?  
Q6. Do you have any other comments?

Demographics  
Products  
Satisfaction  
Comments

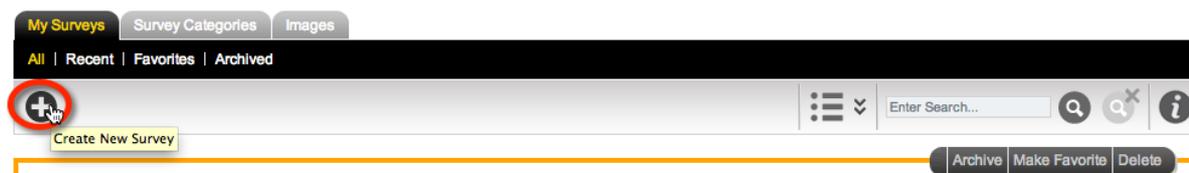
こうした質問は当然以下の分野に分けられます—人口統計学的属性、製品、満足度、コメント

このような短い調査は、すべての質問を同一ページに配置できますが、最も良いのは、似たような質問を別のページに分けることです。

それぞれのページを必要に応じて作成します。

## 調査を作成する

新しい調査を作成するには、**My Surveys** タブの **Plus** ボタンをクリックします。



作成に当たって、以下のような選択肢があります。

1. 調査をゼロから作成したいか、もしくは、以前の調査もしくはテンプレートからスタートしたいか?
2. 調査の名前をどうするか?
3. どのようなテーマ、カテゴリおよび言語を使用するか?

#### 4. どのような回答者にするか？（匿名、回答者リストからなど）

今回のケースでは、ゼロから調査を作成することとし、年次顧客満足度調査という名前にします。そして、この調査を顧客満足度のカテゴリーに分類します。

テーマと言語は、デフォルトの設定のままとし、匿名の調査とします（これもデフォルト設定）

The screenshot shows the 'WEB SURVEY CREATOR' interface. The top navigation bar includes links for HOME, MY SURVEYS, MY CATI, MY CONTACTS, SUPPORT, MY ACCOUNT, and LOG OUT. The main heading is 'Surveys' with a sub-heading 'Surveys > Create New Survey'. Below this, there are tabs for 'My Surveys', 'Survey Categories', and 'Images'. Under 'My Surveys', there are sub-tabs for 'All', 'Recent', 'Favorites', and 'Archived'. The main content area is divided into three sections:

- First: Choose a method to Create Survey:** This section asks the user to choose one of three options: 'Create a new Survey by copying an existing Survey', 'Create a new Survey by using a pre-defined Survey Template', and 'Create a new Survey by starting from a blank Survey'. The third option is selected.
- Then: Enter Title of the new Survey:** This section asks the user to enter the title of the Survey. The title 'Annual Customer Satisfaction Survey' is entered.
- Finally: Choose Theme, Category, Language and Response Type options** This section asks the user to select a survey theme, category and default language. The 'Survey Theme' is 'Basic White', 'Survey Category' is 'Customer Satisfaction', and 'Default Survey Language' is 'English'. Below this, there is a 'Survey Responses Type' dropdown set to 'Anonymous'. A tooltip explains that this type of response is perfect for surveys where you want a single generic link to be provided to anyone who wants to complete the survey. The best feature of this link is its simplicity. No tracking information exists in the link – everyone uses the same link and is completely anonymous. Respondents must complete the survey in a single sitting, as there is no way to get back to previously entered responses.

A 'Create New Survey' button is located at the bottom right of the form.

調査詳細を保存すると同時に、調査のコンテンツデザインに入ります。

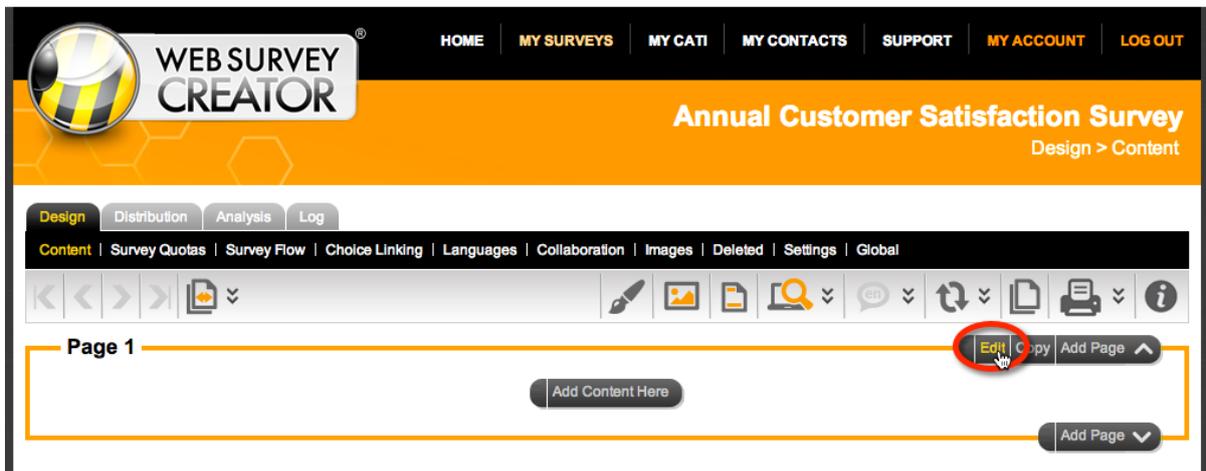
## ページを追加する

前述の設計に基づくと、4 ページ必要です。

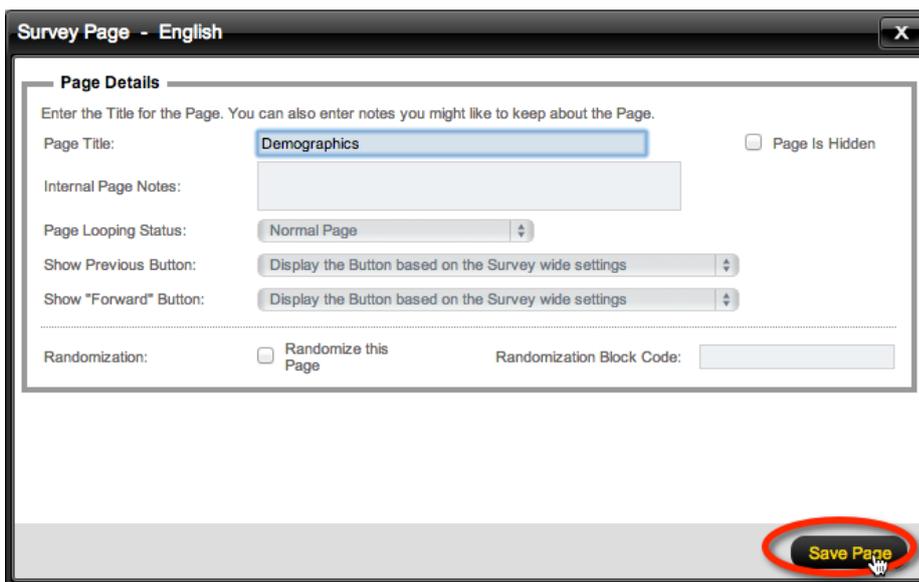
最初のページは調査作成と同時に作成されます。

ページは自動的に名付けられ、ページ 1 となります。名前を変更する必要はありませんが、簡単に人口統計学的属性に変更できます。

新しいページ名称を付けるには、**Edit** ボタンをクリックします。



ページの名前を変更したら、**Save Page** ボタンをクリックします。



## 質問内容を追加する

名前を付けた質問項目に、質問を追加する必要がありますが、その場合、**Add Content Here** ボタンをクリックします。



どのようなコンテンツを追加する場合でも常に、コンテンツのタイプを選択することからスタートします。

---

WSCは「氏名」のような共通の質問項目を準備しています。回答者の氏名を質問する場合には、テキストベースの質問を使用するのではなく、人口統計学的属性タイプを使用します

---

**Content Type**

Please select the content to include and then choose the option for the content.

Text Question

Choice Question

Matrix Question

Number Question

Date Question

Ranking Question

**Demographic Question**

Survey Content

Other

**Name**

Address

Email

Phone

人口統計学的属性を選択し、氏名を選択し、特定の入力フォーマットを使用します。

**Question Text**

Enter the text of the Question to be asked.

What is your name?

**Demographics: Name**

You can choose which name fields to include in your survey by selecting from the dropdown below. Labels for each field can be changed.

**Include name details using format:** Title, First Name, Last Name

この質問は必須で、**Save Content and Return to Design** ボタンをクリックして保存します。

**Content Type**

Please select the content to include and then choose the option for the content.

Text Question

Choice Question

Matrix Question

Number Question

Date Question

Ranking Question

**Demographic Question**

Survey Content

Other

**Name**

Address

Email

Phone

Question is Hidden and should not be displayed in the Survey

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]:

**Question Text**

Enter the text of the Question to be asked.

What is your name?

**Demographics: Name**

You can choose which name fields to include in your survey by selecting from the dropdown below. Labels for each field can be changed.

**Include name details using format:** Title, First Name, Last Name

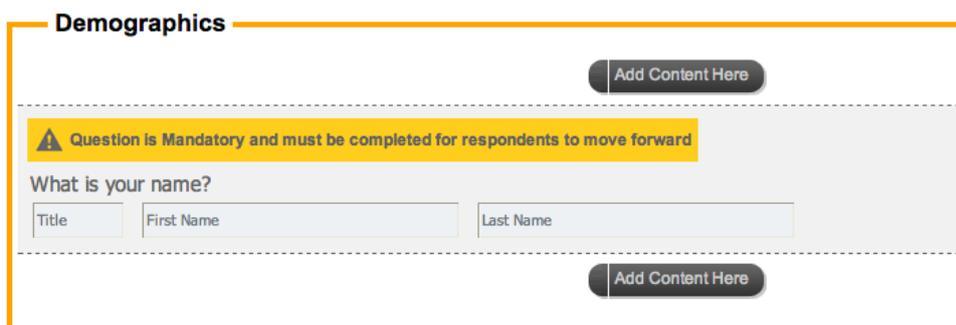
**Mandatory Options**

**Question is Mandatory and must be completed**

You can choose if the Question must be completed before the respondent may continue the survey.

Displayed Error Message when answer is not entered:

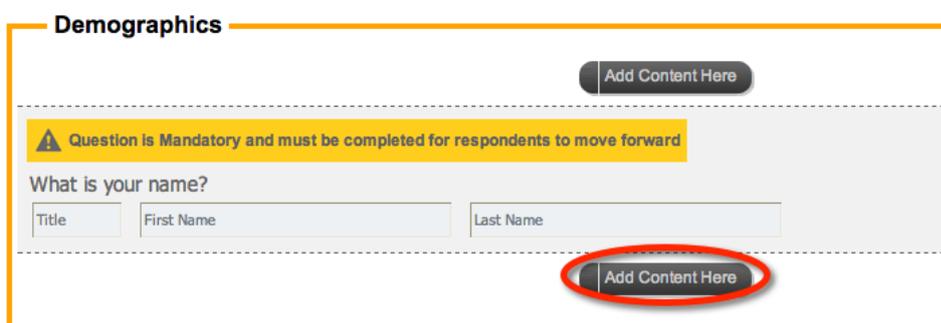
質問は調査と同じレイアウトでコンテンツデザイナーに表示されます。



単なるテキスト質問に比べると、質問の見た目がはるかに良いことに留意してください。きれいにフォーマットされた氏名を調査に入力します。

## 年齢に関する質問を追加する

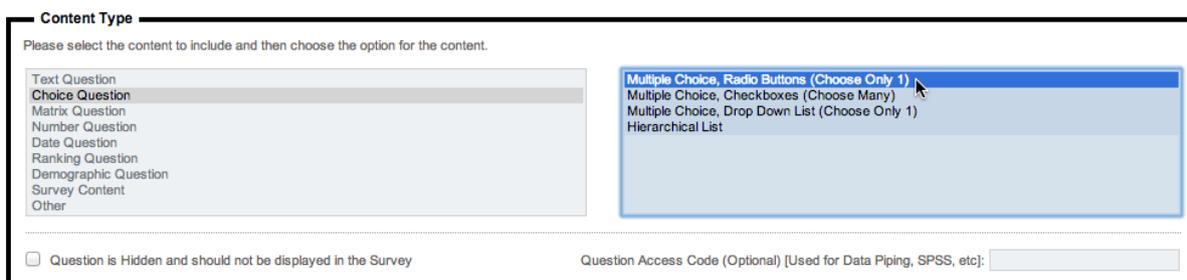
では年齢に関する質問に移りましょう。氏名の質問に続いて、**Add Content Here** ボタンをクリックして追加します。



コンテンツタイプを再度選択する必要があります。年齢はしばしば、間違っただ数字が入力されることがあります。質問が技術的に正しくても、どれだけ多くの人が回答し、そして、正確な実年齢を知る必要がありますか？

数字を入力するのではなく、異なるタイプの質問を使用します。年齢グループから選択できるようにします。

これは、選択質問をする必要があるということです。スクリーンに選択ボタンを表示し、必ずどれかの年齢グループに属されることから、複数選択肢ボタンを選択します（1つだけ選択）。



「あなたの年齢は？」という質問文を入力し、**selection choices** を入力します。

一行に1つずつ入力する必要があります。幸いあらかじめ作成された選択リストにアクセスできます。年齢レンジはその1つです。

**Selection Choices**

Enter the choices that the respondent may choose from. Enter one choice per line. To enter a choice which spans more than one line place an underscore at the end of a line next line.

How do you want the choices sorted:

Automatically apply Values to All Choices

**Choice Lists**

- Common
- Date & Time
- General
- Point Scale
- Age Range**
- Don't Ask
- Gender
- Hours Per Day
- Hours Per Week
- Languages
- Marital Status

リストは問題ないようですが、64~74歳のレンジを追加します。

Under 18  
18 to 24  
25 to 34  
35 to 44  
45 to 54  
55 to 64  
65 to 74  
75 or older

この質問は必須ではありません。なぜなら自分の年齢を教えたくない可能性があるからです。単にコンテンツを保存することも可能です。

**Question Text**

Enter the text of the Question to be asked.

How old are you?

**Selection Choices**

Enter the choices that the respondent may choose from. Enter one choice per line. To enter a choice which spans more than one line place an underscore at the end of a line and continue to the next line.

Under 18  
18 to 24  
25 to 34  
35 to 44  
45 to 54  
55 to 64  
65 to 74  
75 or older

How do you want the choices sorted:

Automatically apply Values to All Choices

**Other (Please Specify) Options**

**Change "Other (Please Specify)" Choice Default Settings**

Every Choice may have an "Other (Please Specify)" field. Check this option to change the default settings used when displaying all "Other (Please Specify)" fields attached to Choices.

**Mandatory Options**

**Question is Mandatory and must be completed**

You can choose if the Question must be completed before the respondent may continue the survey.

**Style and Formatting Options**

Please choose from the following Style and Formatting options.

How do you want the choices displayed:

Direction in which list is displayed:

Width of Question:

Minimum Height of Question Item:

## 製品に関する質問を追加する

質問に関する質問を追加するのは、年齢に関する質問と非常に似ていますが、若干の違いもあります。

これは、調査の2ページ目に配置します。

ページを追加するにはツールバーから、または単に、最初のページの下部の *Add New Page Here* ボタンをクリックします。



デフォルト設定では Page 2 となっていますが、前回同様これを編集します。



このページの名称を “Products” に変更します。

A screenshot of the 'Page Details' form. The title bar reads 'Survey Page - English'. Below it, the text says 'Page Details' and 'Enter the Title for the Page. You can also enter notes you might like to'. The 'Page Title:' label is followed by a text input field containing the word 'Products'.

当社はエレクトロニクス製品を製造するので、表示する製品リストもエレクトロニクス製品とします。

もちろん顧客は異なる複数の製品を購入するので、“choose many” タイプの質問とします。

正しいタイプの選択質問を選ぶことが重要なのは、この例でよく分かります。

---

最も多い調査デザインの誤りは、間違ったタイプの選択質問を選んでしまうことです。常に「複数の選択することが正しい？」を考えてください。

---

この例では、複数製品を選択できるのは、問題ありませんが、複数の年齢グループを選択するのは不可能です。

質問を既に学んだやり方で、追加します。

1. **Add Content Here** ボタンをクリックします
2. 次の順番でクリックします。 **Choice Question -> Multiple Choice, Checkboxes (Choose Many)**
3. 質問文を入力します「当社のどの製品を使用していますか？」
4. 選択肢を入力します

Television  
Projector  
Washing Machine  
Refrigerator  
Hi Fi System

2つの追加オプションを加えましょう。

1. リストにないマイナーな製品のための「その他」
2. 未購入者のための「製品を買ったことはない」

選択肢は以下ようになります

Television  
Projector  
Washing Machine  
Refrigerator  
Hi Fi System  
Other  
I have never bought a product from you

この質問を保存後、回答者は複数質問を選択できるようになります。

Which of our products have you used?

Television

Projector

Washing Machine

Refrigerator

Hi Fi System

Other

I have never bought a product from you

ユーザーの使い勝手を高めるために、いくつかの修正をします。以下の質問を編集しましょう。

**Products** Edit Merge Previous Move Previous Copy Move Delete Add

Add Content Here

Which of our products have you used?

Television

Projector

Edit Move C

「その他」の項目を編集します。

**Selection Choices**

Edit the current Choice that the respondent may choose from. You can also choose to set attributes for the Choice such as its visibility and whether respondents can make an "Other (Please Specify)" selection.

Note: When Editing Selection Choices any changes that are made are updated immediately and cannot be undone or cancelled.

Television (Value: 1)  
Projector (Value: 2)  
Washing Machine (Value: 3)  
Refrigerator (Value: 4)  
Hi Fi System (Value: 5)  
Other (Value: 6)  
I have never bought a product from you (Value: 7)

Edit Choice  
Delete Choice  
Move Choice Up  
Move Choice Down  
Add New Choices  
Update All Choices  
Edit Choice Images

「その他、具体的に」項目を表示します。

**Edit Selection Choice**

Edit the current Choice that the respondent may choose from. You can also choose to set attributes for the Choice such as its visibility and whether respondents can make an "Other (Please Specify)" selection.

Other

Choice Value: 6

Choice is Hidden  
 Choice is the Default and is Selected  
 Choice is Exclusive  
 Choice allows an "Other (Please Specify)" Option

Save Choice button. ボタンをクリックして、変更を保存します。



「購入したことはない」項目の編集もします。

**Selection Choices**

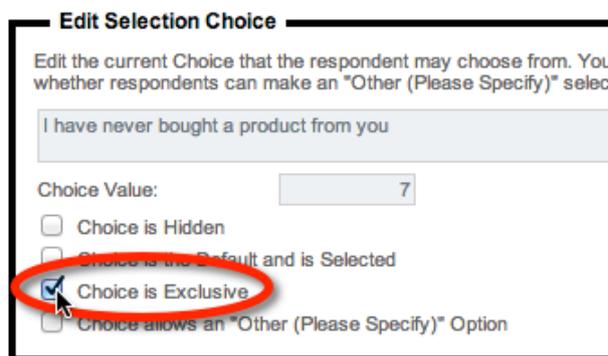
Edit the current Choice that the respondent may choose from. You can also choose to set attributes for the Choice such as its visibility and whether respondents can make an "Other (Please Specify)" selection.

Note: When Editing Selection Choices any changes that are made are updated immediately and cannot be undone or cancelled.

Television (Value: 1)  
Projector (Value: 2)  
Washing Machine (Value: 3)  
Refrigerator (Value: 4)  
Hi Fi System (Value: 5)  
Other (Value: 6) [Other (Please Specify)]  
I have never bought a product from you (Value: 7)

Edit Choice  
Delete Choice  
Move Choice Up  
Move Choice Down  
Add New Choices  
Update All Choices  
Edit Choice Images

この選択は、排他的とします。つまりこの項目がチェックされたら、自動的に他のすべての項目のチェックを外します。



新しい設定により、これらの入力値が特定の動作を生じさせます。

## 満足度に関する質問を追加する

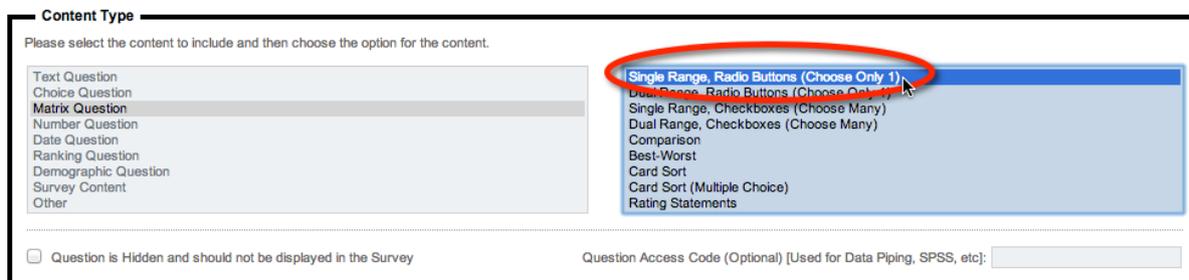
調査の3ページ目を追加し、満足度に関する質問を追加します。

- 当社の製品にどの程度満足していますか？
- 当社のサービスにどの程度満足していますか？

これらの質問はもちろん、2つの選択質問として作成されます。回答者は以下の選択肢から1つを選びます。

- 非常に満足
- やや満足
- どちらでもない
- やや不満
- 非常に不満

しかしながら、多少考慮することで、調査の見た目や機能は大きく改善できます。これらの質問は、同じ選択肢を持つことから、マトリクス質問タイプにまとめることができます。



質問は「どの程度満足していますか」列、および「当社の製品」「当社のサービス」が行として記述されます。

**Question Text**

Enter the text of the question to be asked.

How happy are you with...

Hide Question Text on Survey Page

**Selection Choices**

Enter the choices that the respondent may choose from. Enter one choice per line. To enter a choice which spans more than one line place an  
next line.

Very Happy  
Slightly Happy  
Undecided  
Slightly Unhappy  
Very Unhappy

Choice Lists ▾

Save Choice List

How do you want the choices sorted: Do not apply any sorting or randomization

Automatically apply Values to All Choices

Allow Comments for All Choices

**Question Rows**

Enter the questions that the respondent will answer. Enter one question per line. To enter a question which spans more than one line, place an  
next line.

Our Products  
Our Services

質問を保存後、2つの質問をマトリクスがコンパクトにまとめる手段であることが分かります。

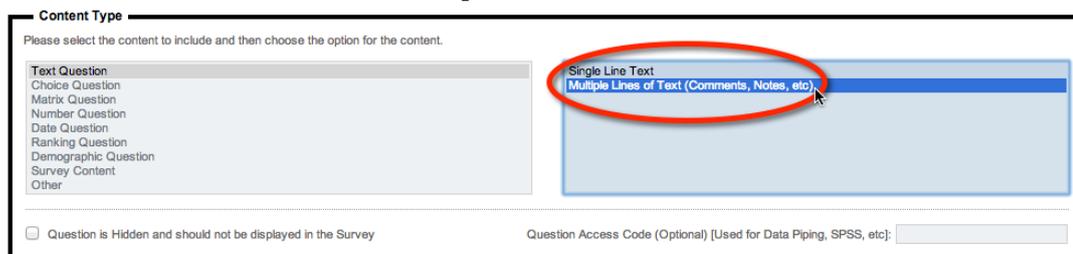
How happy are you with...	Very Happy	Slightly Happy	Undecided	Slightly Unhappy	very Unhappy
Our Products	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Our Services	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 記述式質問を追加する

最後に追加するのは、以下のような記述式質問です。

1. 記述式質問ページの追加
2. **Add Content Here** をクリック

### 3. 次の順番で選択 **Text Question -> Multiple Lines of Text**



Content Type

Please select the content to include and then choose the option for the content.

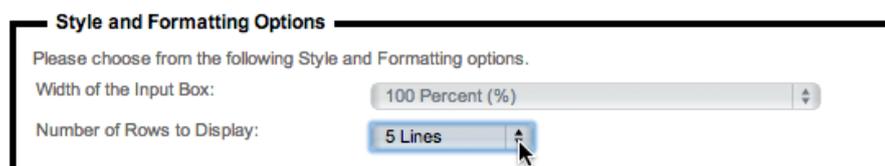
Text Question	Single Line Text
Choice Question	Multiple Lines of Text (Comments, Notes, etc)
Matrix Question	
Number Question	
Date Question	
Ranking Question	
Demographic Question	
Survey Content	
Other	

Question is Hidden and should not be displayed in the Survey

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]:

4. 「他にコメントはありますか？」という質問文を入力

5. 質問者の回答用のフォーマットを追加します。コメント用に5行入力できるようにしましょう。



Style and Formatting Options

Please choose from the following Style and Formatting options.

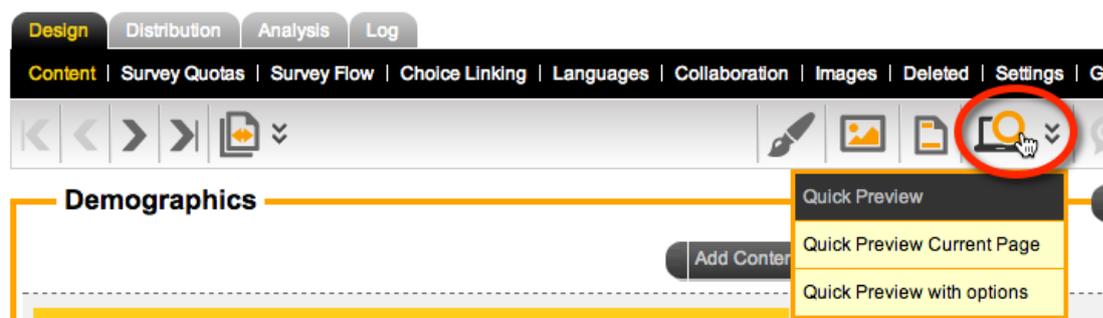
Width of the Input Box: 100 Percent (%)

Number of Rows to Display: 5 Lines

素晴らしい！これで調査は完成です。

## 調査のプレビュー

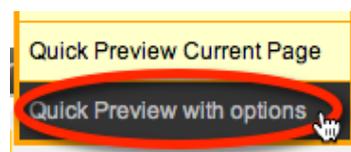
どのように調査が表示されるか確認するには、**Quick Preview** オプションを選択します。



プレビューは特に、必須質問のロジック、排他的質問および製品リストに関する質問の設定をテストするのに便利です。

### 他者にプレビューを表示する

プレビューを他者に表示する必要がある場合、Web Survey Creator へのログインは必要ありません。**Quick Preview with options** を選択するだけで良いのです。



**Share Preview with Others.** を選びます。

## Quick Preview

**Preview Options**

You may choose how the Survey Preview will operate. You are able to disable Survey Flows and Validations in order to test the Survey.

Default Survey Language:

Enable All Survey Flows

Enable All Validations

複数の E メールアドレスが入力でき（1行に1つずつ）、プレビューへのリンクがそれぞれに送られます。

**Share Survey Preview with Others**

**Recipient Details and Email Message**

Enter the details of each person you want to email the Survey Preview link to. Enter each email address on a new line. If the Distribution being Previewed is a Respondent based Distribution each person will be sent a unique link that only they can use.

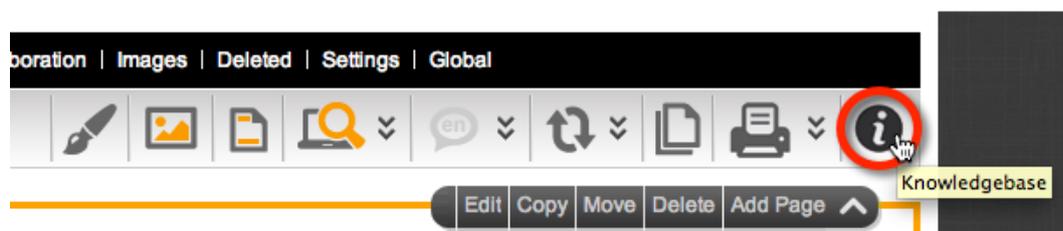
Recipient Email Addresses:

Email Subject:

Email Message:

## ステップ・バイ・ステップビデオ

最初の調査がどのように構築されるか確認するには、ステップ・バイ・ビデオを参照してください。このビデオにアクセスするには、調査コンテンツ実行時にツールバーの **Knowledgebase** ボタンをクリックしてください。



ビデオの名前は **My First Survey** です。

# 調査で高度なフォーマットを使う

コンテンツタグを使って、調査にフォーマットを追加します

## コンテンツタグとは何か？

コンテンツタグは、調査設計者に HTML 文を全て表示せずに、簡単に調査内容に標準的 HTML 機能を組み込むための手段です。（あらゆる種類のセキュリティーおよびレイアウト問題にシステムが対処します）

## コンテンツタグはどこで使うか？

コンテンツタグは、調査中の標準テキストのどこでも使えます。

- テキスト群
- 質問文
- 選択文

多くの場合、通常テキストで十分ですが、以下の場合、コンテンツタグは有効です。

- コンテンツの一部を強調する
- 質問文の下に簡単な注釈を加える
- 黒丸を加える
- テキストの色を変更する
- 画像をテキストに配置する

## コンテンツタグおよび使用方法の一覧

タグの組み合わせ	内容	使用方法
<h1></h1>	H1	<h1>My Heading</h1>
<h2></h2>	H2	<h2>My Sub Heading</h2>
<b></b>	Bold	<b>This is bold</b> but this isn't
<strong></strong>	Bold	<strong>This is bold</strong> but this isn't
<u></u>	Underline	<u>This is underlined</u> but this isn't
<i></i>	Italic	<i>This is italicized</i> but this isn't
<ol><li></li></ol> <ol type:style><li></li></ol>	Ordered Lists - with Css Ordered List Style e.g upper-roman	<ol><li>One</li><li>Two</li></ol>
<ul><li></li></ul> <ul type:style><li></li></ul>	Ordered Lists - with Css Unordered List Style e.g square	<ul><li>Banana</li><li>Apple</li></ul>
<nobold></nobold>	No Bold - Turns of Bold where the current style is Bold	This is in Bold <nobold>but this is not</nobold> but this is again.
<small></small>	Equivalent to font-size:small	<small>This is small</small> but this isn't
<webhelptext></webhelptext>	Equivalent to font-size:x-small; font-style:italic	<webhelptext>This is small and italicized</webhelptext>
<link:mailto:emailaddress>Text</link> <link:mailto:emailaddress nostyle>Text</link>	Link for Email Address - with no style	<link:mailto:fred@me.com>Mail to Fred</link>
<link:url>Text</link> <link:url nostyle>Text</link>	Link from http or https based URL - with no style	<link:http://www.me.com>Click to Go To Me</link>

タグの組み合わせ	内容	使用方法
<image:url> <image:url tooltip>	Image from http or https based URL - jpeg/gif/png - with Tooltip	<image: http://www.me.com/cat.jpg>
<image:filename> <image:filename tooltip>	Image from Person's File - jpeg/gif/png - with Tooltip	<image: cloud.jpg>
<font:text>	Font using CSS Font Style	<font: italic bold 22px courier>Text</font>
<color:#hex>	Color using HEX Name	<color:#334455>Text</color>
<color:name>	Color using Font Name	<color:Red>Text</color>
<colour:#hex>	Color using HEX Name (English Spelling)	<colour:#334455>Text</colour>
<colour:name>	Color using Font Name (English Spelling)	<colour:Red>Text</colour>

## コンテンツタグの使用例

以下は、簡単なコンテンツタグで製品に関する質問文を変更する例です。

**Question Text**

Enter the text of the Question to be asked.

Which of our products have you used?

これにより、“Our Products”に下線を追加し、強調されます。

Which of our products have you used?

Television

Projector

## 調査票のテーマデザイン

WSC では調査票の構成がどんな意味を持つのか、また調査票のテーマデザインに関してどんなことができるのか見ていきましょう。

### コンポーネント

WSC で使用されるテーマはいくつかのコンポーネントによって、調査票に統一感を与えるように構成されています。

基本となる要素は標準の HTML スタイル (CSS) と画像です。WSC では、あらかじめ3つのスタイルシートが用意されています。

1. スタンダード
2. タブレット
3. モバイル

各スタイルシートは原則として一連の同じクラスを使用しており、それぞれのスタイルにとって適切なデバイス用ページにしか適用されません。つまり、デスクトップ PC で表示するページにはスタンダードスタイルシートが適用され、iPad にはタブレットスタイルシート適用のページが表示されるわけです。

簡単な調査票に「ホワイト」テーマを適用すると以下のようになります:

The screenshot shows a survey form titled "Theme Sample" with a white theme. At the top, there is a progress bar indicating "Progress 50%". Below the progress bar, there is a text input field with the placeholder text "Please enter some text". The next question is "Please pick which one of these fruits that you like the most", with radio button options for Apple, Banana, Pear, Orange, Apricot, and Other. The "Other" option is selected, and a text input field next to it contains "Kiwi". The third question is "What things do you like to watch?", with checkbox options for Tennis, Soccer, Rugby, AFL, League, Netball, Basketball, Motor Racing, and Other. The "League" and "Horse Racing" options are selected. A "Next" button is located at the bottom right of the form. At the very bottom, there is a small text "Powered By WebSurveyCreator".

## テーマの構造

この調査票はとてもシンプルなもの、以下の各部分から構成されています。:

1. バナー部分
2. パーセンテージ部分
3. 質問 1
4. 質問 2
5. 質問 3
6. 次へボタン
7. Powered By 部分

それぞれの質問が他の質問から区切られたエリアに表示されています。さらに選択質問は回答者が個々の選択肢を選ぶ際のスタイルを選ぶことができ、個々の選択肢用にホバーリングを設定できます。

同じ調査票を、適用スタイルシートの各部分が色分けされるような形にしたのが下の図です。この例では、バナー部分とパーセンテージ部分は削除されています。

The image shows a survey form with several distinct colored zones:

- BANNER IMAGE ZONE:** A yellow banner at the top with green vertical bars on the left and right.
- PERCENTAGE ZONE:** A light pink horizontal bar below the banner.
- Question 1:** A purple box containing the text "Please enter some text" and a white text input field.
- Question 2:** A purple box containing the text "Please pick which one of these fruits that you like the most" and a list of radio button options: Apple, Banana, Pear, Orange, Apricot, and Other (with a text input field).
- Question 3:** A purple box containing the text "What things do you like to watch?" and a grid of checkbox options: Tennis, Soccer, Rugby, AFL, League, Netball, Basketball, Horse Racing, Motor Racing, and Other (with a text input field).
- Next Button:** A blue button with the text "Next" in the bottom right corner.
- Footer:** A thin orange bar at the bottom with the text "Powered By Web-SurveyCreator".

## 特定のスタイル

上図で色分けされている部分には、それぞれ別のスタイルが適用されています。また、スタイルがネストされている部分もあり、複雑な調整が可能になっています。

ある質問部分には DIV が複数個使われており、スタイルがネストされています。

```

<body class="wsc_body">
  <div id="SurveyPanel">
    <div class="wsc_background">
      <div class="wsc_mainbody">
        <div class="wsc_mainbodyzone">
          <div class="wsc_surveyzone">
            <div class="wsc_pagezone">
              <div class="wsc_question-zone">

```

こうした構造はかなり複雑なスタイルを実現できます。

## 質問のスタイル

質問部分にはさらに追加のスタイルを適用することができます。

例として、以下を見てみましょう：



この部分には、ラベルテキスト (wsc\_labeltext)のスタイルとインプットコントロール(wsc\_textfield)スタイルが使われています。

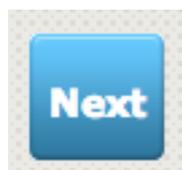
wsc\_textfield のスタイルは、実際にはホバー、フォーカス、無効化、そして通常状態といったような、複数のスタイルから構成されています。

選択質問で使われるチェックボックスやラジオボタンにも同じようなスタイルが使われています。

これより複雑な質問形式にはまた別の、変更可能なスタイルが適用できます。

## 他のスタイル

上記以外の部分についても、また別のスタイルが適用できます。下図を例にとりましょう。



ここでは少なくとも3つのスタイルが複合的に適用されて、図のようなボタンを構成しています。

## パーセンテージバーとバナー画像

パーセンテージバーやバナーはいくつかの画像によって構成されています。これがパーセンテージバーやバナー部分の表示の基礎になり、そこへテキスト（必要なら）やその他の画像が重ねられて、パーセンテージバーやバナー部分として完成します。

パーセンテージバーやバナー部分にスタイルを適用するには、使用されている画像の高さや幅を変えたりするような、画像の編集が必要になります。



---

# 調査フロー

---

ほとんど全ての基本的なウェブ調査には、分岐またはページスキップが必要です。Web Survey Creator では「フロー制御」(Flow control)と呼んでいます。

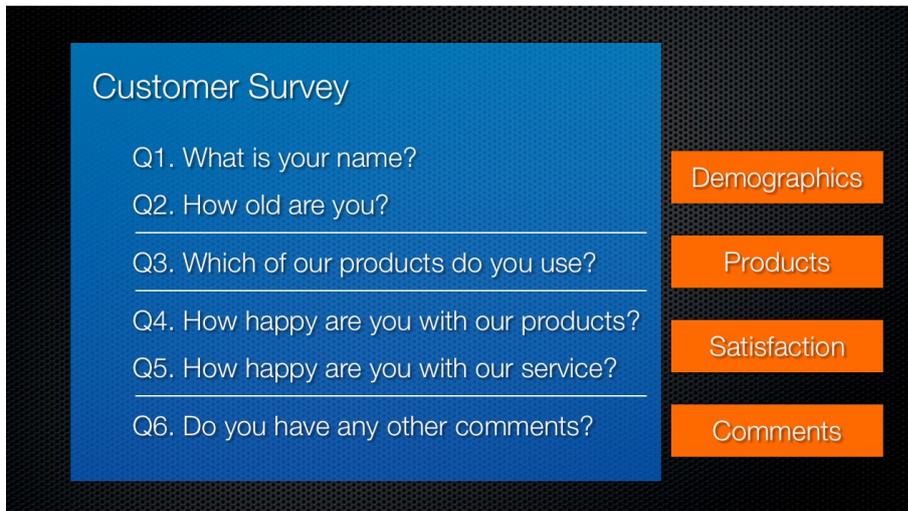
この章では、どのようにフロー制御を調査に追加するか見ていきます。



# 調査フローとは何か？

フローを理解するのに最も良い方法は、例を参照することです。前章で作成した顧客満足度調査を使いましょう。

調査の基本構成は以下の通りです。

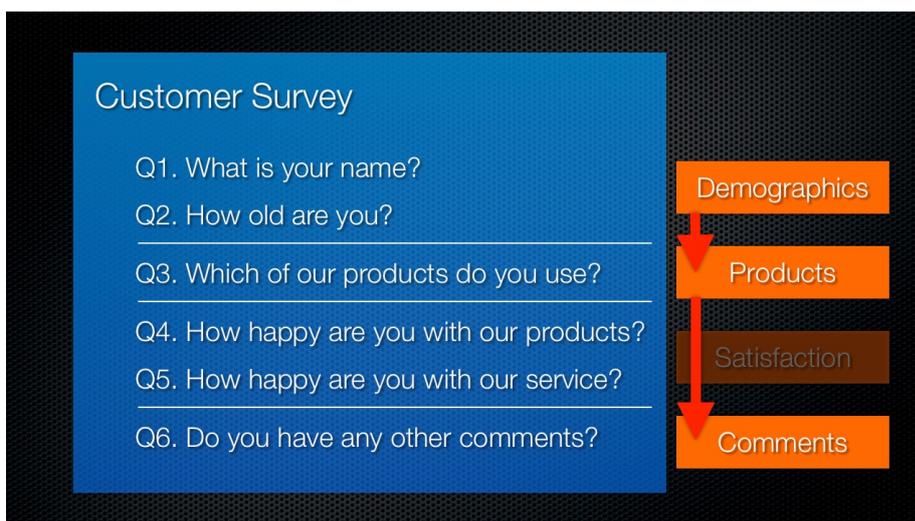


調査を複数のページに分割します（人口統計学的属性、製品、満足度およびコメント）。この調査では回答者はそれぞれのページを1ページごとに回答します。

調査フローの例では、満足度のページをスキップし、製品ページからコメントページにジャンプします。

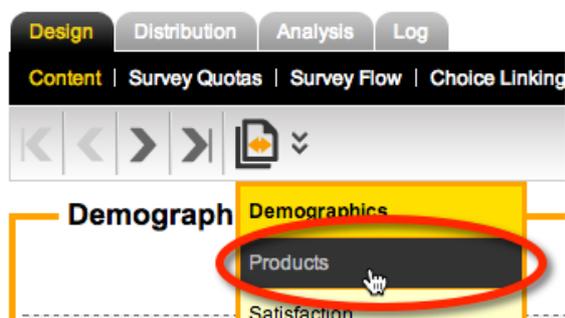
## 満足度調査に必要なフローの例

調査には、回答者が当社から製品を購入したことがないという選択質問があります。製品購入がない場合、当社の製品およびサービスに関する質問に回答できないのは当然です。そのためこれらの質問をスキップし、直接コメントにジャンプします。



# Web Survey Creator で調査フローを作成する

Web Survey Creator で顧客満足度調査を開き、2 ページ目の製品に関する質問を参照しましょう。



「当社の製品を購入したことがない」という選択肢を確認します。

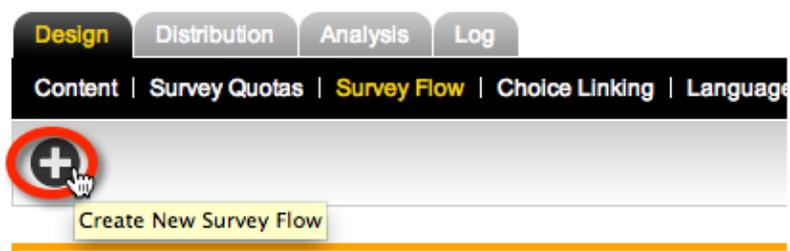
A screenshot of the 'Products' survey question in the Web Survey Creator. The question is 'Which of our products have you used?'. Below the question, there are several checkboxes for product categories: Television, Projector, Washing Machine, Refrigerator, Hi Fi System, and Other. The 'Other' option has a text input field. At the bottom, there is a checkbox for 'I have never bought a product from you', which is selected with a blue checkmark and a mouse cursor.

これが選択されたら、調査の 3 ページ目を表示しないこともできます。

調査にフロー制御を加えるには **Design** タブの下の **Survey Flow** をクリックします。



この調査には、まだフローが設定されていません。新しいフローを追加するには **Add** ツールバーをクリックします。



フロー設定では、まずフローにより非表示にするページを選択します。この例では、満足度のページを非表示にします。

調査フロー名は自動的に更新されることに注意してください。

Save & Continue to Add Conditions ボタンをクリックしてフローを保存します。



## フロー制御条件

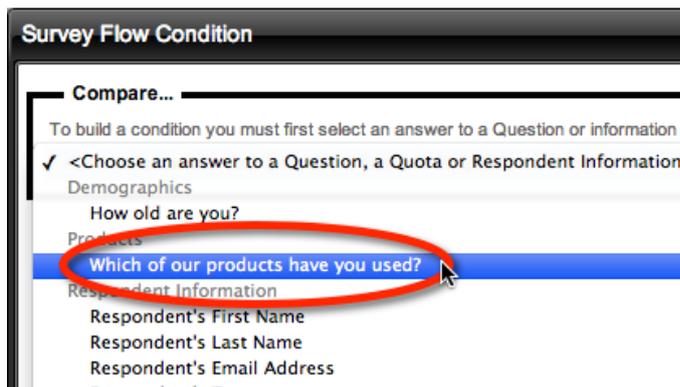
フローは以下2つの部分からなります。

1. 非表示にしたいページを選択
2. ページを非表示にする条件を設定

既に最初の部分は設定したので、次に条件を設定します。

非表示にしたいページの前の質問だけ、条件設定で選択できることに気を付けてください。

「当社のどの製品を使っていますか」という質問を選択します。

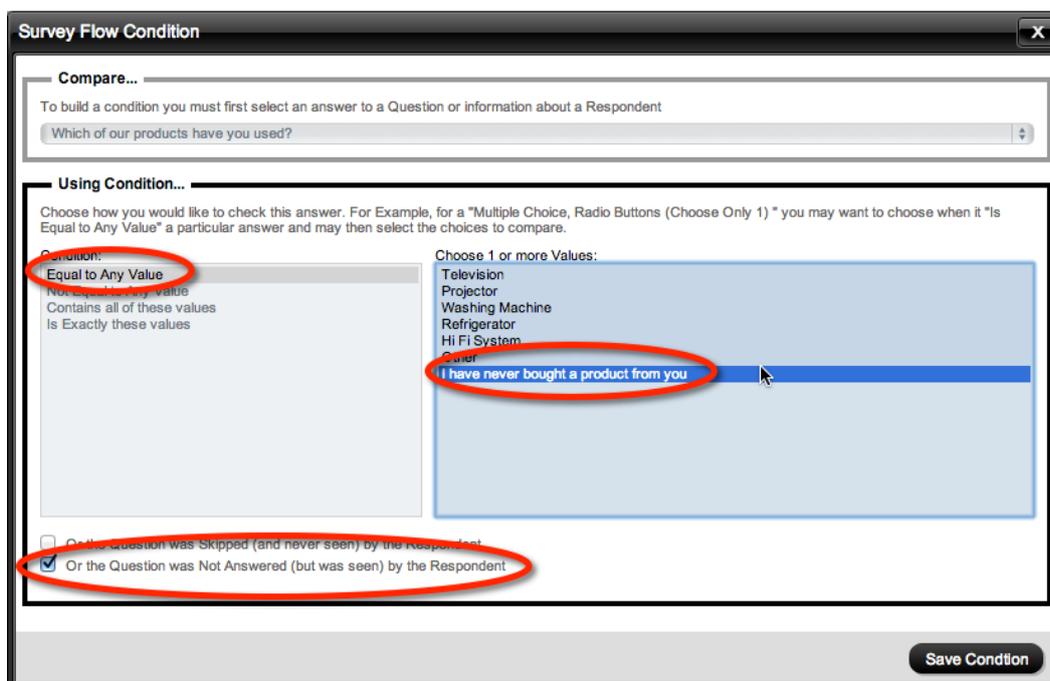


この質問の選択肢に基づき、条件設定で使える条件タイプおよび選択できる値が示されます。

質問への回答が「どの製品も使ったことはない」である場合、ページを非表示にします。

この質問が必須ではない場合、回答者はどの選択もしないことができます。非回答の質問は、当社のどの商品も持っていないと仮定します。

そのため、質問への回答がない場合、条件が満たされていると表示します。

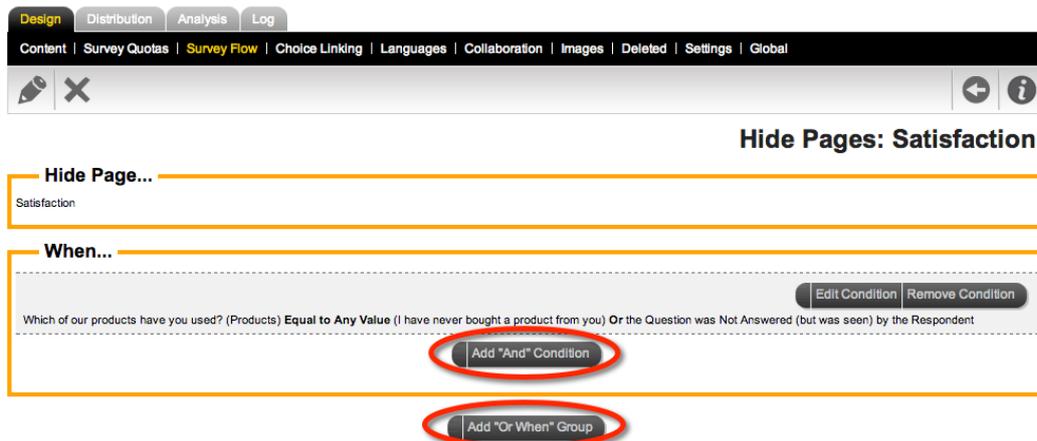


**Save Condition** button. ボタンをクリックして、条件を保存します。

これが、この例に必要なすべてです。

## 複数ルールがある条件

条件を入力すると、調査フローエディターは、以下のようになります。



将来必要ならば、より複雑な条件を作成するために、“and”および“or”条件の両方を加えることができます。

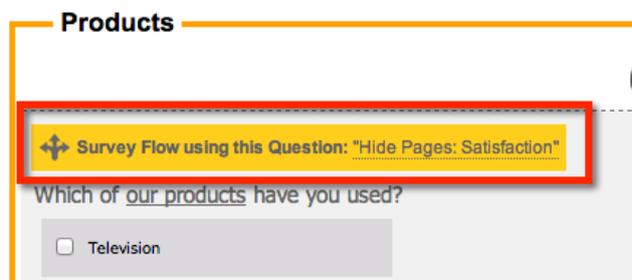
## 調査デザインに戻る

調査コンテンツに戻るには、**Design** タブの下の **Content** をクリックします。



デザインのページを見ていくと、フローが2つの場所に分かれていることが分かります。

フロー中の質問はこのように表示されます。



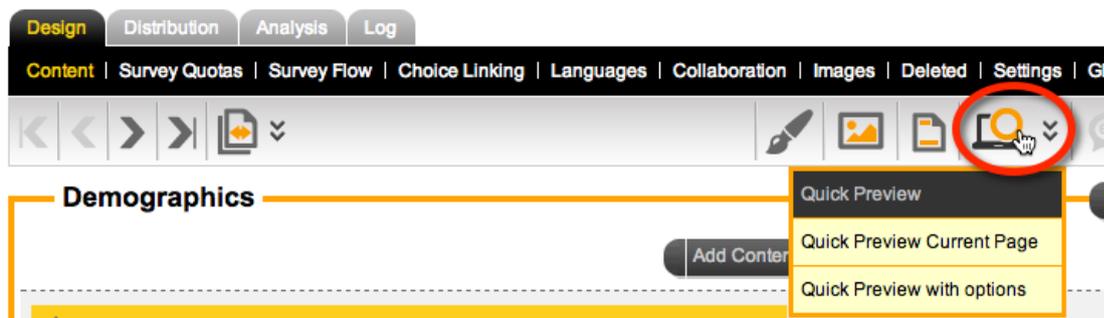
フローで非表示になるページはこのように表示されます。



これにより、フローが使われる場所を簡単に参照でき、変更する必要があるフロー自体に素早くジャンプすることができます。

## フローをテストする

フローが働いているかチェックするために、調査をプレビューする必要があります。



フローが働いているか確認するために、以下のテストを試行します。

*Let's assume we use a refrigerator.*

Since we use one of the company's products, the questions about our level of satisfaction are shown.

*Now, let's go back and say we do not use any products.*

素晴らしいフローは意図したとおり働いている。

## ステップ・バイ・ステップ ビデオ

このフローがどのように構築されるか確認するには、ステップ・バイ・ビデオを参照してください。このビデオにアクセスするには、調査コンテンツ実行時にツールバーの **Knowledgebase** ボタンをクリックしてください。



ビデオ名は **Creating Flow Control** です。



---

# データ連携

---

データ連携により、調査コンテンツに回答者および回答情報を受け渡すことができます。

これにより、個別の回答者の回答に基づき、調査または調査コンテンツをパーソナライズできるようになります。



# 顧客満足度調査を改善する

データ連携を理解するのに最も良いのは、例を参照することです。この例では、顧客満足度調査を使います。

すでに、調査には以下の質問があります

Which of our products have you used?

- Television
- Projector
- Washing Machine
- Refrigerator
- Hi Fi System
- Other
- I have never bought a product from you

回答者が1つまたは複数の製品を選択すると、当社の製品およびサービスを評価するよう求められます。

How happy are you with...

	very Happy	Slightly Happy	Undecided	Slightly Unhappy	very Unhappy
Our Products	<input type="radio"/>				
Our Services	<input type="radio"/>				

この時点で、質問は非常に一般的です。

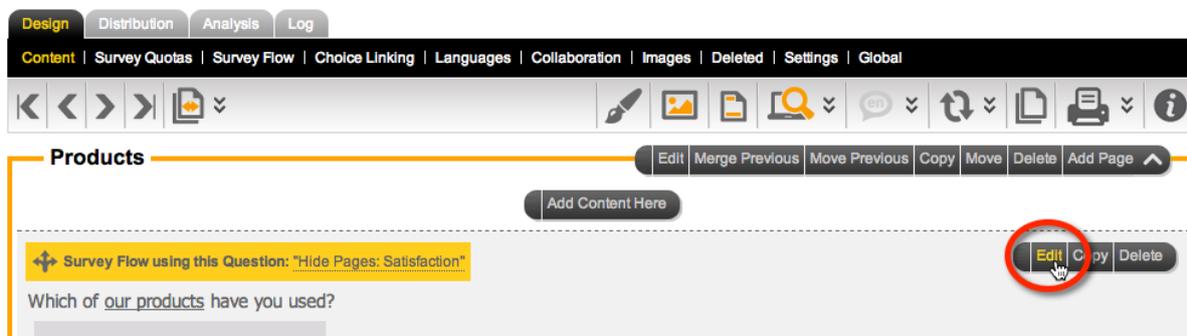
How happy are you with...

データ連携を使うことで、回答者入力した内容を想起させる、より具体的な質問となります。

# データ連携を設定する

## ステップ1：アクセスコードを作成する

データ連携はデータ連携データのソースとしてアクセスコードが設定された質問を使用できます。製品に関する質問を、データ連携データのソースとして使います。この質問を編集するには、**Edit** ボタンをクリックします。

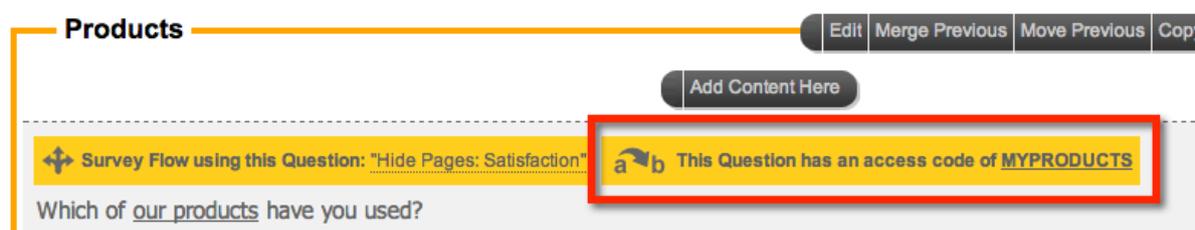


この質問用にアクセスコードを入力します。コードには英数字が入力できます。



コードに *MYPRODUCTS* と入力しました。質問を保存し、コードは使えるようになります。

この質問のコードは、デザイナー上に表示されます。



## ステップ2：コンテンツでアクセスコードを使う

アクセスコードを設定したので、調査コンテンツで使うのは、調査テキストの一部としてコードを入力するのと同じくらい簡単です。

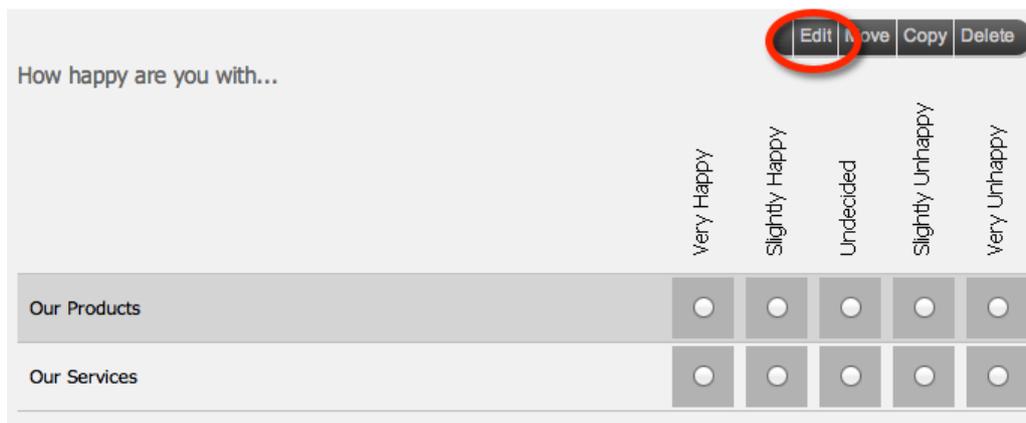
コードはフォーマットに入力される必要があります

**[@ + ACCESS CODE + @]**

この例で、使用する必要があるコードは

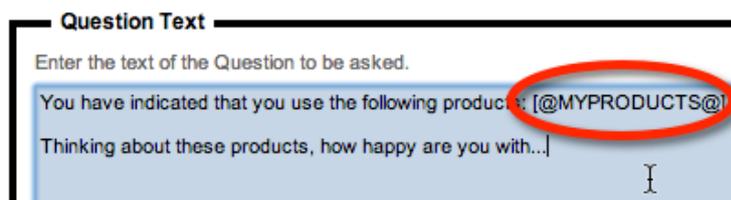
**[@MYPRODUCTS@]**

このコードを追加するために、満足度マトリクスを編集します。



How happy are you with...	Very Happy	Slightly Happy	Undecided	Slightly Unhappy	Very Unhappy
Our Products	<input type="radio"/>				
Our Services	<input type="radio"/>				

回答者が購入した製品に対応するよう、質問文を変更します。



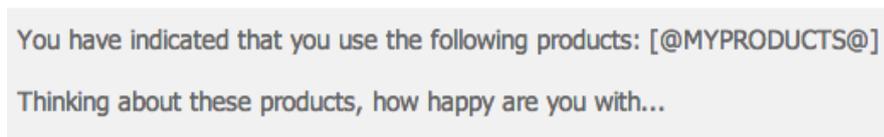
**Question Text**

Enter the text of the Question to be asked.

You have indicated that you use the following products: [@MYPRODUCTS@]  
Thinking about these products, how happy are you with...

コードは他の質問文と同じように入力します。

デザイナーでは、質問は以下のように表示されます。

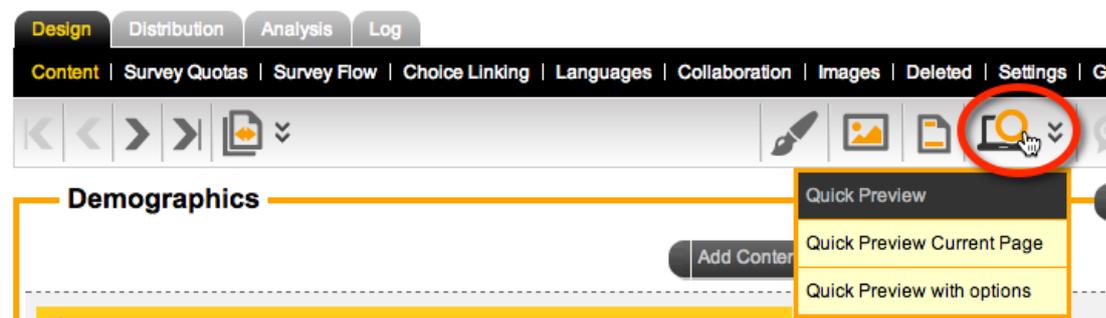


You have indicated that you use the following products: [@MYPRODUCTS@]  
Thinking about these products, how happy are you with...

デザイナーは、直接回答を取り扱わないので、コード自体のみ表示されます。このデータ連携をテストするには、調査のプレビューが必要です。

### ステップ 3 : データ連携をテストする

調査のプレビューにより、データ連携をテストします。



Design | Distribution | Analysis | Log

Content | Survey Quotas | Survey Flow | Choice Linking | Languages | Collaboration | Images | Deleted | Settings | Global

Demographics

Quick Preview  
Quick Preview Current Page  
Quick Preview with options

テストには、冷蔵庫（Refrigerator）および、ケトル（Kettle（その他に入力））を使います。

## Which of our products have you used?

Television

Projector

Washing Machine

Refrigerator

Hi Fi System

Other

I have never bought a product from you

プレビューの次ページで、データ連携が機能していることが分かります。

You have indicated that you use the following products: **Refrigerator, Kettle**

Thinking about these products, how happy are you with...

	Very Happy	Slightly Happy	Undecided	Slightly Unhappy	Very Unhappy
Our Products	<input type="radio"/>				
Our Services	<input type="radio"/>				

## ステップ・バイ・ステップ ビデオ

より多くのデータ連携作成例は、ビデオで参照することができます。このオンラインビデオは、ツールバーの **Knowledgebase** ボタンをクリックしてアクセスできます。



ビデオ名は **Data Piping** です。

# データ連携リファレンス

データ連携はソース質問の観点から簡単です—お分かりのように、質問にコードを加えるだけです



Content Type

Choice Question, Multiple Choice, Checkboxes (Choose Many)

Question is Hidden and should not be displayed in the Survey

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc.]: MYPRODUCTS

データ連携コードを使う際、使用方法は質問タイプに依存します。

上記の例では、使用方法は簡単です。

[@MYPRODUCTS@]により、製品リストが返されます。

## より複雑なデータ連携の例—マトリクス質問

マトリクス質問には行と列があり、どのデータを探しているか分からないので、単一のテキストコードの入力だけでは十分ではない。

前章のチュートリアルビデオは、探しているグリッドと行をどのように参照するか説明しています。



Please rate your overall impression of the following features of our site [Clear]

	Excellent	Above Average	Average	Below Average	Poor
Graphics	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Content	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Layout	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Usefulness	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[@FEATURES: 1, 2 @]

チュートリアルビデオは利用できるさまざまなコードのフォーマットについても説明します。これは、質問タイプにより変えることができます。

Please rate your overall impression of the following features of our site

	Excellent	Above Average	Average	Below Average	Poor	Comments
Graphics	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
Content	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
Layout	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Hard to follow
Usefulness	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

[@FEATURES:1,2] Above Average  
 [@FEATURES:1,2|lower] above average  
 [@FEATURES:1,3] Average  
 [@FEATURES:1,3|comments] Hard to follow

異なる質問タイプは、異なる方法で対処しなければならないのは、あきらかです。このデータ連携のリファレンスでは、これらの異なる質問タイプを学ぶことができます。

## リファレンスガイドで使用する標準

データ連携コードを参照すると、コードの構成は以下の通りです。（読みやすいようにスペースが表示されています）

[@ QQQQQ: subcode | format @] where:

QQQQQ	ソース質問に入力されるコード
-------	----------------

#hidden# はデータ連携を非表示にするのに含まれます。非表示コードのフォーマットは以下の通りです。

[@ QQQQQ: subcode | format #hidden# @]

## データグリッド (例、マトリクス質問)

「データグリッド」の形の質問には、他の質問より、データを記述する上でトリッキーな要素があります。

- 行
- 列
- 1つまたは複数のグリッド
- その他のデータ (例、行ごとのコメント、選択肢のタグデータ)

この質問タイプのデータ連携コードのための有効なコンテンツは、以下の通りです。

<b>subcode</b>	x,y where x = GRID and y = ROW
<b>format</b>	tag:TAGNAME where TAGNAME is the code of the TAG 大文字 / 小文字 / 混合

### 例

```
[@FEATURES: 1,2@]
```

```
[@FEATURES: 1,2|lower@]
```

```
[@FEATURES: 1,2|comments@]
```

```
[@FEATURES: 1,2|tag:MOREINFO@]
```

## 数値グリッド

「数値グリッド」の形の質問は、以下の要素の参照が必要になります。

- グリッド (必ず 1 となる)
- 行
- 列

この質問タイプのデータ連携コードのための有効なコンテンツは、以下の通りです。

<b>Subcode</b>	x,y,z where x = GRID and y = ROW
----------------	----------------------------------

### 例

数値グリッド 3 行目の 2 列目の値を取得。

```
[@NUMGRID: 1,3,2@]
```

## 日付 / 時間に関する質問

なしー全て日付 / 時間フィールドのフォーマットに基づく

## 住所

<b>subcode</b>	住所 (デフォルト) / 町村番地 / 市 / 都道府県名 / 郵便番号 / 国名
<b>format</b>	大文字 / 小文字 / シングルライン

### 例

`[@ADDRESS: fulladdress@]`

`[@ADDRESS: city|upper@]`

`[@ADDRESS: fulladdress|singleline@]`

`[@FEATURES: 1,2|tag:MOREINFO@]`

## Eメール

<b>subcode</b>	なし
<b>format</b>	大文字 / 小文字

### 例

`[@EMAIL|lower@]`

## 氏名

<b>subcode</b>	氏名(デフォルト) 名前 名字 / 敬称
<b>format</b>	大文字 / 小文字

### 例

`[@NAME: fullname@]`

`[@NAME: lastname|upper@]`

## 電話番号

<b>subcode</b>	なし
<b>format</b>	大文字 / 小文字

### 例

`[@PHONE|lower@]`

## ドロップダウンリスト

subcode	なし
format	大文字／小文字／混合

### 例

```
[@MYDROPDOWN|lower@]
```

```
[@MYDROPDOWN|Alt2;Alt2;Alt3;@]
```

2番目の例で、最初の値が選択された場合、リストにあるテキストではなく、“Alt1”を表示することに注意してください。

## 複数選択リスト

subcode	x where x = CHOICE
format	lower upper a,b,c,..,Z values for each choice tag:TAGNAME where TAGNAME is the code of the TAG

### 例

```
[@MYLIST|lower@]
```

```
[@MYLIST|Alt2;Alt2;Alt3;@]
```

```
[@MYLIST:1|tag:MYDATA@]
```

## 1行テキスト

subcode	なし
format	大文字／小文字

### 例

```
[@SLTEXT|lower@]
```

## 複数行テキスト

subcode	なし
format	大文字／小文字

### 例

```
[@MLTEXT|lower@]
```

## 数値

なしフォーマットに基づく

## ランキング

<b>subcode</b>	なし
<b>format</b>	lower upper a,b,c,..,Z values for each choice tag:TAGNAME where TAGNAME is the code of the TAG

### 例

`[@MYRANK|lower@]`

`[@MYRANK|Alt2;Alt2;Alt3;@]`

`[@MYRANK|tag:MYDATA@]`

## 単一の選択リスト

<b>Subcode</b>	なし
<b>format</b>	lower upper a,b,c,..,Z values for each choice tag:TAGNAME where TAGNAME is the code of the TAG

### 例

`[@MYSSL|lower@]`

`[@MYSSL|Alt2;Alt2;Alt3;@]`

`[@MYSSL|tag:MYDATA@]`

## スライドバー

なし-数字

## スターレーティング

なし-数字



---

# 調査ディストリビューション

---

調査の設定が完了したら、次のステップは回答を収集することです。回答の収集には、調査のディストリビューションが必要です。

この章では、Web Survey Creator を使った匿名および実名の回答者向け調査のディストリビューションの方法を説明します。



## いつ匿名調査を使うのか

以下のような環境の場合、匿名調査は最適といえます。

- 回答が直接回答者と関連づけられるべきでない場合に、より進んで誠実に質問に回答できるような状況（例えば、従業員調査）
- 回答者が実際に回答するまで誰か分からない場合（例えば、ウェブサイトで、訪問者がクリックする調査へのリンク）

## 匿名ディストリビューションを調査作成する

Web Survey Creator で作成したそれぞれの調査は、文字通りディストリビューション設定なしに送信されます。Web Survey Creator で新しく作成した調査のデフォルトの配布タイプは、匿名ディストリビューションです。

**First: Choose a method to Create Survey:**

Please choose one of the following options and enter the details required to create a new Survey.

- Create a new Survey by copying an existing Survey
- Create a new Survey by using a pre-defined Survey Template
- Create a new Survey by starting from a blank Survey

**Then: Enter Title of the new Survey:**

Please enter the title of the Survey.

Survey Title:

**Finally: Choose Theme, Category, Language and Response Type options**

Select a survey theme, category and default language. Survey categories are used to help keep your Surveys organised and easier to find later whilst the default language will be the language the survey defaults to when first entered. If required, these options can be changed at a later date. Selecting a survey response type will automatically create the appropriate survey distribution for you. Additional distributions for different response types can be added at a later date.

Survey Theme:

Survey Category:

Default Survey Language:

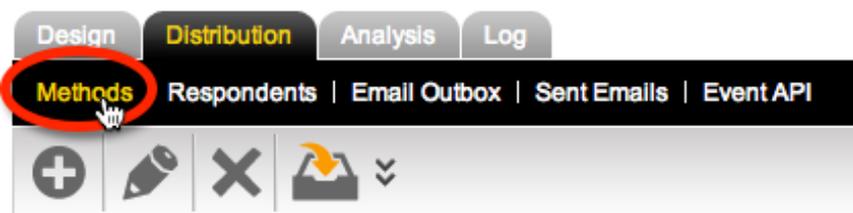
Survey Responses Type:

This type of response is perfect for surveys where you want a single generic link to be provided to anyone who wants to complete the survey. The best feature of this link is its simplicity. No tracking information exists in the link – everyone uses the same link and is completely anonymous. Respondents must complete the survey in a single sitting, as there is no way to get back to previously entered responses.

[Create New Survey](#)

## ディストリビューションを参照する

**Distribution** タブの下の **Methods** の下にディストリビューションがあります。

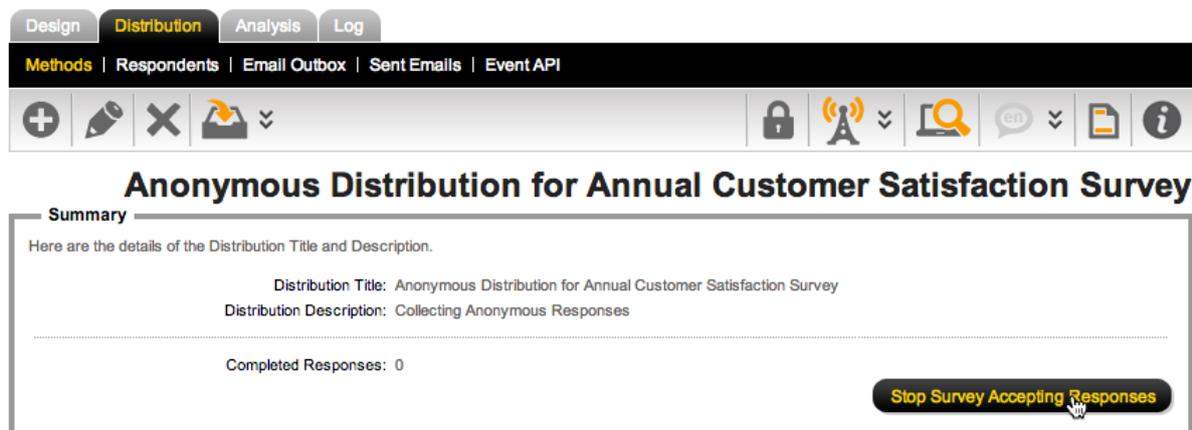


ここには、実際にディストリビューションを編集しない、最も一般的なディストリビューション方法のボタンがあります。

## 調査回答受信を開始／中止する

オンプレミス版（デフォルトで回答を受信しない）を除く Web Survey Creator の全バージョンは、調査で作成したディストリビューションで、直ちに回答が受け入れるようになります。

ディストリビューションが回答を受け入れ可能かどうか、以下のように簡単に分かります。



The screenshot shows the 'Anonymous Distribution for Annual Customer Satisfaction Survey' interface. The 'Summary' section displays the following information:

- Distribution Title: Anonymous Distribution for Annual Customer Satisfaction Survey
- Distribution Description: Collecting Anonymous Responses
- Completed Responses: 0

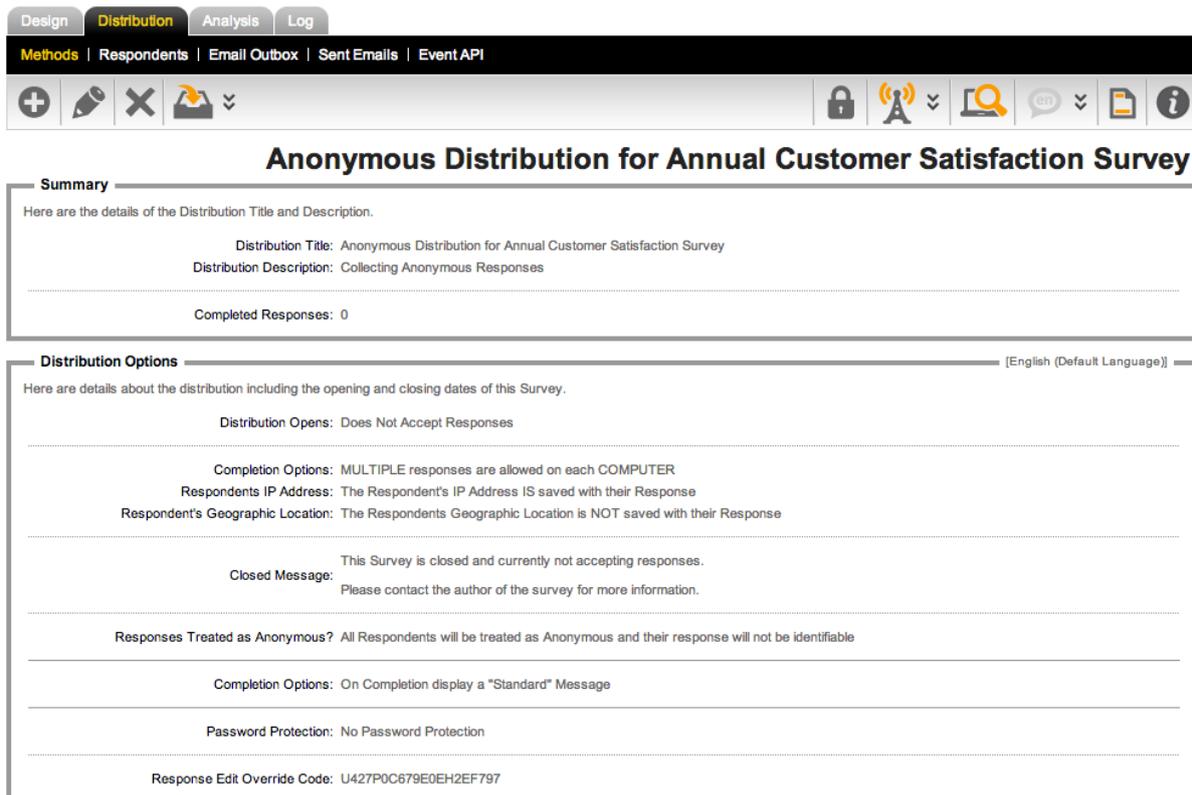
A button labeled 'Stop Survey Accepting Responses' is visible in the bottom right corner of the summary section.

回答受入を中止するには **Stop Survey Accepting Responses** をクリックします。



Stop Survey Accepting Responses

回答受け入れ中止中には、上記のボタンは表示されません。実際、すべてのボタンが表示されなくなります。



The screenshot shows the 'Anonymous Distribution for Annual Customer Satisfaction Survey' interface. The 'Distribution Options' section displays the following information:

- Distribution Opens: Does Not Accept Responses
- Completion Options: MULTIPLE responses are allowed on each COMPUTER
- Respondents IP Address: The Respondent's IP Address IS saved with their Response
- Respondent's Geographic Location: The Respondents Geographic Location is NOT saved with their Response
- Closed Message: This Survey is closed and currently not accepting responses. Please contact the author of the survey for more information.
- Responses Treated as Anonymous? All Respondents will be treated as Anonymous and their response will not be identifiable
- Completion Options: On Completion display a "Standard" Message
- Password Protection: No Password Protection
- Response Edit Override Code: U427P0C679E0EH2EF797

## 調査をオープンする／調査リンクを送信する

ディストリビューションが回答を受け入れたら、調査オープンを可能にするリンクが表示されます。

**Email Link**

The Survey Link below is specific to an email message and is for anonymous responses for this Survey only. You may copy this link and include it in any email message you send so that respondents may click the link or copy it to a web browser to commence this Survey.

<http://stagingsurvey.websurveycreator.com/s.aspx?s=47e3a809-8820-42d8-a84f-df4414d4afac>

[Start Anonymous Survey](#)

[Copy Link to Clipboard](#)

**Start Anonymous Survey** をクリックし、新たなブラウザのウィンドウで調査をオープンします。

調査を回答者にディストリビューションするには、**Copy Link To Clipboard** ボタンをクリックして単に調査リンクをコピーします。リンクをコピーしたら、以下が可能になります。

1. Eメールへの貼り付け
2. ウェブサイトでの使用
3. 一般的なウェブリンク同様な、リンクへのアクセス

リンクのコピー、フェイスブックやツイッターなどのソーシャルメディアへの貼り付けのために、この方法を使用できますが、通常はこれらのサイトの共有機能を使用します。（以下を参照）

## ウェブサイトに調査リンクを配置する

Eメールにあるリンクは、標準的な URL のように見えます。ウェブサイトにリンクを配置する場合、ボタンのようなリンクが良いかもしれません。Web Page Link の下のリンクをコピーすることにより可能です。

**Web Page Link**

The Survey Link below is HTML specifically for use on a web page and is for anonymous responses for this Survey only. You may copy this HTML and insert it on any web page so that respondents may click the link to commence this Survey.



`<a href="http://stagingsurvey.websurveycreator.com/s.aspx?s=47e3a809-8820-42d8-a84f-df4414d4afac">  
</a>`

[Copy Link to Clipboard](#)

## 他のサイトに調査組み込む

他のサイトに調査を表示したい場合もあるでしょう。このような場合、特定の HTML コードを使ってページに組み込みます。**Copy Script to Clipboard** をクリックすることでコピーされ、そのページで使われます。

**Web Page Embedding Links**

You are able to integrate your survey into your own website by embedding the survey into your website. You may copy this HTML and insert it on any web page so that respondents may complete the survey without leaving your own web page.

`<div id="wsc_survey" style="width:100%;">  
<script type="text/javascript" src="http://stagingsurvey.websurveycreator.com/embed.ashx?s=47e3a809-8820-42d8-a84f-df4414d4afac&w=100%&h=500px&l=true&y=true&z=">  
</script>  
</div>`

[Show Embedded Survey Preview](#)

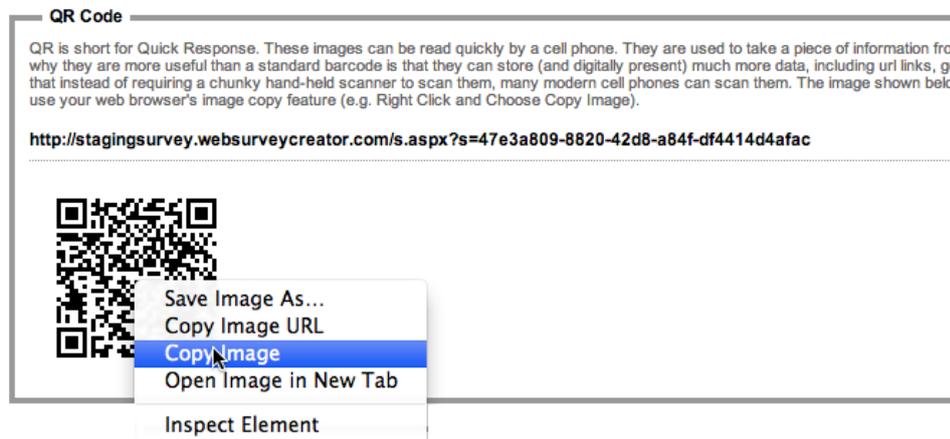
[Copy Script to Clipboard](#)

## モバイル端末で QR コードを使う

QR は Quick Response の略です。携帯電話はこの画像を素早く読み込めます。これは一時的なメディアからの情報の一部を携帯電話に取り込むために使われます。これが有効なのは、一般的なバーコー

ドより多くのデータ（URL リンク、地図座標およびテキスト）を保管できるからです。QR コードは、分厚いハンドスキャナーなしに、多くの携帯電話がスキャンできるのです。

QR コードは、画像をブラウザからコピーすることで使えるようになります。



## Facebook または Twitter で調査を共有する

調査リンクを直接サイトに配置する 2 つのボタンがあります - **Share Survey Link on Facebook** と **Tweet Survey Link** です



## 回答者がリンクをクリックするとどうなるか？

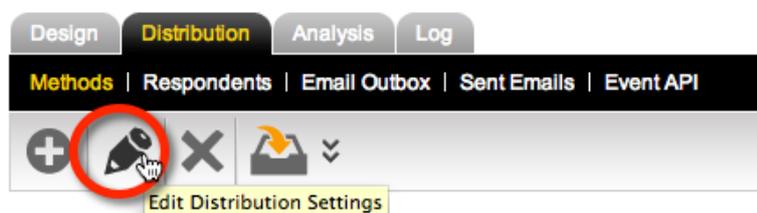
リンクのディストリビューション方法にかかわらず、調査は同じように表示されます。回答者がリンクをクリックするとどうなるか、考慮する必要があります。明らかに回答者は調査に誘導されますが、調査では回答を管理するさまざまなバリエーションがあります。

このオプションは調査ディストリビューションを編集すると変更することができます。

## ディストリビューションを編集する

自動的に作成される匿名ディストリビューションは最もよく使用される設定で設定されますが、もちろん要件に応じて変更することができます。

ディストリビューションを詳細に設定するために、ツールバーの **Edit** ボタンをクリックして編集する必要があります。



**Distribution Edit** ウィンドウで、ディストリビューションに関して以下を含む全ての設定が可能です。

1. **カスタムリンク** を使用するかどうか
2. **IP アドレスを追跡**するかどうか
3. **回答を受け入れる際**、いつ調査をオープン/クローズするか
4. **概要ページ**を含むかどうか
5. 調査アクセス管理に**cookies**を使うかどうか
6. 個々のコンピュータを単一の回答に制限すべきかどうか
7. 回答者が**回答を編集**できるようにするかどうか
8. **調査完了時**に何を表示するか
9. 調査にアクセスするのに**パスワード**が必要かどうか
10. 調査が組み込まれている場合、どのような設定を使用するか
11. どのような**タグ**を調査ディストリビューションに含むか

ディストリビューション編集ウィンドウは以下の通りです

**Distribution Title**

Please enter the title and description for this Distribution Method. The description can be used to give details about the Method for later reference.

Distribution Title:

Distribution Description:

Custom Link:

Save the Respondents IP address with their Response

Respondent Geographic Location:

Show "Powered By WebSurveyCreator" on Surveys

**When will this distribution be allowed to accept responses?** [English (Default Language)]

You can choose when this distribution will accept responses and when it will stop accepting responses. You can choose dates and times and/or when a certain number of responses have been completed. You can also enter a message respondents will see when the survey is not accepting responses.

Does Not Accept Responses  Accepts Responses Immediately  Accepts Responses from a Date and Time

Should close on a specific Date and Time  
 Should close when a Response Count is reached

Closed Message:

**Do you want to show an "Introduction Page" at the beginning of the Survey?** [English (Default Language)]

You can optionally include an Instructions Page at the beginning of your Survey. This can be used to provide the respondent with details about how to complete the survey or other information such as deadlines.

Yes, I want to show an Introduction Page at beginning of the Survey

**Are you happy to use COOKIES to control access to the survey?**

COOKIES will allow us to control whom has started a survey and what their response was. However some jurisdictions may prohibit cookie use and some respondents may have cookies disabled. You will need to determine from your respondent makeup whether you can use cookies or not. When cookies are not used multiple responses will be allowed from a single computer.

Yes, I want to allow the use COOKIES to control access to the survey

**How many responses will be allowed to be entered from a single computer?**

You can restrict the number of responses that will be entered from each computer

Only one response per computer  
 Multiple responses may be entered per computer

**When Respondents return to the Survey what should they be allowed to do?**

You can control what a Respondent will be allowed to do each time they return to the same Survey. If any of the options listed are selected the respondent will be provided with a "Come-back-Later" Code to allow them to re-enter their response.

Respondents can leave the survey and return later to complete an uncompleted response  
 Respondent may return to the survey and edit an already completed response

**What should happen when the Survey Completes?** [English (Default Language)]

You can choose what experience the Respondent will have when they finish the Survey. If no options are selected a "Standard" message will be displayed on completion of a response.

Display a "Thankyou" Message  
 Redirect them to a Web Page

**Do you want to password protect this distribution?** [English (Default Language)]

You can control whether Respondents must enter a password to access the Survey

No Password Protection required  
 One Password that all Respondents must enter

**Survey Embedding Options**

You can choose to embed an anonymous Survey into your own web site. If you wish to embed your Survey into your own website set the following parameters for the display of the Survey. You are able to set the Width and Height of the Frame that the Survey will reside in. You can also choose how the Survey will be displayed. Selection of the display method will be useful when a small Width Frame is selected. You can also choose if you wish the Banner to be displayed and whether Scroll Bars should be displayed for Surveys that are longer or wider than the Frame Width and Height.

Width of Frame:

Height of Frame:

Display Mode:

Banner Display:

Scroll Bar Display:

**Distribution Tags**

Edit the Distribution Tags. Enter one Distribution Tag per line. To enter a Distribution Tag which spans more than one line place an underscore at the end of a line and continue to the next line. Distribution Tags must consist of a Code separated by a Colon. For example, CITY:New York.

Distribution Tags:

**Save Distribution Options**

この編集ウィンドウで変更できる主要設定を見てみましょう。

## カスタムリンクを設定する

タイトルと説明に加え、調査のカスタムリンクを提供することもできます。自動的に作成される調査リンクより、読みやすいリンクと考えられます。

Custom Link:

自動的に作成されるリンクはこのようなものです。

<http://stagingsurvey.websurveycreator.com/s.aspx?s=47e3a809-8820-42d8-a84f-df4414d4afac>

カスタムリンクはこのようなものです。

<http://stagingsurvey.websurveycreator.com/s/custsat>

お分かりのように、こちらの方がはるかに読みやすいです。

**Email Link**

The Survey Link below is specific to an email message and is for anonymous responses for this Survey only. You may respondents may click the link or copy it to a web browser to commence this Survey.

<http://stagingsurvey.websurveycreator.com/s.aspx?s=47e3a809-8820-42d8-a84f-df4414d4afac>

OR

<http://stagingsurvey.websurveycreator.com/s/custsat>

## IP アドレスを追跡する

回答者が回答したすべての調査は、彼らのコンピュータのインターネット上のアドレス、IP アドレスにタグ付けされます。これは回答者を特定するものではありませんが、（匿名であることに変わりない）一般的なロケーションに関する情報を提供します。例えば、IP アドレスを使って回答者が世界のどの地域からなのか分かります。

おすすめできませんが、**Save IP Address** チェックボックスのチェックを外すと、回答者をより不明確にすることになります。

## 調査を開始／停止／再開する

次は回答を受け入れるかどうかに関わる設定です。**Stop Survey Accepting Responses** ボタンをクリックしてするのは、この章で以前にやったように、直接ディストリビューション設定を編集せずに、設定を変更する都合の良い方法です。ボタンをクリックすると回答を受け入れなくなります。

ディストリビューションの編集には、以下のような多くのオプションがあります。

- 回答を受け入れる調査再開
- 日時または回答数に基づく調査終了
- 調査終了のテキスト設定

**When will this distribution be allowed to accept responses?**

You can choose when this distribution will accept responses and when it will stop accepting response. You can choose dates and times completed. You can also enter a message respondents will see when the survey is not accepting responses.

Does Not Accept Responses
  Accepts Responses Immediately
  Accepts Responses from a Date and Time

---

Should close on a specific Date and Time  
 Should close when a Response Count is reached

---

Closed Message:

This Survey is closed and currently not accepting responses.  
Please contact the author of the survey for more information.

## 匿名を取り扱う

匿名調査における最大の問題は、調査が匿名であることです。これにより以下のような問題は困難になります。

- 複数回回答の入力を阻止する
- 一部しか回答していない回答者が回答を完了するために戻る
- 以前回答した内容を編集する
- 求める回答者だけが調査にアクセスする

ディストリビューションにはこのような問題に対処するオプションがあります。

同一のコンピュータからの複数回回答を止める場合、調査用の cookies を残し、**コンピュータごとに、1つの回答のみ**選択します。これはコンピュータから調査を2回回答入力するのを防止します。

**How many responses will be allowed to be entered from a single computer?**

You can restrict the number of responses that will be entered from each computer

Only one response per computer  
 Multiple responses may be entered per computer

回答者が一部だけ回答し、過去に入力した回答内容を編集できるようにするには、**Return to Survey** 設定の下のチェックボックスをチェックします。

**When Respondents return to the Survey what should they be allowed to do?**

You can control what a Respondent will be allowed to do each time they return to the same Survey. If any of the options listed are selected to allow them to re-enter their response.

Respondents can leave the survey and return later to complete an uncompleted response  
 Respondent may return to the survey and edit an already completed response  
 Do not allow new "Come-back-Later" Codes to be requested. That is, only existing "Come-back-Later" Codes may be used.

回答者が戻れるようにする場合、調査開始時に“Come back Later Code”が作成されます。

以下は、調査で回答者がこのコードを使う例です。すべてのテキストはディストリビューションで変更可能です。

# Annual Customer Satisfaction Survey

**Survey "Come-back-Later" Code**

This survey allows you to commence the survey and return later to complete or edit the survey. To do this we provide you with a "Come-back-Later" Code.

If you have an existing "Come-back-Later" Code and are allowed to complete or edit your survey you can enter the "Come-back-Later" Code here and then click "Continue" to complete or edit your survey. If you have not yet started a survey or do not yet have a "Come-back-Later" Code then Click "New Come-back-Later Code" to be provided with a "Come-back-Later" Code in order to start the Survey.

Please enter the "Come-back-Later" Code you were previously provided:

- 戻ってきた回答者はコードを入力し、**Continue**ボタンをクリックして調査を完了または過去の回答内容を編集します。
- 新規回答者にはコードがありません—調査開始時に **New Come Back Later Code** ボタンをクリックします。

調査開始前に、調査再入力および後の回答の編集に必要な固有の **Come back later code** が割り当てられます。

**New "Come-back-Later" Code**

Shown below is a new "Come-back-Later" Code. You must take note of this code if you return to complete or edit your survey at another time. Once you have taken note of the "Come-back-Later" Code

New "Come-back-Later" Code:

## 調査完了設定

調査完了時の回答者向けの表示を選択できます。通常、感謝メッセージを表示しますが、他のウェブページにリダイレクトするオプションもあります。

**What should happen when the Survey Completes?**

You can choose what experience the Respondent will have when they finish the Survey. If

Display a "Thankyou" Message

Redirect them to a Web Page

---

Thankyou Message:

Redirect Web Page Url:

Caption for Redirection Button:

## 調査パスワード

調査にパスワードが必要かどうか表示できます。パスワードを要求することにより、オーソライズされていない人は調査リンクを見つけても調査を完了できません。オーソライズされた回答者のみに割り当てられたパスワードなしに調査開始できないからです。

**Do you want to password protect this distribution?**

You can control whether Respondents must enter a password to access the Survey

No Password Protection required

One Password that all Respondents must enter

---

Password for all Respondents:  Confirmation Password:

## 調査組み込みオプション

調査を他のページに組み込む場合、組み込まれた調査をどのように運用するか設定する必要があります。例えば小さなエリアに組み込む場合は、携帯電話バージョンの調査を選択し、表示幅は 320 ピクセルに制限されるでしょう。

**Survey Embedding Options**

You can choose to embed an anonymous Survey into your own web site. If you wish to embed your Survey into your own website set the frame to be able to set the Width and Height of the Frame that the Survey will reside in. You can also choose how the Survey will be displayed. Selection Frame is selected. You can also choose if you wish the Banner to be displayed and whether Scroll Bars should be displayed for Surveys that are wider or longer than the frame.

Width of Frame:  [350- 1200 (for Measurements in Pixels) or 20% to 100% (for Measurements in %)]

Height of Frame:  [350 - 1200 (for Measurements in Pixels)]

---

Display Mode:

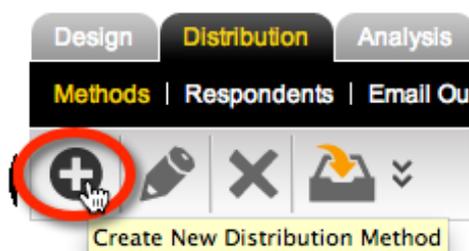
Banner Display:

Scroll Bar Display:

## 回答者ディストリビューションを作成する

Web Survey Creator で新しい調査を作成する場合の、匿名ディストリビューションについて見てきました。しかしながら、匿名回答者を求めない場合、**Respondent Distribution** という新しいディストリビューションを作成する必要があります。

distribution methods ツールバーの **Create New Distribution Method** ボタンをクリックします。



作成しようとするディストリビューションタイプは回答者リストを使用するので、**You create Respondents here and have us send out emails for you.**を選択します。

**Create New Distribution button** ボタンをクリックして、ディストリビューションを作成します。

ディストリビューションで変更できるオプションについては、前項の「匿名ディストリビューションの調査作成」を参照してください。（オプションは、匿名ディストリビューションと同じ）この項では、デフォルト設定で使用するのが十分だとします。

匿名ディストリビューションと違い、このディストリビューションタイプでは、リンクがコピーされ、使われるのではないことに気づくでしょう。—それぞれの回答者が個人的なリンクを受信します。ディストリビューションを参照すると分かります。

## ディストリビューションに回答者を追加する

ディストリビューションが設定されたら、それに回答者を追加します。これは、調査への招待 Eメールの送り先リストです。

**Distribution** タブの **Respondents** の下に、これらの回答者を設定します。

回答者をロードするのに以下の3つの方法があります。

1. テキストリストから作成
2. 他の調査からのインポート
3. アドレス帳からのインポート

## テキストリストから回答者を作成する

回答者は直接入力して作成するか、後に回答者ディストリビューションで使われるアドレス帳内に作成される（上記の1および3）。テキストリストからインポートする方法も同じです。

最初にアドレス帳を作成し、アドレス帳内に回答者を作成していきましょう。

アドレス帳作成手順の概要は以下の通りです。

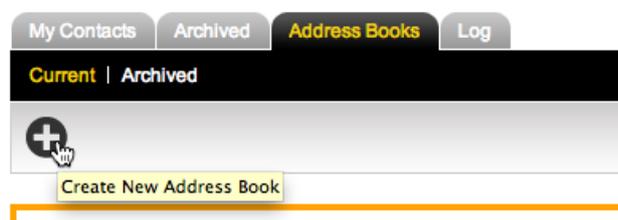
1. My Contacts をクリックする



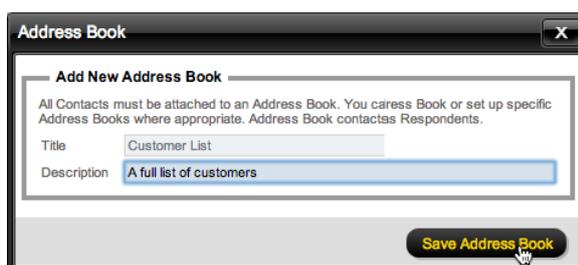
2. Address Books タブをクリックする



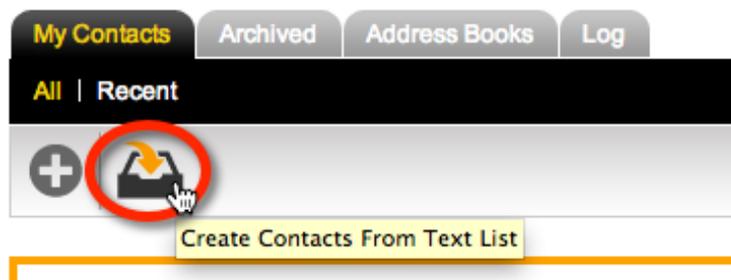
3. ツールバーの Create New Address Book ボタンをクリックする。



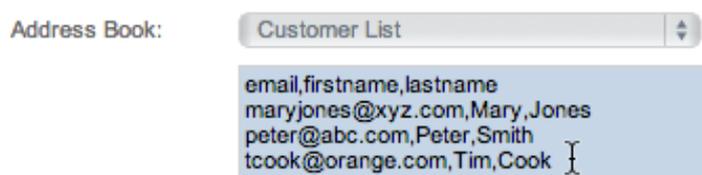
4. アドレス帳のタイトルを入力し、Save Address Book ボタンで保存する。



5. My Contacts タブに戻り ツールバーの Create Contacts from Text List をクリック



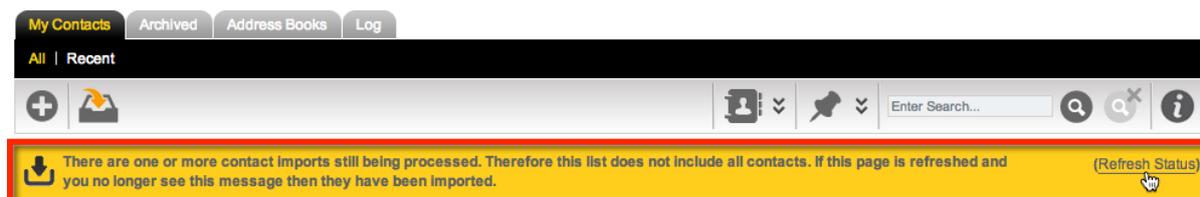
6. 作成したアドレス帳を選択し、インポートページで要求される顧客詳細のフォーマットに貼り付けます



コンタクト先はアドレス帳にインポートされ、複数の調査で使えるようになります。

テキストリストからの回答者作成については、ツールバーの **Knowledgebase** ボタンをクリックし、ビデオチュートリアル内の **Managing Contacts** 内でより詳細に説明されています。

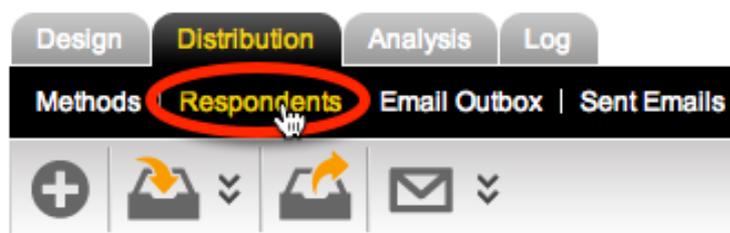
インポートのサイズにより、多少の時間がかかります。インポートが完了するまで、画面の上部にメッセージが表示されます。メッセージを更新するには、更新リンクをクリックします。メッセージが消えたら、インポートの完了です。



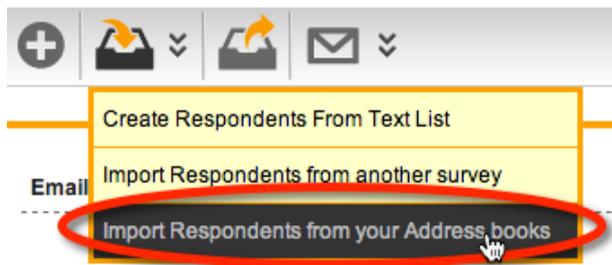
## アドレス帳から回答者をインポートする

コンタクト先を含むアドレス帳は作成済みです。このアドレス帳のコンタクト先を、回答者として使ってみましょう。

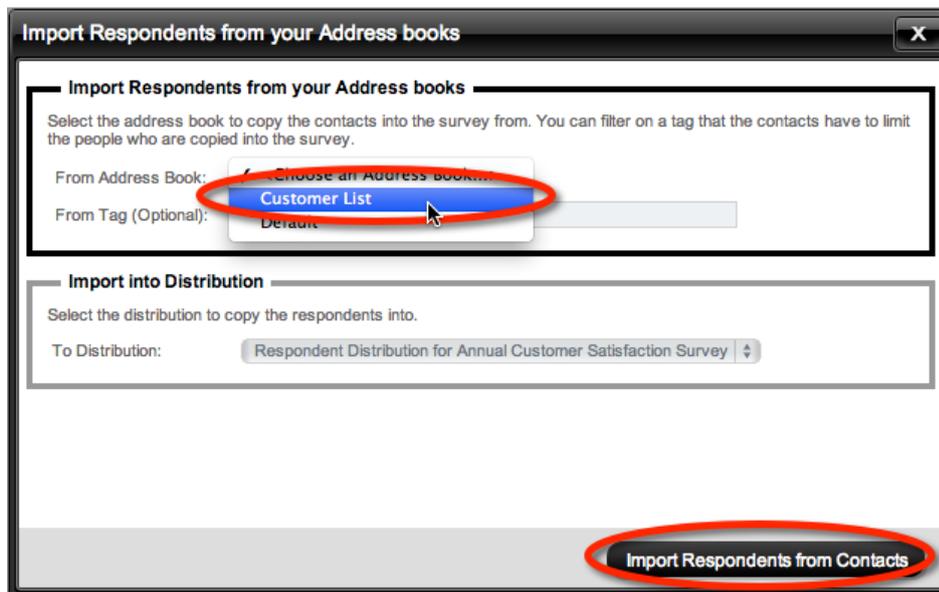
Distribution タブの下の Respondents を参照します。



ツールバーの **Import** ボタンをクリックし、3番目のオプション **Import Respondents from your Address books** を選びます。



アドレス帳の Customer List を選択し、 **Import Respondents from Contacts** ボタンをクリックします。



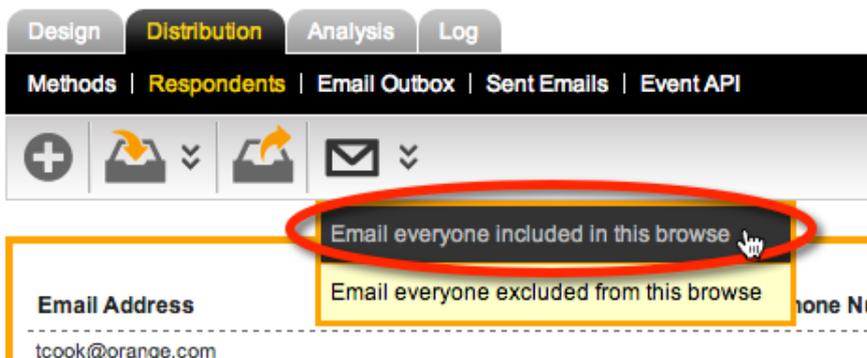
再び、インポート実行中メッセージが、完了するまで表示されます。



## 招待メールを送信する

さて、回答者リストができました。次のステップは、回答者に調査の招待メールを送ることです。

Eメールは、ツールバーの **Email** ボタンで直接送信できます。



新しいEメールを作成するには、ツールバーのプラスボタンをクリックします。

Eメール作成時に以下に気を付ける必要があります。

- 誰にEメールを送るか
- 誰からのメールであるか
- いつEメールを送るか
- Eメールのコンテンツは何か

送信先および送信タイミングは非常に簡単です。ブラウザ内のすべての回答者に、ただちにEメールを送信しましょう。

**Email Details**  
Please choose the type of email, who it should be sent to, the distribution and when the email should be sent.

Description: Custom

To: maryjones@xyz.com; peter@abc.com; tcook@orange.com

From:  WebSurveyCreator  
 WebSurveyCreator Surveys on behalf of Julian Cole

Send:  Send Immediately  
 Send In <Days...>  
 Send at: 2 November 2012 18:11  
Australia, New South Wales, Sydney (GMT+11)

Send a maximum of [ ] emails  
 Add the tag [ ] to everyone who is sent this email  
 Send in batches of [ ] with [ ] minutes between each batch

Eメールコンテンツを作成する最も簡単な方法は、テンプレートを使うことです。

**Email Content**  
Please load one of the pre-defined email templates or if you are on :

Load Template Save Template

Invitation  
Reminder  
Other

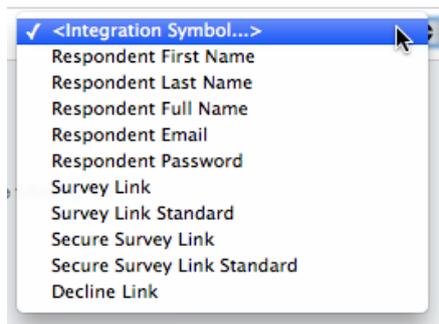
Invitation (WSC System Template)

Eメールのコンテンツには何でも入力できますが、いくつか含むべき重要なものがあります。

Dear {RespondentFirstName},  
You have been selected to participate in a survey. Please click on the following link to commence the survey:  
{SurveyLink}  
If you wish to decline this survey and do not wish to receive any further emails regarding this survey please click on the following link  
{DeclineLink}  
We appreciate your time, and thank you for your assistance. I

Eメールには調査へのリンクが必要であり、また、Eメールを希望しない人のための **Decline Link** を含む必要があります。2番目のリンクはアンチスパム規制に対応するためです。

他に入力する必要があるのは、回答者の氏名です。使用できるデータはドロップダウンリストの **Integration Symbol** から選択します。



Eメールのフォームが問題なければ、**Test** ボタンをクリックします。



Eメールは我々のアドレスに直接送られ、Eメールリンクおよびコンテンツが問題ないことをチェックします。

Eメールに問題なければ、**Send** ボタンをクリックします。



これで、調査のディストリビューション完了です！

---

# 調査レポート

---

レポートは調査実施の重要な目的です。作成するレポートのタイプはレポート先にもよりますが、さまざまです。

シニアマネジメントには簡潔な調査結果概要が要求されますが、調査担当者には、統計分析プログラムで使用されるフォーマットで、詳細な抽出データが要求されます。



# 「レポート」とは何か？

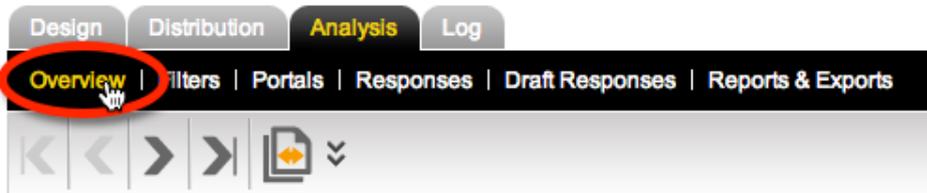
「レポート」に関して、最初に頭に浮かぶのは、チャートとその中の数値を含む、紙の文書です。これは間違いなく「レポート」ですが、以下のような他のバリエーションについても考慮する必要があります。

1. リアルタイムの結果をブラウザで提供する**オンライン統計ポータル**
2. Microsoft Word などで作成されるレポート
3. Microsoft Excelなどの、表計算プログラムへのエクスポート
4. SPSS などの統計プログラムへのエクスポート

ウェブポータルの最大の問題は、構築に時間がかかることです。幸い Web Survey Creator は**調査概要ポータル**を構築作業なしに、提供します。

## 調査概要を開く

調査概要ポータルは *Analysis* タブの下の *Overview* からアクセスできます。



ポータルのコンテンツは質問内容および WSC のバージョンにより異なります。

## 概要ポータルのナビゲーション

概要ポータルは以下を表示します。

- 一般的な調査統計を含む表紙ページ
- 質問ページデザインされた調査ページに対応

ツールバーの **Navigation** ボタンでページ間を移動できます。

ツールバーの **Select Page** ボタンは目的のページを取得する最も簡単な方法です。行きたいページをクリックすることで、そのページが表示されます。



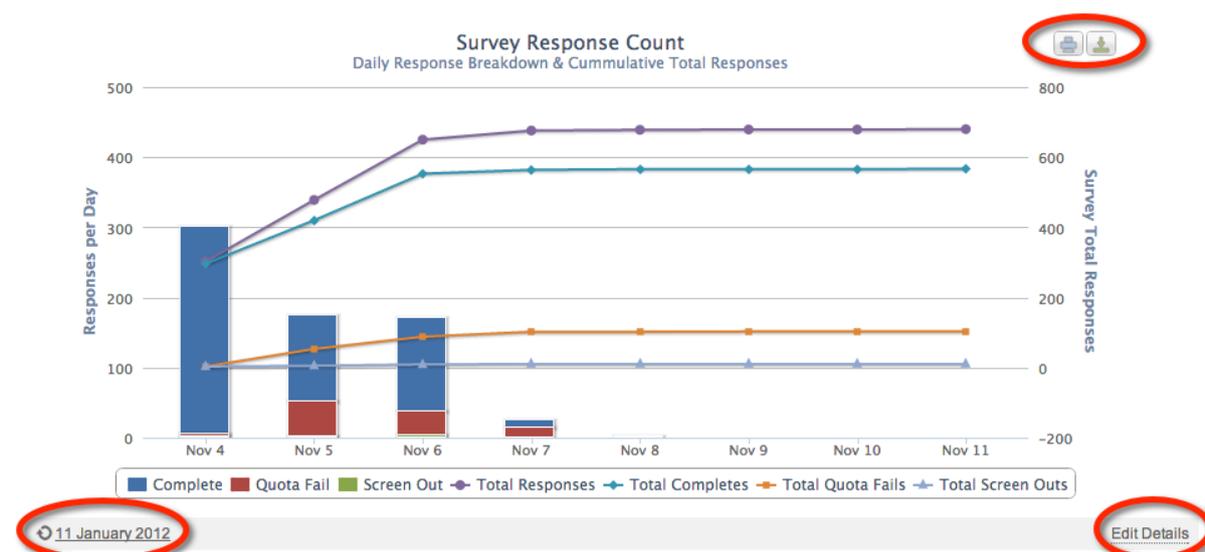
## 概要チャート进行操作する

概要が素晴らしいのは、努力なしに動作することです。しかしながら、単に参照するよりも、チャート进行操作したいかもしれません。概要チャートのインターフェースでは、以下が可能です。

**チャートデータの更新**—データの事前計算および定期的な更新（チャート参照ごとに計算するのではなく）により、大量のデータに関わらず、概要は非常に高速です。Refresh ボタンをクリックすると直ちに更新を実行します。

**チャート設定の編集**—チャートのタイトル、テキストは全て変更可能です。チャートに説明文を追加できるのは素晴らしいです。

**チャートのダウンロード/印刷**—レポートにチャートを簡単に追加したい場合、Download ボタンまたは Print ボタンをクリックします。



## 外部ウェブポータルを作成する

統計概要は調査統計を表示する素晴らしいものですが、制限があります。

- WSC のユーザーだけが概要にアクセスできます—外部関係者はアクセスできません
- 全ての質問および統計が表示されます—特定の質問を除くことができません

必要なのは、概要の一部のみ参照する方法で、外部ユーザーがアクセスできるようにすることです。

### ウェブポータルとは何か？

WSC では、ウェブポータルは統計概要で利用可能な全てのコンテンツの「ビュー」と考えることができます。

ウェブポータルは、以下の点で統計概要とは異なります。

- ウェブポータルはWSCのユーザーでなくてもアクセスできる
- ウェブポータルのテーマとレイアウトは、ウェブ調査で使用するテーマとレイアウトを借用する

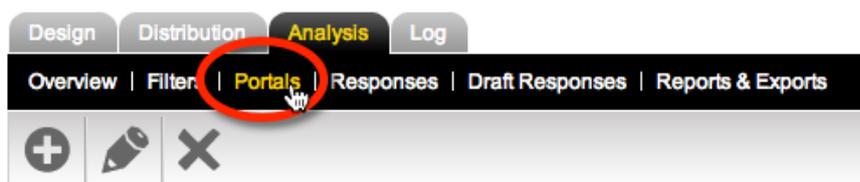
統計概要のコンテンツが決まると、ウェブポータルコンテンツが設定できます

- 説明および他の詳細の「ホームページ」が、ポータルの前面に表示されます
- どの調査概要チャートを表示するか選択します—複数、全部または非表示
- どの調査質問を表示するか選択します—複数、全部または非表示
- 1つの画面に1つのチャートだけ表示する（調査のページ構成にかかわらず）

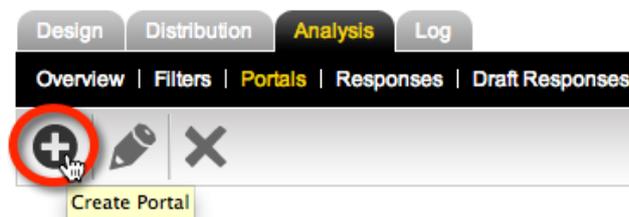
市場調査ユーザー向けには、クォータテーブルをポータルアイテムとして表示できます。

## ウェブポータルを作成する

ウェブポータルは、Analysis タブの Portals under the から作成します。



新たなポータルを追加するには、ツールバーの **Create Portal** ボタンをクリックします。



ウェブポータル作成時に、変更できる設定は、ポータルに何を含まるかに関連します。

### Create Portal

Please select the sections that you want to be available in the Survey portal.

Portal Name

- Enable Home
- Enable Question Statistic Charts
- Enable Survey Overview Charts
- Enable Survey Quotas
- Enable Survey Reports
- Enable Filters in Portal
- Show "Powered By WebSurveyCreator" on Portals

では、それぞれのコンテンツを見てみましょう。

## ホームページ

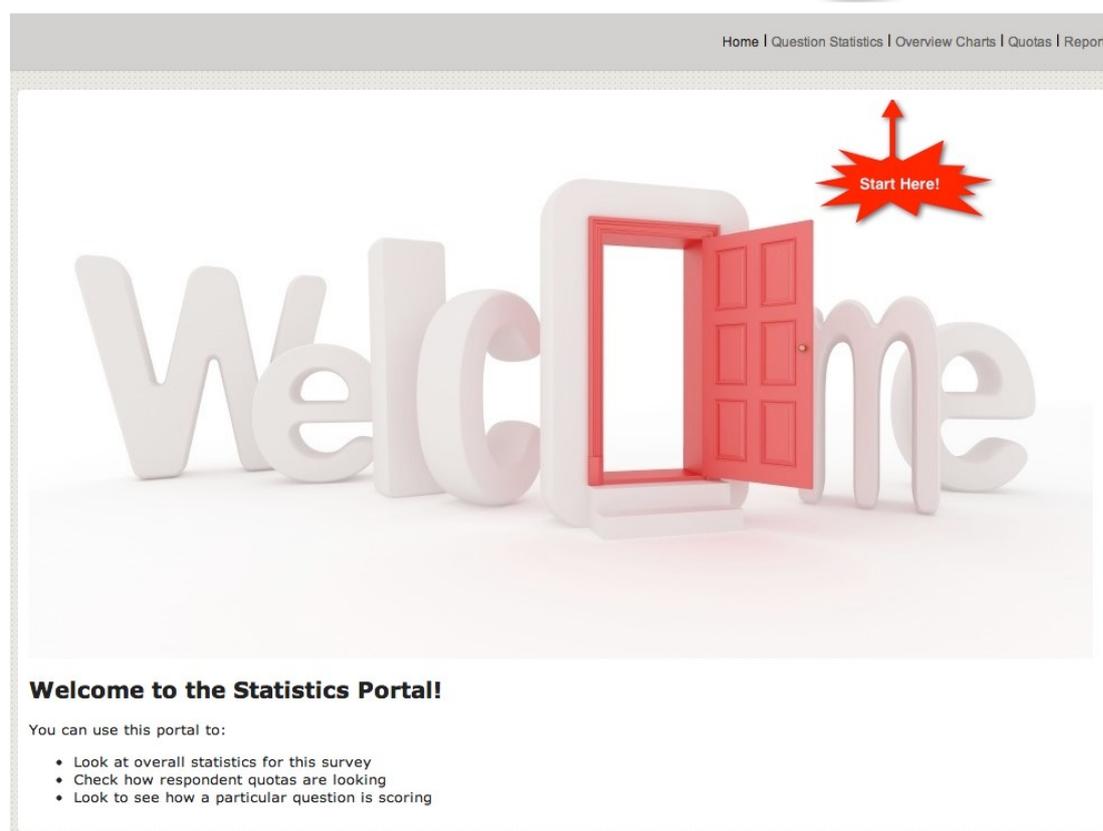
表示するコンテンツにホームページを含めるには、**Enable Home** チェックボックスをチェックすることを確認する必要があります。

入力できるコンテンツはストレートテキストですが、適切な**コンテンツタグ**で多くのことができます。例えば、以下のコンテンツです。

```
Home Menu 
<image:Sample1PortalHome.jpg>
<h2>Welcome to the Statistics Portal</h2>
You can use this portal to:
<ul><li>Look at overall statistics for this survey</li><li>Check how respondent quotas are looking</li><li>Look to see how a particular question is scoring</li></ul>
```

フォーマットの支援で、いくつかのものを含むことができます—特に画像などです。以下はその例です。

## My Portal Sample



## 質問統計

質問統計チャートを含めるには、**Enable Question Statistics Charts** チェックボックスにチェックすることにより、表示するコンテンツが含まれることを確認する必要があります。

設定は以下のように変更できます。

## Questions Statistics

You can choose to select all Questions, or you can select specific Questions you want to be available in the portal as charts.

Question Statistics Menu   
Question Statistic Selection Text

<h2>Question Statistics</h2>  
To view a chart for a particular question, please choose the question from the drop-down list below.

- Show All Questions  
 Include only the Selected Questions

- Gender/City/Age**
  - What is your gender?
  - Which City do you live in (or the nearest Metro Capital)?
  - What is your age group?
- Occupation/Pay TV/Groceries/Children**
  - What is your occupation?
  - Does your household currently subscribe to Pay TV i.e. FOXTEL, Optus, or Austar?

全質問の非表示も可能であることに注意してください。ここでは表示したいものだけ選択しました（性別、住所および年齢）

質問統計のポータルページは以下のように表示されます。



## My Portal Sample

Home | Question Statistics | Overview Charts | Quotas | Reports

### Question Statistics

To view a chart for a particular question, please choose the question from the drop-down list below.

Please Select a Question Statistic  Filtered By

What is your gender?

Gender	Count
Male	219
Female	347

15 August 2012

## 調査概要チャート

調査概要チャートを含むには、**Enable Survey Overview Charts** チェックボックスにチェックすることにより、表示されるコンテンツが含まれることを確認する必要があります。

入力できる設定は統計質問設定に非常に似ています。ポータル用に選択した設定は以下の通りです。

### Overview Charts

You can choose to select all Overview Charts, or you can select specific Charts you want to be available in the portal.

Overview Charts Menu	Overview Charts
Overview chart Selection Text	Please Select a Survey Overview Chart
Survey Response Chart Name	Survey Responses
Survey Ending Pages Chart Name	Survey Ending Pages
Survey Device Type Chart Name	Devices
Time spent on survey Chart Text	Time spent

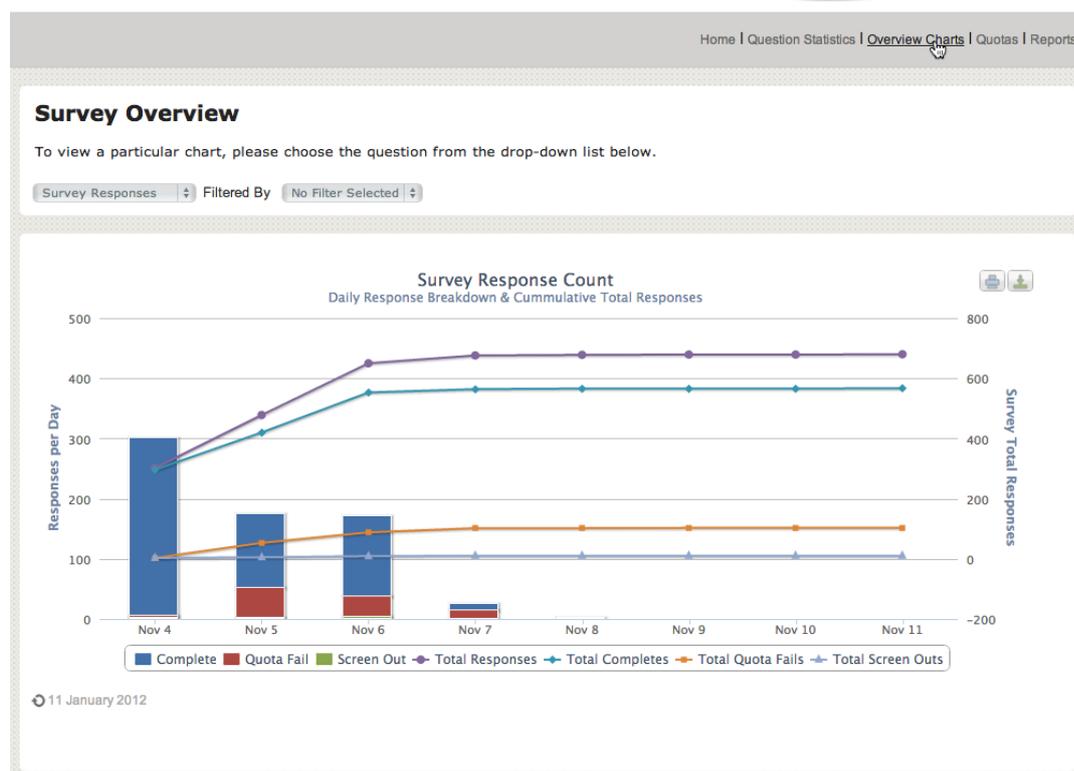
<h2>Survey Overview</h2>  
To view a particular chart, please choose the question from the drop-down list below.

Show All Overview charts  
 Include only the Selected Overview charts

全概要チャートを表示するようにしたことに注意してください。

概要チャートのポータルページは以下のように表示されます。

## My Portal Sample



## 調査クォータ

調査クォータを含むには、**Enable Survey Quotas** をチェックして、表示するコンテンツに含まれることを確認する必要があります。

クォータは Web Survey Creator の市場調査版のみで作成されます。低いライセンスを使用している場合、このオプションは利用できません。

クォータのためのセットアップは特に必要ありません。基本的な詳細だけです。

### Survey Quotas

The Quota section allows you to display up to date Survey Quotas in a tabular view with

Quotas Menu:

Quota Totals Text:

Quota Limit:

**Survey Quotas**  
The current status of all survey quotas are shown in the table below.

チャートは設定された調査クォータに基づいて表示されます。クォータ設定については、後で説明します。

## My Portal Sample



Home | Question Statistics | Overview Charts | **Quotas** | Reports

### Survey Quotas

The current status of all survey quotas are shown in the table below.

Quota Title	Limit	In Quota	Remaining	Draft
City - Adelaide	51	51	-	8
City - Brisbane (inc Gold Coast)	103 (17)	118	2	14
City - Melbourne	152 (28)	185	-	27
City - Perth	62	50	12	2
City - Sydney	157	162	-	20
Female, 16-24	33 (7)	36	4	6
Female, 25-29	36 (19)	53	2	7
Female, 30-39	48 (27)	76	-	8
Female, 40-49	43 (22)	67	-	8
Female, 50-54	25 (15)	33	7	2
Female, 55-64	37 (13)	48	2	11
Female, 65+	46	34	12	3
Male, 16-24	34	23	11	-
Male, 25-29	36	25	11	4
Male, 30-39	47 (13)	60	-	6
Male, 40-49	41 (20)	46	15	6
Male, 50-54	25	18	7	4
Male, 55-64	36	22	14	4
Male, 65+	38	25	13	2

## 調査レポート

調査レポートを含むには、.チェックボックスにチェックして、コンテンツが表示されるか確認してください。

レポート設定時に、どのレポートを表示するか選択できます。

WSCで新たにレポートを作成する際、レポートを再作成できるよう設定が保存されます。、ポータル設定画面で選択表示されるレポートは、過去に作成されたレポートです。レポートの作成方法は、本章の次の項で説明します。

レポートのポータルは以下のように表示されます。

## My Portal Sample



# ウェブポータルへのアクセス管理

ウェブポータルには豊富な情報を含むことができます。情報を参照する許可がされていれば良いのですが、そうでない場合は問題かもしれません。

ポータルを複雑なユーザーシステムで管理するのではなく、Web Survey Creator は異なるアプローチ、すなわち「適切な人に適切なポータルを作成する」というやり方です。

さて、どのように動作するのでしょうか？

## 複数ポータルを作成する

1つの調査に対して作成できるポータル数の制限はありません。それぞれタイプの人ごとにポータルを追加していくという考え方です。以下はその例です。

タイプ	ニーズ	参照情報
管理職	十分な回答が得られているか知りたい	概要統計のみ
調査担当者	統計分析のために生の回答データがほしい	レポートのみ
調査対象者	Wants to know everything (like all clients)	ポータル全部

作成するポータルごとに、推測することができない固有のリンクが作成されます。そのため、必要とする相手にのみ送信する限り、安全です。ポータルリンクの例は、以下の通りです。

<http://portal.websurveycreator.com/p.aspx?p=4528e4df-75cc-4ffe-ba31-d59cd6602f4b&lang=en&t=h>

ポータルは識別子で識別されます。

**4528e4df-75cc-4ffe-ba31-d59cd6602f4b**

ポータルごとに全く異なる識別子が付与され、適切な者以外、参照できません。

## ポータルを閉鎖する

ポータルの訪問者が不要になる場合があります。それは以下の通りです。

- プロジェクトが終了し、ポータルはアクセスされる必要がない
- 特定の日時までポータルにアクセスされたくない（例、調査で有効なデータとなる3日目に回答者にアクセス可能とする）
- 調査またはポータルを修正する必要があるため、ポータルを使用されたくない

ポータル開始設定は以下を可能にします。

1. ポータルの開始（デフォルト状態）
2. ポータルの中止
3. 特定の日に開始
4. 特定の日に終了

Design | Distribution | **Analysis** | Log

Overview | Filters | **Portals** | Responses | Draft Responses | Reports & Exports

---

**Create Portal**

Please select the sections that you want to be available in the Survey portal.

Portal Name:

- Enable Home
- Enable Question Statistic Charts
- Enable Survey Overview Charts
- Enable Survey Quotas
- Enable Survey Reports
- Enable Filters in Portal
- Show "Powered By WebSurveyCreator" on Portals

---

**When will this portal be open?**

You can Choose when this Portal will be open for viewing, and when it will cease to be available. You can choose dates and times and/or Time Zone. You can also enter a message that will be seen if the portal is closed.

Portal Closed   
 Portal Always Open   
 Portal open from a Date and Time

---

Should close on a specific Date and Time

Closed Date and Time:

---

Closed Message

This Web Survey Creator Portal is closed. Please contact the author of the survey for more information.

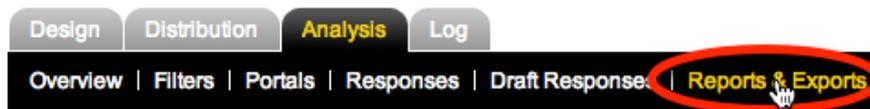
## Web Survey Creator レポート / エクスポート

Web Survey Creator は複数の異なるタイプのレポートを作成します。

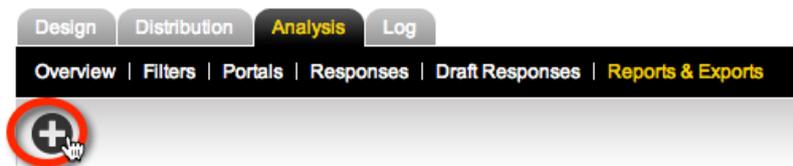
レポート名	内容
回答エクスポート	Excel スプレッドシートへの回答のエクスポート
選択質問 / コメント	選択質問およびコメント、2つの質問を含むWord ドキュメント
SPSS エクスポート	生の調査データのエクスポート。SPSS でのさらなる分析に使用されるファイル。
SurveyCraft エクスポート	SurveyCraft MR 分析ツールにインポート可能な調査データのエクスポート

すべてのレポートは、一貫したインターフェースで、似た方法で作成されます。レポートの作成手順は以下の通りです。

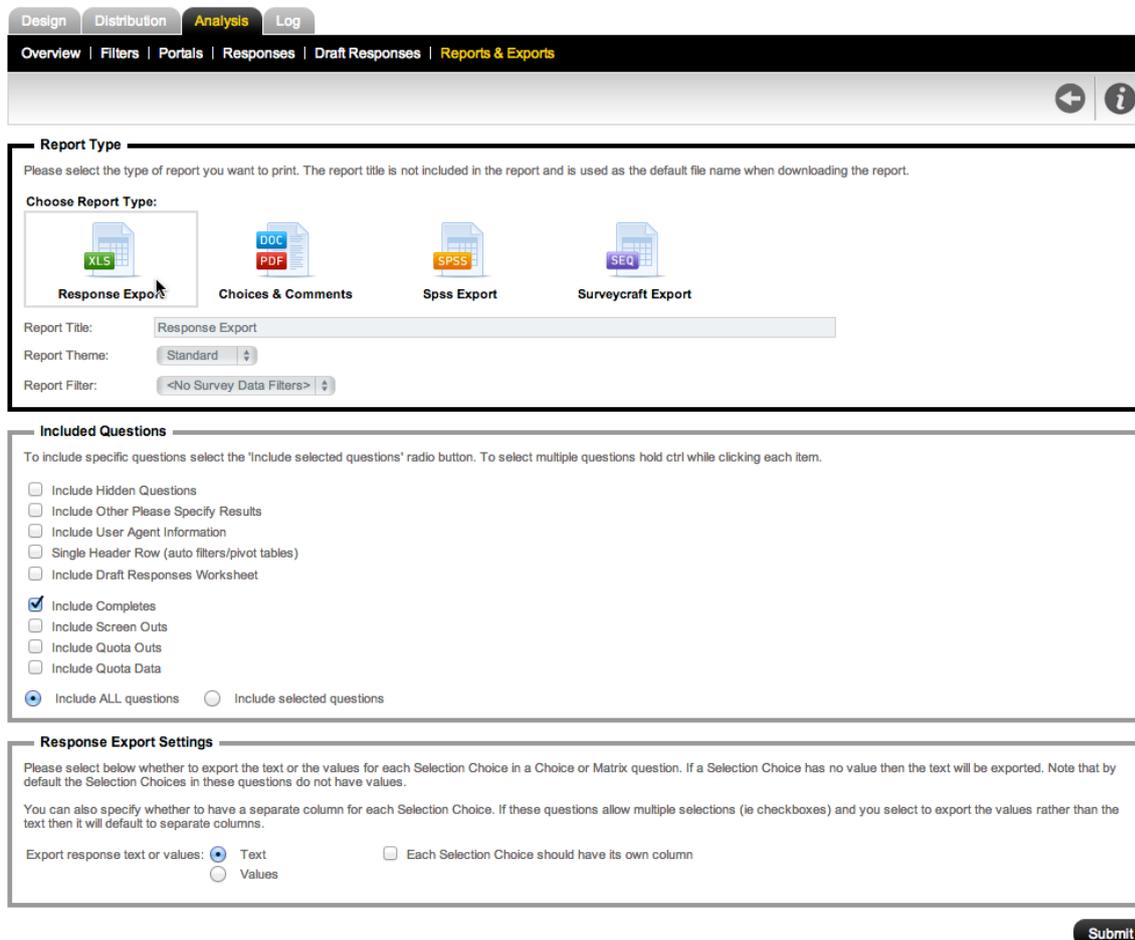
Analysis タブの **Reports & Exports** をクリックします。



ツールバーの **Create Report** ボタンをクリックします。

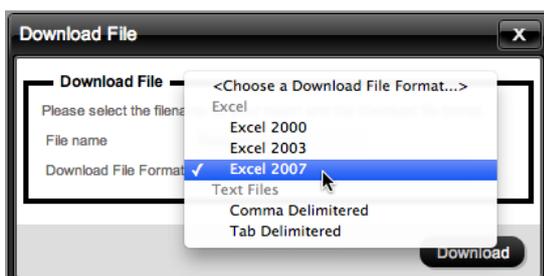


レポートタイプを選択し、詳細を入力します。



## 回答エクスポート

回答エクスポートは、統計サマリーとともに調査の生データを抽出する完璧な方法です。特別なソフトウェアがなくても開けるよう、Microsoft Excelフォーマットでエクスポートされます。レポートは最適なバージョンのExcelで抽出されます（テキストファイルでエクスポートもできます）



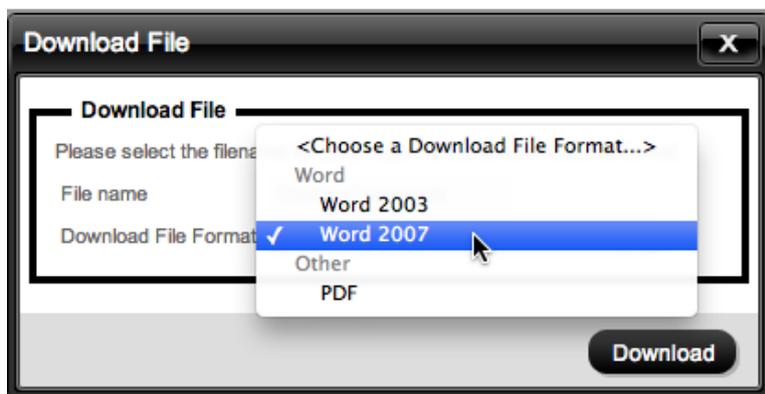
このレポートは以下を提供する複数のワークシートにおよびます。

1. 生の回答データ
2. 統計サマリー
3. コメント

1	L	M	
2	What is your occupation?	Does your household currently subscribe to Pay TV I.e. FOXTE	Are you the main grocery bu
3	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	No	Yes, shared with another persc
4	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	No	Yes, shared with another persc
5	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	No	Yes
6	Home duties	Yes	Yes
7	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	No	Yes
8	Home duties	No	Yes
9	Other	No	Yes
10	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	No	Yes
11	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	No	Yes, shared with another persc
12	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	Yes	Yes, shared with another persc
13	Home duties	No	Yes
14	Other	No	Yes
15	Retired/pensioner	No	Yes
16	Home duties	No	Yes
17	Para-professional, Clerks, Teachers, Salespeople and Professional	No	Yes
18	Para-professional, Clerks, Teachers, Salespeople and Professional	No	Yes
19	Para-professional, Clerks, Teachers, Salespeople and Professional	No	Yes, shared with another persc
20	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	No	Yes
21	Para-professional, Clerks, Teachers, Salespeople and Professional	Yes	Yes
22	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	No	Yes, shared with another persc
23	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	Yes	Yes
24	Managers, Administrators and Professionals (e.g. scientist, engine	Yes	Yes
25	Retired/pensioner	Yes	Yes
26	Retired/pensioner	Yes	Yes, shared with another persc
27	Student/Unemployed	No	No
28	Para-professional, Clerks, Teachers, Salespeople and Professional	No	Yes
29	Para-professional, Clerks, Teachers, Salespeople and Professional	No	Yes
30	Student/Unemployed	Yes	Yes
31	Home duties	No	Yes
32	Retired/pensioner	No	No
33	Retired/pensioner	No	Yes

## 選択質問／コメント

選択質問／コメントレポートは Word ドキュメントか PDF ファイルで作成されます。



どちらの場合も、レポートは読みやすいサマリーを提供するシンプルな構成となっています。

## Choices & Comments

What is your gender?

	Count	Percentage	
Male	219	38.69%	
Female	347	61.31%	
	566		

Which City do you live in (or the nearest Metro Capital)?

	Count	Percentage	
Sydney	162	28.62%	
Melbourne	185	32.69%	
Brisbane (Inc Gold Coast)	118	20.85%	
Adelaide	51	09.01%	
Perth	50	08.83%	
None of the above	0	00.00%	
	566		

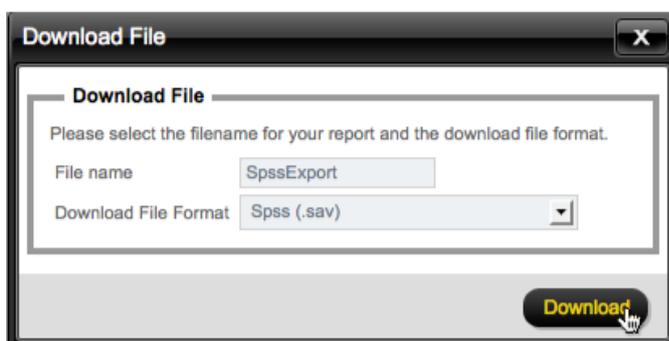
What is your age group?

	Count	Percentage	
16-24	59	10.42%	
25-29	78	13.78%	
30-39	136	24.03%	
40-49	113	19.96%	
50-54	51	09.01%	
55-64	70	12.37%	
65+	59	10.42%	
	566		

## SPSS エクスポート

エクスポートは、SPSS 統計パッケージがそのままロードできるファイルを作成します。選択ラベルを含む全てのデータが SPSS に取り込めます。

SPSS で開けるようファイルはローカルに保存されます。

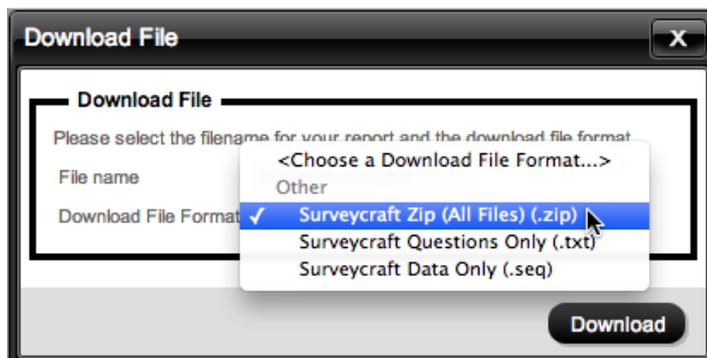


## SurveyCraft エクスポート

SurveyCraft は市場調査会社で使われている製品です。SurveyCraft requires two files:へのデータインポートには2つのファイルが必要です。

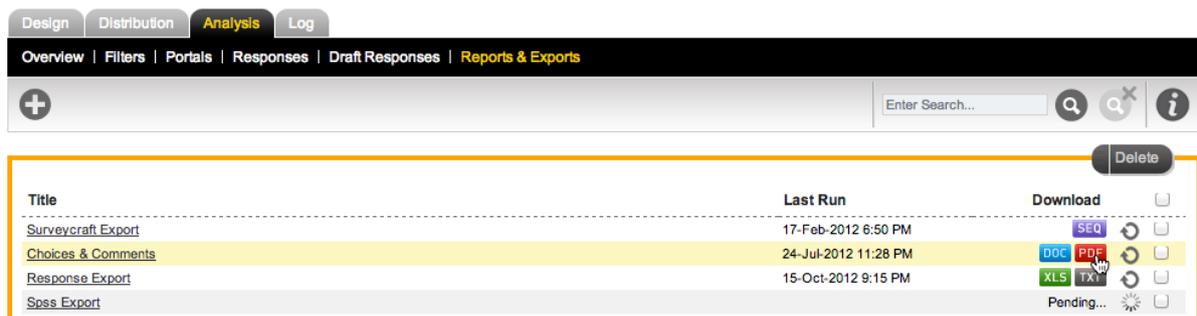
.txt	全質問のリストのテキストファイル
.seq	全調査データのファイル

Web Survey Creator はこれらのファイルをダウンロードしやすいよう、1つの圧縮ファイルにできます (zip 形式)。



## 過去に作成したレポートを使用する

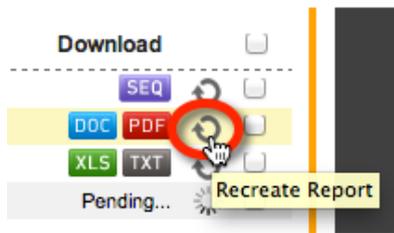
作成した全てのレポートは **Reports Browse** から簡単に再印刷できます。



全てのレポートはデータを再作成することなく、ダウンロード後すぐに利用できます。例えば **DOC** アイコンをクリックして**選択質問/コメント**レポートを Word 形式で取得できます。



最新データのレポートが必要な場合、**Refresh** アイコンをクリックします。



作成中レポートは以下を表示します。



レポートが再作成されたら、**DOC** アイコンをクリックし、新たに作成されたレポートをダウンロードします。

---

# 市場調査作成

---

市場調査は、バランスの取れたサンプル、調査データのバイアスを最小化する、高度な機能が必要なこと以外は、他のウェブ調査に似ています。

これらの調査を適切に実施するには、これらの先進的な機能を使えるよう設計されたパワフルなウェブ調査ツールが必要です。



# 市場調査専門家がウェブ調査で直面する課題

市場調査専門家は激しく変化するウェブ調査の状況に直面しています。クライアントは、非常に多様な端末を使った、より魅力的な調査を期待しています。

## 複雑なウェブ調査を効率的に作成する

複雑さが増すにつれ、ウェブ調査ソフトウェアツールは、依然、市場調査は非技術者であるユーザーが作成する前提で、効率的な方法で直面する課題に対応する必要があります。

ウェブ調査には以下が求められます。

- 回答者を引きつける新鮮なインターフェース
- 伝統的な選択質問やマトリクスではなく、ドラッグ／ドロップリストでの回答などの先進的な機能
- 複数ルールに基づく複雑なバリエーションの提供
- 代表的な回答者群を取得するための回答者クォータの管理
- インタラクティブなオンラインポータルによる、関係者へのリアルタイムの結果提供

市場調査専門家が過度な時間増なしに、全てのニーズに対処できることが重要です。クライアントは、内容にかかわらず、常に安さを求めます！

## ソフトウェアの「負担」を避ける

市場調査マーケットには多くのプレイヤーがおり、多くは大企業です。大都市での調査に慣れており、通常、1回答当たりのコストは1ドルまたは1ドル強です。

ソフトウェアの負担は毎回何かを試みるたび、予算に響きます。無制限の回答または低い回答コストを実現するシステムを見つけ出し、試すことは、非常に理にかなっています。

## 高品質、バイアスのない回答へのニーズ

どのような市場調査でも、適切で高品質のデータ収集が、最も重要なゴールです。リサーチャーは継続的に以下に対応しています。

- 無感情で怠惰な回答者一例、回答内容無視の報償目当ての回答者
- 誤った回答者の目的一例、回答による最大の報酬目当て
- 不適切な回答者一例、不適切な回答者による回答
- 疲労した回答者一例、調査が長すぎるため回答者の興味を維持できない

完全にこれらの問題を根絶することは難しい注文ですが、これらの発生を最小限にする方法はありません。

次の項では、バイアスを最小化する市場調査の機能を説明します。

## バランスのとれた回答者グループのニーズ

回答者が、広いコミュニティ分野に適合しているか確認することは重要です。それに失敗すると、結果は有効に見えますが、実際には深刻な影響を受けます。

以下の質問は、極端な質問の例です。

子供のときに何で遊びましたか？

- おもちゃのトラック
- バービー人形
- お化粧

この質問には潜在的な性別バイアスがあり、回答者の性別により、ひどく異なる回答を生み出しがちです。

クオータ管理は調査への回答をバランスさせるために使われます。（これは、次の項のテーマです）

## 携帯電話への移行に対応する

近年における最大の変化は、調査のモバイル端末への移行です。2年以内に、携帯電話またはタブレットでの調査は、「あればよい」から「なくてはならない」ものになるはずです。

回答者を取得するのに最良なのは、電話です。他にもやりたいことがあるので、コンピューターの前に座って、回答したくないのです。しかし、バスや電車内または、単にあたりに座っている場合、モバイル端末での調査は嬉しい気晴らしかもしれません。

重要な機能の1つである、高品質なモバイル調査なしには、このマーケットではどのようなパッケージも顧みられないでしょう。

## 他のソフトウェアパッケージとのインテグレーション

調査はしばしば、完全なプロセスの途中にあります。例えば、プロセスはパネル管理ツールでの招待送信で開始し、統計パッケージへのエクスポートで終了します。選択したウェブ調査ツールがこの種のインテグレーションをサポートしていることが重要です。

## バイアスを処理する

多くの点で、市場調査は、他の調査と変わりません。質問し、質問への回答を収集する必要があります。前項で説明したように、基本的な調査ツールを超えた追加機能が必要となる市場調査を実施する場合、.特定の問題があります。

本章では、市場調査に必要ないくつかの基本的機能を見てみましょう。Web Survey Creatorの機能について紹介します。



回答者にバイアスがないかは「納得」できません。調査で行わなければならないのは、全体データを見て、バイアス効果を効率的に「打ち消し」、バランスさせることです。

ランダム化は、「シャッフル」した調査コンテンツを指します。それにより、コンテンツが異なる回答者ごとに異なる順序で表示されます。これにより、コンテンツに、回答者が考慮する平等な機会を与え、以下のような効果が広がります。

1. 調査の早い段階で、質問および選択肢が、より考慮される（回答者の興味がふらつく前に）
2. 回答者による手間や考慮時間が少なければ、調査継続不可能になりにくい（調査全体を見ると疲れやすい）

## 選択のランダム化

ランダム化された選択質問は、回答者ごとに選択肢を「ミックス」します。ランダム化されると、同じ質問が以下のように表示されます。

**Which of the following brands have you heard of?**

<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/>  HONDA	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/>  Mercedes-Benz
--	---	--	---

**Which of the following brands have you heard of?**

<input type="checkbox"/>  HONDA	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/>  Mercedes-Benz
---	--	--	---

**Which of the following brands have you heard of?**

<input type="checkbox"/>  Mercedes-Benz	<input type="checkbox"/>  HONDA	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
---	---	--	---

## 選択肢の固定化

リスト中の全てのアイテムをランダム化したくない状況もあります。

**What fruits do you like?**

<input type="checkbox"/> Apple
<input type="checkbox"/> Pear
<input type="checkbox"/> Orange
<input type="checkbox"/> Other <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> Don't like fruit

この質問をランダム化すると、以下のように表示されます。

## What fruits do you like?

Apple

Don't like fruit

Other

Orange

Pear

これはあまり上手く行きません。「その他」「フルーツは好きではない」がリストの真ん中にあるのは混乱と不快をまねきます。（特に、「フルーツは好きではない」選択肢は排他的で、他の値を無効にするからです）

## What fruits do you like?

Apple

Don't like fruit

Other

Orange

Pear

幸い、Web Survey Creator には問題へのシンプルなソリューションがあります。一個別の値は固定化できます。

**Edit Selection Choice - English**

**Edit Selection Choice**

Edit the current Choice that the respondent may choose from. You can specify whether respondents can make an "Other (Please Specify)" selector

Other

Choice is Hidden

Choice is Pegged when Randomized

Choice is the Default and is Selected

Choice is Exclusive

Choice allows an "Other (Please Specify)" Option

固定化された選択肢の場所は変わりません—他の選択肢はランダム化されます

## 関連選択肢のグループ化

ランダム化のもう一つの問題は、ランダム選択リストのどの選択肢を一緒にする場合です。これは、以下のような関連性のある選択肢です。

Cola

Diet Cola

全ての選択肢をランダム化する場合でも、コーラ愛好家がダイエットか非ダイエットか簡単に選べるよう、コーラ飲料を一緒にしたいかもしれません。ランダム化する際に、避けたいのは以下のような質問です。

### What is your favorite drink?

Diet Lemonade

Juice

Diet Cola

Water

Lemonade

Cola

In Web Survey Creator では、関連のある質問は 同じブロックコードを使って、一緒のままにします。

Edit Selection Choice - English

**Edit Selection Choice**

Edit the current Choice that the respondent may choose from. You can also choose to set attributes for the Choice such as its visibility and whether respondents can make an "Other (Please Specify)" selection.

Cola

Choice is Hidden

Choice is Pegged when Randomized

Randomization Block Code: COLA

ブロックコード「COLA」をコーラ飲料、「LEM」をレモネードに使えば、選択肢をランダム化しても、関連する飲料は常に一緒のままです。

Cola [Random Code: COLA]  
Diet Cola [Random Code: COLA]  
Lemonade [Random Code: LEM]  
Diet Lemonade [Random Code: LEM]  
Juice  
Water

質問の表示例は以下の通りです。

### What is your favorite drink?

Juice

Lemonade

Diet Lemonade

Water

Cola

Diet Cola

### 一貫性のあるランダム化

奇妙に聞こえますが、「一貫性のあるランダム化」は調査で重要です。例えば製品群に関する複数の質問がある場合、質問ごとに同様に製品をランダム化したいかも知れません。これが一貫性のあるランダム化です。

Web Survey Creator はランダム化を有効にすると、一貫性のあるランダム化を選択できるようになります。

**Selection Choices**

Edit the current Choice that the respondent may choose from. You can also choose to set attributes for the (Specify)\* selection.

**Note:** When Editing Selection Choices any changes that are made are updated immediately and cannot be undone.

Apple  
Pear  
Orange  
Other [Other (Please Specify), Pegged]  
Don't like fruit [Exclusive, Pegged]

How do you want the choices sorted:

Randomize Order of Choices (Different Order) ▼

Do not apply any sorting or randomization  
Sort Choices Alphabetically  
Randomize Order of Choices (Different Order)  
Randomize Order of Choices (Consistent Order)

**Choice Validation**

Min/Max Selection

## マトリクスのランダム化

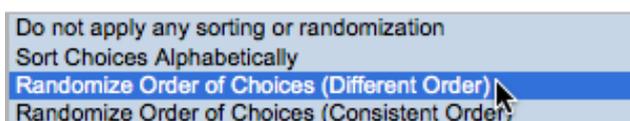
マトリクス中の行と列も選択質問と同様にランダム化できます。

### What do you think?

	Choice 3	Choice 2	Choice 1	Choice 4
Question 2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Question 4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Question 1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Question 3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### マトリクス列

マトリクス中の列は選択質問の質問と全く同様にランダム化できます。



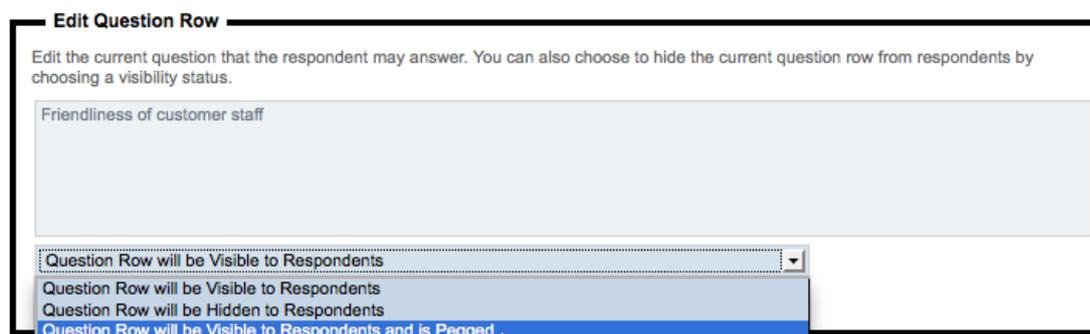
列の固定化やグループ化も同様に可能です。



### マトリクス行

マトリクス行は、通常、質問や文です。ランダム化することにより、毎回マトリクスの最後の質問の「その上」に回答しないようになります。

ランダム化の選択肢は、選択質問と同じです。行の固定化は多少異なります（質問の完全非表示を含む）オプションのドロップダウンリストから固定化を選びます。



## ページのランダム化

ページのランダム化は調査コンテンツの劇的なランダム化の方法を提供します。この機能を利用して回答者ごとにページの順序をランダムに変更できます。

ページのランダム化を使用するには、以下が必要です。

1. ランダム化する最初のページを編集します。



2. ランダム化チェックボックスをチェックします。



ランダム化で、グループ化したいページがある場合、ブロックコードを入力します。

Randomization Block Code:

3. ページを保存します。
4. ランダム化したい後続のページごとにこの手順を繰り返します。

## ページのランダム化のヒント

ページのランダム化は調査フローに大きな影響を与えます。そのため、間違えると、最も「破壊的な」ランダム化の手法となります。このタイプのランダム化を実装する場合、注意することが重要です。

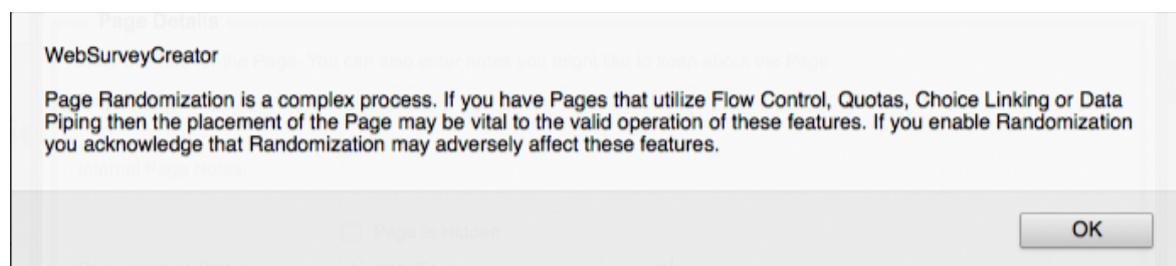
最大の効果を得るために必要な、いくつかのヒントがあります。

### ヒント 1: ランダム化ページが連続すること

システムは全ページを連続して、フラグを設定し、ランダム化します。ランダム化されたページの真ん中に非ランダムページを含み、ページをミックスすることはできません—非ランダムページの両側に、2つのグループのランダム化ページができてしまいます。

### ヒント 2: 不可能なロジックを作らない!

ページをランダム化する場合、以下のような警告が表示されます。



ランダム化でページ順序を変更する場合、状況が起こらないようにするのは、あなたの注意次第です。以下の例を参考にしてください。

### ページ 1

あなたは喫煙者ですか？

### ページ 2 (非喫煙者には表示しない)

喫煙をやめたいですか？

これらのページをランダム化しようとするのは、非常に悪いアイデアです。ランダム化されるページ順序の 1 つでは、喫煙を止めたいかどうかという質問を、喫煙者かどうか知る前にすることになります。

この例では、フロー制御で使用される質問が行われる前に、フロー制御で非表示にされているページが表示されるので、フロー制御は動作しません。

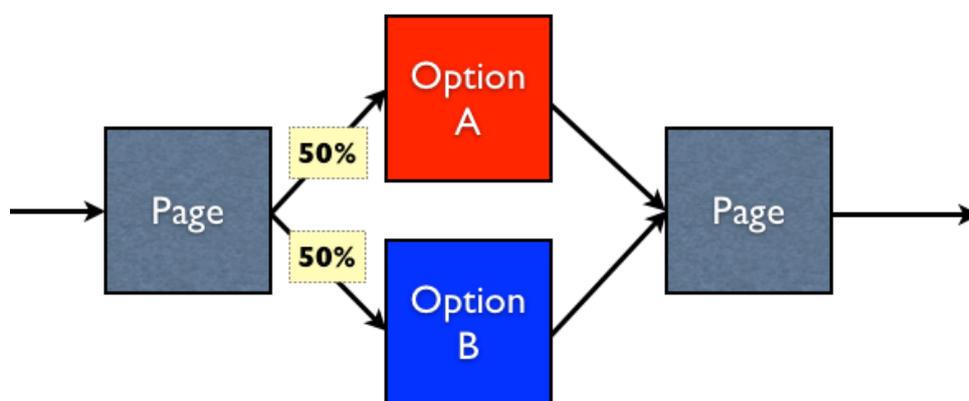
### ヒント 3: 十分にテストする

ランダムページは定義から予測できません。多くのページ順序のバリエーションを試すために、テスト回答を複数回入力することが重要です。

## A/B テスト

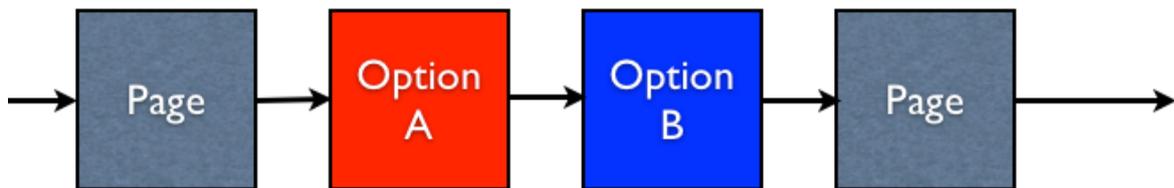
A/B テストのユーザーは回答率の向上や他の望ましい結果において、どの変数が最も効果的かという複数のテストサンプルを配布します。テストは効果的であるために、制御および他の戦術に意味のある違いを検出するのに十分な規模の読者にリーチしなければならない。

ウェブ調査は多数の読者にアクセスすることが比較的容易なので、A/B テストを使うのに最適な候補です。簡単な A/B テストの例は以下の通りです。



オプション A とオプション B のページに行く回答者をそれぞれ 50%にしたいとします。この結果を達成するのはもう一つのランダム化の例です。

Web Survey Creator では、回答者が回答を開始するとランダムな番号を付与されます。この番号はさまざまな用途に使われる—その 1 つは A/B テストです。A/B テストは実際にはフロー制御により実行されます。A/B テストを有する実際の調査の構成は以下の通りです。



The create our A/B テストを作成するには、オプションページ A,を 50%、オプションページ B を 50% の比率で非表示にします。

オプション A ページを非表示にするには、以下のフローが必要です。

フローを実行するために、回答者には **A/B** テスト用ランダム番号を使います（常に 1 から 100 の間の番号）。オプションページ A は、番号が 51 未満の場合非表示とします（1 から 50 の間の番号）

反対にオプション B ページを非表示にするのは、A/B テスト用ランダム番号が 50 を超える場合です。（51 から 100 の間の番号）

もちろんこの方法は 2 ページのテストだけに適用するわけではありません—A/B テスト用ランダム番号は 100 種類の数値の 1 つに等しいので、ランダムに選ばれる 100 までのオプションが可能です。



---

# クオータ管理

---

クオータ管理はほとんどの市場調査で重要な要素です。

調査のクオータを管理することにより、バランスのとれたサンプルが得られます。また、実際に必要な人だけにコストを払うことにより、パネル回答者のコストを最小化します。



# なぜクオータを使うのか？

## 「多ければ多いほど良い」ルール

多くの調査は「多ければ多いほど良い」という原理により実施されるため、調査の回答人数に制限を設けていません。

このような調査例として、顧客調査があります。調査を完了するために、できるだけ多くの顧客を求められ、いかなる制限も設定されたくありません。

これらの調査に、こうしたルールがはたらくのは、各回答者の「声」が他の回答者同様、重要だからです。そして彼らの見解も同様に重要です。

## 「バランスはより良い」ルール

別の例について、考えてみましょう。ファストフードが好きか嫌いに関する調査についてです。これは、「多ければ多いほど良い」ルールが適用される別の完璧な候補のように思えます。これは誤りです。それはなぜでしょうか。

一般的な原則として、男性は女性よりファストフードを好む（そしてより多く食べる）

若い男性は、年配の男性より多くのファストフードを食べる傾向にある。（いったんコレステロールおよび年齢が追いつくと、より注意する必要がある）

中年女性および60歳以上の人は、25歳以下の人（Eメールは時代遅れで、調査は時間の無駄だと思っている）よりも、調査に回答する傾向にあります

よろしい。回答者がそれぞれの端末に取り残されているとしたら、これは全て何を意味するのでしょうか。

少なくともファストフードが好きな人—女性および高齢男性は、調査回答数の不均衡を作り出します。コミュニティ全体に関して何か言うために、これを推論することは意味がありません。ファストフードを愛する若者は、バランスさせる上で、十分な表現ではありません。

さまざまな社会分野から人数をそろえることによって、回答者グループをバランスさせるというのが、答えです。中年女性から十分な回答が得られたら、それ以上は必要ないのです。そこから抜けだし、必要な数の若年男性を探す必要があります！

「クオータ」は、どのようなものに基づいても構いませんが、普通は以下に基づきます。

- 年齢
- 性別
- 住所

回答者について、これら3つを考慮すれば、回答者の構成を、社会構造から真似るでしょう。それにより、社会の見解を、より正確に提供します。

# クオータをどのように管理するか？

## 調査の早期終了

調査で誰が、いつクリックするかコントロールすることはできません。これは、アンバランスな人々のサンプルが、調査を開始する傾向にあることを意味します。

---

クオータ管理の目標は、できる限り早く、必要のない回答者を中止させることです。

---

調査中の終了は、調査に時間をとられる人を、少なからず、やや不快にさせるでしょう。してはいけないのは、中止される前に多くの質問に回答させてしまい、状況に火をつけてしまうことです。

ウェブでの市場調査作成のベストプラクティスは、調査を以下の構成とすることです。

回答者が調査に適合しているかどうか決定する全ての質問は、調査の最初の数ページで質問されます。

「対象外」（あなたにとって興味のない人）および「クオータ終了」（あなたにとって興味はあるが、数を制限したい人）のための**終了ページ**は次の通りです。

適切な人が終了ページをスキップするためにフロー制御が使われます。それ以外の全て人は、終了ページで調査は終了です。

終了ページは調査を終了させるページです—他のページのように **Next** ボタンはありません—**Submit** ボタンがあるだけです。

## クオータルールを設定する

クオータ管理は誰が調査を完了するか決定するルールを使用します。それぞれのクオータは基本的に2点を扱います。

1. 誰を探しているか？  
（例、男性、18から25歳）
2. 調査で何人の回答者が必要か？

Web Survey Creator は作成したルール、および各クオータを満たしている人数をクオータ管理システムで追跡します。

Quota Title	Limit	In Quota	Remaining
City - Adelaide	51	51	-
City - Brisbane (inc Gold Coast)	100 (20)	118	2
City - Melbourne	152 (28)	185	-
City - Perth	62	50	12
City - Sydney	157	162	-
Female, 16-24	33 (7)	36	4
Female, 25-29	36 (19)	53	2
Female, 30-39	48 (27)	76	-
Female, 40-49	43 (22)	67	-
Female, 50-54	25 (15)	33	7
Female, 55-64	37 (13)	48	2
Female, 65+	46	34	12
Male, 16-24	34	23	11
Male, 25-29	36	25	11
Male, 30-39	47 (13)	60	-
Male, 40-49	41 (20)	46	15
Male, 50-54	25	18	7
Male, 55-64	36	22	14
Male, 65+	38	25	13

## 困難なクォータを処理する

特定のクォータが、他に比べて満たされにくいことがあります。特定の調査は、全てのクォータが満たされないと、無価値となるので、これは深刻な問題です。

以前の例では、困難なクォータは以下のように表示されます。

Quota Title	Limit	In Quota	Remaining
<a href="#">City - Adelaide</a>	51	51	-
<a href="#">City - Brisbane (inc Gold Coast)</a>	100 (20)	118	2
<a href="#">City - Melbourne</a>	152 (28)	185	-
<a href="#">City - Perth</a>	62	50	12
<a href="#">City - Sydney</a>	157	162	-

他の地域クォータには、十分多数の人がいますが、依然パースからの 12 人を探しています。

---

困難なクォータは通常、十分となるまで調査を「開放」することで対応します。これは、難しいクォータに必要な最低限のレベルに達するまで他地域のクォータより優先することを意味します。

---

調査の開放は、マニュアルで行う、非常に荒っぽいテクニックです。

幸い Web Survey Creator にはこのプロセス全体を非常に簡単に、よりコントロールできる 2 つの機能があります—クォータオーバーフロー、優先クォータ。

## クォータオーバーフロー

元のクォータ数が修正されなければならない場合、元の数を変更するよりも「オーバーフロー」機能を使用します—変更ははるかに簡単なのが分かります

Quota Title	Limit	In Quota	Remaining
<a href="#">City - Adelaide</a>	51	51	-
<a href="#">City - Brisbane (inc Gold Coast)</a>	100 (20)	118	2
<a href="#">City - Melbourne</a>	152 (28)	185	-
<a href="#">City - Perth</a>	62	50	12
<a href="#">City - Sydney</a>	157	162	-

この例では、ブリスベーンは 20 人の回答者のオーバーフローがあり（元のクォータは 100 人）、メルボルンは 28 人の回答者のオーバーフローがあります（元のクォータは 152 人）。

## 「優先」クォータ

Web Survey Creator のクォータは以下のように動作します。

クォータに関連する全ての質問が完了すると、システムは回答者に合致する各クォータにクォータを割り当てます。例えば、回答者は次のクォータにひも付けられます。



この例に基づく、既に 30~39 歳の男性回答者が多すぎます。

<u>Male, 30-39</u>	47 (13)	60	-
--------------------	---------	----	---

そのため、この回答者はクォータから除外されます。パースの回答者が本当に必要にかかわらず受け入れてしまうと 30~39 歳の男性回答者が多すぎになります。



---

1つのクォータがターゲットを超える場合、別のクォータが不足するよりも、問題が少ない場合もあります。

---

もし、パースの回答者は受け入れる場合、パースのクォータを「優先」クォータに設定します。これにより、他のクォータが一杯でもパースの回答者を受け入れることをシステムに指示します。パースが一杯になり次第、優先クォータは有効でなくなります。

優先クォータは困難な回答者に注力しやすくなります。しかしながら、他のクォータが超過するので、注意深く使わなければなりません。

## クォータ管理のヒント

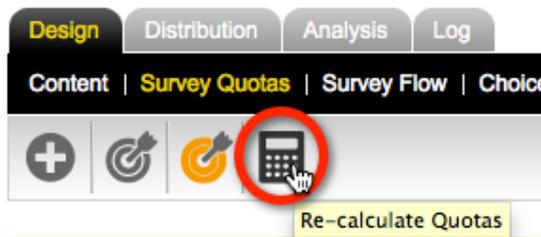
### 調査開始後にクォータを追加する

調査開始後（回答収集中）のクォータ追加に関する最適なアドバイスは、それを避けることです！事後のクォータ追加を避けるべき主な理由は以下の通りです。

新しいクォータでテストされていない、回答者が発生してしまいます。（クォータは調査回答ごとに、計算されているため）

クォータに含む質問を、対象外のページに表示してしまう間違いを犯す危険があります。（そのため対象外のページロジックは無効）

もし、調査開始後にクォータ追加または変更する場合、Web Survey Creator は既存の回答内容への「キャッチアップ」を実行します。ツールバーの *Re-calculate Quotas* ボタンをクリックし既存の回答でクォータを再計算します。



## 調査内の複数箇所でクオータをテストする

回答者がほぼ調査の終わりに来て、クオータが一杯であるために、突然除外されてしまうほど、悪いことはありません。Web Survey Creator は、できるだけ早期にクオータを計算することで、このような状況を回避します。ここでのポイントは、以下のシンプルなルールに基づいているということです。

---

### 一度回答を始めたら、回答者です！

---

これは、クオータを計算した時に、回答者の空きがある場合、調査を完了できるという意味です。これは、ほぼ同時に完了する同じクオータの回答者がいる場合、そのクオータの数が多少超過してしまう結果になるかもしれません。

---

回答を完了するまでクオータの数は上がりません。そのため、必要人数の回答が完了するまでクオータからの除外は起きません。

---

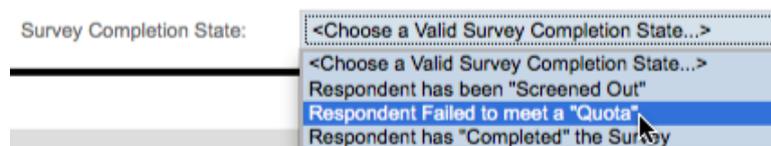
デフォルトの動作が超過を起こし、不要なコスト増となるかもしれません。例えば、

調査が大変長いので、クオータが一杯になった時、多くの人が調査の途中にいる（クオータテスト前）

多数がクオータテストを通過し、回答途中で退出するとします。いつ戻ってくるかにかかわらず、（クオータが一杯になったはるか後でも）回答を完了することができるので、クオータの数が増加します。

では、どのようにクオータを複数回テストするべきでしょうか？幸い Web Survey Creator では簡単です。

**クオータフェイル終了**ページを調査に追加すれば、クオータは次ページの前に再テストされ、後続のページを終了します。



これは、いつ再チェックを行うか選択できるということです。回答者を不快にすることを気にしなければ、調査終わりに近い場所にクオータフェイルページを設定することもできます。

# クォータ管理の例

調査の例は、架空のファストフードチェーンーワールドバーガーです。彼らは新たに「健康メニュー」を導入し、人々が変化に気づくか、変化をどう思うか知りたいのです。

## 必要な回答者の決定

良い回答結果を得るために、性別ごとに以下の回答数が必要であるとしています。

	16-24	25-29	30-39	40-49	50-54	55-64	65+
Female	33	36	48	43	25	37	46
Male	34	36	47	41	25	36	38

幅広い年齢層に広がり、若干女性が多いです（「健康メニュー」キャンペーンのターゲットなので）。

ワールドバーガーの店舗の任意の週の訪問者数の割合に応じた、回答者の住所に関する要件があります。

Sydney	Melbourne	Brisbane	Perth	Adelaide
157	152	103	62	51

両方の要件とも、回答者数は合計 525 人です。クォータ間の連動はないので、都市別の性別/年齢の構成は問われません。

## 調査を準備する

### 性別/年齢/住所に関する質問

クォータは調査に入力された回答に基づき計算されます。この調査では性別、年齢、住所をたずねる必要があります。

質問追加に関する、より詳細な説明は、[basic survey guide](#) を参照してください。この例の目的のために、完成した質問を見てみましょう。

最初のページで、回答者の性別をたずねます。



What is your Gender?

Male

Female

2 ページ目で、回答者の年齢をたずねます。



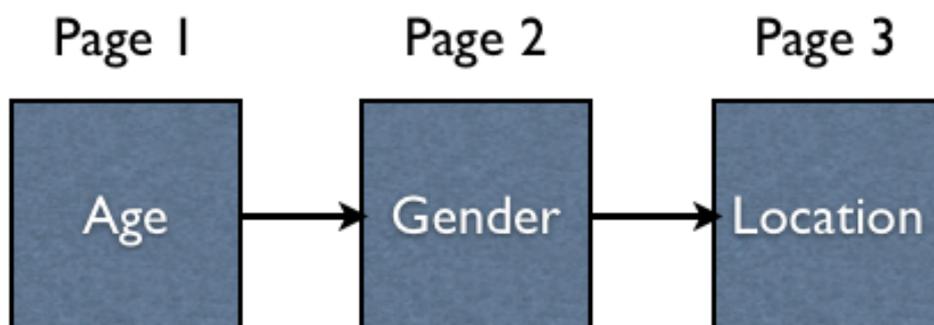
What is your age group?

16-24  25-29  30-39  40-49  50-54  55-64  65+

3 ページ目で、回答者の住所をたずねます。

Which City do you live in?	
<input type="radio"/> Sydney	<input type="radio"/> Adelaide
<input type="radio"/> Melbourne	<input type="radio"/> Perth
<input type="radio"/> Brisbane	<input type="radio"/> None of the above

調査は現在、以下の構成になっています。



回答者が3つの質問に回答すると、クォータに合うかどうか分かります。

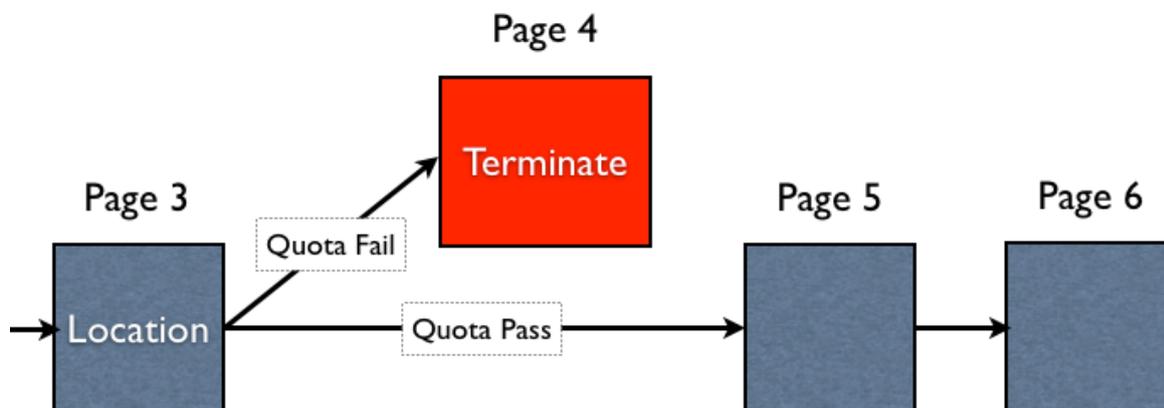
---

回答者がクォータに合わなければ、調査を終了する必要があります

---

調査の4ページ目は、クォータフェイル終了ページです。回答者がクォータに合わなければ、このページが表示されます。クォータに合えば、このページは非表示とされ、5ページ目に移動します。

このロジックは、以下のダイアグラムの通りです。



## クォータフェイル終了ページ

クォータフェイル終了ページを作成する必要があります。これは、以下のように、単に調査にページを作成するという事です。

1. Edit ボタンをクリックし、ページ内容を編集します

- Page 4



2. 終了ページであることを示すよう、ページのタイプを変更します。

終了ページは、通常のページとは以下の理由で異なります。

- next ボタンではなく、submit ボタンがあります。これは、調査で回答者に表示される最後のページであることを意味します。
- 特定のロケーションへのリダイレクト機能があります—外部調査パネルと統合する再非常に重要です（後章で、より詳細に説明します）

## クォータを作成する

クォータで使われる質問と、終了ページはあります。まだないのは、クォータの計算と終了ページの表示または非表示を適切に扱う調査フローです。今度は、これらの問題を見ていきましょう。

### クォータビルダーを使う

この調査ではかなりの数のクォータを設定する必要があります。実際に設定するのは、

2 (性別) × 7 (年齢グループ) = 14 の性別／年齢クォータおよび 5 つの住所クォータ

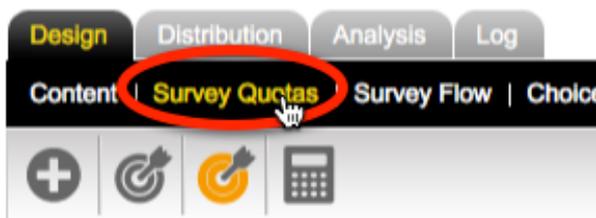
全部で 19 クォータになります。

各クォータはマニュアルで設定できますが、幸い Web Survey Creator には、我々に代わって、ほとんどの作業をしてくれるクォータビルダーがあります。関連するクォータを 1 つのプロセスで作成してくれます。

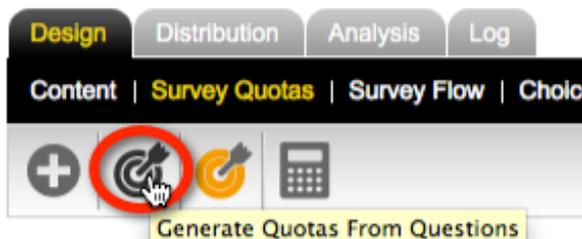
### 性別／年齢クォータを作成する

まず、性別／年齢クォータを作成しましょう。これらのクォータを作成する手順は以下のとおりです。

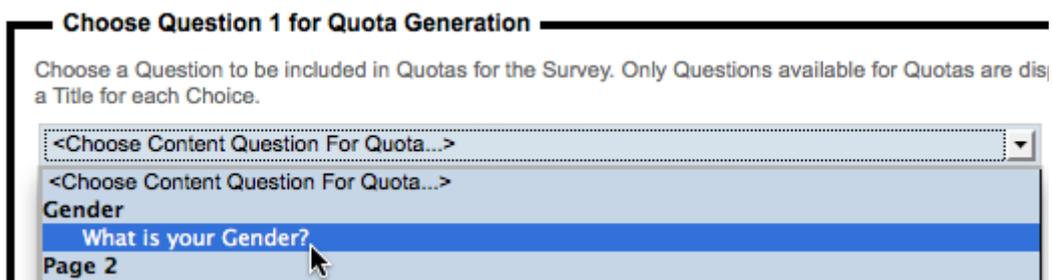
1. Design タブの下の Survey Quotas メニューをクリックします。



2. ツールバーから Quota Builder を選びます。



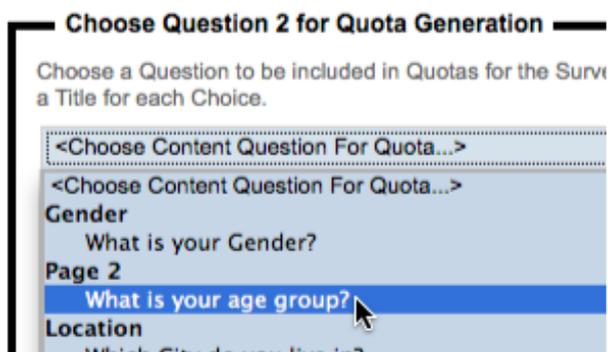
3. クォータで使う最初の質問となる性別を選びます。



4. この質問では、両方の性別をクォータで使うので、両方ともチェックします。（どのようにクォータで記述されるかオプションで変更できます）



5. 2 番目の質問となる 年齢グループを選びます



6. 全ての値を選びます。作業を早めるには、**Toggle Selection** リンクをクリックします。

Toggle Selection

<input type="checkbox"/> 16-24	16-24	<input checked="" type="checkbox"/> 16-24	16-24
<input type="checkbox"/> 25-29	25-29	<input checked="" type="checkbox"/> 25-29	25-29
<input type="checkbox"/> 30-39	30-39	<input checked="" type="checkbox"/> 30-39	30-39
<input type="checkbox"/> 40-49	40-49	<input checked="" type="checkbox"/> 40-49	40-49
<input type="checkbox"/> 50-54	50-54	<input checked="" type="checkbox"/> 50-54	50-54
<input type="checkbox"/> 55-64	55-64	<input checked="" type="checkbox"/> 55-64	55-64
<input type="checkbox"/> 65+	65+	<input checked="" type="checkbox"/> 65+	65+

7. Set Quota Limits button ボタンをクリックします。



8. 選択した全ての組み合わせが表示され、入力可能となります

#	Title	Quota Access Code	Limit
1	Male, 16-24	MALE16-24	0
2	Male, 25-29	MALE25-29	0
3	Male, 30-39	MALE30-39	0
4	Male, 40-49	MALE40-49	0
5	Male, 50-54	MALE50-54	0
6	Male, 55-64	MALE55-64	0
7	Male, 65+	MALE65	0
8	Female, 16-24	FEMALE16-24	0
9	Female, 25-29	FEMALE25-29	0
10	Female, 30-39	FEMALE30-39	0
11	Female, 40-49	FEMALE40-49	0
12	Female, 50-54	FEMALE50-54	0
13	Female, 55-64	FEMALE55-64	0
14	Female, 65+	FEMALE65	0

9. ワールドバーガーの要件に基づき、クォータ数を入力します

#	Title	Quota Access Code	Limit
1	Male, 16-24	MALE16-24	34
2	Male, 25-29	MALE25-29	36
3	Male, 30-39	MALE30-39	47

10. Save Quotas ボタンをクリックします



Design タブの Survey Quotas の下にクオータが表示されます



Quota Title	Code	Limit	In Quota	Remaining
<a href="#">Female, 16-24</a>	FEMALE16-24	33	-	33
<a href="#">Female, 25-29</a>	FEMALE25-29	36	-	36
<a href="#">Female, 30-39</a>	FEMALE30-39	48	-	48
<a href="#">Female, 40-49</a>	FEMALE40-49	43	-	43
<a href="#">Female, 50-54</a>	FEMALE50-54	25	-	25
<a href="#">Female, 55-64</a>	FEMALE55-64	37	-	37
<a href="#">Female, 65+</a>	FEMALE65	46	-	46
<a href="#">Male, 16-24</a>	MALE16-24	34	-	34
<a href="#">Male, 25-29</a>	MALE25-29	36	-	36
<a href="#">Male, 30-39</a>	MALE30-39	47	-	47
<a href="#">Male, 40-49</a>	MALE40-49	41	-	41
<a href="#">Male, 50-54</a>	MALE50-54	25	-	25
<a href="#">Male, 55-64</a>	MALE55-64	36	-	36
<a href="#">Male, 65+</a>	MALE65	38	-	38

## ロケーションクオータを作成する

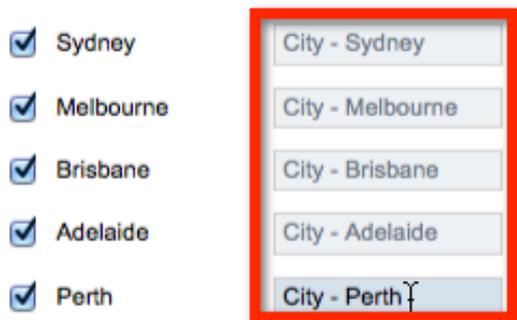
ロケーションクオータは、性別/年齢クオータと同じやり方で作成されます—実際には、全てのクオータが1つの質問だけに基づくので、より簡単です（居住している都市名）

クオータとしては適切ではない「上記のどれでもない(None of the above)」を除く全ての値を選びます。

Which City do you live in?

- Sydney
- Melbourne
- Brisbane
- Adelaide
- Perth
- None of the above

クオータは、アルファベット順に表示されます—しかし都市名は一緒に表示したい—保存する前に、都市名を変更することで可能です。



住所クォータが追加されると、調査クォータ一覧の最初に表示されます（アルファベット順であるため）

Quota Title	Code	Limit	In Quota	Remaining
<u>City - Adelaide</u>	ADELAIDE	51	-	51
<u>City - Brisbane</u>	BRISBANE	103	-	103
<u>City - Melbourne</u>	MELBOURNE	152	-	152
<u>City - Perth</u>	PERTH	62	-	62
<u>City - Sydney</u>	SYDNEY	157	-	157
<u>Female, 16-24</u>	FEMALE16-24	33	-	33
<u>Female, 25-29</u>	FEMALE25-29	36	-	36

## クォータフェイル終了ページロジックを追加する

クォータ終了ページは作成しましたが、1つ問題があります。

---

調査フローロジックが追加されていない場合、終了ページが常に表示されてしまいます—そして全回答者が終了となってしまいます！

---

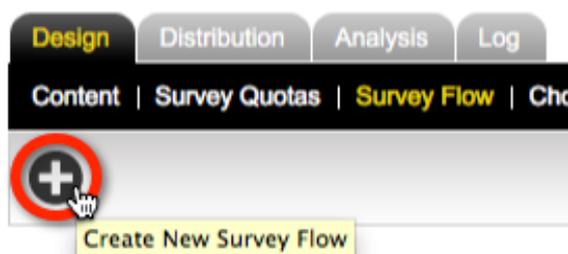
クォータ設定をすると、適切に終了ページを非表示にすることができます。（非表示ルールは回答者がクォータに合うかどうかに関係しています）

終了ページロジックを作成する手順は以下のとおりです。

1. Design タブの下の Survey Flow をクリックする



2. 新フローを追加する



3. 非表示にするページを選びます

**Flow Title**

Please enter a title to describe your Survey Flow

Survey Flow Title:

---

**Choose Which Pages to Hide**

Please select the Pages that you would like this flow to hide

- Gender
- Page 2
- Location
- Page 4 [Terminates Survey]**

4. Save & Continue to Add Conditions ボタンをクリックします



5. Add Condition をクリックします

**Hide Page...**

Page 4 Terminates Survey

---

**When...**

No Conditions Exist

**Add Condition**

6. 以下のように全クオータのテストを選びます

**Compare...**

To build a condition you must first select an answer to a Question or information about a Respondent

**Test Respondent's Inclusion in a Quota**

---

**Using Condition...**

Choose how you would like to check Quotas. You can choose whether the Respondent is included or included in a Quota if their answers meet the Quota Rules. Quota Rules are tested at the point of when answered.

**Condition:**

- Respondent meets criteria without exceeding Quotas**
- Respondent meets one or more of the criteria
- Respondent doesn't meet any of the criteria

**Choose Quotas to Test:**

- Male, 50-54 (25)
- Male, 55-64 (36)
- Male, 65+ (38)
- Female, 16-24 (33)
- Female, 25-29 (36)
- Female, 30-39 (48)
- Female, 40-49 (43)
- Female, 50-54 (25)
- Female, 55-64 (37)
- Female, 65+ (46)
- City - Sydney (157)
- City - Melbourne (152)
- City - Brisbane (103)
- City - Adelaide (51)
- City - Perth (62)**

7. Save Condition をクリックします



終了ページは以下の条件で表示されるようになりました。

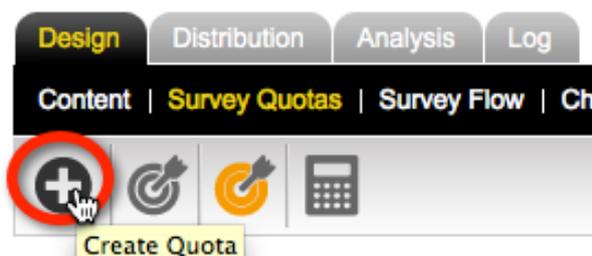
1. 回答者が少なくとも1つのクオータに合致する
2. 回答者に合う全てのクオータに空きがある（唯一の例外は、前項で説明した**優先クオータ**がある場合）

## マニュアルのクオータ調整

クオータの追加または編集が必要な場合、クオータ管理システムによって行います。

### クオータを追加する

クオータを追加するには、ツールバーの *Create Quota* ボタンをクリックします



名称を含む全てのクオータ詳細を入力する必要があります。

**Quota Details**

Please enter a title to describe your Survey Quota.

Survey Quota Title:	<input type="text" value="My New Quota"/>
Quota Access Code:	<input type="text" value="NEWQUOTA"/>
Quota Response Limit:	<input type="text" value="100"/>
Quota Overflow:	<input type="text" value="0"/>

クオータルールが、フロー制御と似た方法で、1つずつ追加されます。

**Compare...**

To build a condition you must choose a Question that you want to have tested

---

**Using Condition...**

Choose how you would like to check this answer. For Example, for a "Multiple Choice, Radio Butt Selected" and then select the choices to compare.

Condition:

<input type="radio"/> Any Choice Selected	<input type="radio"/> Male
<input type="radio"/> No Choice Selected	<input type="radio"/> Female

### クオータを編集する

クオーター一覧のクオータ名 (Quota Title) をクリックすることで、クオータを編集できます。

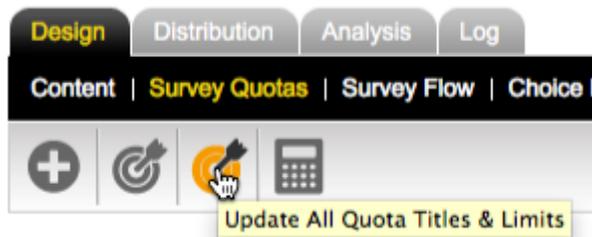
Quota Title	Code	Limit
City - Adelaide	ADELAIDE	51
City - Brisbane	BRISBANE	103
City - Melbourne	MELBOURNE	152

## 一度に複数のクォータを編集する

クォータを修正する必要がある場合、以下の詳細のどれかであることが多いです。

- クォータの希望人数
- 許容するオーバーフロー数
- アクセスコードまたは説明

Web Survey Creator は、ツールバーの **Survey Quotas** の下の **Update All** ボタンをクリックするだけで、簡単にこれらの詳細を一斉に修正します。



名称、アクセスコード、許容数、オーバーフロー数が同一画面内で調整できます。

Quota Titles and Limits - English				
Listed here are all existing Quotas. For each Quota you can edit the title, code and how many responses the Quota is limited to.				
#	Title	Quota Access Code	Limit	Overflow
1	City - Adelaide	ADELAIDE	51	0
2	City - Brisbane	BRISBANE	103	0
3	City - Melbourne	MELBOURNE	152	0
4	City - Perth	PERTH	62	0
5	City - Sydney	SYDNEY	157	0
6	Female, 16-24	FEMALE16-24	33	0
7	Female, 25-29	FEMALE25-29	36	0
8	Female, 30-39	FEMALE30-39	48	0
9	Female, 40-49	FEMALE40-49	43	0
10	Female, 50-54	FEMALE50-54	25	0
11	Female, 55-64	FEMALE55-64	37	0
12	Female, 65+	FEMALE65	46	0
13	Male, 16-24	MALE16-24	34	0
14	Male, 25-29	MALE25-29	36	0
15	Male, 30-39	MALE30-39	47	0
16	Male, 40-49	MALE40-49	41	0
17	Male, 50-54	MALE50-54	25	0
18	Male, 55-64	MALE55-64	36	0
19	Male, 65+	MALE65	38	0

**Save Quotas**

# クオータを追跡する

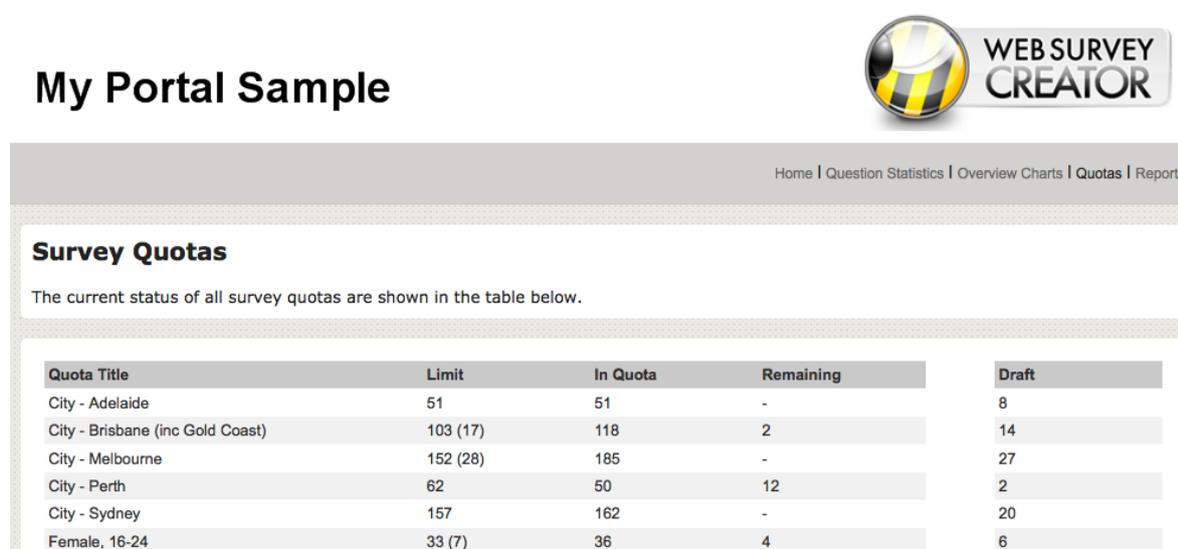
これまで見てきたとおり、調査クオータで簡単にクオータを追跡できます。調査を設定した Web Survey Creator ユーザーであれば、これは上手くいけますが、クライアントのように、外部の人にとってはどうでしょう？

ワールドバーガーの経営者は調査の進捗から目を離したくありません。幸い WSC にはウェブポータルを使う方法があります。

ウェブポータルには以下を表示できます。

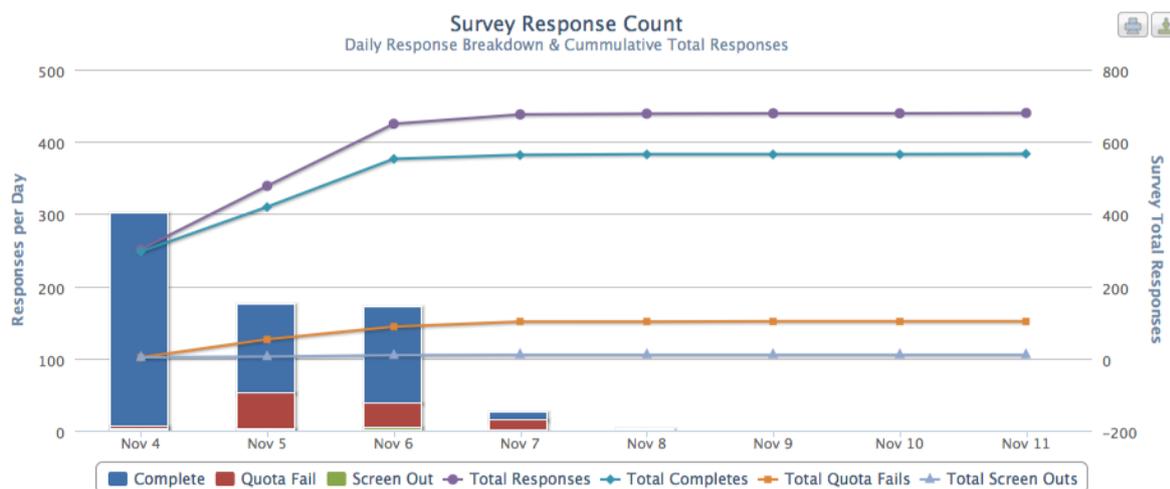
## クオータの現在の状況

現時点での回答者数、必要数を含む全クオータの一覧



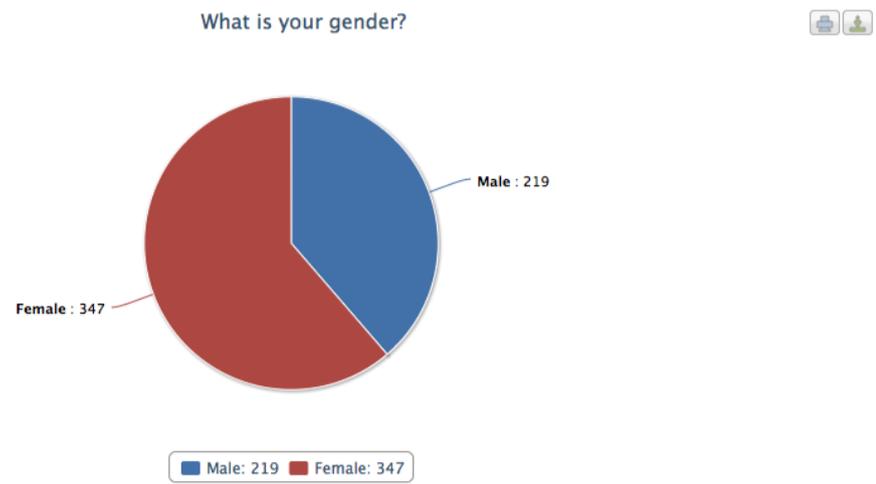
## 回答カウント

日別回答数が累計とともにタイプ別に表示されます (対象外など)



## 個別質問の統計

現時点での調査の各質問別の回答数



27 February 2012

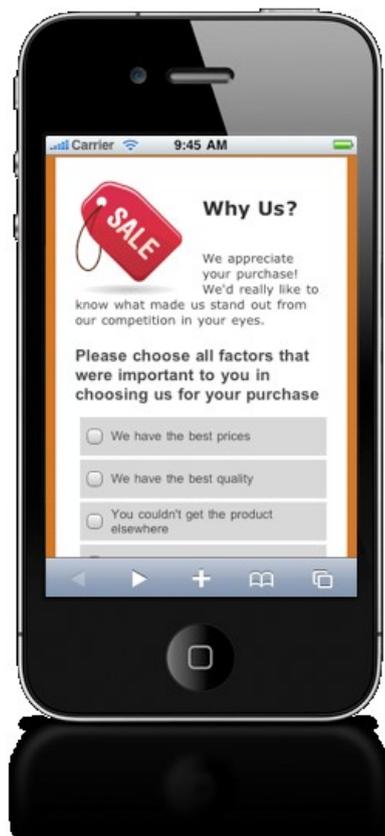
---

# モバイル調査

---

調査の世界は現在、ウェブへの移行開始以来、かつて見られないペースで変化している。ウェブ調査だけでは十分ではありません—モバイル端末でアクセスできる必要があります。

「モバイル調査」は、顧客の購買意欲を向上させるための調査方法の向上を促進し、顧客満足度を向上させます。



# モバイル対デスクトップ

ウェブ調査に対する、回答者の期待を数値化することは非常に簡単です。残念ながら、多くの期待を達成するのが容易でないので、期待を満たすことは難しいです。

期待	課題
モバイル端末、デスクトップPCどちらでも調査完了できるようにしたい	多くの調査ソフトは全機能を持つPCバージョンと一部機能だけのモバイルバージョン。設定時にどちらか選択。(両方は不可)
「魅力的な」調査	「魅力的な」調査は通常フラッシュを伴うデスクトップPC向けです。モバイル端末との互換性はありません。
モバイル端末を使う場合でも、フル機能を備えた調査が可能	通常モバイル端末ではフォーマットと機能は削られます。

ウェブブラウザの機能を備えたモバイル端末の存在は、比較的新しい現象です。(2007年にiPhoneから始まったといわれている) モバイル端末でのウェブ調査への期待と現実との間には多くのギャップがあります。大規模で、定評のあるソフトウェアパッケージは依然として期待を「キャッチアップ」中です。

機能を削られた「中途半端」なモバイル調査ツールは、人々が「クール」なモバイル端末を持っており、その端末でやることも「クール」であることを期待するというポイントを忘れていきます。

---

携帯電話やタブレットを介して人々を得られるという付加的な利点があります—これらの端末を使うのは、通常、若年層で、回答を得ることが困難です。

---

## PCは絶滅からはほど遠い

どれだけ多くの人々がモバイル端末を使うのが好きでも、依然としてデスクトップ(およびラップトップ) PCが重要な場所があります。そのため、ウェブ調査は、標準的なPC環境でも動作し続けることが重要です。この環境にはメリットがありますし、モバイル端末の猛攻により絶滅することはないでしょう。

1. 大量のテキストはフルサイズのキーボードの方が入力しやすい
2. ほぼすべての家庭に、調査に使えるPCがあります(モバイル端末と異なり、共有されている)
3. かなりの割合の回答者はモバイル端末を所有していません
4. 高齢者は、慣れているので、PCを使う方が快適です

## モバイルが基本を意味しない

適切な技術を用いたとしても、モバイル端末での作業には、1つだけ制約があります。

---

モバイル端末はPCよりも画面面積が小さい。提供するインターフェースはこれを考慮する必要があります。

---

# レイアウト管理

画像は、モバイル画面に合うよう、サイズ変更する必要があります。



人口統計学的な質問のように、複雑なテキスト質問タイプは、PCのレイアウトに最適化されています。モバイル端末用に、レイアウトは修正する必要があります。



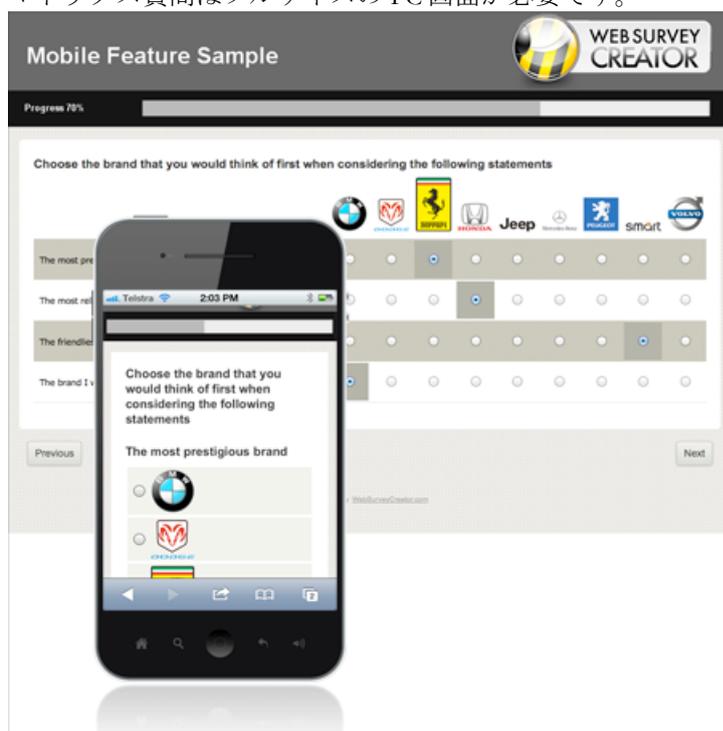
## テキスト入力

PCでは、キーボードを使うので、テキスト入力は簡単です。モバイル端末では、画面に合わせてテキスト入力フィールドをフォーマットする必要があるだけでなく、端末の入力システムを考慮する必要があります。



## 質問の「変形」

いくつかの質問タイプは、ユーザーの使い勝手の問題で、モバイル端末では使用できません。例えば、マトリクス質問はフルサイズの PC 画面が必要です。



## 調査の「魅力」を維持する

モバイル端末をサポートする際に、直面する最大の問題は、回答者が慣れている「魅力的」な機能を失わないようにすることです。

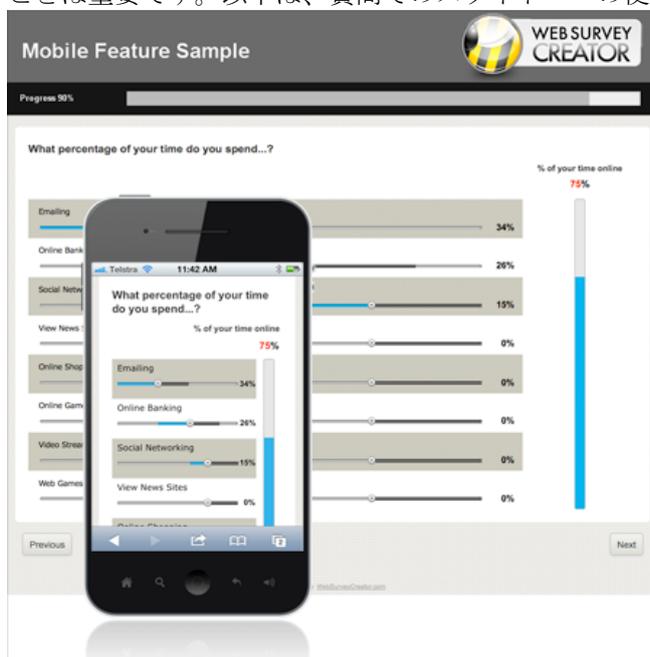
### 映像を使おう！

多くの市場調査は、広告などで商品を表現する手法と同様、映像を使用します。



### タッチ対応のスライダー

スライダーは、調査でより頻繁に使われるようになっていきます。モバイル端末でも同じ機能を持つことは重要です。以下は、質問でのスライダーの使用例です。



## ドラッグとドロップ

モバイルユーザーは、タッチスクリーン対応のスマートフォンを好みます。PCバージョンの調査質問に似たドラッグとドロップ機能が、モバイル端末でも利用可能でなければなりません。



## モバイルへの移行（スマートに無理なく）

モバイルおよびPC両方をサポートするウェブ調査を作成する場合、ウェブ調査設計ツールが、いくつかのルールに準拠する必要があります。

1. フラッシュを使った質問を使用しない。モバイルユーザーが除外されてしまいます。
2. モバイルとPC調査を別々のモジュールで設計するソフトウェアは避けませ—倍の作業が必要で、モバイルバージョンの制約により、互換性がない場合があります。
3. モバイル向けの簡易機能を持つ調査ソフトウェアは避けます。モバイルは重要なので、後回しにできません。
4. 基本的すぎるモバイル調査機能は避けませ—モバイルユーザーに対応できますが、作成すべき調査とはなりません。

## 調査例

本項でレビューする例は、Web Survey Creator で作成されています。前項でのモバイル調査の画像は、この例を使用しています。

完全な例は、WSC オンラインサンプルを参照してください。

<http://www.websurveycreator.com/c/survey-sample-3.aspx>

**WSC Sample: Mobile Survey Features**

This sample survey explains the features WSC provides to support the highest quality mobile survey experience in the industry.

**Start Survey**

Every survey created by Web Survey Creator is viewable and fully functional on a mobile device, so in that respect, there is nothing special about this sample. We have created this sample to make you more aware what we are doing behind the scenes to make the mobile experience so good. This survey works equally well on a desktop, tablet or mobile so feel free to use the device of your choice! That's actually the whole idea of course...

## WSC 調査をモバイル互換にする

調査はブラウザを認識します—それにより、実行中の端末の種類を認識します。Web Survey Creator は、この情報を調査の表示方法を決定するのに使用します。

---

WSC 調査がモバイル端末で作動するには何をすべきでしょうか

何もしません

---

Any survey created in Web Survey Creator で作成された調査はすべてモバイル端末でも作動します—システムの基本は、一度調査を設計したらどこでも使えるということです。



## 特定のプラットフォームをターゲット化する

Web Survey Creator は、モバイル端末での調査を自動的に対応しますが、携帯電話の回答者と PC（またはタブレット）での回答者に意図的に異なる対応をしたいかもしれません。

Web Survey Creator が回答者に調査を表示する場合、常に以下のどのタイプの端末が調査参照に使われるか決定します。

PC	Microsoft Windows またはMac OSXのようなPCのOS上で動くコンピュータ。伝統的に調査集計に使用されている機種もあります。
タブレット	中サイズ(7インチ以上)のタッチ画面を持つモバイル端末で、一般的に「タブレット」といわれる（例、iPad、Galaxy Tab）
携帯電話	比較的小さい画面（5インチ未満）を持つモバイル端末で、一般的に「スマートフォン」といわれる。

Web Survey Creator は、端末で動作するブラウザから端末のタイプを決定します。どの端末が使用されているか認識することで、異なる端末ごとに調査の対応を変える機会が開かれます。

### フロー制御による端末のターゲット化

モバイル調査例には、表紙ページは 1 ページではなく、3 ページあります。表紙ページは端末タイプごとに用意されます。



複数の表紙ページは必須ではありません—WSC は、ページを正確に 3 種類の端末にレンダリングします—調査設計者のために調査デザインには多少柔軟性があります。

使用される端末のタイプに基づき、異なるテキストが表示されます。

#### 1. PC

**Welcome to the Mobile Survey Demonstration!**

*OK, so you're not running this survey on a mobile phone or a tablet at the moment, are you?*

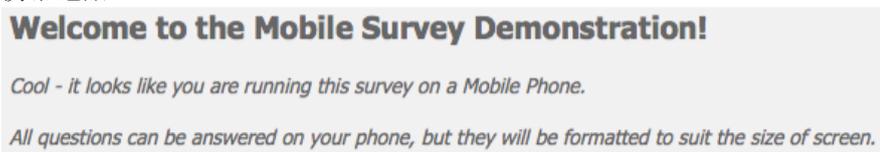
That's fine - this demonstrates exactly how surveys created in Web Survey Creator work. Three distinct types of device are supported automatically when a survey is rendered - PCs, Tablets and Mobile Phones.

#### 2. タブレット

**Welcome to the Mobile Survey Demonstration!**

*Cool - it looks like you are running this survey on a Tablet. It will work pretty much like a survey on a PC, except that the sizing will suit a tablet, and the touch interface is supported for all questions.*

### 3. 携帯電話



端末に基づきコンテンツを能動的に制限できます。調査例では、携帯電話向けの先頭ページは、短く、画像がありません。調査が3Gネットワーク経由で行われることを考慮しています。

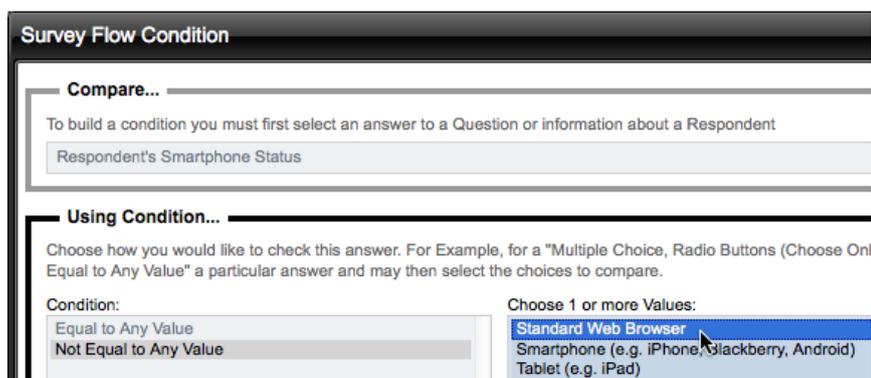
#### フロー制御を設定する

例の先頭ページを設定するには、以下を行います。

1. ターゲットとする端末ごとに3ページを作成しています



2. 先頭ページごとに、3つの調査フロールールを作成します。ルールは、調査を参照するのに使用する端末の種類をテストします。





---

# 混合モード調査

---

コンピュータを利用した電話インタビュー (CATI) は、ウェブベースの調査(CAWI)が台頭するかなり前から存在しています。ウェブ調査が急速に台頭するにつれ、将来のインタビューが CATI と CAWI の「混合モード」になることは明かです。

Web Survey Creator は、CATI のみの調査または混合モードの調査に使用される、CATI 機能を付加する CATI モジュールがあります。



# CATI によろこそ!

CATI 機能のある Web Survey Creator は、CATI に従事する企業が直面する主要課題を認識して開発されました。

- CATI を実行する熟成された技術の継続的な使用
- 高いソフトウェアライセンス料の支払いと、高コストなインフラの維持
- 柔軟性の欠如 - ソフトウェアは社内サーバーに接続するデスクトップ PC に縛られている

PC ソフトを実行するオフィスの PC で効率的に CATI 業務が行える時代は終わりました。Web Survey Creator は、最新のウェブ標準をサポートし、オフィスでも遠隔地でも、最新のブラウザで利用できます。短い通知で、チームの拡大、縮小が可能です。

ホスティングバージョンの Web Survey Creator はすべてに対応します - 管理職、チームリーダーおよびインタビュー担当者はウェブブラウザからログインするだけです。自社の CATI システムの管理業務から解放されたい中小企業に最適です。

大規模な組織は、インフラの管理が厳密で、Web Survey Creator を自社サーバーで管理したい場合、オンプレミス版を使用します。このバージョンには以下の特徴があります。

- 無制限の CATI インタビュー担当者、チームリーダーおよび管理職
- 無制限のインタビューおよびウェブ調査
- カスタムドメイン
- 専用サーバーおよびデータベース

どのように CATI 作業を行うかはあなた次第です

- CATI コールセンター内のオフィスで全作業を行う
- オフィスとオフサイトインタビュー担当者の組み合わせで作業を行う
- 完全な分散 - CATI 管理ツールは、事務所コストなしにビジネスを掌握できます

この項では、WSC CATI モジュールがどのように設定され、使用されるか見ていきます。(CATI のみ、または混合モード)

## CATI プロセスの設定 (基本)

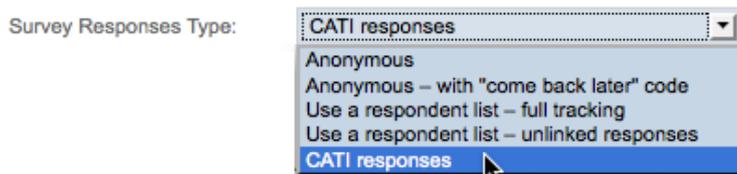
WSC の CATI プロセスは非常に簡単で、ウェブ調査を作成したことのあるユーザーにとってはなじみやすいです。CATI ジョブとウェブ調査ジョブの類似点と相違点を理解することは有益です。

類似点	相違点
同じ調査設計が使われる	CATI ジョブは、回答者が必要で、少なくとも電話番号が無ければならない
一般的なロジックとフローは同じフロー制御、データパイピング、スクリプティング等	調査開始前に紹介文を読まなければならない。これはウェブバージョンの調査にはありません。
クォータが設定されると、同じ方法で動作する	「インタビュー担当者」はログインして CATI モジュールにアクセスする特定ユーザーです

## 設定プロセスの概要

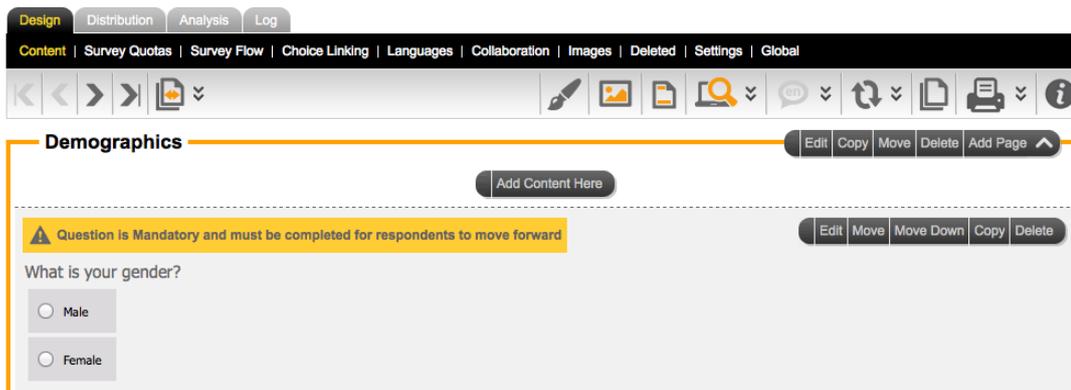
Web Survey Creator の CATI プロセス設定の主要手順は以下の通りです。

1. 新しい調査を作成し、調査回答タイプを「CATI Responses」に設定します



2. 新しい調査にコピーする、コールステイタス、Eメールテンプレート、タイムゾーンの各グローバル設定を選択します。

3. 調査コンテンツを作成します（このコンテンツは CATI と CAWI 調査両方に使用されます）



調査コンテンツを作成する時は、CATI 調査にとって重要な細部について考えましょう。

1. データのインポート先として考えている質問にコードを設定します（例えば、あなたが回答者の性別データを持っていたとします。性別確認の質問にコードが設定されていれば、インポートされた性別データはこの性別確認の質問に関連付けされることになります。）
2. 調査コンテンツ中に CATI タグ <catonly><catnever> を使って書き込みます。

- 調査クォータを設定します。CATI と CAWI はこれらのクォータを共有します。For CATI にとってクォータは非常に重要です。なぜならクォータに基づいて、電話コールが行われるからです (クォータに空きがあれば、クォータに適合しやすくなり、次にコールされる人として選ばれます)

**Choose Question 1 for Quota Generation**

Choose a Question to be included in Quotas for the Survey. Only Questions available for Quotas are displayed. After choosing a Question, select the Choices that will be tested for the Quotas and a Title for each Choice.

What is your gender?

Male Male  Female Female

**Choose Question 2 for Quota Generation**

Choose a Question to be included in Quotas for the Survey. Only Questions available for Quotas are displayed. After choosing a Question, select the Choices that will be tested for the Quotas and a Title for each Choice.

What age group do you fall into?

Under 18 Under 18  18 to 29 18 to 29  30 to 45 30 to 45  46 to 60 46 to 60  Over 60 Over 60

- 調査フローを設定します (終了ページのフローを含む)

**Flow Title**

Please enter a title to describe your Survey Flow

Survey Flow Title:

**Choose Which Pages to Hide**

Please select the Pages that you would like this flow to hide

- Demographics
- Too Old/Young**
- Healthy Eating
- Healthy Eating
- Worldburger

- CATI プロセスの一部である回答者のインポート

**Respondents**

Import Respondents from Text/File

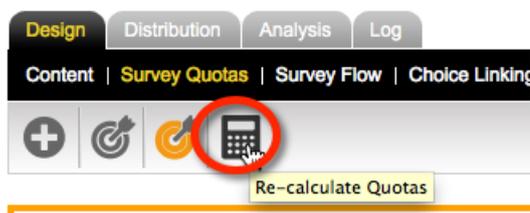
Import Respondents from another survey

Import Respondents from your Address books

- インポートの一部として、追加インポートの詳細とともに各回答者の回答ドラフトを作成することを確認します



- 追加インポート詳細が、クォータで使用されるデータを含む場合、事前に全回答者のクォータを計算できます。



これらの詳細が設定されると、この CATI プロジェクトは利用可能になります。正しい回答者データがあり、プロジェクトが正しく設定されると、クォータと回答者タグが回答者にひも付けされます。(備忘的に使用される調査に使用しないデータも) 例えば、回答者は以下の用に表示されます。

**Greed McGrew**

+61234945739  
Greed.McGrew@fakemail.com

AU-NSW (GMT+11)    Female, 46 to 60    PROFESSION White-Collar    INCOME \$100,000 and over

## CATI 回答者

CATI の設定の多くについては既にこのマニュアルで説明しましたが、CATI 調査はウェブ調査と全く同じように設定されます。特に調査設計、終了ページ、クォータおよび調査フローは、両方のタイプのデータ収集で、全く同じ方法で動作します。

回答者は多少異なります。回答者は CATI と CAWI 両方で使われます。ウェブ調査で既に知っていることと、多くの類似点があります。CATI で回答者のメリットをフルに享受するには、「ベストプラクティス」を参照する価値があります。

## 回答者データの種類

CATI プロジェクトで使用される回答者の主要データは以下のとおりです。

電話番号	単一の電話番号はCATIに必要な最小情報です。電話番号がなければコールできません。回答者システムは電話番号を2つまでサポートします。
氏名	誰か不明の連続した番号をコールする場合を除き、回答者の氏名を知ることが重要です。
Eメールアドレス	「混合モード」調査は一般的にEメールアドレスが必要です。回答者には調査完了のためのリンクがEメールで送信されます。

タイムゾーン	<p>すべての回答者がインタビュー担当者と同じタイムゾーンにいる場合必要ありません。他の場合、アポイント時間や時間に基づくルールが異なるロケーションの時差を管理する上で、タイムゾーンは非常に重要です。（コール可能時間など）タイムゾーンは以下のように、コードで入力されます。</p> <p>AU-NSW AU-QLD AU-WA</p>
言語	<p>通常、インタビュー担当者と回答者は同じ言語を話すので、言語は不要です。複数の言語が使用される場合、回答者の話す言語のコードを入力します。以下は言語コードの例です。</p> <p>en jp</p>
SMSID	<p>これはサンプルマネジメントIDです。外部システムで使うために回答者にIDを付与します。一般的には不要です。</p>
調査データ	<p>回答者に関して追跡したいデータは、回答者タグに保管されます。（調査質問には関係ない）。回答者タグは、以下のように、タグ名：内容のフォーマットです。</p> <p>クォータに関連するデータをインポートすることにより、現時点でのクォータ完了レベルに基づき、システムが効率的に最も関連性の高い回答者にコールできるようになります。回答者は CATI システムのクォータに基づき選別されます。</p>
回答者タグ	<p>回答者に関して追跡したいデータは、回答者タグに保管されます。（調査質問には関係ない）。回答者タグは、以下のように、タグ名：内容のフォーマットです。</p> <p>PROFESSION: White-Collar INCOME: \$30,000-\$49,999</p> <p>回答者はタグに基づき、選別され、タグは CATI システム内の回答者データに直接表示されます。</p> 

各回答者は E メールアドレス、電話番号、SMSID の内 1 つ以上の入力が求められます（全て空欄にはできません）

全ての回答者は、システム内で個別に識別できなければなりません。名前と E メールアドレス・電話番号・SMSID などの組み合わせによって、回答者を識別します。

電話番号以外で回答者を個別に識別できるデータがある限り、同じ電話番号が一度以上出現することは可能です。例えば、同じ電話番号の Joe Bloggs と Mary Bloggs のデータをインポートするような時です。

## 回答者データのインポート（例）

データを正しく設定している場合、WSCに回答者をインポートする手順は、非常に簡単です。データの例は以下のとおりです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	firstname	lastname	email	timezone	language	phone1	AGE	GENDER	PROFESSION	INCOME
2	Sunday	Kidman	<a href="mailto:Sunday.Kidman@fakemail.com">Sunday.Kidman@fakemail.com</a>	AU-NSW	en	+61234981463	4	2	White-Collar	\$100,000 and over
3	Free	Hershey	<a href="mailto:Free.Hershey@fakemail.com">Free.Hershey@fakemail.com</a>	AU-NSW	en	+61234998617	1	1	White-Collar	\$100,000 and over
4	Greed	McGrew	<a href="mailto:Greed.McGrew@fakemail.com">Greed.McGrew@fakemail.com</a>	AU-NSW	en	+61234922591	4	2	White-Collar	\$100,000 and over
5	Moxie	Jillette	<a href="mailto:Moxie.Jillette@fakemail.com">Moxie.Jillette@fakemail.com</a>	AU-QLD	en	+61754913237	4	2	White-Collar	\$100,000 and over
6	Sparrow	Madden	<a href="mailto:Sparrow.Madden@fakemail.com">Sparrow.Madden@fakemail.com</a>	AU-WA	en	+61842350431	1	2	White-Collar	\$100,000 and over
7	Leper	Priest	<a href="mailto:Leper.Priest@fakemail.com">Leper.Priest@fakemail.com</a>	AU-WA	en	+61842350339	4	1	White-Collar	\$100,000 and over
8	Mustard M.	Mustard	<a href="mailto:Mustard.M.Mustard@fakemail.com">Mustard.M.Mustard@fakemail.com</a>	AU-WA	en	+61865060966	4	1	White-Collar	\$100,000 and over
9	Seraphina	Affleck	<a href="mailto:Seraphina.Affleck@fakemail.com">Seraphina.Affleck@fakemail.com</a>	AU-NSW	en	+61285588714	5	2	White-Collar	\$30,000-\$49,999
10	Apple	Paltrow	<a href="mailto:Apple.Paltrow@fakemail.com">Apple.Paltrow@fakemail.com</a>	AU-NSW	en	+61285519818	3	2	White-Collar	\$30,000-\$49,999
11	Destry	Spielberg	<a href="mailto:Destry.Spielberg@fakemail.com">Destry.Spielberg@fakemail.com</a>	AU-NSW	en	+61234930510	1	2	White-Collar	\$30,000-\$49,999
12	Audio	Sossamon	<a href="mailto:Audio.Sossamon@fakemail.com">Audio.Sossamon@fakemail.com</a>	AU-NSW	en	+61282978312	3	2	White-Collar	\$30,000-\$49,999

## 有効な見出しラベルを使う

このスプレッドシートには一行目に有効な見出しラベルがあります。1行目は見出しでなければなりません。—インポートはこの見出しを、どのデータをインポートするか決定するために使用します。

	A	B	C	D
1	firstname	lastname	email	timezone
2	Sunday	Kidman	<a href="mailto:Sunday.Kidman@fakemail.com">Sunday.Kidman@fakemail.com</a>	AU-NSW
3	Free	Hershey	<a href="mailto:Free.Hershey@fakemail.com">Free.Hershey@fakemail.com</a>	AU-NSW

列は、適切にラベル付けされ、Eメールまたは電話番号1が含まれていれば、どのような順番でも設定できます。（CATIプロジェクトには、電話番号1は必須です）有効な標準ラベルは以下のとおりです。

- Email
- firstname
- lastname
- language
- phone1
- phone2
- timezone
- smsid

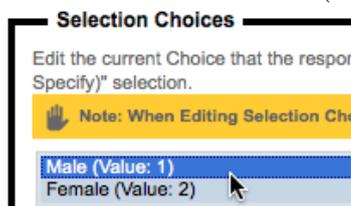
これらの標準ラベルに加え、調査データおよび回答者タグ用に、追加ラベルが追加されます。

調査データの追加は以下の通りです。

1. 質問アクセスコードとともに、調査質問を設定します。

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]:

2. 質問が選択質問の場合、値(Value)がひも付けされているか確認します。



- インポートファイルでは、列見出しのためのアクセスコードを使用し、列のデータを配置します。

G	H	I
	GENDER	PROFESSION
4	2	White-Collar
1	1	White-Collar
4	2	White-Collar
4	2	White-Collar

回答者タグの追加は以下のとおりです。

- インポートファイルではアクセスコードとは異なる見出しを使用します。これが回答者タグコードとなります。

	I	IN
	PROFESSION	
2	White-Collar	\$1
1	White-Collar	\$1

- 列にタグの内容を表す名前を入力します—全データはテキストデータとして入力されることに注意してください。

	I	IN
	PROFESSION	
2	White-Collar	\$
1	White-Collar	\$
2	Blue-Collar	\$
1	Blue-Collar	\$

## インポートデータを準備する

データは以下2つの内1つの形でインポートできます。

- カンマで区切られたテキスト（回答者詳細をテキストで持っているような時に便利です。）
- Excelファイル（回答者リストは大抵 Excel になっており、これが一番ありふれた形です。）

## テキストファイルから回答者をインポートする

以下はインポートされるテキストファイルの例です。

```

firstname,lastname,email,timezone,language,phone1,AGE,GENDER,PROFESSION,INCOME
Sunday,Kidman,Sunday.Kidman@fakemail.com,AU-NSW,en,+61234949503,4,2,White-Collar,"$100,000 and over"
Free,Hershey,Free.Hershey@fakemail.com,AU-NSW,en,+61234913444,1,1,White-Collar,"$100,000 and over"

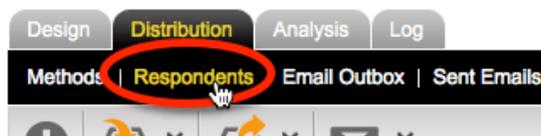
```

### **重要**

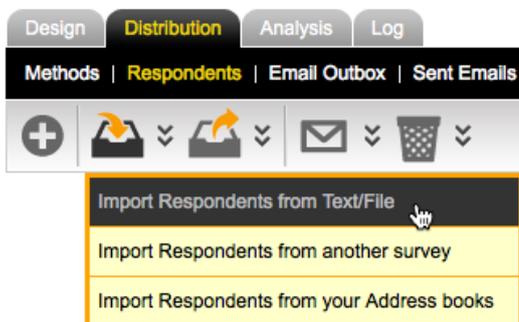
インポートするデータにカンマが含まれるような場合（100,000 以上といったような）、正しくデータをインポートするため、データはクォーテーションで囲まれている必要があります。例：“100,000 以上”

テキストファイルから回答者を Web Survey Creator にインポートするには、

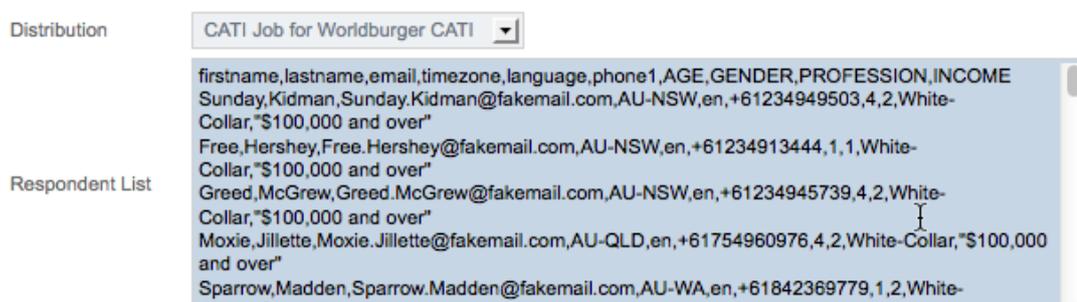
1. Distribution タブから Respondents 選びます



2. 回答者インポートツールバーから、「テキスト/ファイルからの回答者のインポート」を選びます。



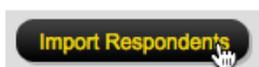
3. テキストデータを貼り付けます



4. 回答チェックボックスをチェックしてください（調査データが作成されます）



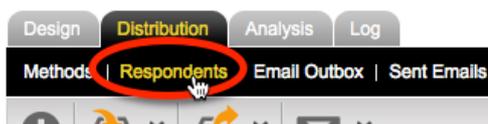
5. 「回答者インポート」ボタンを押して、回答者をインポートします。



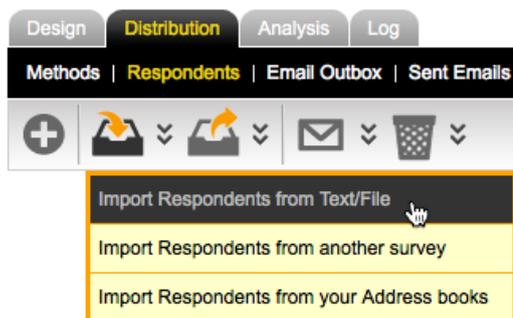
## Excel ファイルから回答者をインポートする

Excel ファイルから回答者を Web Survey Creator にインポートするには、

1. Distribution タブから Respondents 選びます



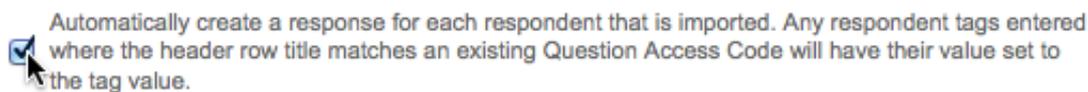
2. 回答者インポートツールバーから、「テキスト/ファイルからの回答者のインポート」を選びます。



3. Excel ファイルをアップロードコントロールへドラッグ&ドロップします。



4. 回答作成チェックボックスのチェックを確認して下さい。（調査データがビルドされます）



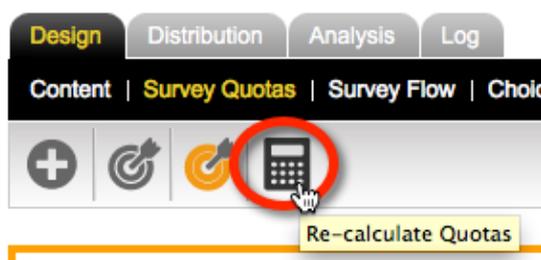
5. 「回答者インポート」ボタンを押して、回答者をインポートします。



## クオータを計算する

調査データがインポートされ、そのデータがクオータで使用される場合、クオータは再計算し、更新される必要があります。

1. Survey Quotas の下の Recalculate Quotas ツールバーボタンを選択します。



2. Toggle Selection をクリックして、全クオータを選択します

**Quota Regeneration**

Quota regeneration should be used with caution, as it could adju

1. You have added a new quota; or
2. You have edited the rules for an existing quota

Ensure you only choose quotas that have been added or edited

**Toggle Selection**

- Male, 18 to 29 [MALE18TO29, Quota: 10]
- Male, 30 to 45 [MALE30TO45, Quota: 10]
- Male, 46 to 60 [MALE46TO60, Quota: 2]
- Female, 18 to 29 [FEMALE18TO29, Quota: 10]
- Female, 30 to 45 [FEMALE30TO45, Quota: 10]
- Female, 46 to 60 [FEMALE46TO60, Quota: 2]

3. Re-calculate Quotas button ボタンをクリックして、クオータを再計算します



4. 再計算後「ドラフト」回答がクオータの下に表示され、クオータ計算結果がどうなったか、分かります。以下の例では、18～29歳でコール可能な女性が4人と表示されます。

Design | Distribution | Analysis | Log

Content | **Survey Quotas** | Survey Flow | Choice Linking | Languages | Collaboration | Images | Deleted | Settings | Global

Quota Title	Code	Limit	In Quota	Remaining	Quota Fails	Screened	<b>Draft</b>	Total Responses
Female, 18 to 29	FEMALE18TO29	10	-	10	-	-	4	-
Female, 30 to 45	FEMALE30TO45	10	-	10	-	-	4	-
Female, 46 to 60	FEMALE46TO60	2	1	1	-	-	12	1
Male, 18 to 29	MALE18TO29	10	-	10	-	-	4	-
Male, 30 to 45	MALE30TO45	10	-	10	-	-	10	-
Male, 46 to 60	MALE46TO60	2	1	1	-	-	7	1

5. 新たに CATI ジョブが設定された時に、CATI 調査に必要な回答者総数が決められ、CATI モジュール内のクオータ統計に表示されます。

Home | **Contacts** | Quotas

Quota Title	Limit	In Quota	Remaining
<b>Total</b>	<b>50</b>	<b>17</b>	<b>33</b>

調査作成後この数字を変更したい場合（クオータ設定・変更後など）は、CATI 分布を直接編集して、Close Response Count に入力する必要があります。これはクオータ設定の際必須となるようなステップではありませんが、その時々で変更が必要になります。

**When will this distribution be allowed to accept responses?**

You can choose when this distribution will accept responses and when it will stop accepting response. You can also enter a message respondents will see when the survey is not accepting responses.

Does Not Accept Responses
  Accepts Responses Immediately
  Accepts Responses for

---

Allow Responses already started but not yet completed to be completed even if not accepting responses

---

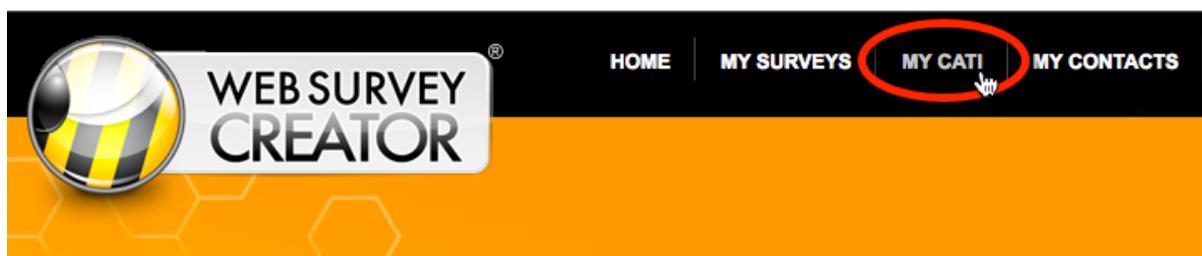
Should close on a specific Date and Time  
 Should close when a Response Count is reached

---

Closed Response Count:

## システム全体レベルでの CATI 設定の変更

Web Survey Creator の CATI システムは、基本設定に関して心配せずに、すぐに使用できます。しかしながら、必要であれば、CATI のためにシステム全体レベルで変更できる設定は、いくつかあります。すべての変更はトップメニューの **MY CATI** から、CATI 管理者により行われます。（CATI 管理者のみに表示）



## CATI ユーザーを設定する

Web Survey Creator には 2 つの異なるユーザーアクセスのタイプがあります。

<p>コンテンツデザイナー およびマネージャー</p>	<p>メインの Web Survey Creator アプリケーションにアクセスする人は、このカテゴリーに分類されます。これはシステム内の CATI 関連のアクセス以外のすべてのアクセスが該当します。コンテンツデザイナーの主要業務は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 調査コンテンツを作成する</li> <li>• 調査ルールを設定する（フロー、データパイピング等）</li> <li>• ディストリビューションを作成する</li> <li>• 回答者リストを作成する</li> <li>• ウェブ調査を送信する</li> </ul>
<p>CATI 管理者およびインタビュー担当者</p>	<p>CATI 業務に関わる人はこのカテゴリーに分類されます。主要業務を以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MY CATI メニューを使う CATI 設定管理</li> <li>• ウェブ版 CATI アプリケーションへのアクセス</li> <li>• ウェブ版 CATI アプリケーションを使うインタビュー</li> <li>• ウェブ版 CATI アプリケーションでのインタビュー担当者管理</li> </ul>

この2つのカテゴリの個別の正確なアクセスは、そのユーザーレコード内で設定されます。ユーザーレコードの作成および編集は、**MY CATI** メニューの **User Management** タブから実行します。

Last Name	First Name	Email	Account User Role	CATI Access	Last Login	Locked Out
Cole	Julian	julian.cole@dipolar.com.au	System Administrator	Administrator	19-Feb-2013 04:58 PM	<input type="checkbox"/>
Beeston	Daniel	daniel.beeston@dipolar.com.au	Manager	Administrator	20-Feb-2013 08:39 AM	<input type="checkbox"/>
Lim	Bun Rathana	bun.rathana.lim@dipolar.com.au	Manager	Administrator	29-Nov-2012 02:09 PM	<input type="checkbox"/>

## ユーザーを追加する

ユーザーを追加するには、**New User** toolbar ツールバーボタンをクリックします。

入力するユーザー詳細は以下の通りです。

氏名および E メール	識別するための基本ユーザー情報。ユーザーのログインに使われる E メールアドレス。
ユーザー権限	WSC アプリケーション（調査設計向け）(for survey design etc.) および ウェブ版 CATI アプリケーション（インタビュー向け）へのアクセスレベルを定義します。
タイムゾーン	CATI を使用する場合、ユーザーのタイムゾーンを知ることは重要です。コールバックのアポイント時間は、ユーザーおよび回答者両方のタイムゾーンを考慮して、決められなければならないからです。

ユーザー追加 ウィンドウは以下のように表示されます。

**Account User Details**

New Users will automatically be sent a welcome email with their login and password details. Existing users will be sent an email if you change their login email address advising them of their new one.

First Names:

Last Name:

Login Email Address:  @

Please contact [WebSurveyCreator Support](#) if you need additional email domains added to your account.

---

Account User Role:  AND

There are three levels of user that can be set up within a department/agency account.

- A single "Administrator" who can add other users, run surveys, and is the billing contact
- Multiple numbers of "Managers" who can add other users, and run surveys
- Multiple numbers of "Editors" who can run surveys

**Time Zone Details**

Country:

**Save Account User**

ユーザー権限に使用可能なレベルは以下の通りです。

コンテンツ	CATI Role
<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;Choose Account User Role...&gt;</li> <li><b>System Administrator</b></li> <li>Manager (can edit surveys and manage users)</li> <li>Editor (can edit surveys)</li> <li>No Survey Access</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Has No CATI Access</li> <li><b>Has Administrator Access to CATI</b></li> <li>Is CATI Team Leader</li> <li>Is Senior CATI Interviewer</li> <li>Is CATI Interviewer</li> </ul>

個別のユーザーごとに権限の組み合わせが選択できます。設定できるレベルは以下の通りです。

<b>For an Administrator</b>	<b>System Administrator and Has Administrator Access to CATI</b>
<b>For a CATI Interviewer</b>	<b>No Survey Access and Is CATI Interviewer</b>
<b>For a Web Survey Designer</b>	<b>Editor and Has No CATI Access</b>

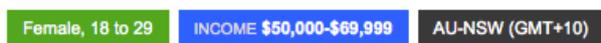
### CATI インタビュー担当者と上級 CATI インタビュアーの違いは何か？

ほとんどのアクセス権限は自明です。システム管理者をシステム利用者から分けますが、この2つレベルの違いはそれほど明白ではありません。CATI インタビュアーはCATIでは、最も低い権限が与えられます。これらの人々は個別のCATIジョブで、次にコールする相手をリクエストできるだけです。

上級インタビュアーはより多くの柔軟性を与えられます。単なる次のコンタクト先に加え、コンタクト先候補者一覧を参照でき、リストからコールする人を選べます。

## ユーザーフィルターの設定

CATI モジュールのフィルタリング機能はとても強力です。インタビュワーが「次のコンタクト」ボタンを押した時に、コンタクトタブの下に表示されるコンタクトをコントロールでき、回答者に付けられたタグ、クォータ、タイムゾーンによってフィルターをかけることが可能です。図は一例です。

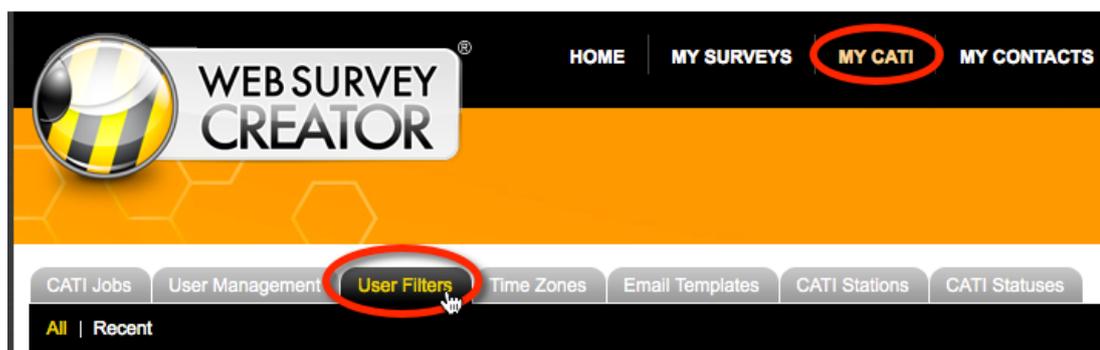


以下は、フィルターについてよく聞かれる質問です。

1. フィルターを使って、インタビュワーに割り当てられるコール対象者をコントロールできるか？（例：18歳から29歳の女性にコールしなければならないようにする）
2. ベーシックインタビュワーはフィルタリング機能を使用できないが、ベーシックインタビュワーが制限付きでフィルターを使用できるようにすることは可能か？
3. あるジョブについて、インタビュワーが見ることのできるフィルターを簡単にカスタマイズする方法はあるか？

上記質問への答えは、全てWSCのユーザーフィルターシステムを使用することで見つかります。本システムは、各インタビュワーにジョブごとのフィルターアクセスを設定することが可能です。ユーザーフィルターの設定は以下の手順で行います。

1. MY CATI からユーザーフィルタータブを選びます。



2. 「新しいCATIフィルター」ツールバーボタンをクリックします。



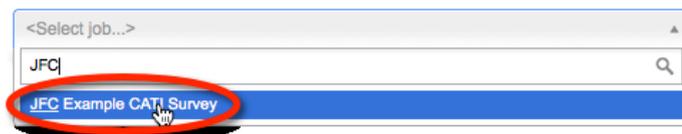
3. フィルターを設定するインタビュワーを選びます。

### Select Interviewers

- Richard Harris
- Julian Cole
- Daniel Beeston

4. フィルターを設定する CATI ジョブを選びます。

#### Select Job



5. フィルターのルールセットを決定します。

#### Filter Rules

##### Quotas:

Female, 18 to 29  
 Female, 30 to 45  
 Female, 46 to 59  
 Male, 18 to 29  
 Male, 30 to 45  
 Male, 46 to 59

Default Behaviour	Selectable	Mandatory	Hidden
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

##### Respondent Tags:

INCOME : \$100,000 AND OVER  
 INCOME : \$30,000-\$49,999  
 INCOME : \$50,000-\$69,999  
 INCOME : \$70,000-\$99,999  
 INCOME : UNDER \$30,000  
 PROFESSION : BLUE-COLLAR  
 PROFESSION : WHITE-COLLAR

Default Behaviour	Selectable	Mandatory	Hidden
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

##### Time Zones:

AU-NSW (GMT+10)  
 AU-QLD (GMT+10)  
 AU-WA (GMT+8)

Default Behaviour	Selectable	Mandatory	Hidden
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

6. 「フィルターを保存」 ボタンをクリックします。



## フィルタールール設定

フィルタールールを設定する際、個々のフィルターがどう作用するのか以下から選択します。

標準	ユーザーのアクセスレベルに応じたフィルター機能を提供するオプションです。CATI インタビュワーにはこのオプションを設定されたフィルター機能は使えません（CATI インタビュワーはフィルター機能へのアクセス権がありません）。シニア CATI インタビュワー以上のユーザーはフィルターを原則として見ること（選択可能）ができます。
選択可能	このフィルターはフィルターウィンドウから使用可能です。CATI インタビュワー以上のアクセス権を持つユーザーは原則としてフィルターを選択できるので、これは実際のところ CATI インタビュワー向けのオプションです。
必須	このフィルターエレメントはどのフィルターにも適用され得ます。必須フィルターは、カギのシンボルが付いた状態で CATI フィルターバーに表示されます。 
隠蔽	このフィルターは隠されていて、使用できません。

## タイムゾーンルールを設定する

タイムゾーンはCATIシステムの重要な要素です。インタビュアーと回答者のタイムゾーンがロケーションによって異なる場合があるからです。

「2時に電話してください」というメッセージは「私のタイムゾーンの2時に電話してください」を意味します。例えば、実際には、インタビュアーは4時に電話する必要があります。

時差を考慮しそこなうと、いくつかの問題となります。

- アポイント時間を間違えてしまう
- 常識的な時間外に電話してしまう（インタビュアーには午前9時でも、回答者には午前6時かもしれません）
- 回答者を逃してしまふ（例えば、回答者の業務時間外に電話をかけてしまう場合）

### 電話するのに適切な時間はいつか？

午前2時に電話をかけてはいけないのは、常識です。CATIでは、**Time Zones** タブを使って、正確にルールが、数値化される必要があります。

Time Zone	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Start Time	Stop Time	
<a href="#">Applies To All Time Zones</a>	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	09:00 AM	12:00 PM	<input type="checkbox"/>
<a href="#">Applies To All Time Zones</a>	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	No	01:00 PM	05:00 PM	<input type="checkbox"/>

デフォルトのグローバルタイムゾーンルールがあります。

Time Zone	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Start Time	Stop Time
<a href="#">Applies To All Time Zones</a>	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	09:00 AM	12:00 PM
<a href="#">Applies To All Time Zones</a>	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	No	01:00 PM	05:00 PM

このルールでは、

1. 月曜日から金曜日の、午前9時から12時、午後1時から5時に電話できる
2. 土曜日の、午後1時から5時に電話できる

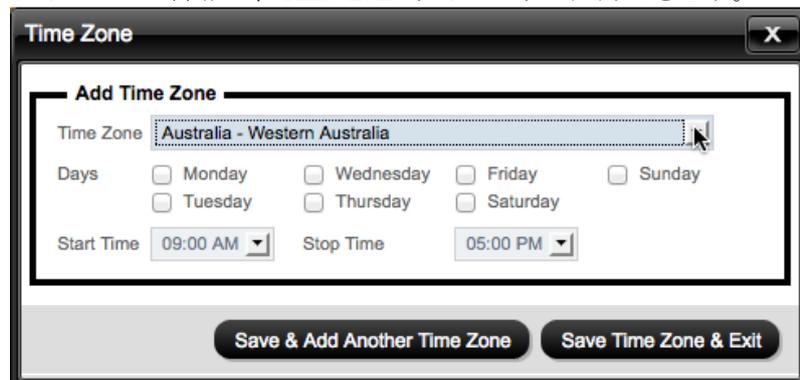
全てのタイムゾーンに適用されるので、全ての人に適用されるということです。ルールは回答者の現在のロケーションのタイムゾーンを考慮して適用されます。

## タイムゾーンに特定のルールを設定する

特定のタイムゾーンを設定するには、**Add Time Zone** toolbar button ツールバーボタンをクリックします。



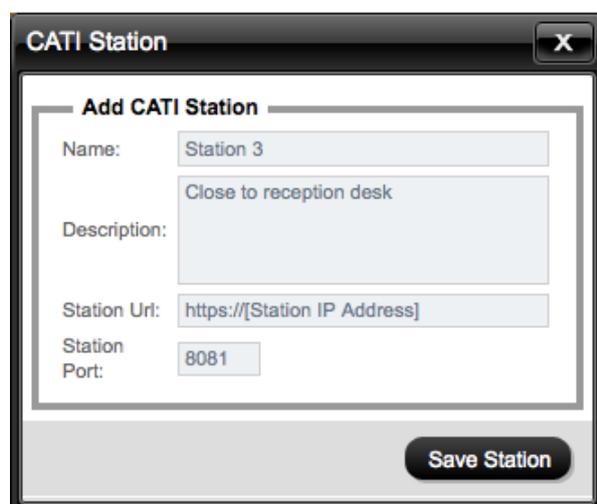
タイムゾーン詳細は、**Time Zone** ウィンドウに入力できます。



特定のタイムゾーンに詳細を追加すると、デフォルトの詳細が変更されることに注意してください。デフォルト設定は無視され、タイムゾーンルールだけ考慮されます。

## CATI ステーションを設定する

コールセンターで使用される CATI ワークステーションは、**CATI Stations** タブから設定する必要があります。



ステーションの **URL** とポート番号は、スーパーバイザーによる画面参照のためにワークステーションを識別するために使用されます。インタビュワー画面閲覧設定の際、各 CATI ステーションに何を入力するのかについて、次のセクションをご覧ください。

## CATI ステータスの設定

CATI ステータスを使用すると、ユーザーが選ぶ作業手順で稼働するよう、CATI システムを設定できます。CATI システムは、あらかじめ用意された CATI ステータスを使用して、ある回答者に起こる全ての事を記録します。CATI ステータスは、以下の 2 つの内どちらか一方の形で回答者の電話ログに付け足されます。

1. システムステータスは、システムによって、適切なタイミングで自動的に追加されます（例として「Opened」ステータスは、インタビュワーが電話を掛けるために対象の回答者情報を開くたびに、追加されます）。
2. インタビュワーは、回答者への自分の働きかけを示すステータスを、電話ログに追加できます。例えば、応答がない場合、「No Answer」ステータスをこの回答者とのログに追加できます

### システムステータス

システムステータスの変更や削除はできません。システムステータスは、CATI の作業プロセスの自動化された部分の管理のために、システムに使用されます。各々のシステムステータスの詳細と、どのタイミングで使用されるのかをまとめたのが下の表になります。

<b>OPENED</b>	<p>インタビュワーによって回答者の情報がスクリーンに表示されるたび、「OPENED」ステータスがこの回答者のログに追加されます。</p> <p>このステータスにより、ある特定の回答者の情報をどのインタビュワーがいつ開いたのか確認できます。</p>
<b>CONTACTUPDATED</b>	<p>インタビュワーがある回答者の詳細情報について更新する場合、更新の履歴は「Contact Updated」フラグにより追跡できます。</p>
<b>SKIPPED</b>	<p>時々インタビュワーは「次のコンタクト」ボタンを押して、表示中の回答者をスキップしようとするかも知れません。</p> <p>回答者のスキップは可能ですが、インタビュワーが回答者をスキップしたという事実は、スキップされた回答者のログに記録されます。初期設定では、「SKIPPED」された回答者はスキップされてから 1 時間はスキップしたインタビュワーのコールリストに現れません（他のインタビュワーのリストには表示されます）</p>
<b>NOTATTEMPTED</b>	<p>インタビュワーがある回答者の情報を開いて、すぐ閉じたような場合、閉じられた回答者は「Not Attempted」として記録されます。この回答者はコールリストに残ったままになるので、スキップとは違う処理になります。例えば、インタビュワーがトイレ休憩を取りたいときなどに使用するとよいでしょう。</p>
<b>LINKCLICKED</b>	<p>調査に関する E メールを回答者が受け取って、文中のリンクをクリックすると、この回答者のログに「Link Clicked」ステータスが記録されます。これにより、この回答者が調査を開始したかどうかの確認が容易なものになります。</p>
<b>SURVEYSTARTED</b>	<p>回答者がインターネット上の調査を開始すると（インタビュワーにより送信された E メールか、別の招待により）、「Survey Started」のステータスがこの回答者のログに記録されます。</p>

<b>CONTACTLIMITREACHED</b>	<p>もうコールするべきでない回答者のログに記録されるステータスです。このステータスが記録される場合は以下の二通りになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他のステータスが記録数限界に達した場合。（例えば、「No Answers」ステータスが3回記録された場合等）</li> <li>2. その回答者が接触回数限界に達した場合。（ログに記録されたステータスに関わらず、ある回答者がインタビュワーによる接触回数限界に達した場合等）</li> </ol> <p>これら限界数の設定の方法については、これ以降のセクションをご参照下さい。</p>
<b>QUOTAOUT</b>	<p>回答者がある調査を完了したが、この調査に関するクォータを超過しているような場合、こうした回答者はクォータ除外として記録されます。</p>
<b>SCREENOUT</b>	<p>回答者が調査を完了したが、完了した調査に適合した回答者ではなかった場合、条件非該当として記録されます。</p>
<b>COMPLETE</b>	<p>回答者が問題なくオンラインの調査を完了した場合、「Complete」として記録されます。</p>

## カスタムステータスの種類

以上のステータス以外のステータスも、ユーザーの CATI での作業手順に合わせて自由に設定することができます。これら自由設定のステータスは、以下の種類に分類されます。

<b>Incomplete</b>	<p>完了できなかったコール関連のステータスは、全てこの種類に分類されます。（例として「No Answer」等）</p>
<b>Hard Refusal</b>	<p>回答者が調査参加を望まないことを明らかにした場合、「Hard Refusal」に分類されます。例えば、回答者が「私は調査に参加したくありません。もう電話してこないで下さい」と話した場合等です。この種類に分類されるステータスが記録された回答者は、コールリストから削除されます。</p>
<b>Soft Refusal</b>	<p>「Soft Refusal」は「Hard Refusal」より断固とした調子ではない拒否です。例えば、「ちょっと今は気がすすみません」といった感じです。この種類に分類されるステータスは、回答者へのコールバックを遅らせます。遅れの程度は、個々のステータスに設定された遅れに準じます。</p>
<b>Appointment</b>	<p>回答者への電話を後回しにするために、アポイントメントを設定することが可能です。「Appointment」に分類されるステータスは、このアポイントメントを設定することができます。</p>
<b>Email</b>	<p>「Email」に分類されるステータスによって、インタビュワーは、回答者へ送信される Eメールテンプレート全種類の選択が可能になります。</p>
<b>Supervisor</b>	<p>「Supervisor」に分類されるステータスは、スーパーバイザーのヘルプが必要なコールとして記録されます。スーパーバイザーにとっては、こうしたコールを見つけ出すことが簡単になります。</p>
<b>Final</b>	<p>「Final」ステータスは、このステータスが記録された回答者情報の利用を停止させます。このステータスが記録された回答者はコールリストから除外されます。</p>

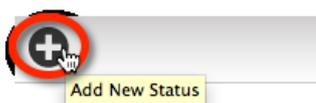
## カスタムステータスの設定

以下の手順でカスタムステータスを設定します。

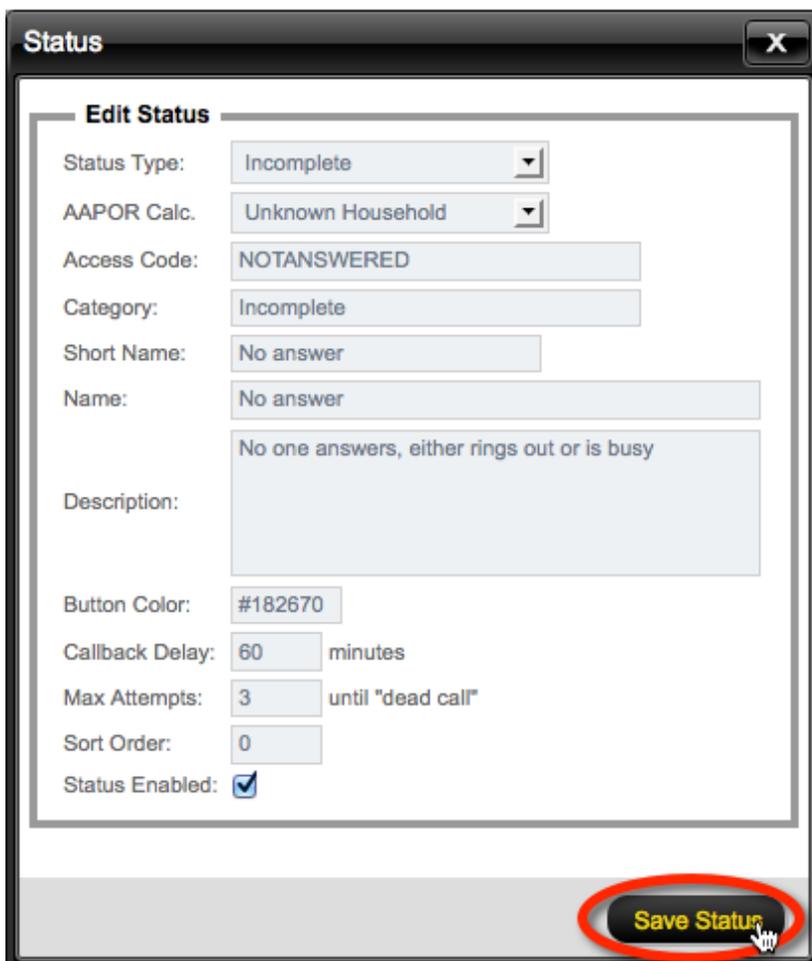
1. My CATI から CATI ステータスタブをクリックします。



2. 新規ステータス追加をクリックします。



3. ステータスの詳細を入力後、ステータス保存ボタンを押します。ステータス詳細に入力できる説明について、次ページの表にまとめられています。

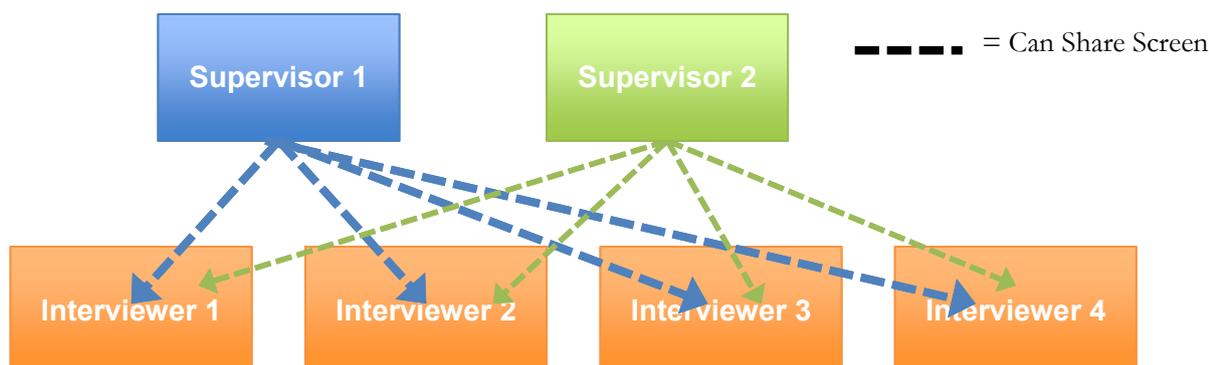


カスタムステータスを設定する上で最も重要なことは、ステータスの詳細中の各種の設定が何を意味するのか理解することです。

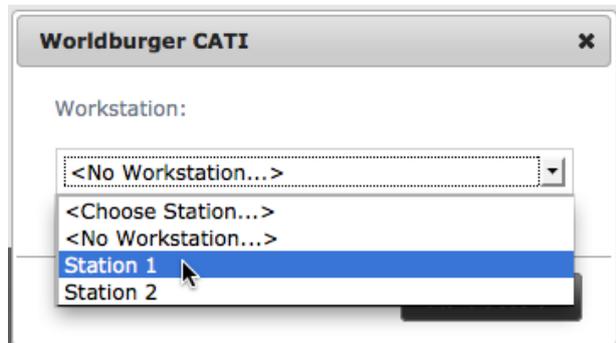
<b>Status Type</b>	ステータスのタイプは、そのステータスが回答者にどんな影響を及ぼすのかを定義します。例えば、ステータスのタイプが「Final」だった場合、このステータスが記録された回答者は、コール予定者のグループから除外されます。
<b>AAPOR Calc.</b>	ステータスが正しい計算カテゴリーに分類されていると、アウトカムレートが AAPOR 発表の公式に準じて計算されますより詳しい情報については以下をご覧ください。 <a href="http://www.aapor.org/Response_Rates_An_Overview1.htm">http://www.aapor.org/Response_Rates_An_Overview1.htm</a>
<b>Access Code</b>	このコードは、ステータスに対応して、ログ中に表示されます。
<b>Category</b>	ユーザーはステータスを自由に分類でき、フィルターとして使うことができます。
<b>Short Name</b>	ステータスの略称になります。スペースが足りない場所に表示する際使用されます。
<b>Name</b>	ステータスの正式名称です。
<b>Description</b>	ステータス閲覧の際表示されます。そのステータスがどのような種類のものなのか説明します。
<b>Button Color</b>	コールログ中にステータスが表示される際、識別のために各ステータスには固有の色を指定できます。例えば、全ての Final ステータスは、これ以降このステータスが記録された回答者へのコール停止を示すために、赤で表示するよう指定すると良いかもしれません。
<b>Callback Delay</b>	この欄へ任意の正の数を入力することにより、その数の分間だけ、このステータスが記録された回答者を、回答者リストから除外することができます。例えば、回答者へコールしたが応答が無かった場合に、60 分間の除外をこの回答者に設定するといったものです。次にこの回答者がコール先として表示されるのは、「No answer」のステータスが記録されてから少なくとも 60 分が経過した後になります。
<b>Max Attempts</b>	0 以外の数がこの欄に入力されると、その数は、このステータスが同一回答者に記録できる最大の回数になります。あるステータスがこの数字の回数だけ特定の回答者に記録されると、直ちに「CONTACTLIMITREACHED」のステータスが記録されます（このステータスが記録された回答者は永久的に回答者リストから除外されます）。「No Answer」のこの値を 3 に設定したような場合を例にとります。このことは、もしある回答者が 3 回コールされたが全て無応答だったような時、3 度目の「No Answer」の記録後すぐに、この回答者のステータスが「CONTACTLIMITREACHED」へ変更されることを意味しています。
<b>Sort Order</b>	ステータスをリストで一覧した際、このステータスが他のステータスとの関係上、どの順番で表示されるかに影響を与える数値です。任意に入力できます。

# インタビュースクリーンの設定

SVは、個々のインタビュアーの実績について把握できていなければなりません。そこでカギとなるのは、インタビュアーのスクリーンをモニターする機能です。この機能は以下のように運用されることが必要となります。



スクリーン共有は、ワークステーション (WS) のスクリーンを見ることと関係があります。インタビュアーのスクリーンを見るためには、SVは、このインタビュアーがどのWSを使っているのか知っている必要があります。これが、インタビュアーがCATIによる作業を開始する際、いつもどのWSを選ぶのか尋ねられる理由です。



このことはWSの設定の必要があることを意味します。次のセクションはその詳細について説明しています。

## ワークステーションへのスクリーンビューワーのインストール

スクリーンビューを使用するには、個々のWSの設定が必要です。本ソフトウェアは、UltraVNCスクリーン共有ツールをサポートしています。無料で、お客様がお望みの台数のWSにインストールできます。

UltraVNCはフリーウェアですが、スクリーン共有に必要な全てを提供できます。Windows PCにのみインストール可能なことにご注意下さい。

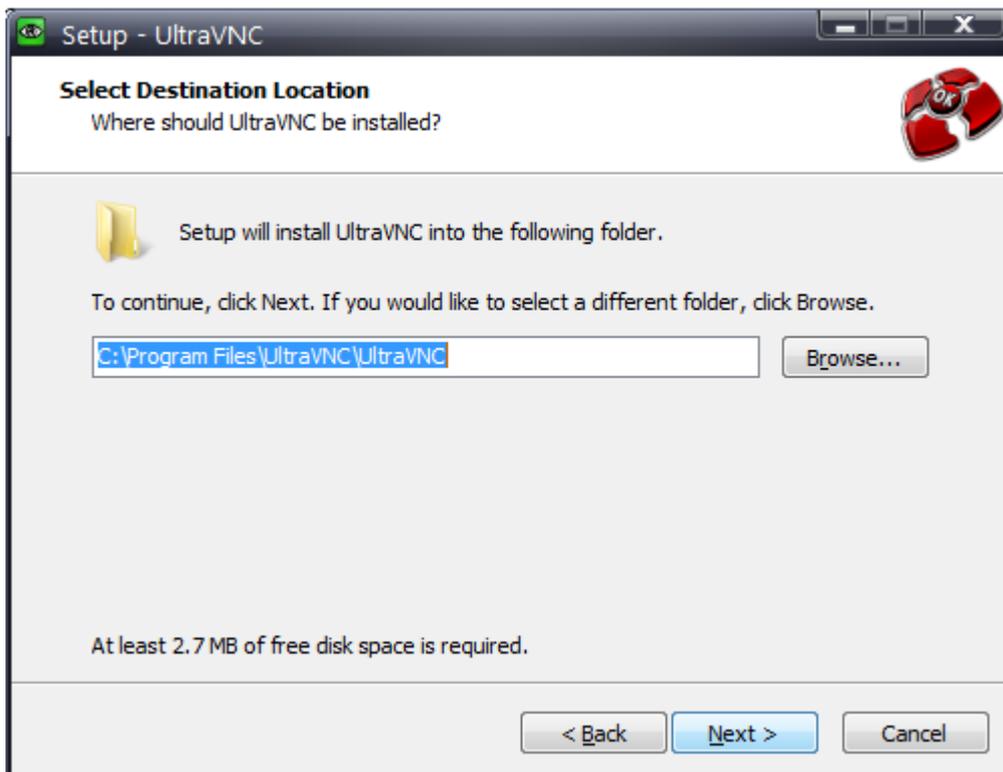
ワークステーションの設定は以下の通りです。

1. VNCインストーラーを起動します。インストーラーは2種類ありますので、お使いのワークステーションに適合したインストーラーかどうかご注意ください。

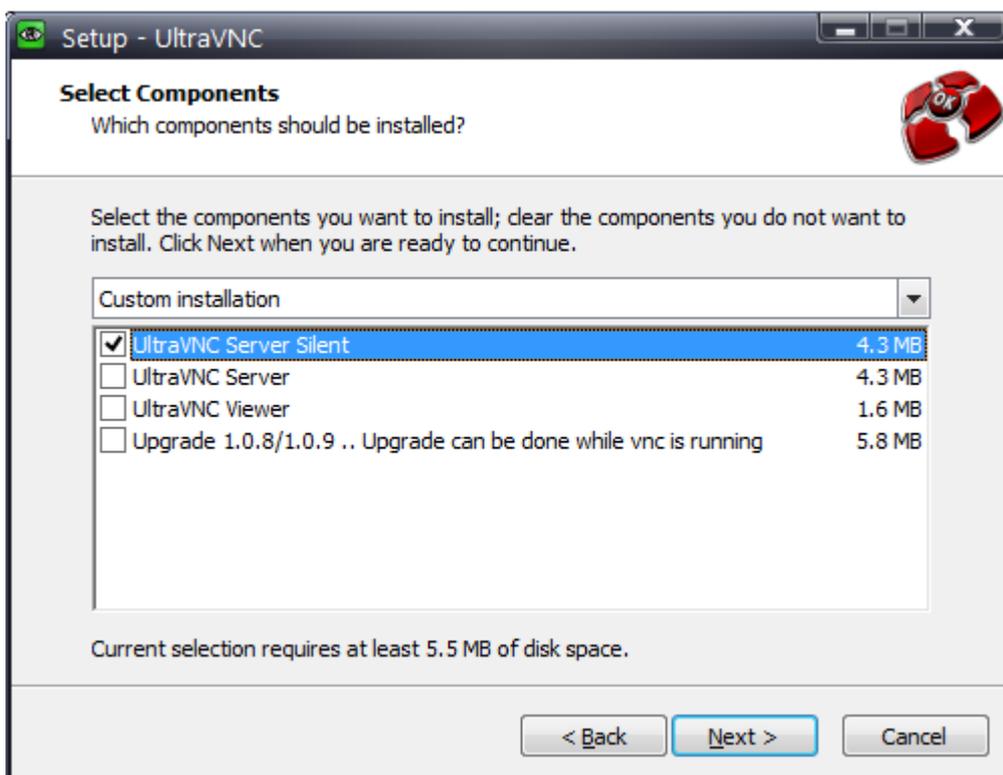
64ビット Windows 用インストーラー

[http://www.websurveycreator.com/resources/UltraVNC\\_1\\_1\\_9\\_X64\\_Setup.exe](http://www.websurveycreator.com/resources/UltraVNC_1_1_9_X64_Setup.exe)

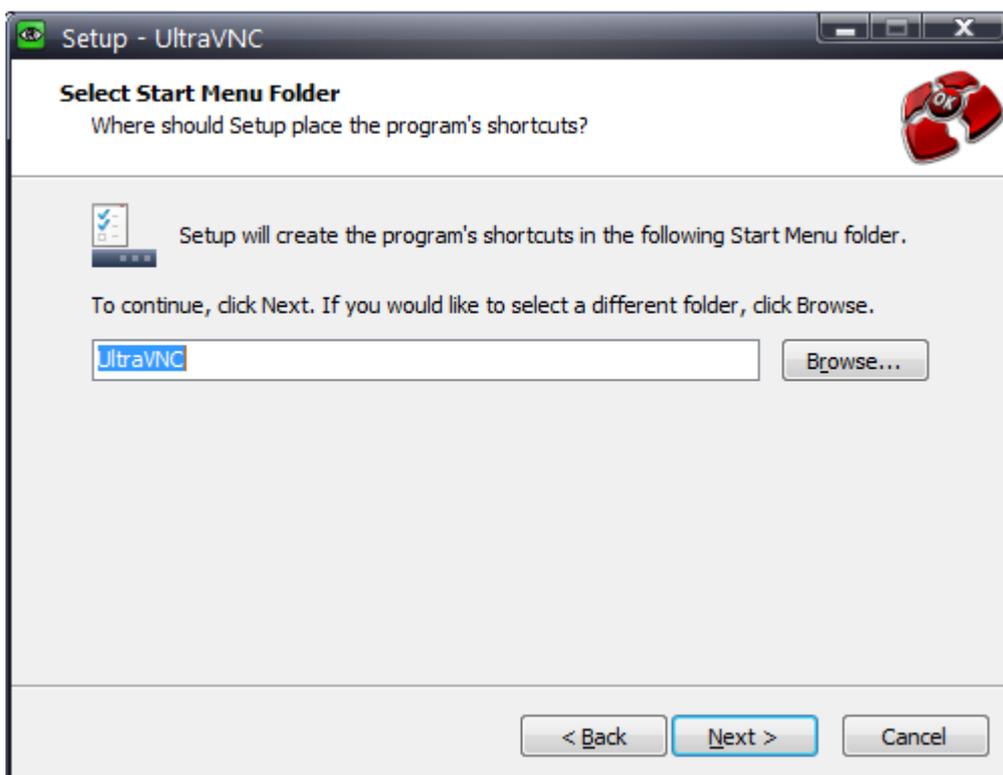
2. インストーラーのあるディレクトリを入力し、**次へ**をクリックします。



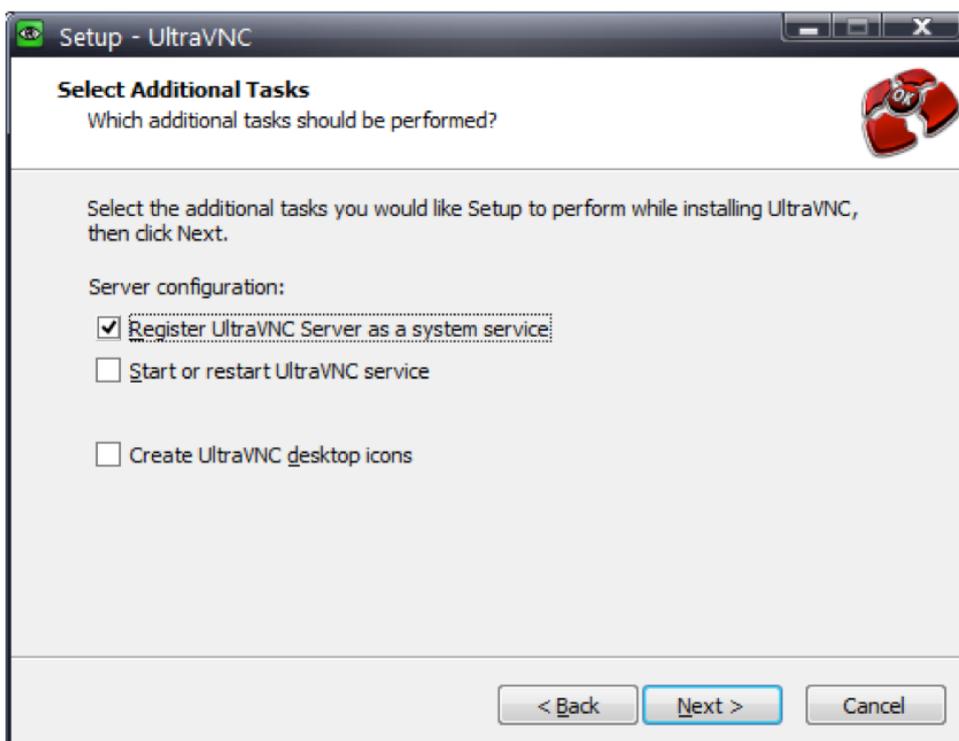
3. インストールするコンポーネントとして「UltraVNC Server Silent」を選んで、**次へ**を押します。



4. ショートカットを作成します。大抵の場合、デフォルトのディレクトリで問題ありません。ショートカットは後で削除もできます。次へを押して先へ進みます。



5. UltraVNCは単一のプログラムとしても、サービス（バックグラウンドで稼働）としても使用できます。システムサービスの欄をチェックしてインストールすると、マシンの起動の際には必ず動いていることになります。次へを押して先に進みます。

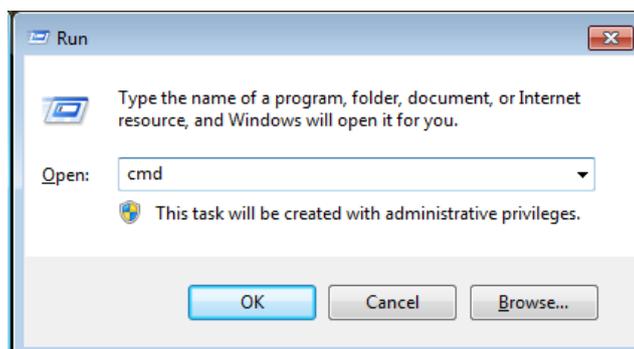


6. インストールをクリックします。

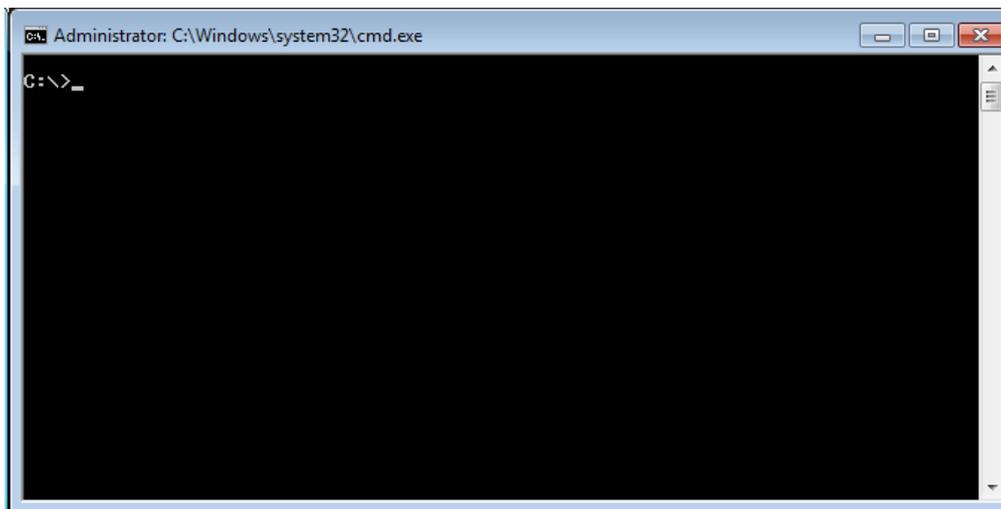
7. スタートメニューから“UltraVNC settings”を起動します。
8. 以下の設定を入力します。
  - a. Network タブ
    - i. **Enable incoming port** をチェック。
    - ii. **Enable Java port** をチェック。
    - iii. 初期ポートで問題なく動作するはずですが、必要なら RFB ポートと Http ポートの調整を行ってください。お使いのファイアウォールが、この二つのポートを介した通信を遮断していないかご確認下さい。
  - b. Input/File Transfer タブ
    - i. **Disabled Viewer inputs** をチェック。
  - c. Misc/logging タブ
    - i. **Disable Tray icon** をチェック。
9. タスクバーの UltraVNC の icon を右クリックして、アドミンプロパティを選択。
10. 以下の設定を入力します。
  - a. Incoming Connections
    - i. **Accept Socket Connections** をチェック。
    - ii. **Enable JavaViewer (Http Connect)** をチェック。
    - iii. **Allow Loopback Connections** のチェックを外す。
  - b. Authentication
    - i. VNC パスワードと View-Only パスワードを入力。ワークステーションのスクリーンが共有される度に、この2つのパスワードを要求されることに注意して下さい。スーパーバイザーだけが、あなたのパスワードについて知っているべきでしょう。
  - c. File Transfer
    - i. **Enabled** のチェックを外す。
    - ii. **User impersonation** のチェックを外す。
  - d. Keyboard & Mouse
    - i. **Disable Viewers inputs** をチェック。
  - e. Misc.
    - i. **Disable TrayIcon** をチェック。
    - ii. **Forbid the user to close down WinVNC** をチェック。
11. **OK** をクリック。

次のステップはワークステーションの IP アドレスを確認することです。

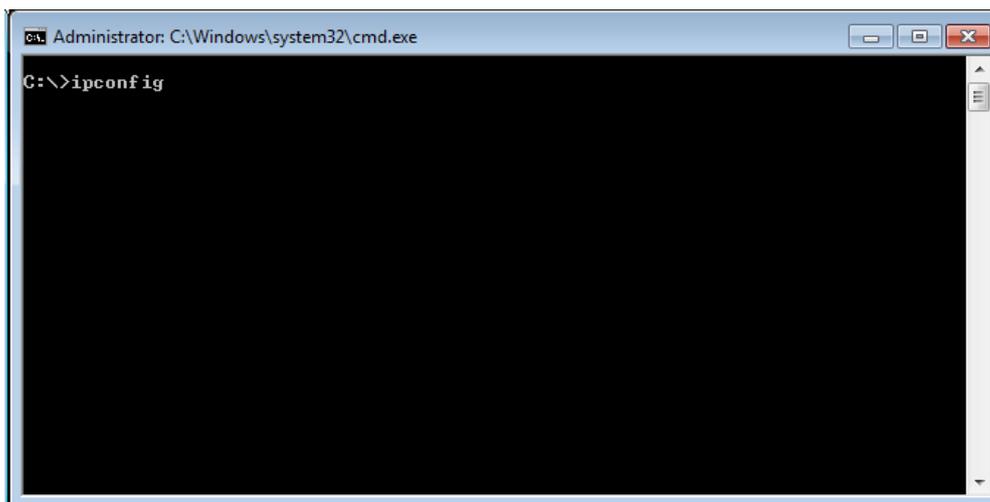
1. スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択。
2. 検索窓に「CMD」と入力して **OK** を押す。



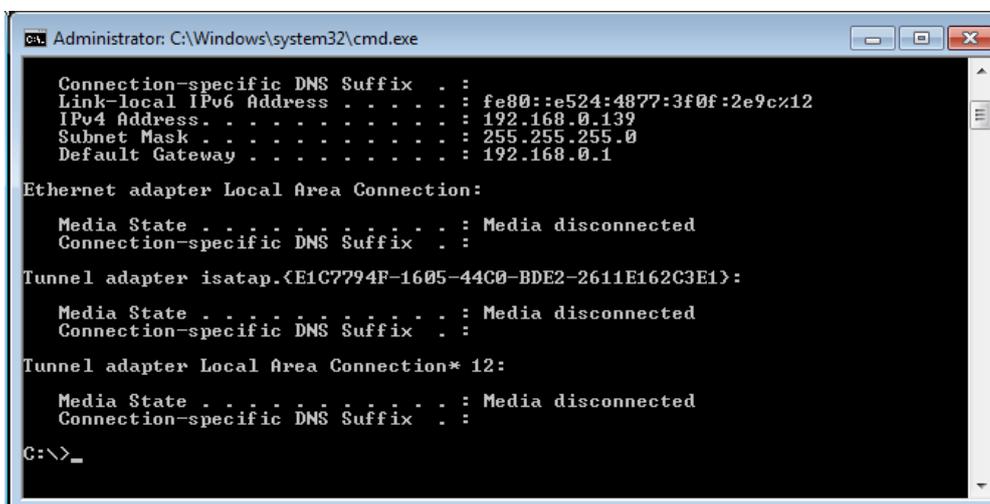
コマンドプロンプトが開きます。



3. 「ipconfig」と入力して **ENTER** を押します。



4. 結果が表示されます。IPv4 のところに表示されるアドレスを書き留めて下さい。これがあなたの IP アドレスになります。下図の例では 192.168.0.139 となります。



## CATI ワークステーションへの接続をテスト

1. 設定が終わった CATI ワークステーションと同じネットワーク内のワークステーションにログインし、ウェブブラウザを起動。
2. アドレスバーに、前ページで調べた CATI ワークステーションの IP アドレスとポート番号を入力。前ページの例では、192.168.0.139:5800 を入力することになります。ENTER を押します。
3. JAVA がインストールされていない場合は、インストールを求められることがあります。この場合、ブラウザの指示に従って下さい。
4. ページが表示されると、パスワードの入力を求められます。ステップ 10b(i) で入力した View-Only パスワードを入力します。

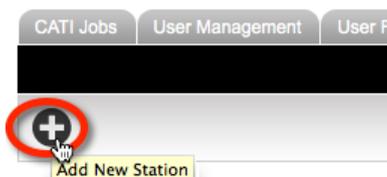
## ワークステーションにスクリーン共有を設定する

前記の例では IP アドレス 192.168.0.139 ワークステーションが設定され、またこのワークステーションにインストールされたスクリーン共有ソフトウェアの初期設定ポート番号は 5800 でした。この PC を、スクリーン共有可能な WSC 上のワークステーションとして使うには、以下の設定が必要になります。

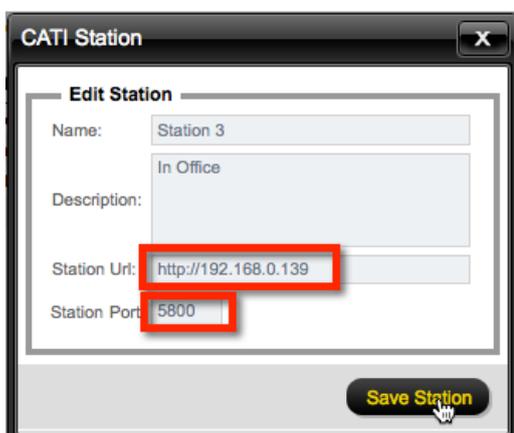
1. WSC にアクセスして **My CATI** から **CATI Stations tab** を選択。



2. ツールバー上の **Add New Station** をクリック。



3. ワークステーション詳細の記入。IP アドレスとポート番号を入力。



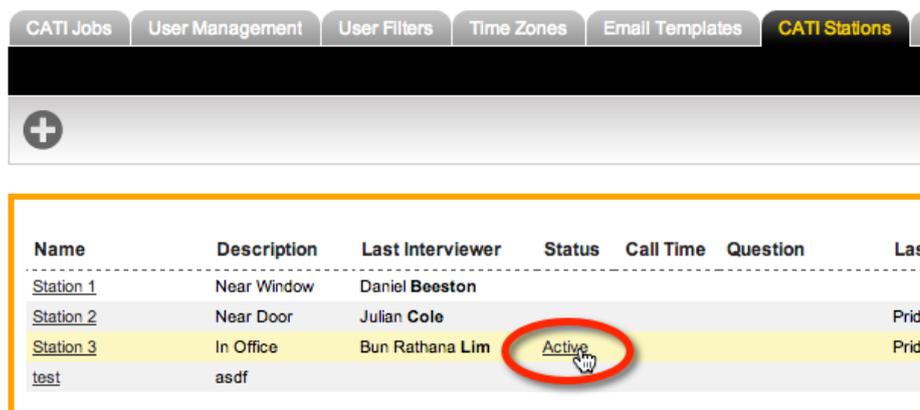
## WSC からワークステーションを見る

スーパーバイザーは以下の手順でいつでもワークステーションをモニターできます。

1. WSC にアクセスして **My CATI** から **CATI Stations tab** を選択。



2. 現在特定のワークステーションを使用中のインタビュワーの様子を見るために、CATI Stations のリスト中の「Active」リンクをクリックします。



3. JAVA がインストールされていない場合は、インストールを求められることがあります。この場合、ブラウザの指示に従って下さい。
4. ページが表示されると、パスワードの入力を求められます。ステップ 10b(i) で入力した View-Only パスワードを入力します。
5. ワークステーションスクリーンが表示されます。

## CATI インタビュアーモジュール

CATI で電話をかけるインタビュアーは、メインの Web Survey Creator アプリケーション外のモジュールを使用します。ログインすることで、インタビュアーとしてのジョブ実行のみに制限します。また、ジョブ実行に必要な機能だけが含まれるインターフェースが表示されるので、トレーニングを簡素化できます。

The CATI モジュールは、Web Survey Creator サイトの「CATI サブドメイン」で利用可能です。例えば、メインの Web Survey Creator サイトおよび関連するサブドメインのウェブサイトは、以下の通りです。

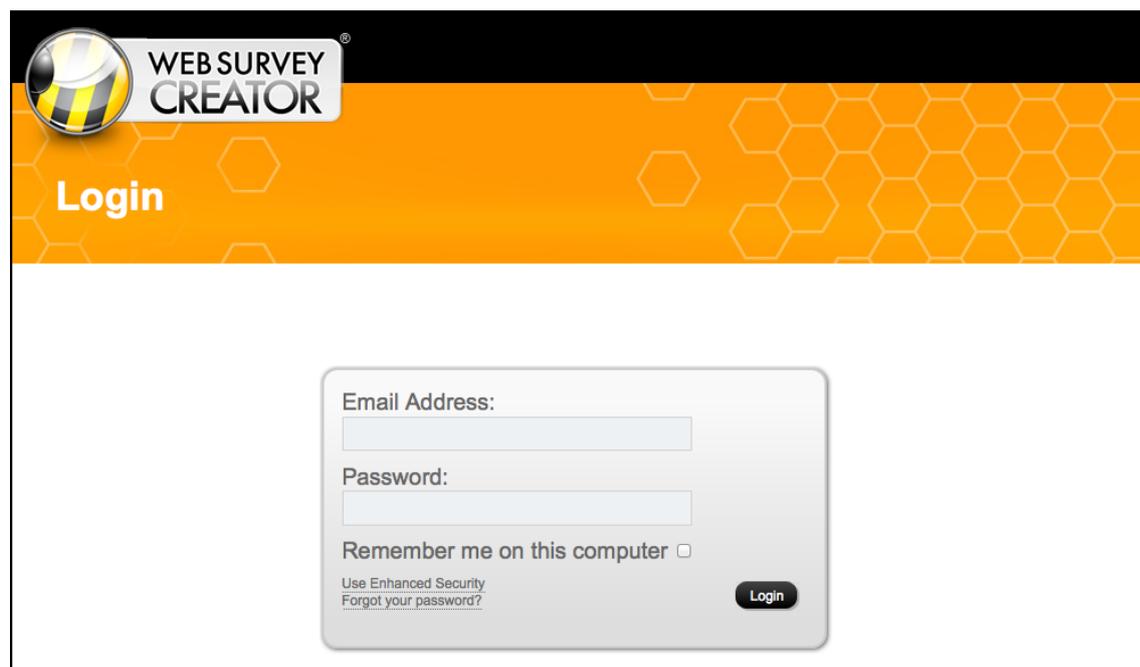
Main WSC Site	<a href="http://www.mywscsite.com">http://www.mywscsite.com</a>
CATI Site	<a href="http://cati.mywscsite.com">http://cati.mywscsite.com</a>

### インタビュアーモジュールの主な特徴

インタビュアーのワークフロー例を見る前に、サイトで利用可能な主要機能を理解するのは、有効です。

#### シンプルなサイトへのログイン

インタビュアーが CATI サイトに行くと、ログイン入力が求められます。通常、CATI サイトのみへのアクセスが許可され、メインサイトへのアクセスはできないよう設定されます。



WEB SURVEY CREATOR

Login

Email Address:

Password:

Remember me on this computer

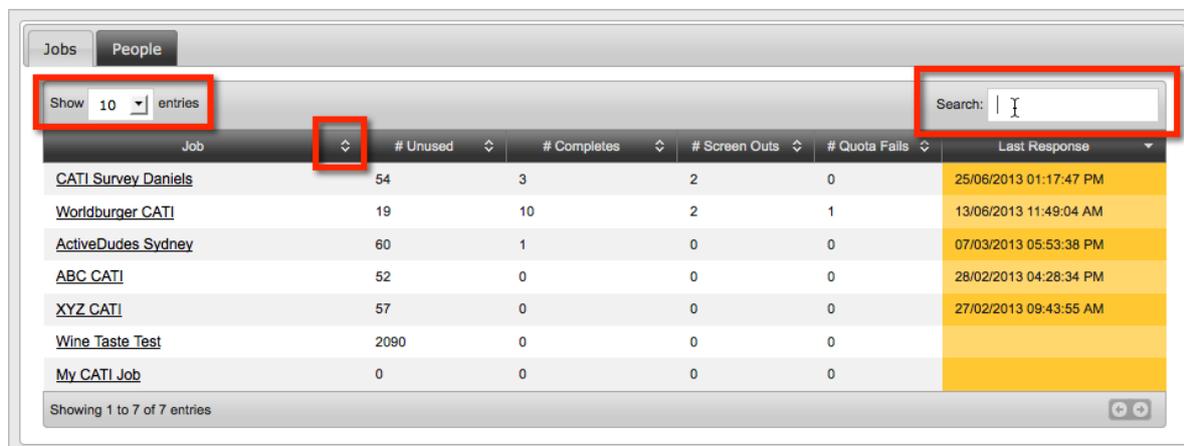
[Use Enhanced Security](#)  
[Forgot your password?](#)

Login

## 素早いジョブアクセス

インタビュワーがログインすると、そのインタビュワーがアクセスできる CATI ジョブが、Jobs タブから見るすることができます。以下は Jobs タブでカギとなる機能です。

- 検索窓からジョブの検索が可能。
- どの列をキーにしても、ジョブのソーティングが可能。
- 表示するジョブの最大数の設定が可能。

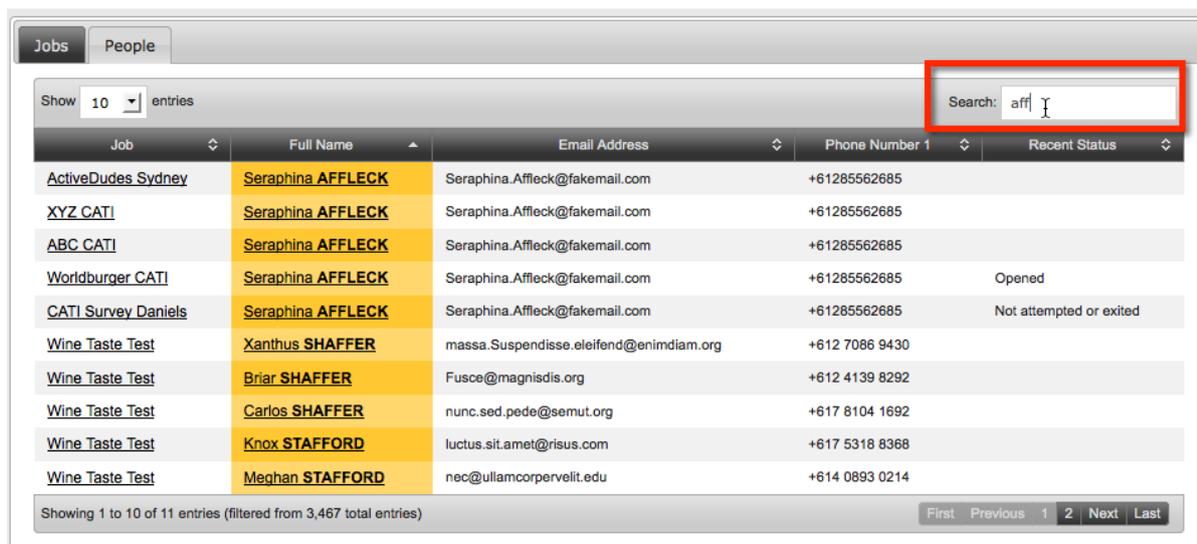


The screenshot shows the 'Jobs' tab interface. At the top, there are tabs for 'Jobs' and 'People'. Below the tabs, there is a search bar with the text 'Search: | I' and a dropdown menu for 'Show 10 entries'. A table lists several jobs with columns for Job, # Unused, # Completes, # Screen Outs, # Quota Fails, and Last Response. The 'Job' column is highlighted with a red box, and the search bar is also highlighted with a red box. The table data is as follows:

Job	# Unused	# Completes	# Screen Outs	# Quota Fails	Last Response
CATI Survey Daniels	54	3	2	0	25/06/2013 01:17:47 PM
Worldburger CATI	19	10	2	1	13/06/2013 11:49:04 AM
ActiveDudes Sydney	60	1	0	0	07/03/2013 05:53:38 PM
ABC CATI	52	0	0	0	28/02/2013 04:28:34 PM
XYZ CATI	57	0	0	0	27/02/2013 09:43:55 AM
Wine Taste Test	2090	0	0	0	
My CATI Job	0	0	0	0	

## 素早い回答者アクセス

現在 CATI ジョブに回答中の全回答者の情報に、People タブからアクセスできます。People タブの検索機能は、求める人物の情報を素早く簡単に探し出せるようにデザインされています。これは、あなたがよく知らない回答者が電話をかけて来たような時に、取り分け便利な機能です。

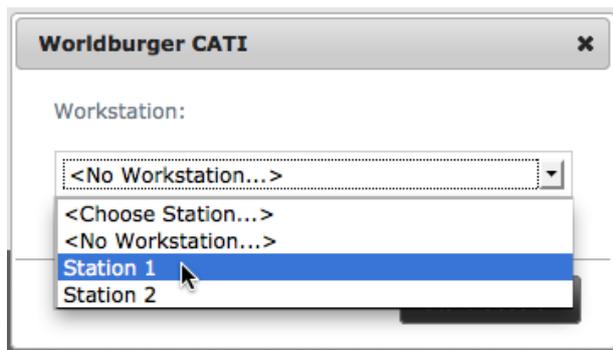


The screenshot shows the 'People' tab interface. At the top, there are tabs for 'Jobs' and 'People'. Below the tabs, there is a search bar with the text 'Search: aff | I' and a dropdown menu for 'Show 10 entries'. A table lists several respondents with columns for Job, Full Name, Email Address, Phone Number 1, and Recent Status. The search bar is highlighted with a red box. The table data is as follows:

Job	Full Name	Email Address	Phone Number 1	Recent Status
ActiveDudes Sydney	Seraphina AFFLECK	Seraphina.Affleck@fakemail.com	+61285562685	
XYZ CATI	Seraphina AFFLECK	Seraphina.Affleck@fakemail.com	+61285562685	
ABC CATI	Seraphina AFFLECK	Seraphina.Affleck@fakemail.com	+61285562685	
Worldburger CATI	Seraphina AFFLECK	Seraphina.Affleck@fakemail.com	+61285562685	Opened
CATI Survey Daniels	Seraphina AFFLECK	Seraphina.Affleck@fakemail.com	+61285562685	Not attempted or exited
Wine Taste Test	Xanthus SHAFFER	massa.Suspendisse.eleifend@enimdiam.org	+612 7086 9430	
Wine Taste Test	Briar SHAFFER	Fusce@magnisdis.org	+612 4139 8292	
Wine Taste Test	Carlos SHAFFER	nunc.sed.pede@semut.org	+617 8104 1692	
Wine Taste Test	Knox STAFFORD	luctus.sit.amet@risus.com	+617 5318 8368	
Wine Taste Test	Meghan STAFFORD	nec@ullamcorpervelit.edu	+614 0893 0214	

## ワークステーションの追跡

インタビュアーは仕事開始時に、ワークステーションを選びます。これは管理者が誰がどこで作業しているか追跡可能できるようになります。インタビュアーがワークステーションにログインすると、画面は管理者が必要なときに参照できるようになります。



管理者は<No Workstation...>.を選べます。これで管理者は、実際のワークステーションを選ばなくても、CATIインタビューアプリケーションを利用できます。（事前に設定されたワークステーション以外からアプリケーションを実行する場合があります）

### CATI Home

メインのCATI画面インターフェースは以下に示されています。主なインターフェースの要素は、

1. 現在のCATIセッションのための統計
2. **End Session** ボタンへの素早いアクセス、**Next Contact** ボタンで瞬時にコール開始する機能
3. タブ選択バーからのコンタクト先リストおよびクオータへのアクセス
4. 今後のアポイントリスト
5. 現在のセッションで行われた全てのリスト

Session Time 00:05:18	Idle Time 00:02:54	Opened 4	Completed 2	No Answer 1	Available 37
--------------------------	-----------------------	-------------	----------------	----------------	-----------------

End Session Next Contact

Home Contacts Quotas

Appointments

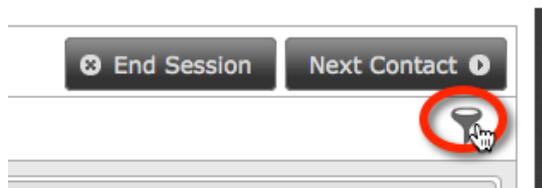
Tomorrow @ 11:00 AM AI Caholic @ 10:00 AM GMT+10

Session Log

- Complete** for Ivana Tinkle
- Survey Started** for Ivana Tinkle
- Opened** for Ivana Tinkle
- Respondent dead** for Banana Bowdy
- Survey Started** for Banana Bowdy
- Opened** for Banana Bowdy
- No answer** for Pickle Parker

## 高度なフィルタリング機能

適切なレベルのアクセス権限を与えられたインタビュアーには、電話回答者は、フィルタリングシステムで選別されます。



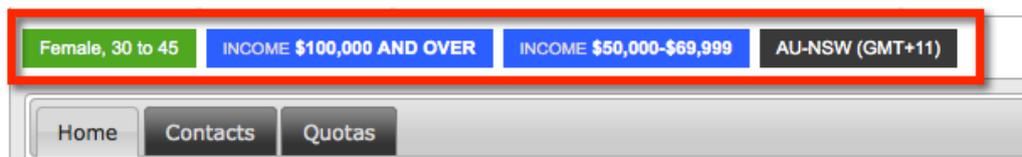
フィルタリングは、以下の組み合わせに基づいて行われます。

- 回答者タグ
- クォータ
- タイムゾーン

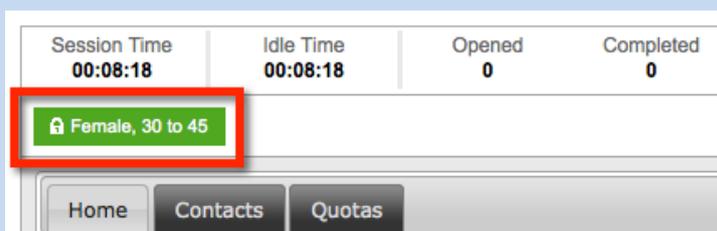
### Include



選択したフィルターはメインの CATI ウィンドウに表示されます。



初期設定では、フィルターの変更はシニア CATI インタビュアー以上のユーザーに許可されています。アドミニストレーターは、基本フィルターを特定のインタビュアーやジョブ向けにロックインすることが可能です。このことにより、インタビュアーが特定のタイプの回答者に集中してコールすることができます。基本フィルターのカギのアイコンは、インタビュアーには削除できないことを示しています。



## 今後のコンタクト先の参照

上級 CATI インタビュアー以上は今後のコンタクト先リストを参照できます。**Next Contact** をクリックし、システムが選り出す人物ではなく、リストの特定の人物に電話をかけることが可能です。

Session Time 00:00:39 | Idle Time 00:00:39 | Opened 0 | Completed 0 | No Answer 0 | Available 6 | End Session | Next Contact

Female, 30 to 45 | AU-NSW (GMT+11) | Female, 46 to 60

Name	Region	Age Group	Profession	Income	Status	Action
Emerald Jewel	AU-NSW (GMT+11)	Female, 46 to 60	PROFESSION White-Collar	INCOME \$50,000-\$69,999	Never Contacted	Contact
Clementine Hawke	AU-NSW (GMT+11)	Female, 46 to 60	PROFESSION White-Collar	INCOME \$70,000-\$99,999	Never Contacted	Contact
Envy Burger	AU-NSW (GMT+11)	Female, 30 to 45	PROFESSION White-Collar	INCOME \$70,000-\$99,999	Never Contacted	Contact

## クォータ統計

現時点での全クォータはクォータタブから参照できます。これにより、どのクォータが他に比べて早く満たされているか、より簡単に参照でき、どのフィルターを使用するか決定する際に使用されます。(より空きがあるクォータに注力できます)

Quota Title	Limit	In Quota	Remaining	Draft
Total	50	13	37	5
Female, 18 to 29	10	5	5	3
Female, 30 to 45	10	1	9	2
Female, 46 to 60	2	2	-	7
Male, 18 to 29	10	2	8	6
Male, 30 to 45	10	-	10	7
Male, 46 to 60	2	2	-	6

## 回答者の「クイックビュー」

インタビュー実施中のいつでも、回答者の詳細情報を Call Details バーから参照できます。

Call Time 00:00:27 | Respondent **Clementine Hawke** | Respondent Time 5:32 AM (26 Jun 2013) | Close Contact | Start Survey

**Clementine HAWKE** | AU-NSW (GMT+10) | Female, 46 to 60 | PROFESSION White-Collar | INCOME \$70,000-\$99,999 | X

+61282963526  
Clementine.Hawke@fakemail.com

**Introduction**

## 強力な調査システム

CATI モジュール内の調査システムは、WSC の web 調査に使用されているシステムと同一のもので、インタビューの効率的な進行を助ける機能がいくつか用意されています。

1. 全ての選択質問にホットキーが割り付けてあり、キーパッドの数字キーを押すだけで回答できます。
2. web 回答者からは見えない、CATI 上でのみ使用可能な、スクリプトテキストを表示できます。
3. 現在の質問と、質問に関連するホットキーが画面下表示されます。

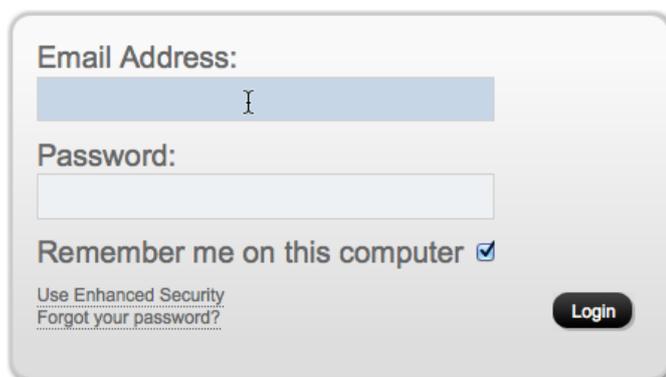
The screenshot displays the 'Worldburger CATI' interface. At the top, there is a 'WEB SURVEY CREATOR' logo and a 'LOG OUT' button. Below the header, a progress bar shows 'Progress 17%'. The main content area contains two survey questions. The first question is 'What is your gender?' with radio button options: [1] Male and [2] Female. A red box highlights the question and options, and a circled '1' is placed next to the options. The second question is 'What age group do you fall into?' with radio button options: [1] Under 18, [2] 18 to 29, [3] 30 to 45, [4] 46 to 60, and [5] Over 60. A red box highlights the question and options, and a circled '2' is placed next to the options. At the bottom of the screen, a red box highlights the text 'What is your gender? > Choose 1,2' and a circled '3' is placed next to it.

インタビューの進行は全てキーボードからできるようになっており、矢印キーを使った質問間・ページ間の移動、タブキーによる質問の移動が可能です。

## 混合モードのワークフロー

WSCで混合モードプロセスを実行する方法を理解するのに、最も簡単なのは、一般的なワークフロー一例を参照することです。

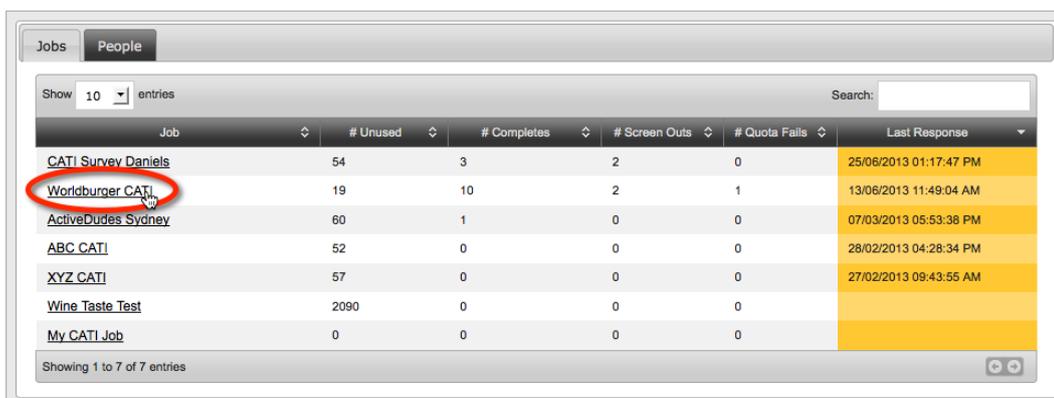
1. WSCのCATIサイトを開きます。
2. ログインします。



The login form contains the following elements:

- Email Address:** A text input field with a cursor.
- Password:** A text input field.
- Remember me on this computer**
- Use Enhanced Security** (with a red arrow pointing to the checkbox)
- Forgot your password?** (with a red arrow pointing to the checkbox)
- Login** button

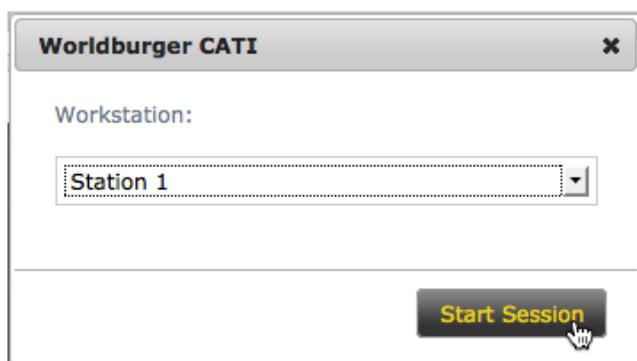
3. アクセス可能なCATIジョブが表示されます。特定のジョブについてCATIプロセスを開始するには、リスト中のジョブをクリックします。



The screenshot shows a table of available CATI jobs. The 'Worldburger CATI' job is circled in red. The table has the following columns: Job, # Unused, # Completes, # Screen Outs, # Quota Fails, and Last Response.

Job	# Unused	# Completes	# Screen Outs	# Quota Fails	Last Response
CATI Survey Daniels	54	3	2	0	25/06/2013 01:17:47 PM
<b>Worldburger CATI</b>	19	10	2	1	13/06/2013 11:49:04 AM
ActiveDudes Sydney	60	1	0	0	07/03/2013 05:53:36 PM
ABC CATI	52	0	0	0	28/02/2013 04:28:34 PM
XYZ CATI	57	0	0	0	27/02/2013 09:43:55 AM
Wine Taste Test	2090	0	0	0	
My CATI Job	0	0	0	0	

4. コールを発信するワークステーションを選択し、**Start Sesssion**を押します。



The screenshot shows a window titled 'Worldburger CATI' with a close button (X). It contains a 'Workstation:' label and a dropdown menu with 'Station 1' selected. A 'Start Session' button is located at the bottom right.

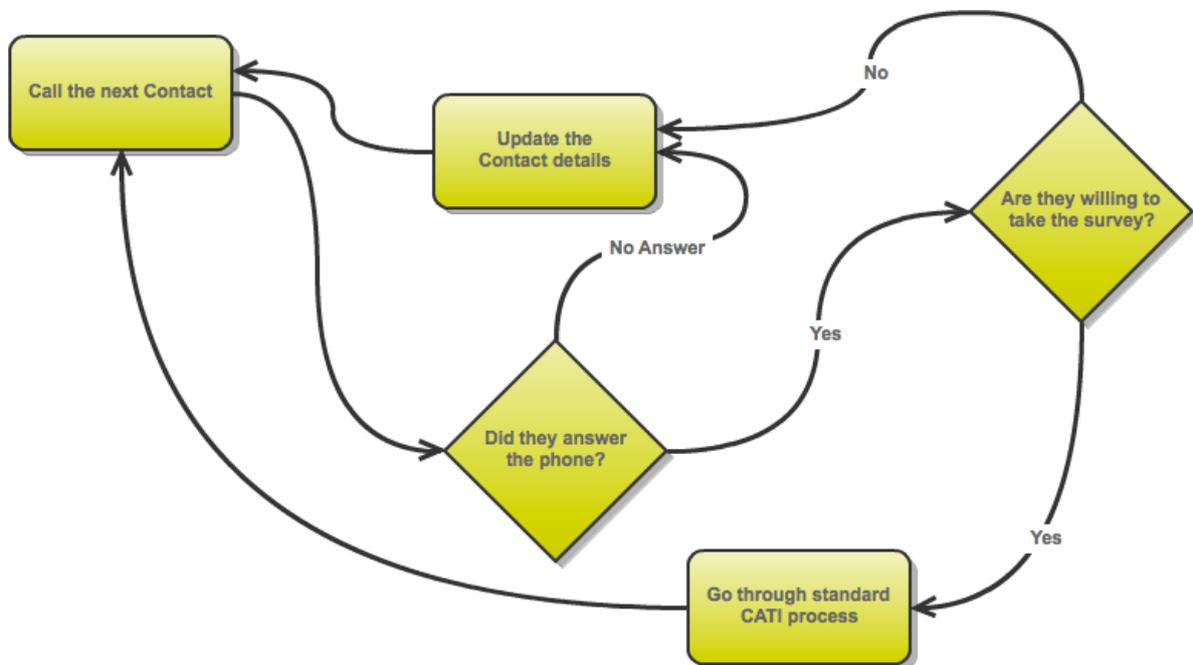
5. セッションはインタビュワーが1つのジョブに費やす時間の1単位です。セッションを開始すると、CATIホームページが表示されます。以下に詳述するワークフローの内の1つが、この時点より開始されたこととなります。

セッションを開始すると、ユーザーは「就業中」状態に置かれます。セッションから抜けるには2つの方法があります。1つは、CATIモジュールからのログアウト（ログイン画面に戻ります）、もう1つはセッションの終了です。セッションを終了すると、画面はジョブ一覧に戻ります。



## 基本的な CATI ワークフロー

最もシンプルな CATI のワークフローは、すべての CATI 製品が扱う以下のような、標準ワークフローです。

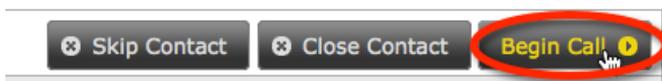


このプロセスは、簡単な方法で WSC により処理されます。プロセスの主要な手順は、以下の通りです。

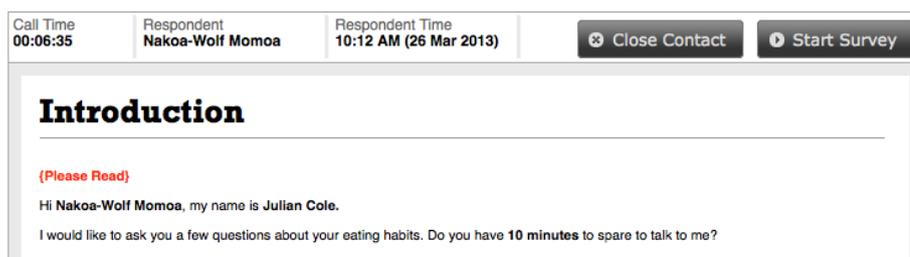
1. インタビュアーは、CATI プロセスを Next Contact button. ボタンをクリックして開始します。



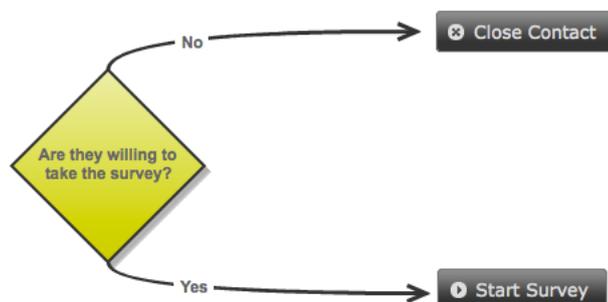
2. コンタクト先の、電話番号などの詳細は画面上に表示されます。この時点で、システム設定に基づいて、以下の方法で、電話がかけられます。
  - a. マニュアルで電話をかけます
  - b. スカイプとインテグレートされている場合、番号をクリックするとコール開始されます
  - c. 自動ダイヤルが使用される場合、ステップ 3 のように Begin Call ボタンをクリックすると、ダイヤルプロセスが開始されます。
3. Begin Call ボタンをクリックして、コールを開始します。



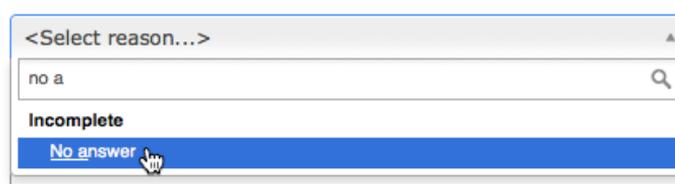
4. 回答者に対し、電話接続後ただちに読まれる紹介文は以下の通りです。



5. この時点で、2つのうちどちらかが起きます



6. 次のステップはステップ 5 の選択に基づきます。
  - a. Close Contact が選択された場合、インタビュアーは事前に定義された電話終了理由のリストから選択できます。



- b. Start Survey が選択された場合、調査が開始され、回答者によって完了されます。

Call Time 00:13:38	Respondent Nakos-Wolf Momoa	Respondent Time 10:18 AM (26 Mar 2013)	Close Contact	Next
-----------------------	--------------------------------	---	---------------	------

Progress 17%

**What is your gender?**

[1] Male

[2] Female

**What age group do you fall into?**  
**Don't read out options - just choose the correct choice based on their answer**

[1] Under 18

[2] 18 to 29

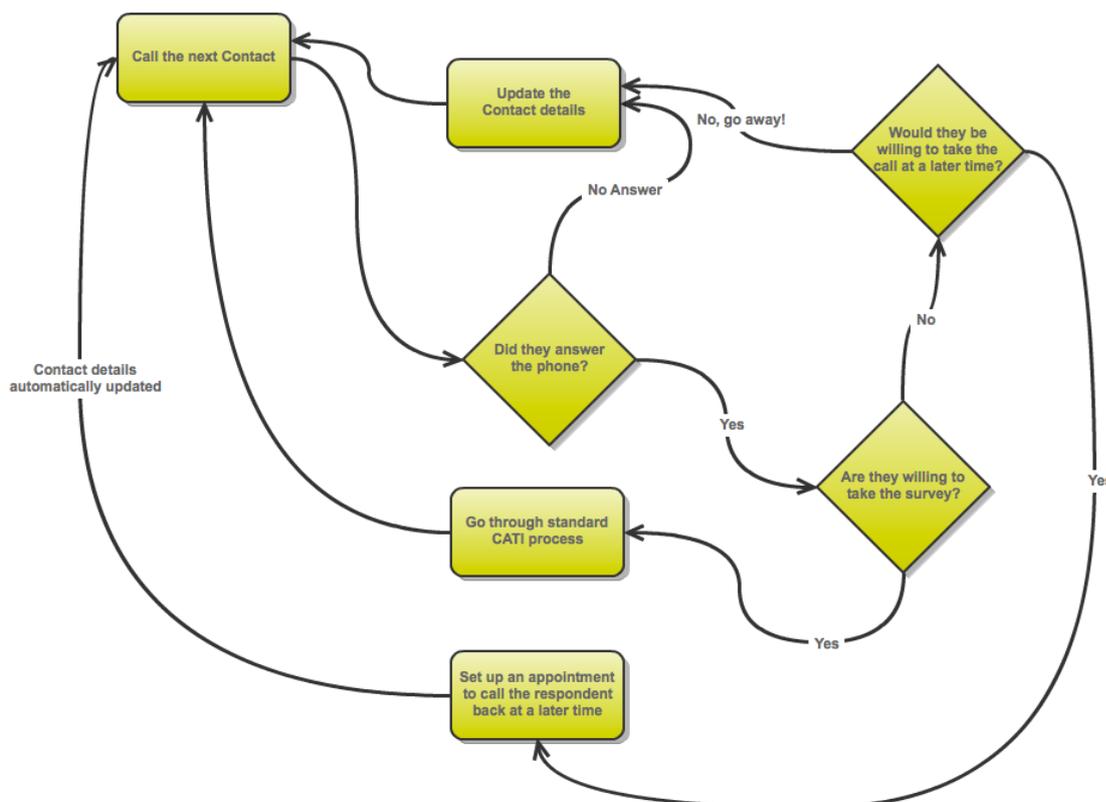
[3] 30 to 45

[4] 46 to 60

[5] Over 60

## アポイントを作成する

標準 One variation of the standard CATI プロセスのバリエーションの1つは、電話した人に、後で電話する必要がある場合です。これはコールバックの詳細を含むアポイントを作ることで達成されます。CATI ワークフローは以下のようなものです。



アポイントの設定は以下のステップで行えます。

1. 回答者が電話不可の場合、Close Contact button ボタンをクリックします。

Call Time 00:05:31	Respondent Clementine Hawke	Respondent Time 12:20 PM (26 Mar 2013)	<b>Close Contact</b>	Start Survey
-----------------------	--------------------------------	---	----------------------	--------------

---

## Introduction

**(Please Read)**

Hi **Clementine Hawke**, my name is **Julian Cole**.

I would like to ask you a few questions about your eating habits. Do you have **10 minutes** to spare to talk to me?

2. 回答者が後で回答可能な場合、アポイントのための終了ステータスタイプを設定します。

**Transaction Dialog** [X]

<Select reason...>

ap

**Appointment**

- Appt - other - unsched.
- Appt - respondent - definite**
- Appt - respondent - unsched.

**Refusal**

- Appt broken (implicit refusal)

3. 日時、コールバック時のインタビュアーなどのアポイント詳細が設定されます。

**Transaction Dialog** [X]

Appt - respondent - definite

Tomorrow (27 Mar 2013) @ 11 30 AM

Alternate phone... (optional) Primary: +61 2 8296 3526

Must be called back at this time.

Must be called back by...

- CatITeamLeader**
- Bun Rathana Lim
- CatAdministrator**
- Daniel Beeston
- Julian Cole (Me)**
- Christopher Cordova

Save Cancel

4. 電話が終了すると、アポイントリストに内容が表示されます。

Appointments			
Overdue	@ 3:15 PM	Envy Burger	about 22 hours ago
Tomorrow	@ 11:30 AM	Clementine Hawke	in about 23 hours
Later	@ 12:00 PM	Al Caholic @ 11:00 AM GMT+10	in 2 days

コールから可能な限り最高の結果を提供するために、アポインメントは、システムにより自動的に管理されます。アポインメントシステムの主要な面は以下の通りです。

1. 今後のアポインメントが、以下の詳細とともに、メインの CATI 画面に表示されます。
  - a. アポインメント日時
 

Tomorrow @ 11:30 AM
  - b. アポインメント対象者およびタイムゾーン（インタビュアーのタイムゾーンと異なる場合）
 

Al Caholic @ 11:00 AM GMT+10
  - c. アポインメントまでの時間
 

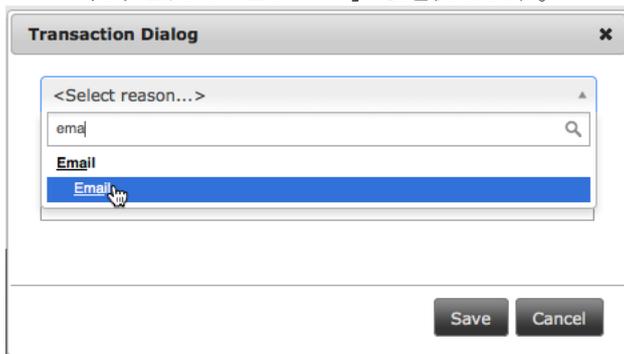
in about 23 hours
2. アポインメントが厳密でない場合（例えば、午前 10 時前後）、インタビュアーには前後 10 分以内に通知されます。
3. アポインメントが厳密な場合（例えば午前 10 時きっかり）、インタビュアーにコール時間の 5 分前に通知されます。
4. 特定のインタビュアーが行うことになっているコールのアポインメントは、アポインメント予定時刻 30 分前から、そのインタビュアー向けにハイライトで表示されます。

時々、アポインメントの時間がやってきた時点で、コールしなければならない回答者が、既に規定数を満たしているクォータに分類されていることがあります。こうした回答者をどう処理するかは、ケースにより異なるでしょう。以上のような場合にも WSC は通常の処理を行います。該当の回答者が規定数を満たしたクォータに分類されていることは明示します。これにより、既に規定数を満たしたクォータに分類される回答者のアポインメントの把握・処理が簡単になります。

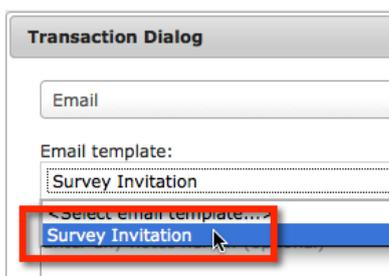
Appointments			
Today	@ 10:40 AM	Pride Saint	in about 5 hours
Tomorrow	@ 4:20 PM	Clementine Hawke	in a day
Later	@ 3:50 PM	Al Caholic	in 2 days



3. コール終了理由で「Eメール」を選択します。



4. 送信する Eメールのテンプレートを選択します。（管理者が事前に準備したテンプレート）



5. 招待メールは自動的に送信され、回答者に送信されたリンクは、セッションログに表示されます。



6. インタビュアーは次のコンタクト先に移ります。

Eメールステータスは、コールリストに再び表れるまでの「遅延」が設定される点で、他のステータスに似ています。例えば、2日間コールバックしないようすることができます。2日後に、回答者が調査完了していない場合、コールリストに再び表示されます。

インタビュアーが読むイントロダクション内容は「最近 Eメールを受け取られましたが、」等に変更することは可能です。これは、Eメール対象者のみに特定の文面を含めることにより達成されます。



# CATIによる「次のコンタクト」の見つけ方

CATIシステムの最も重要な特徴の1つは、CATIによるコール対象者の管理です。インタビュワーにとって、CATIを使ったインタビュープロセスはとても簡単で、「次のコンタクト」ボタンを押せば、最適のコール対象者が表示されます。しかしこのことは、ユーザーにある疑問を抱かせます。

コールするのに最適な人物とは一体だれのことなのか？

次にコールする対象者を決めるプロセスには2つの段階があります。

1. 「有効な」回答者の集団を決定する必要があります。システムに登録された全ての回答者がこの集団に含まれるべきではありません。
2. この「有効な」回答者の集団から、ある一定のルールにより抽出された回答者が必要になります。これにより、次のコール・インタビューに最適な人物が選び出されます。

## 「有効な」回答者の集団を決定する

有効な回答者の集団＝

全回答者の集団

- － 調査回答を完了した人
- － オンラインでの調査を完了しようとしている人
- － 既に規定数を満たしたクォータに分類される人
- － 閉鎖された人（死亡、番号違い等）
- － 最近コールされた人
- － 何度もコールされている人
- － アポイントメントが設定されている人
- － タイムゾーンルールを満たせない人（例：時間外）

インタビュワーによる回答者タグ・クォータ・タイムゾーンに基づいたフィルタリングは、回答者集団を更に絞り込むこととなります。

### 全回答者の集団

CATIジョブで処理可能な全回答者の集団は、これまでCATIジョブに追加された全ての回答者の総和となります。

### 調査回答を完了した人

web上の調査であれ、CATIインタビュワーによる電話を使用した調査であれ、調査への回答を完了している回答者はここに分類されます。

### オンラインでの調査を完了しようとしている人

回答者がweb上の調査に回答しようとしてリンクをクリックすると、「Link Clicked」のCATIステータスがその回答者に記録されます。このステータスは、デフォルトで1日のコール遅れが設定されます。つまり、回答者は調査へのリンクをクリックした後、1日間はコール予定者の集団から除外されるということです。これにより、回答者は調査を回答者自身で完了する時間を与えられます。（インタビュワーからのコールによって邪魔されることもなくなります）

### 既に規定数を満たしたクォータに分類される人

男性の回答者はもう十分ですか？クォータが規定数を満たしているため、これ以降のコール対象者から男性は除外されます。事前にコール対象者が男性であることを知るに十分な、回答者に関するデータをインポートしていることが前提となります。

## 閉鎖された人

回答者によっては重大な「final」ステータスが記録されることがあります。例えば、回答者が死亡していた、言語の問題、電話番号問題等（番号間違い、商用のファックス番号だった等）がこれに含まれます。「final」ステータスが記録された回答者は、これ以降のコール予定者から除外されます。

## 最近コールされた人

コールしたけれども有効回答を得られない、そんな事例には様々な理由が考えられます。例えば、留守番電話が応答したとか、誰も電話を取らなかったなど。こうした「non-final」な接触できない回答者に関連したステータスには、再コールまでの遅れが設定されます。コールしたけれども応答がなかった回答者は、コール予定者の集団から1時間除外されます。

## 何度もコールされている人

回答者への過剰コールを回避するために、おおまかに以下の3つの仕組み用意されています。

<b>Too many calls overall</b>	1人の回答者への全般的な接触回数制限です。（例：1人の回答者への接触は10回まで）接触回数限界に達した回答者へは、これ以降コールされるべきではありません。
<b>Too many calls overall for a <u>particular status</u></b>	何度も同じコール結果（例：No Answer）が出るので、それ以降のコールを停止する場合はこれに当たります。例えば、無応答が5回記録されたような回答者のステータスは、FinalステータスのContact Limit Reachedに変更されるというルールを設定するといった感じです。こうした回答者は、これ以降、再コール予定者から除外されます。
<b>Too many calls within a period of time</b>	この種の制限の例としては、1人の回答者へは、ある期間に最大2回まで接触できるというルールを設定するような場合です。ある単位期間中に、接触回数に達した回答者には、次の期間が始まるまでコールできません。例えば、1日を1単位期間として、その間の回答者あたりの最大接触回数を2回としていたとします。月曜日にある回答者へ2回コールしてしまえば、火曜日になるまで、この回答者へはコールできません。

## アポイントメントが設定されている人

回答者にアポイントメントが設定されている場合、その回答者はアポイントメント終了まで、全体のコール予定者の集団から除外されます。アポイントメント終了後、再びコール予定者の集団に戻された時、この回答者はコールすべき人物リストの一番上に出現します。この回答者は、インタビュワーが「次のコンタクト」を押した時、コール予定者集団の他の誰より先に、コールすべき人物として表示されることとなります。

アポイントメントについて考慮すべき全般的ルールとして、大きく以下の2つがあります。

1. そのアポイントメントが**正確な時間**から開始なのか、それとも「**大体〇時ぐらい**」に開始なのか（言い換えると、その回答者はコールを受ける時間帯について寛容であるということ）
2. 特定のインタビュワーが再コールする必要があるのか、それともそのジョブに携わる他のインタビュワーが再コールしても構わないのか。

アポイントメントについて用いられる基本的なルールとして、以下が挙げられます。

- 「**大体〇時ぐらい**」から開始のアポイントメントがある回答者は、アポイントメントの時間15分前からコール可能な集団に分類されます。
- **正確な時間**から開始のアポイントメントがある回答者は、アポイントメント開始5分前からコール可能な集団に分類されます。

- 特定のインタビュワーに割り当てられたアポイントメントは、そのインタビュワーが最初にアポイントメントを遂行するよう設定されますが、一定時間経過後は全インタビュワーがコール可能になります。あるアポイントメントが特定のインタビュワーに割り当てられた場合、
  - 「大体〇時ぐらい」開始アポイントメントの回答者には、アポイントメントの時間15分後から全てのインタビュワーがコール可能になります。
  - 「正確な時間」開始アポイントメントの回答者には、アポイントメントの時間5分後から全インタビュワーがコール可能になります。

以上のルールをまとめた表です。

	正確な時間に開始	「大体〇時ぐらい」に開始
特定のインタビュワー	アポイントメントの5分前から指定インタビュワーがコール可能となる。  指定インタビュワーがコールによって回答者と接触できなかった場合、アポイントメントの5分後から全てのインタビュワーがこの回答者にコール可能となる。	アポイントメントの15分前から指定インタビュワーがコール可能となる。  指定インタビュワーがコールによって回答者と接触できなかった場合、アポイントメントの15分後から全てのインタビュワーがこの回答者にコール可能となる。
全インタビュワー	アポイントメントの5分前から全てのインタビュワーがコール可能となります。	アポイントメントの15分前から全てのインタビュワーがコール可能となります。

### タイムゾーン外の回答者の制限

タイムゾーンルールは、そのタイムゾーン内の回答者へコールする時間として適切なのはどういった時間かを示しています。普通はごくシンプルな形で表現され、午前9時から午後5時までの間しかコールは出来ないことを示すといった感じです。

### 「有効な」回答者の順番づけ

こうして有効な回答者の集団を決定した後、必要となってくるのは、回答者がインタビュワーのワークステーションに次のコンタクトとして出現する順番の決定です。この順番は、各々のクォータの回答数の集まり状況と、クォータによって呼び出し頻度にかたよりが出ないようにすること（回答数の少ないクォータばかりでなく）を考慮に入れて決定されます。

## 混合モード付録：タイムゾーンコード

インポートデータに適切なタイムゾーンを設定する際、有効なタイムゾーンコードを使用する必要があります。以下は利用可能なタイムゾーンコードです。

国	地域	コード
Afghanistan	Afghanistan	AF
Åland Islands	Åland Islands	AX
Albania	Albania	AL
Algeria	Algeria	DZ
American Samoa	American Samoa	AS
Andorra	Andorra	AD
Angola	Angola	AO
Anguilla	Anguilla	AI
Antigua and Barbuda	Antigua and Barbuda	AG
Argentina	Buenos Aires	AR-BA
Argentina	Catamarca	AR-CT
Argentina	Chaco	AR-CC
Argentina	Chubut	AR-CH
Argentina	Ciudad de Buenos Aires	AR-DF
Argentina	Córdoba	AR-CB
Argentina	Corrientes	AR-CN
Argentina	Entre Rios	AR-ER
Argentina	Formosa	AR-FM
Argentina	Jujuy	AR-JY
Argentina	La Pampa	AR-LP
Argentina	La Rioja	AR-LR
Argentina	Mendoza	AR-MZ
Argentina	Misiones	AR-MN
Argentina	Neuquén	AR-NQ
Argentina	Rio Negro	AR-RN
Argentina	Salta	AR-SA
Argentina	San Juan	AR-SJ
Argentina	San Luis	AR-SL
Argentina	Santa Cruz	AR-SC
Argentina	Santa Fe	AR-SF
Argentina	Santiago del Estero	AR-SE
Argentina	Tierra del Fuego	AR-TF
Argentina	Tucumán	AR-TM
Armenia	Armenia	AM
Aruba	Aruba	AW
Australia	Australian Capital Territory	AU-ACT
Australia	Broken Hill	AU3
Australia	Lord Howe Island	AU1

国	地域	コード
Australia	New South Wales	AU-NSW
Australia	Northern Territory	AU-NT
Australia	Queensland	AU-QLD
Australia	South Australia	AU-SA
Australia	Tasmania	AU-TAS
Australia	Victoria	AU-VIC
Australia	Western Australia	AU-WA
Australia	Western Australia (Exception)	AU-WA1
Austria	Austria	AT
Azerbaijan	Azerbaijan	AZ
Bahamas	Bahamas	BS
Bahrain	Bahrain	BH
Bangladesh	Bangladesh	BD
Barbados	Barbados	BB
Belarus	Belarus	BY
Belgium	Belgium	BE
Belize	Belize	BZ
Benin	Benin	BJ
Bermuda	Bermuda	BM
Bhutan	Bhutan	BT
Bolivia	Bolivia	BO
Bonaire, Sint Eustatius and Saba	Bonaire, Sint Eustatius and Saba	BQ
Bosnia and Herzegovina	Bosnia and Herzegovina	BA
Botswana	Botswana	BW
Brazil	Acre	BR-AC
Brazil	Alagoas	BR-AL
Brazil	Amapa	BR-AP
Brazil	Amazonas	BR-AM
Brazil	Bahia	BR-BA
Brazil	Ceara	BR-CE
Brazil	Distrito Federal	BR-DF
Brazil	Espirto Santo	BR-ES
Brazil	Fernando de Noronha	BR-FN
Brazil	Goiias	BR-GO
Brazil	Maranhao	BR-MA
Brazil	Mato Grosso	BR-MT
Brazil	Mato Grosso (Araguaia region)	BR-MT1
Brazil	Mato Grosso do Sul	BR-MS
Brazil	Minas Gerais	BR-MG
Brazil	Para (eastern)	BR-PA1
Brazil	Para (western)	BR-PA2
Brazil	Paraiba	BR-PB
Brazil	Parana	BR-PR

国	地域	コード
Brazil	Pernambuco	BR-PE
Brazil	Piaui	BR-PI
Brazil	Rio de Janeiro	BR-RJ
Brazil	Rio Grande do Norte	BR-RN
Brazil	Rio Grande do Sul	BR-RS
Brazil	Rondonia	BR-RO
Brazil	Roraima	BR-RR
Brazil	Santa Catarina	BR-SC
Brazil	Sao Paulo	BR-SP
Brazil	Sergipe	BR-SE
Brazil	Tocantins	BR-TO
Brunei Darussalam	Brunei Darussalam	BN
Bulgaria	Bulgaria	BG
Burkina Faso	Burkina Faso	BF
Burundi	Burundi	BI
Cambodia	Cambodia	KH
Cameroon	Cameroon	CM
Canada	Alberta	CA-AB
Canada	British Columbia	CA-BC
Canada	British Columbia (exception 1)	CA-BC1
Canada	British Columbia (exception 2)	CA-BC2
Canada	Labrador	CA2
Canada	Labrador (exception)	CA2A
Canada	Manitoba	CA-MB
Canada	New Brunswick	CA-NB
Canada	Newfoundland	CA-NF
Canada	Northwest Territories	CA-NT
Canada	Nova Scotia	CA-NS
Canada	Nunavut - Southampton Island	CA-NT2A
Canada	Nunavut (Central)	CA-NT2B
Canada	Nunavut (Eastern)	CA-NT2
Canada	Nunavut (Mountain)	CA-NT2C
Canada	Ontario	CA-ON
Canada	Ontario (western)	CA-ON1
Canada	Prince Edward Island	CA-PE
Canada	Quebec	CA-QC
Canada	Quebec (far east)	CA-QC1
Canada	Saskatchewan	CA-SK
Canada	Saskatchewan (exceptions - east)	CA-SK2
Canada	Saskatchewan (exceptions - west)	CA-SK1
Canada	Yukon	CA-YT
Cape Verde	Cape Verde	CV
Cayman Islands	Cayman Islands	KY

国	地域	コード
Central African Republic	Central African Republic	CF
Chad	Chad	TD
Chile	Chile	CL
Chile - Easter Island	Chile - Easter Island	CL2
China	China	CN
Christmas Island (Indian Ocean)	Christmas Island (Indian Ocean)	CX
Cocos (Keeling) Islands	Cocos (Keeling) Islands	CC
Colombia	Colombia	CO
Comoros	Comoros	KM
Congo	Congo	CG
Congo, Democratic Republic of	(Eastern)	CD2
Congo, Democratic Republic of	(Western)	CD
Cook Islands	Cook Islands	CK
Costa Rica	Costa Rica	CR
Cote D'Ivoire	Cote D'Ivoire	CI
Croatia	Croatia	HR
Cuba	Cuba	CU
Curaçao	Curaçao	CW
Cyprus	Cyprus	CY
Czech Republic	Czech Republic	CZ
Denmark	Denmark	DK
Djibouti	Djibouti	DJ
Dominica	Dominica	DM
Dominican Republic	Dominican Republic	DO
Ecuador	Ecuador	EC
Ecuador - Galapagos Islands	Ecuador - Galapagos Islands	EC2
Egypt	Egypt	EG
El Salvador	El Salvador	SV
Equatorial Guinea	Equatorial Guinea	GQ
Eritrea	Eritrea	ER
Estonia	Estonia	EE
Ethiopia	Ethiopia	ET
Falkland Islands (Malvinas)	Falkland Islands (Malvinas)	FK
Faroe Islands	Faroe Islands	FO
Fiji	Fiji	FJ
Finland	Finland	FI
France	France	FR
French Guiana	French Guiana	GF
French Polynesia	Austral Islands	PF2A
French Polynesia	Gambier Islands	PF3
French Polynesia	Marquesas Islands	PF1
French Polynesia	Society Islands (including Tahiti)	PF
French Polynesia	Tuamotu Archipelago	PF2B

国	地域	コード
Gabon	Gabon	GA
Gambia	Gambia	GM
Georgia	Georgia	GE
Germany	Germany	DE
Ghana	Ghana	GH
Gibraltar	Gibraltar	GI
Greece	Greece	GR
Greenland	Danmarkshavn	GL4
Greenland	Greenland	GL
Greenland	Ittoqqortoormiit	GL3
Greenland	Pituffik	GL2
Grenada	Grenada	GD
Guadeloupe	Guadeloupe	GP
Guam	Guam	GU
Guatemala	Guatemala	GT
Guernsey	Guernsey	GG
Guinea	Guinea	GN
Guinea-Bissau	Guinea-Bissau	GW
Guyana	Guyana	GY
Haiti	Haiti	HT
Holy See	Holy See	VA
Honduras	Honduras	HN
Hong Kong	Hong Kong	HK
Hungary	Hungary	HU
Iceland	Iceland	IS
India	India	IN
Indonesia	(Central)	ID2
Indonesia	(Eastern)	ID3
Indonesia	(Western)	ID
Iran, Islamic Republic of	Iran, Islamic Republic of	IR
Iraq	Iraq	IQ
Ireland	Ireland	IE
Isle of Man	Isle of Man	IM
Israel	Israel	IL
Italy	Italy	IT
Jamaica	Jamaica	JM
Japan	Japan	JP
Jersey	Jersey	JE
Johnston Atoll (U.S.)	Johnston Atoll (U.S.)	UM1
Jordan	Jordan	JO
Kazakhstan	(Eastern)	KZ
Kazakhstan	(Western)	KZ1
Kenya	Kenya	KE

国	地域	コード
Kiribati	Gilbert Islands	KI
Kiribati	Line Islands	KI2
Kiribati	Phoenix Islands	KI3
Korea, Democratic People's Republic of	Korea, Democratic People's Republic of	KP
Korea, Republic of	Korea, Republic of	KR
Kuwait	Kuwait	KW
Kyrgyzstan	Kyrgyzstan	KG
Lao People's Democratic Republic	Lao People's Democratic Republic	LA
Latvia	Latvia	LV
Lebanon	Lebanon	LB
Lesotho	Lesotho	LS
Liberia	Liberia	LR
Libya	Libya	LY
Liechtenstein	Liechtenstein	LI
Lithuania	Lithuania	LT
Luxembourg	Luxembourg	LU
Macao	Macao	MO
Macedonia, The Former Yugoslav Republic Of	Macedonia, The Former Yugoslav Republic Of	MK
Madagascar	Madagascar	MG
Malawi	Malawi	MW
Malaysia	Malaysia	MY
Maldives	Maldives	MV
Mali	Mali	ML
Malta	Malta	MT
Marshall Islands	Marshall Islands	MH
Martinique	Martinique	MQ
Mauritania	Mauritania	MR
Mauritius	Mauritius	MU
Mayotte	Mayotte	YT
Mexico	Aguascalientes	MX-AGU
Mexico	Baja California	MX-BCN
Mexico	Baja California (Border Region)	MX-BCN1
Mexico	Baja California Sur	MX-BCS
Mexico	Campeche	MX-CAM
Mexico	Chiapas	MX-CHP
Mexico	Chihuahua	MX-CHH
Mexico	Chihuahua (Border Region)	MX-CHH1
Mexico	Coahuila	MX-COA
Mexico	Coahuila (Border Region)	MX-COA1
Mexico	Colima	MX-COL
Mexico	Distrito Federal	MX-DIF

国	地域	コード
Mexico	Durango	MX-DUR
Mexico	Guanajuato	MX-GUA
Mexico	Guerrero	MX-GRO
Mexico	Hidalgo	MX-HID
Mexico	Jalisco	MX-JAL
Mexico	Mexico State	MX-MEX
Mexico	Michoacán	MX-MIC
Mexico	Morelos	MX-MOR
Mexico	Nayarit	MX-NAY
Mexico	Nayarit (Exception)	MX-NAY1
Mexico	Nuevo León	MX-NLE
Mexico	Nuevo León (Border Region)	MX-NLE1
Mexico	Oaxaca	MX-OAX
Mexico	Puebla	MX-PUE
Mexico	Querétaro	MX-QUE
Mexico	Quintana Roo	MX-ROO
Mexico	San Luis Potosí	MX-SLP
Mexico	Sinaloa	MX-SIN
Mexico	Sonora	MX-SON
Mexico	Tabasco	MX-TAB
Mexico	Tamaulipas	MX-TAM
Mexico	Tamaulipas (Border Region)	MX-TAM1
Mexico	Tlaxcala	MX-TLA
Mexico	Veracruz	MX-VER
Mexico	Yucatan	MX-YUC
Mexico	Zacatecas	MX-ZAC
Micronesia, Federated States Of	Kosrae, Pohnpei	FM
Micronesia, Federated States Of	Yap, Chuuk	FM1
Midway Islands (U.S.)	Midway Islands (U.S.)	UM2
Moldova, Republic of	Moldova, Republic of	MD
Monaco	Monaco	MC
Mongolia	(Central and Eastern)	MN
Mongolia	(Western)	MN1
Montenegro	Montenegro	ME
Montserrat	Montserrat	MS
Morocco	Morocco	MA
Mozambique	Mozambique	MZ
Myanmar	Myanmar	MM
Namibia	Namibia	NA
Nauru	Nauru	NR
Nepal	Nepal	NP
Netherlands	Netherlands	NL
New Caledonia	New Caledonia	NC

国	地域	コード
New Zealand	New Zealand	NZ
New Zealand - Chatham Islands	New Zealand - Chatham Islands	NZ2
Nicaragua	Nicaragua	NI
Niger	Niger	NE
Nigeria	Nigeria	NG
Niue	Niue	NU
Norfolk Island	Norfolk Island	NF
Northern Mariana Islands	Northern Mariana Islands	MP
Norway	Norway	NO
Oman	Oman	OM
Pakistan	Pakistan	PK
Palau	Palau	PW
Palestinian Territory	Gaza Strip	PS1
Palestinian Territory	West Bank	PS
Panama	Panama	PA
Papua New Guinea	Papua New Guinea	PG
Paraguay	Paraguay	PY
Peru	Peru	PE
Philippines	Philippines	PH
Pitcairn	Pitcairn	PN
Poland	Poland	PL
Portugal	Azores	PT2
Portugal	Madeira Islands	PT1
Portugal	Portugal	PT
Puerto Rico	Puerto Rico	PR
Qatar	Qatar	QA
Reunion	Reunion	RE
Romania	Romania	RO
Russia	Adygea	RU-AD
Russia	Altai Republic	RU-AL
Russia	Altaskiy Kray	RU-ALT
Russia	Amur	RU-AMU
Russia	Arkhangel'	RU-ARK
Russia	Astrakhan'	RU-AST
Russia	Bashkortostan	RU-BA
Russia	Belgorod	RU-BEL
Russia	Bryansk	RU-BRY
Russia	Buryatia	RU-BU
Russia	Chechnya	RU-CE
Russia	Chelyabinsk	RU-CHE
Russia	Chukot	RU-CHU
Russia	Chuvashia	RU-CU
Russia	Dagestan	RU-DA

国	地域	コード
Russia	Ingushetia	RU-IN
Russia	Irkutsk	RU-IRK
Russia	Ivanovo	RU-IVA
Russia	Jewish Autonomous Oblast'	RU-YEV
Russia	Kabardino-Balkaria	RU-KB
Russia	Kaliningrad	RU-KGD
Russia	Kalmykia	RU-KL
Russia	Kaluga	RU-KLU
Russia	Kamchatka	RU-KAM
Russia	Karachay-Cherkessia	RU-KC
Russia	Karelia	RU-KR
Russia	Kemerovo	RU-KEM
Russia	Khabarovsk	RU-KHA
Russia	Khakassia	RU-KK
Russia	Khanty-Mansi	RU-KHM
Russia	Kirov	RU-KIR
Russia	Komi	RU-KO
Russia	Kostroma	RU-KOS
Russia	Krasnodar	RU-KDA
Russia	Krasnoyarsk	RU-KYA
Russia	Kurgan	RU-KGN
Russia	Kursk	RU-KRS
Russia	Leningradskaya Oblast'	RU-LEN
Russia	Lipetsk	RU-LIP
Russia	Magadan	RU-MAG
Russia	Mari El	RU-ME
Russia	Mordovia	RU-MO
Russia	Moscow City	RU-MOW
Russia	Moskva	RU-MOS
Russia	Murmansk	RU-MUR
Russia	Nenets	RU-NEN
Russia	Nizhniy Novgorod	RU-NIZ
Russia	North Ossetia-Alania	RU-SE
Russia	Novgorod	RU-NGR
Russia	Novosibirsk	RU-NVS
Russia	Omsk	RU-OMS
Russia	Orel	RU-ORL
Russia	Orenburg	RU-ORE
Russia	Penza	RU-PNZ
Russia	Perm	RU-PER
Russia	Primorskiy	RU-PRI
Russia	Pskov	RU-PSK
Russia	Rostov	RU-ROS

国	地域	コード
Russia	Ryazan'	RU-RYA
Russia	Sakha (Central)	RU-SA2
Russia	Sakha (Eastern)	RU-SA3
Russia	Sakha (Western)	RU-SA
Russia	Sakhalin	RU-SAK
Russia	Sakhalin (Kuril Islands)	RU-SAK2
Russia	Samara	RU-SAM
Russia	Saratov	RU-SAR
Russia	Smolensk	RU-SMO
Russia	St. Petersburg City	RU-SPE
Russia	Stavropol	RU-STA
Russia	Sverdlovsk	RU-SVE
Russia	Tambov	RU-TAM
Russia	Tatarstan	RU-TA
Russia	Tomsk	RU-TOM
Russia	Tula	RU-TUL
Russia	Tuva	RU-TY
Russia	Tver'	RU-TVE
Russia	Tyumen'	RU-TYU
Russia	Udmurtia	RU-UD
Russia	Ul'yanovsk	RU-ULY
Russia	Vladimir	RU-VLA
Russia	Volgograd	RU-VGG
Russia	Vologda	RU-VLG
Russia	Voronezh	RU-VOR
Russia	Yamalo-Nenets	RU-YAN
Russia	Yaroslavl'	RU-YAR
Russia	Zabaykalsky	RU-ZAB
Rwanda	Rwanda	RW
Saint Barthelemy	Saint Barthelemy	BL
Saint Helena, Ascension and Tristan da Cunha	Saint Helena, Ascension and Tristan da Cunha	SH
Saint Kitts and Nevis	Saint Kitts and Nevis	KN
Saint Lucia	Saint Lucia	LC
Saint Martin	Saint Martin	MF
Saint Pierre and Miquelon	Saint Pierre and Miquelon	PM
Saint Vincent and The Grenadines	Saint Vincent and The Grenadines	VC
Samoa	Samoa	WS
San Marino	San Marino	SM
Sao Tome and Principe	Sao Tome and Principe	ST
Saudi Arabia	Saudi Arabia	SA
Senegal	Senegal	SN
Serbia	Serbia	RS

国	地域	コード
Seychelles	Seychelles	SC
Sierra Leone	Sierra Leone	SL
Singapore	Singapore	SG
Sint Maarten (Dutch part)	Sint Maarten (Dutch part)	SX
Slovakia	Slovakia	SK
Slovenia	Slovenia	SI
Solomon Islands	Solomon Islands	SB
Somalia	Somalia	SO
South Africa	South Africa	ZA
South Sudan, Republic of	South Sudan, Republic of	SS
Spain	Canary Islands	ES2
Spain	Mainland, Balears, Melilla, Ceuta	ES
Sri Lanka	Sri Lanka	LK
Sudan	Sudan	SD
Suriname	Suriname	SR
Svalbard and Jan Mayen	Svalbard and Jan Mayen	SJ
Swaziland	Swaziland	SZ
Sweden	Sweden	SE
Switzerland	Switzerland	CH
Syrian Arab Republic	Syrian Arab Republic	SY
Taiwan	Taiwan	TW
Tajikistan	Tajikistan	TJ
Tanzania, United Republic of	Tanzania, United Republic of	TZ
Thailand	Thailand	TH
Timor-Leste	Timor-Leste	TL
Togo	Togo	TG
Tokelau	Tokelau	TK
Tonga	Tonga	TO
Trinidad and Tobago	Trinidad and Tobago	TT
Tunisia	Tunisia	TN
Turkey	Turkey	TR
Turkmenistan	Turkmenistan	TM
Turks and Caicos Islands	Turks and Caicos Islands	TC
Tuvalu	Tuvalu	TV
Uganda	Uganda	UG
Ukraine	Ukraine	UA
United Arab Emirates	United Arab Emirates	AE
United Kingdom	United Kingdom	GB
United States	Alabama	US-AL
United States	Alaska	US-AK
United States	Alaska (Aleutian Islands)	US-AK1
United States	Arizona	US-AZ
United States	Arizona (Navajo Reservation)	US-AZ1

国	地域	コード
United States	Arkansas	US-AR
United States	California	US-CA
United States	Colorado	US-CO
United States	Connecticut	US-CT
United States	Delaware	US-DE
United States	District of Columbia	US-DC
United States	Florida	US-FL
United States	Florida (far west)	US-FL1
United States	Georgia	US-GA
United States	Hawaii	US-HI
United States	Idaho (northern)	US-ID1
United States	Idaho (southern)	US-ID
United States	Illinois	US-IL
United States	Indiana	US-IN
United States	Indiana (far west)	US-IN1
United States	Iowa	US-IA
United States	Kansas	US-KS
United States	Kansas (exception)	US-KS1
United States	Kentucky (eastern)	US-KY
United States	Kentucky (western)	US-KY1
United States	Louisiana	US-LA
United States	Maine	US-ME
United States	Maryland	US-MD
United States	Massachusetts	US-MA
United States	Michigan	US-MI
United States	Michigan (exception)	US-MI1
United States	Minnesota	US-MN
United States	Mississippi	US-MS
United States	Missouri	US-MO
United States	Montana	US-MT
United States	Nebraska	US-NE
United States	Nebraska (western)	US-NE1
United States	Nevada	US-NV
United States	Nevada (exception)	US-NV1
United States	New Hampshire	US-NH
United States	New Jersey	US-NJ
United States	New Mexico	US-NM
United States	New York	US-NY
United States	North Carolina	US-NC
United States	North Dakota	US-ND
United States	North Dakota (western)	US-ND1
United States	Ohio	US-OH
United States	Oklahoma	US-OK

国	地域	コード
United States	Oregon	US-OR
United States	Oregon (exception)	US-OR1
United States	Pennsylvania	US-PA
United States	Rhode Island	US-RI
United States	South Carolina	US-SC
United States	South Dakota (eastern)	US-SD
United States	South Dakota (western)	US-SD1
United States	Tennessee (eastern)	US-TN1
United States	Tennessee (western)	US-TN
United States	Texas	US-TX
United States	Texas (far west)	US-TX1
United States	Utah	US-UT
United States	Vermont	US-VT
United States	Virginia	US-VA
United States	Washington	US-WA
United States	West Virginia	US-WV
United States	Wisconsin	US-WI
United States	Wyoming	US-WY
Uruguay	Uruguay	UY
Uzbekistan	Uzbekistan	UZ
Vanuatu	Vanuatu	VU
Venezuela	Venezuela	VE
Viet Nam	Viet Nam	VN
Virgin Islands (British)	Virgin Islands (British)	VG
Virgin Islands (U.S.)	Virgin Islands (U.S.)	VI
Wake Island (U.S.)	Wake Island (U.S.)	UM3
Wallis and Futuna	Wallis and Futuna	WF
Western Sahara	Western Sahara	EH
Yemen	Yemen	YE
Zambia	Zambia	ZM
Zimbabwe	Zimbabwe	ZW

---

# 調査パネルインテ グレーション

---

ウェブ調査の回答者が調査パネルからの場合があります。調査に必要な人口統計学的属性に合う対象者を探すために、これらのパネルは使用されます。

Web Survey Creator はどの標準的なパネルでも実行可能で、Contact Profiler ソフトウェアを使用する場合、パネルとのインテグレーションも可能です。



## 調査パネルの概要

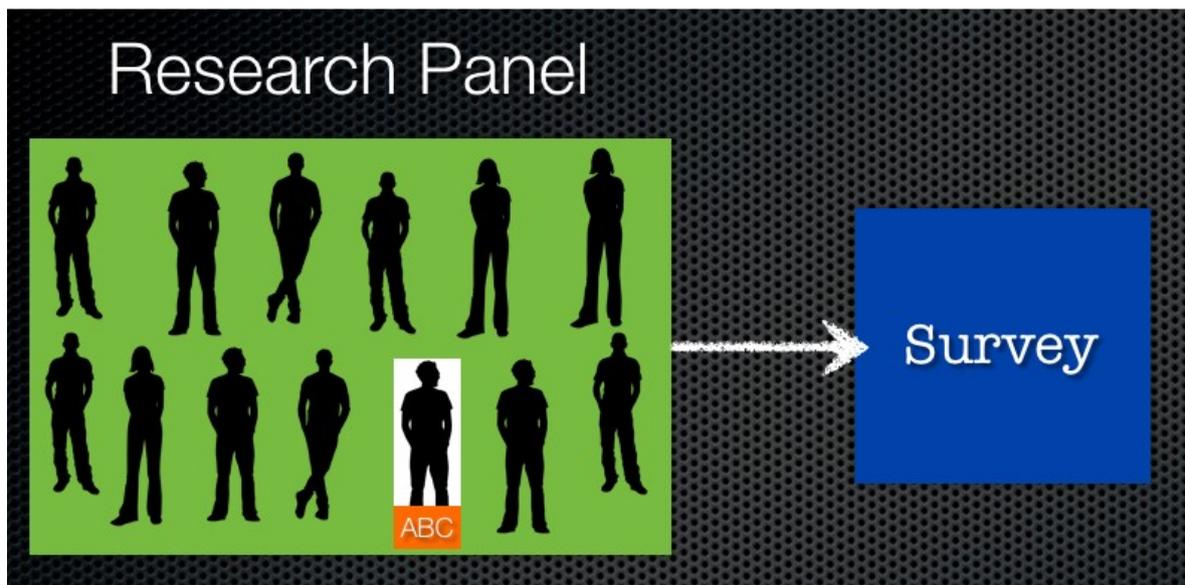
調査パネルは、年齢、性別および住所を含む調査回答者の良い情報源を提供します。

これらのパネルは、以下の理由で、どのように使用されたか追跡する必要があります。

1. メンバーは努力に対し報酬が与えられます
2. パネル提供者には調査使用料が、支払われます

この追跡では、調査とパネル提供者のソフトウェア間でコミュニケーションが発生します。

調査完了したパネルメンバーは、パネルに適合するよう、パネル提供者により識別フラグが付けられる必要があります。

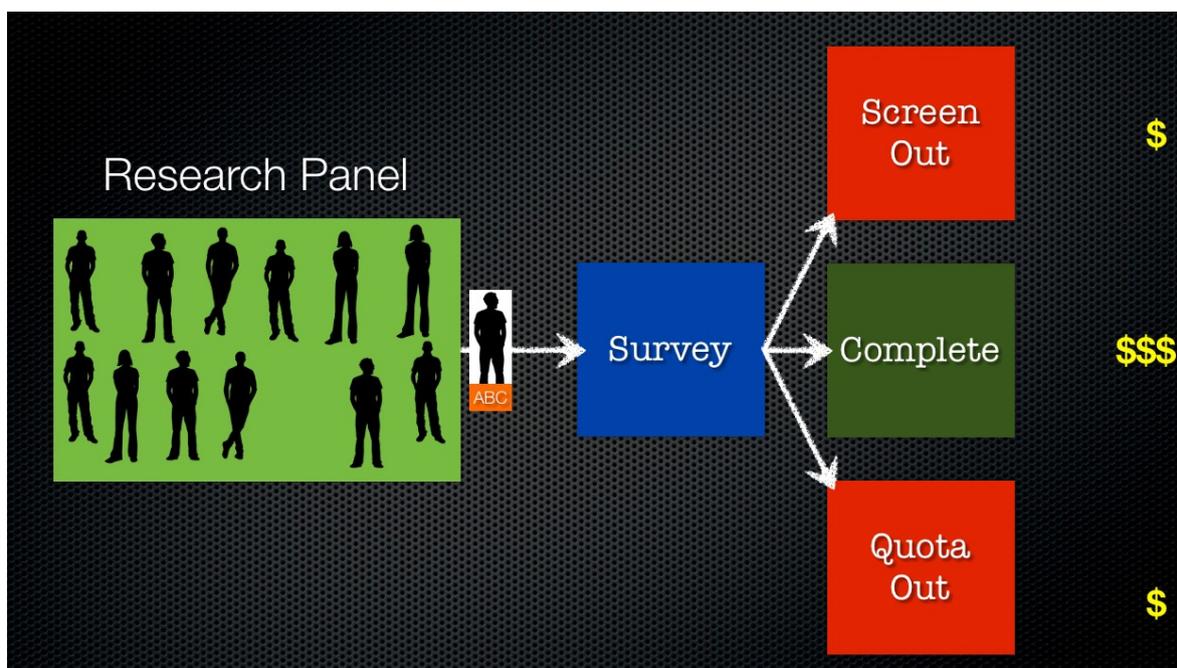


これは、このデータが調査に受け渡される仕組みが必要であることを意味します。

調査完了すると、パネル提供者にはパネルメンバーの調査での、以下のような行動が通知される必要があります。

1. 調査を完了したか？
2. 不適合であるため、対象外となったか？
3. クォータ必要数超過のため、除外されたか？

パネル提供者は、この情報を基に、報酬および費用を決定します。



## 調査パネルを使用する

### 回答者固有コードを設定する

ではパネル提供者から提供される識別子をどのように使うか見ていきましょう。

我々は、標準の匿名調査ディストリビューションを使うことになっています。

例えば、以下のような調査リンクがあります。

**<http://survey.websurveycreator.com/s/myresearchsurvey>**

ID を単に調査リンクに渡すことにより、以下のように、固有の ID が各調査回答者に設定されます。

**<http://survey.websurveycreator.com/s.aspx?s=f4ef1799-2413-4514-b5ef-9ff20e1de322&usr={Unique Code}>**

招待メールを送信するために、固有のコードは、パネル管理システムにより渡されます。

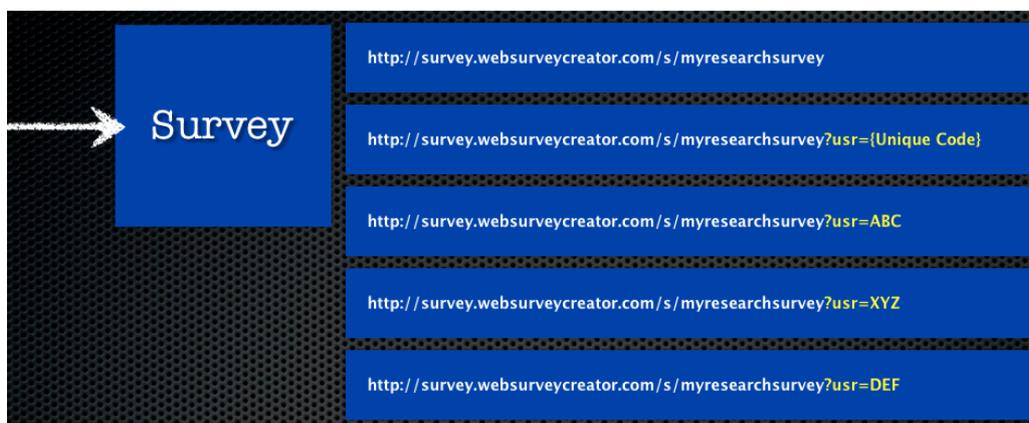
3つの異なる回答者に送られるリンクは以下の通りとなります。

**<http://survey.websurveycreator.com/s.aspx?s=f4ef1799-2413-4514-b5ef-9ff20e1de322&usr=1000>**

**<http://survey.websurveycreator.com/s.aspx?s=f4ef1799-2413-4514-b5ef-9ff20e1de322&usr=1001>**

**<http://survey.websurveycreator.com/s.aspx?s=f4ef1799-2413-4514-b5ef-9ff20e1de322&usr=ABC>**

コードは 50 字以内の英文字と数字の組み合わせです。



## 調査結果を戻す

回答者が調査を完了したら、パネル管理システムには回答者終了ステータスが通知される必要があります。

これは、調査完了時に、パネル管理システムにリダイレクトされることにより達成されます。

一般的に、2つの情報がリダイレクトの一部として提供されます。

1. 回答者のID
2. 回答者の回答ステータスを示すコード

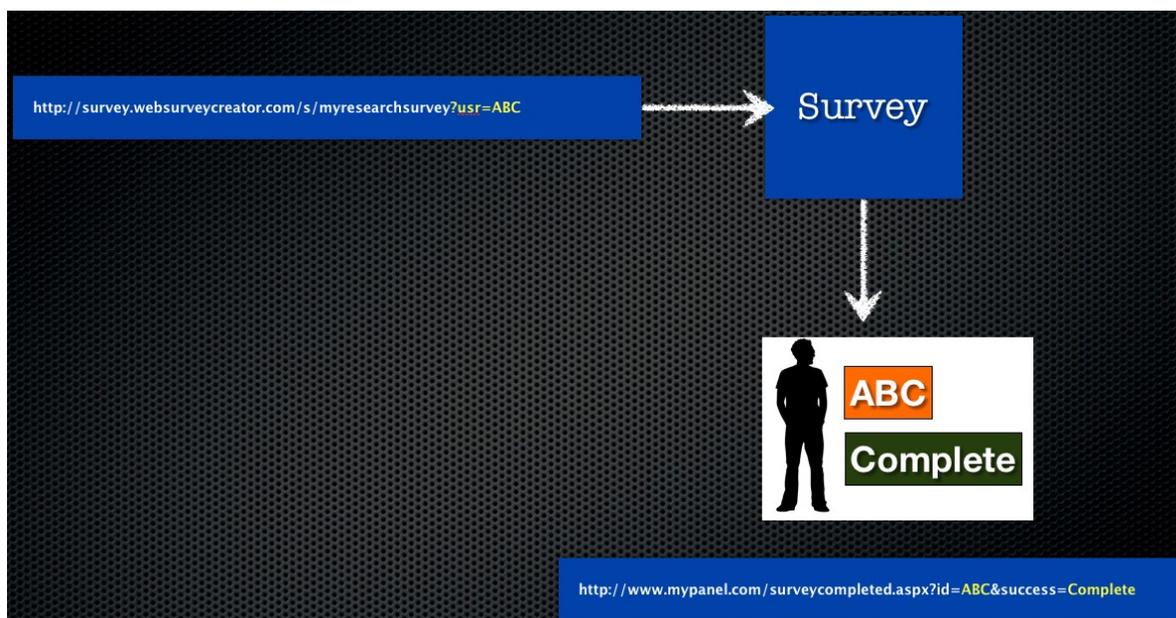
IDは、回答者が調査開始時に、Web Survey Creator が付与する固有のコードです。

ステータスを示すコードは一般的に以下3つの可能性があります。

1. 完了
2. 対象外
3. クォータ除外

リダイレクト URL の例は以下の通りです。

**`http://www.mypanel.com/surveycompleted.aspx?id=ABC&success=Complete`**



調査を通して、異なる終了ページには、異なる URL が設定される必要があります。終了ページに関する情報は、このマニュアルの前の部分で説明されています。

## パネルの例：SurveyVillage

オーストラリアの“SurveyVillage” パネルを使った、実際の例を考えてみましょう。

リダイレクト URL 設定時に、必要な「アクションコード」と一緒に、調査にいたるまでに送信されたコードを渡すことに気を付けます。

SurveyVillage は URL のフォーマットを提供します。

回答者が調査開始時に付与されたのと同じコードで識別されるように、リコールコードを URL に入れます。

完了、対象外、クォータ除外それぞれの URL は以下の通りです。

### 完了

`http://www.surveyvillage.com/WebJobFinish.aspx?SurveyCode=x520afgv5rt2umlqwja8&ContactId=RECALLCODE&ActionCode=q2yf4`

### 対象外

`http://www.surveyvillage.com/WebJobFinish.aspx?SurveyCode=x520afgv5rt2umlqwja8&ContactId=RECALLCODE&ActionCode=xry64`

### クォータ除外

`http://www.surveyvillage.com/WebJobFinish.aspx?SurveyCode=x520afgv5rt2umlqwja8&ContactId=RECALLCODE&ActionCode=q5jd8`

URL の唯一の違いは「アクションコード」だと気づくでしょう。

Web Survey Creator ですべき唯一の点は、調査構成の適切な場所にリダイレクトを配置することです。

「完了」の場合、調査の最後まで到達します。そのため、調査の最後に表示される調査完了終了ページに表れるようリダイレクトを変更します。

**Terminate Survey**

You can optionally terminate the Survey if your survey reaches this page. Choose whether you want to terminate the Survey on this page and what will happen once the Survey is terminated.

Do not Terminate the Survey on this Page  
 Terminate the Survey and use Distribution completion process  
 Terminate the Survey and Redirect Survey to a Web Page

Redirect Web Page Url:

Survey Completion State:

「対象外」は対象外終了ページで終わる回答者に生じます。そのため、このページのリダイレクトを調整する必要があります。

**Terminate Survey**

You can optionally terminate the Survey if your survey reaches this page. Choose whether you want to terminate the Survey on this page and what will happen once the Survey is terminated.

Do not Terminate the Survey on this Page  
 Terminate the Survey and use Distribution completion process  
 Terminate the Survey and Redirect Survey to a Web Page

Redirect Web Page Url:

Survey Completion State:

「クォータ除外」はクォータ除外ページで終了する回答者に生じます。そのため、このページを調整する必要があります。

**Terminate Survey**

You can optionally terminate the Survey if your survey reaches this page. Choose whether you want to terminate the Survey on this page and what will happen once the Survey is terminated.

Do not Terminate the Survey on this Page  
 Terminate the Survey and use Distribution completion process  
 Terminate the Survey and Redirect Survey to a Web Page

Redirect Web Page Url:

Survey Completion State:

素晴らしい！これで、調査は SurveyVillage パネルに使えるようになりました。

# ウェブ調査と Contact Profiler とのインテグレーション

## Contact Profiler とは何か?

Contact Profiler (CP) は、回答者パネルを管理するのに使用されるウェブアプリケーションです。Web Survey Creator を開発したチームと緊密に協力して開発されました。

これは以下を意味します。

- 前章で説明された多くのタスクを簡素化する統合レベルが可能です。
- 追加機能が利用可能—統合された調査からの回答によるパネルデータ更新

## なぜインテグレーションを使うのか?

本章で前に説明したステップは非常に簡単で、どのパネルにも対応します。ではなぜインテグレーションについて懸念する必要があるのでしょうか？それは以下のようなメリットがあるからです。

1. インテグレーションはプロセスの技術面を隠し、理解しやすくなります
2. 設定が容易であれば、ミスを犯す機会が減ります。URLおよびコードを使うので、文字のミスタイプは混乱を招く可能性があります。
3. より素早く設定できます！
4. パネルプロファイルの更新のような特徴は、本当のインテグレーションを通してのみ可能です

## 誰がインテグレーションを使うのか?

Contact Profiler インテグレーションは CP と WSC 両方を使用する組織で利用可能です。そのため、彼らはパネルの所有者およびウェブ調査の作成者です。リサーチパネル外部の消費者は、前章で説明した一般的なインテグレーションで、設定する必要があります。

## ウェブ調査インテグレーションの概要

Web Survey Creator のユーザーは、前章で説明した手法を使用して、Contact Profiler で調査をインテグレーションできます。しかしながら、より早く、簡単な統合のインテグレーションの方法があります。

以下の例を考えてみましょう。

“Beach Burger” は急成長しているハンバーガーチェーンで、新しい健康的なメニューおよび広告キャンペーンが、18 から 39 歳に対して有効か決定したい。

WSC で簡易調査が作成され、Contact Profiler で実行されるリサーチパネルのメンバーに送信されます。

## インテグレーションチェックリスト

WSC と CP の間で、どのようにインテグレーションが達成されるか理解することは重要です。この理解の一部は、ウェブ調査がインテグレーションのために正しく設定されているか確認することに関係があります。考慮すべきチェックリストは以下の通りです。

## 必須チェックリスト

以下のチェックリストの必要事項は、インテグレーションできるように、実行される必要があります。これがなければ、インテグレーションの設定は不可能です。

必要事項	内容
Web Survey Creatorで調査を作成する	Contact Profilerでインテグレーションする調査を選択して、インテグレーションが行われます。そのため、まず、Web Survey Creator で調査を作成する必要があります！
調査完了終了ページを作成する	インテグレーションは、完了、対象外およびクォータ除外をサポートします。調査には、最低でも、調査終了ページが必要です。他のページは任意です。

お分かりの通り、必須事項のリストは最小限です。これらが設定されると、以下のような、最も基本的なインテグレーションが可能になります。

- Contact Profilerが調査への招待に使用できる
- 調査完了した回答者が追跡され、Contact Profiler に完了が「通知」されます。

## 任意チェックリスト

以下の事項は必須ではないですが、インテグレーションプロセスでは、はるかに多くの機能を有効にします。

必要事項	内容
対象外終了ページを作成する	対象外終了ページは、調査に適さず「除外」すべき対象者を追跡します。
クォータ除外終了ページを作成する	クォータ除外終了ページは、調査には適しているが、システムに十分な回答者があるため必要のない回答者を追跡します。これらの対象者は同様に「除外」されます。
CPの属性コードに対応する質問にアクセスコードを追加する	最も高度なインテグレーションの特徴は、調査回答によるパネルデータの更新です。CPの属性コードとWSCのアクセスコードをマッチングすることにより実行します。質問は互換性があり、同じ数の選択肢と選択内容が必要です。

これらの任意の必須事項はインテグレーションを通して利用可能な機能を大幅に広げます。特に、調査とプロフィール属性のリンクは、パネルメンバーによる付加的な努力なしに、プロフィールを最新に保つことが容易になります。

## インテグレーションプロセスの概要

詳細を参照する前に、ウェブ調査に Contact Profiler を統合するのに使用される基本プロセスをレビューしてみましょう。このインテグレーションの手順は以下の通りです。

### Web Survey Creator 内

1. Web Survey Creator で調査を作成します



The screenshot shows a web survey interface for 'Beach Burger'. At the top, there's a progress bar indicating 'Progress 20%'. The main content area features the 'Beach Burger' logo on the left, which includes a cartoon dinosaur character. To the right of the logo, there's a 'Welcome to our Survey!' message. Below the welcome message, there are two paragraphs of text explaining the purpose of the survey and expressing appreciation for the respondent's time. A 'Survey Time' section shows '10 Minutes' next to a clock icon. Below this, there are two questions with radio button options. The first question is 'How many times have you eaten at one of our restaurants?' with options: 'Never', '1 - 2 times', '3 - 5 times', '6 - 10 times', and 'More than 10 times'. The second question is 'Would you be happy to take a short survey to help us improve our products and services?' with options: 'Yes' and 'No'. A 'Next' button is located at the bottom right of the survey area. At the very bottom, it says 'Powered By WebSurveyCreator'.

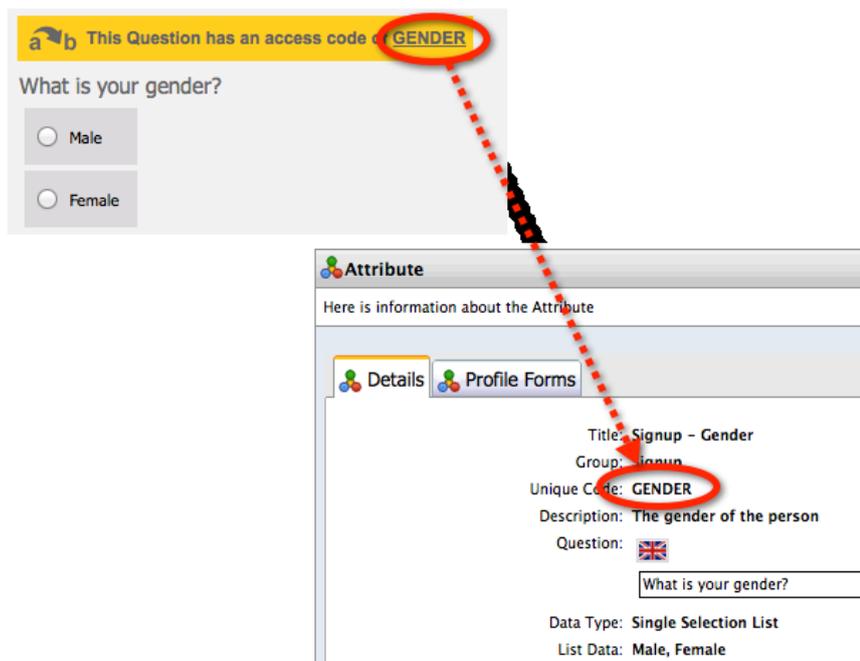
2. 少なくとも、調査には「調査完了」終了ページがあることを確認してください。（これは、回答完了者に表示されるページです）



The screenshot shows the 'Terminate Survey' configuration panel. It has a title 'Terminate Survey' and a subtitle 'You can optionally terminate the Survey if your survey reaches this page. Choose whether you want to terminate the Survey on this page and what will happen once the Survey is terminated.' Below this, there are three fields: 'Termination Method:' with a dropdown menu set to 'Terminate the Survey and Redirect Survey to a Web Page', 'Redirect Web Page Uri:' with an empty text input field, and 'Survey Completion State:' with a dropdown menu set to 'Respondent has "Completed" the Survey'.

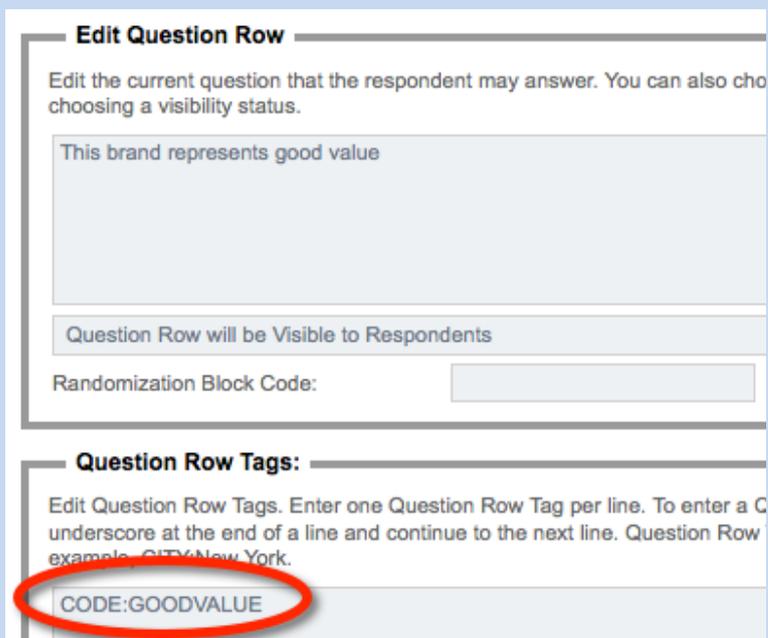
3. 任意で対象外およびクォータ除外用終了ページが含まれます。

4. 任意で、Contact Profiler のプロフィール属性に使用される短縮コードに対応する、固有のアクセスコードを使用してください。



WSCで使用されるマトリクス質問はどうなりますか？

Contact Profiler は、マトリクス質問を直接サポートしません。Web Survey Creator.に設定されます。では、このインテグレーションはどのように行われるのでしょうか？問題は、マトリクスの各行が、CPの単一の質問に統合される必要があるということです。これは、WSCのマトリクスの各行のタグとして、固有コードを追加することで解決されます。



これにインテグレートするためには、CPにマトリクスと同じ選択肢を使う質問が必要です。また「GOODVALUE」コードも必要になります。

## Contact Profiler 内

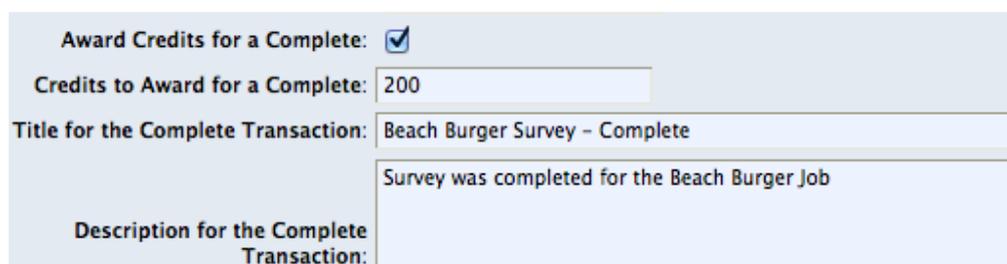
1. Contact Profiler にウェブ調査ジョブを作成し、基本的なジョブ詳細を入力します（氏名等）。



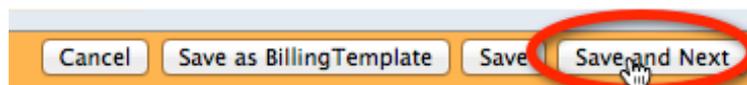
2. タブに行きます。



3. パネルメンバーが受領するクレジットを入力します。（調査完了、対象外および/またはクォータ除外）

A screenshot of a form titled 'Award Credits for a Complete'. It contains several input fields: 'Award Credits for a Complete' with a checked checkbox, 'Credits to Award for a Complete' with the value '200', 'Title for the Complete Transaction' with the value 'Beach Burger Survey - Complete', and 'Description for the Complete Transaction' with the value 'Survey was completed for the Beach Burger Job'.

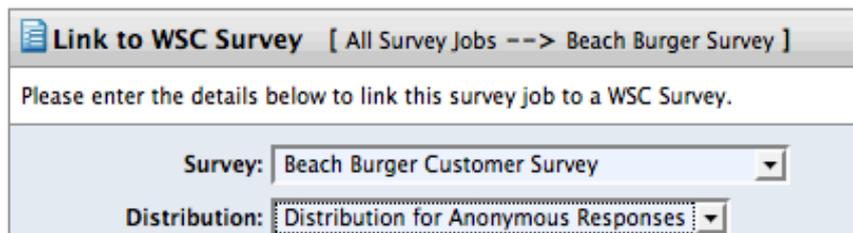
4. Save and Next をクリックします。



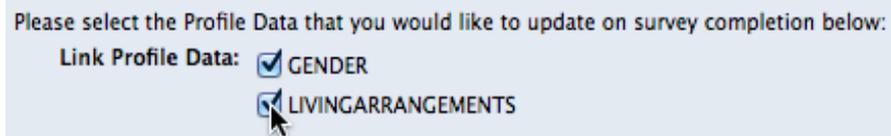
5. Link to WSC Survey ボタンをクリックします。



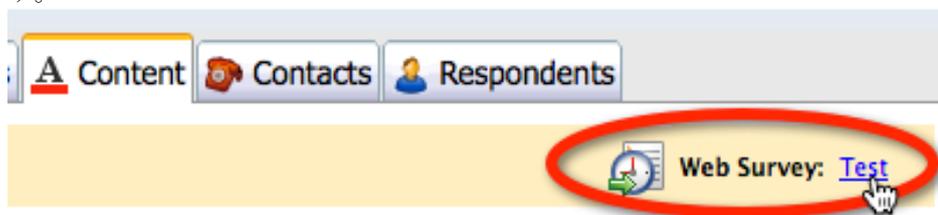
6. 調査およびディストリビューションは、リンクするよう選択する必要があります。

A screenshot of a form titled 'Link to WSC Survey [ All Survey Jobs --> Beach Burger Survey ]'. It contains a message: 'Please enter the details below to link this survey job to a WSC Survey.' Below the message are two dropdown menus: 'Survey:' with the value 'Beach Burger Customer Survey' and 'Distribution:' with the value 'Distribution for Anonymous Responses'.

7. Contact Profiler の属性と同じコードを持つ質問がある場合、ひも付けされます。



8. On the Content tab タブのテストボタンをクリックして、ウェブ調査が動作するかテストします。

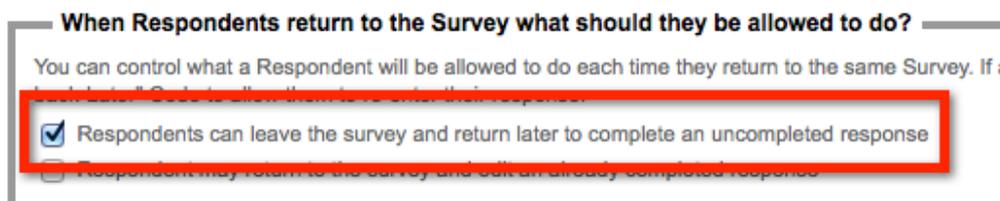


## 何が起こったのでしょうか？

インテグレーションは迅速かつ簡単であるため、何が行われているのか疑問に思われるかも知れません。インテグレーションを使用する上で、重要ではないですが、自動インテグレーションが舞台裏で行われるのを知るのは、便利です。

### 調査ディストリビューションの設定

WSC 調査から選ばれたディストリビューションは Contact Profiler で正しく動作するように設定されます。これは、回答者を識別する「come back later」コードを使用する、匿名ディストリビューションです。



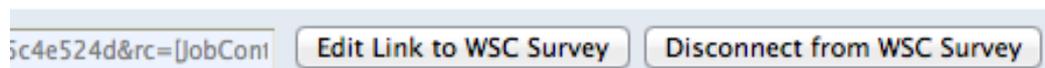
Contact Profiler はこのコードを調査に渡し、調査完了時に、調査完了用、対象外用およびクオータ除外用コードを返されます。

### Contact Profiler が調査リンクを認識する

ウェブ調査ジョブのコンテンツは、ウェブ調査ディストリビューションのリンクを加えて、更新されます。

Job Url (e.g. Survey Page): `http://websurveycreator.com/s.aspx?s=804ba7d5-c74b5c4e524d&rc=[JobConi`

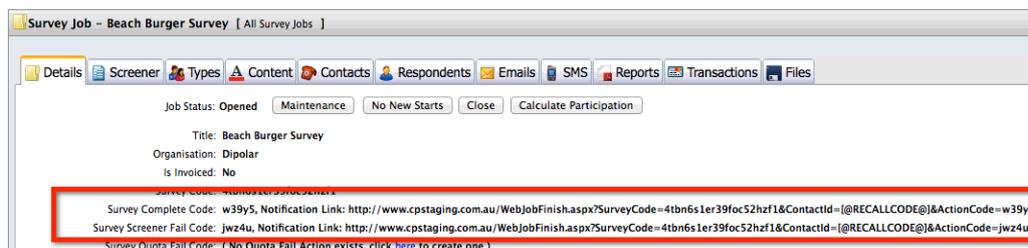
このニーズが将来、変化または消滅する場合、ボタンが迅速なインテグレーション設定変更のために、提供されます。



ジョブ終了後のインテグレーション設定変更は、混乱を招く結果を引き起こす可能性があり、おすすめできません。

## Web Survey Creator は終了を認識している

ウェブ調査ジョブが、Contact Profiler 内で詳細情報（完了、対象外／クォータ除外）とともに、設定されている場合、リダイレクトがジョブ詳細画面に表示されます。



これらのリダイレクトは、ウェブ調査で、どの終了が起きたのか表示するために、必要です。インテグレーションはこれを処理します。例えば、調査完了終了ページで、正しいリダイレクト用の URL が追加されます。

Redirect Web Page Url:

Survey Completion State:

## プロフィールデータの更新

これは唯一、完全に隠されているインテグレーションの一面です。調査が終了すると、プロフィールデータがバックグラウンドで更新されます。

ひも付けられた質問に、調査で入力されたデータがない場合、質問用のプロフィール更新はスキップされます（注、既存データは削除されない）。特定の調査で回答者が回答しないことがあるため、既存のプロフィールデータは、削除されないということです。

## Contact Profiler スクリーナと統合する

### 回答者スクリーナとは何か？

リサーチパネルはウェブ調査に必要な対象者を見つけ出すのに便利です。しかし対象者がパネルが持つ情報（年齢、性別、住所等）に基づいてのみ抽出されるという問題があります。

では、先月にビーチバーガーで食事をした 18~39 歳の女性を探す必要がある場合どうでしょう？年齢と性別は検索できますが、先月の食事についてはできません。これらの対象者は、我々が探している人かどうか、決定するためにスクリーニングされる必要があります。

---

スクリーナはパネルメンバーが特定のプロジェクト要件に合致するかどうかの決定に使用される短い質問です。回答者に関して、パネルデータには含まれない質問をします。

---

## Contact Profiler 内のスクリーナ

Contact Profiler は、プロジェクトのためのスクリーンパネルメンバーに使用されるスクリーニングシステムを保有しています。



システムは非常に有能ですが、Web Survey Creator が持つ多くの利点が欠けています。Web Survey Creator 調査には Contact Profiler:内蔵のスクリーナを超える、以下の利点があります。:

1. モバイル端末での回答のサポート
2. 非常に柔軟かつ魅力的な調査フォーマット
3. より多くの質問タイプ
4. より強力なフロー制御
5. データパイピングおよび他の高度な特徴
6. スクリプティング

スクリーナは Contact Profiler 内のプロジェクトワークフローの他の部分とともに動作する必要があります。特に重要なのは、スクリーナの最後に実行される、分析です。これは、回答者がスクリーナルールに合格し、プロジェクトに参加するのに適しているかどうか判定します。

---

スクリーナ合格ルールは、Contact Profiler により実行され、回答者がプロジェクトに適しているか判定します。外部で管理される Web Survey Creator 経由のスクリーニングプロセスは、このルールシステムと統合される必要があります。

---

## Contact Profiler ワークフロー

スクリーナが内部管理か外部管理かにかかわらず、基本的な Contact Profiler ワークフローは同じままです。スクリーナを使用するプロジェクトのためのワークフロー内の基本ステップは、常に以下のように開始されます。

1. できるだけターゲットとなるユーザーに近いパネルからロードします（年齢、性別および他のプロファイル属性に基づく）
2. これらの対象者をウェブベースの調査スクリーナにかけます
3. スクリーナの回答に基づき、「失格」とするか、合格とし、新回答者タイプに移動します
4. スクリーナに合格した対象者でプロジェクトを続行します

スクリーナの実行方法の変更のみステップ 2 に影響があります。他の全ステップは通常通りに Contact Profiler で実行する必要があります。

## どのように WSC は標準ワークフローに適合するか？

ワークフローのいくつかの面で、スクリーナが存在する必要があります。例えば、回答者が合格か失格か決定するルールは、スクリーナの質問に基づいています。

それではどのように Web Survey Creator が内部スクリーナからスクリーニング作業を引き継ぐのでしょうか？

答えは非常に簡単です—内部スクリーナは、スクリーニング合格ルールに使用される主要質問を持つ Web Survey Creator 調査から自動的に作成されます。

いくつかの追加ステップは、インテグレーションにより自動的に実行されます（太字部分）

CPのみ使用する スクリーニングワークフロー	CPとWSCを使用する スクリーニングワークフロー
	WSCでスクリーナを作成
CP内でスクリーナを作成する	<b>WSC調査からCP内にスクリーニングが生成される</b>
回答者をスクリーナに送る	回答者をスクリーナに送る
	<b>WSCはCPに戻って、回答を返す</b>
スクリーナの合格/失格は、CP内で決定される	スクリーナの合格/失格は、CP内で決定される

本質的に Contact Profiler ワークフローは Contact Profiler の観点から、スクリーナがどのように回答者に表示されるかにかかわらず、全く同じように動作します。これは意図的に実行されます。WSCベースのスクリーナ使用時に、Contact Profiler のパワー（十分に記述された合格ルール）が失われないことを意味します。

それは、本当に「両方の世界のベスト」です。

## スクリーナインテグレーション（ステップ・バイ・ステップ）

では、スクリーナインテグレーションプロセス例を見てみましょう。

「ビーチバーガー」は調査、フォーカスグループおよび試食テストで、特定の属性をターゲットとすることを決定しました。対象者を事前スクリーニングして、以下の条件に合うことを確認したい。

- 女性
- 18 から 39 歳
- 先月 ビーチバーガーで食事をした

先月ビーチバーガーで食事をしたかどうか知る方法は1つの方法しかありません。スクリーナで対象者に質問する必要があります。

### WSCでスクリーナを作成する

最初のステップは、WSCに調査を作成することです。この調査には対象者の性別および年齢を確認する質問（プロフィールデータが正しいことをダブルチェック）が含まれる必要があります。最後にビーチバーガーで食べたのはいつかを回答者に質問します。

スクリーナには以下の質問が含まれます。

#### 最後に食べたのはいつですか？

これは回答者がビーチバーガーで食事をしたかどうか決定する質問です。もし食事をしていたら、有効な回答者であり、スクリーナを合格します（性別年齢要件も満たしていると想定）。この質問にはアクセスコード *LASTEATEN* が付与されます。

**a b** This Question has an access code of LASTEATEN

When was the last time you visited one of our stores?

In the last month

In the last couple of months

In the last 6 months

More than 6 months ago

### 性別は？

アクセスコード *GENDER* が付与された簡単な性別に関する質問で、回答者が女性であることを確認します。

**a b** This Question has an access code of GENDER

What is your gender?

Male

Female

### 何歳ですか？

回答者の年齢はいくつかの年齢グループに分割されます。スクリーナを合格するには、回答者は 18 から 39 歳の年齢グループに属する必要があります。この質問にはアクセスコード *AGE* があります。

**a b** This Question has an access code of AGE

How old are you?

Under 18

18 - 39

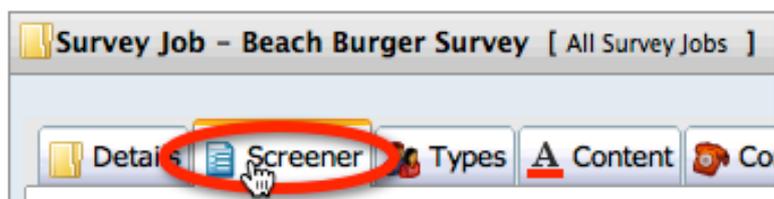
40 - 59

60 or older

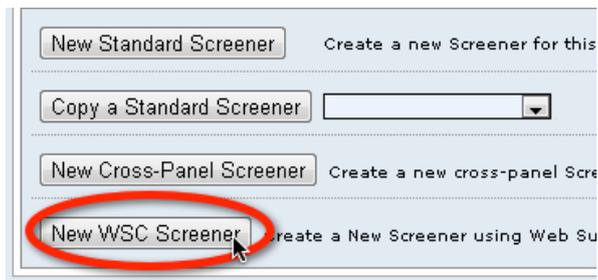
### スクリーナを Contact Profiler にひも付ける

スクリーナとして、WSC で作成されたウェブ調査を Contact Profiler にひも付けるステップは以下の通りです。

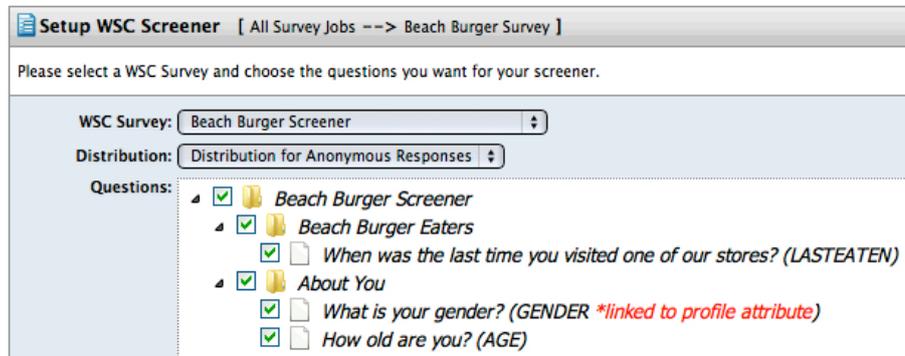
1. Contact Profiler ジョブの Screener タブに行きます



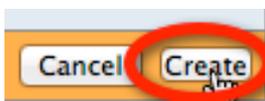
2. New WSC Screener button ボタンをクリックします



3. 調査、ディストリビューションおよびスクリーナに含めたい質問、を選択します。



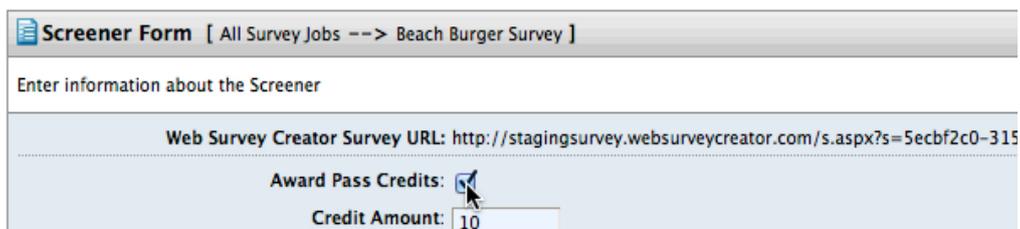
4. Create ボタンをクリックします。



システムはスクリーナを作成したいか確認します。OK ボタンをクリックします。



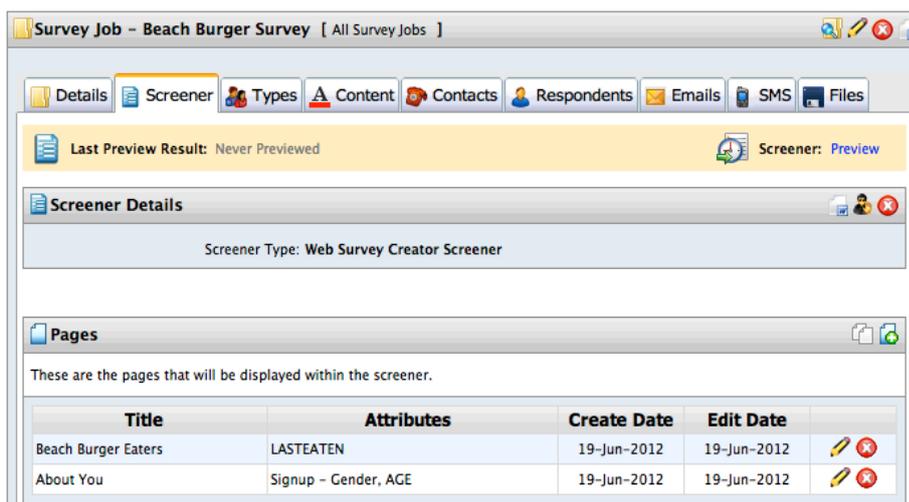
5. 調査完了により受け取るクレジットなどのスクリーナ詳細が入力される必要があります。WSC 調査 URL は、この画面で参照することができます。



6. 全ての内容が入力されたら、Save ボタンをクリックします



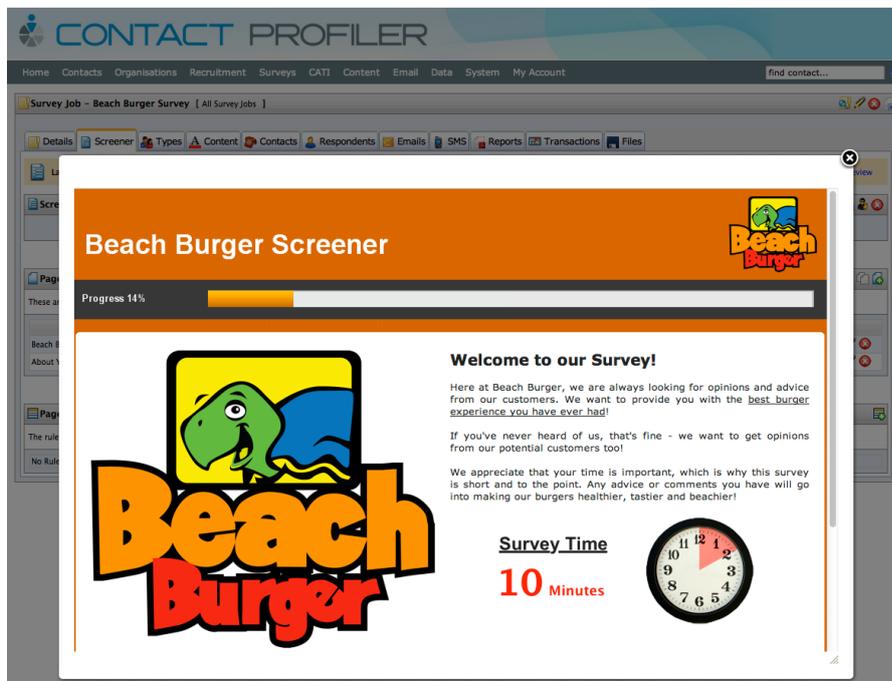
スクリーナは WSC 調査から自動的に作成されます。標準 Contact Profiler スクリーナと同様の見た目と機能があります。



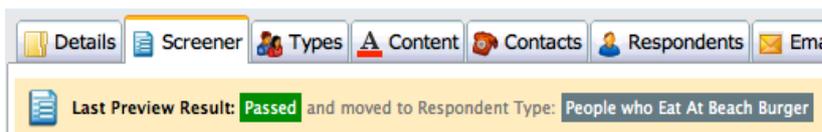
スクリーナは **Preview** リンクをクリックしてテストします



スクリーナはダイアログに表示され、実行可能です。



完了したら、スクリーナの結果が表示されます—簡単なスクリーナの合否ルールのテスト



---

# 製品テスト

---

製品テストには多くの形態があります。本章では、車のブランドに関する製品テストの例を見ていきます。そしてそれに関する質問を行います。

この例は、ページループ、データパイプ、フロー制御および選択のひも付けを含む、複数の高度なコンセプトがあります。



## 製品テストの課題

製品テストは、関連する多数の製品に関する情報を、1つの調査で見つけ出すパワフルな方法です。

調査設定時の最大の課題の1つは、製品数の多さです。例を考えてみましょう。

20製品の製品テストが必要。それぞれの製品に対し、4ページ、ページ毎に2つの質問が必要です。どう設定すれば良いでしょうか？

ページ数:  $20 \times 4 = 80$  質問数:  $20 \times 4 \times 2 = 160$

上記の例から、設定が手に負えなくなるまでに時間がかからないのが分かるでしょう—複雑なロジックが含まれると事態がより悪化します。

## 製品テストを実行するために調査を使用する

製品テスト用に調査を作成する際、調査を設定するために、通過する必要があるいくつかの標準プロセスがあります。本章ではこれらを簡単に説明します。

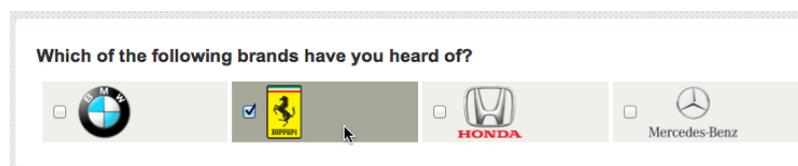
Web Survey Creator 製品を使用するこれらのプロセスのより詳細な説明は次項のトピックです。

### 製品のベースリスト

テストする製品のベースリストが調査内に必要です。

例えば、車のブランドを「製品」として使用します。このリストはそれぞれの車のブランドに関して、回答される質問です。

ベースリストには、単なるテキストではなく、より多くの情報が含むのが一般的です。例えばブランドには画像が使われます。



### 各製品に関する質問

知っているブランドが判明したら、その質問に関連する質問を開始します。このケースでは、ブランドに関する全体的意見と、ブランドの個別製品への意見を取得しようとしています。

質問には以下が含まれます。

1. ブランドについてどう思いますか？
2. このブランドを友人にすすめたいですか？
3. このブランドの車を所有したことはありますか？

4. どのモデルを所有したことがありますか？
5. このブランドで所有したことがある車をどう評価しますか？

ブランドごとにこれらの質問をし、ブランドごとに質問をカスタマイズしたい。どうやればよいでしょうか？高度な調査機能を通してです！

## 高度な調査機能

全ての調査ツールを使用すると、簡単な一連の質問を尋ねることができます。製品テストはしかしながら、よりパワフルなものが必要です。以下が必要です。

- 各製品に関して同じ質問を尋ねることができる
- 質問時に、製品特有の詳細内容に対応できる—製品名など
- 製品ごとに、フロー制御などの高度な機能を使用できる

これら全てには、以下に記述される高度な機能が必要です。

## ページループ

尋ねたい最初の質問について考えましょう。

### ブランドに関する全体的な意見は？

明らかに、ブランドごとにこの質問する必要があります。この質問はそれ自体のページになります。

What is your overall opinion of the brand?

Love it!     Like it     I have no opinion     Don't like it     Hate it!

このページはブランドごとにループされる必要があります。ループには2つの効果があります。

1. 各ブランドごとにこの質問を尋ねるページがあります
2. 選ばれないブランドがある場合、そのブランドに関連するページは自動的に非表示になります

## フロー制御

フロー制御は調査のフローに対応します。より具体的にいうと、調査に必要なないページ（質問）を非表示に対応します。

ページループが設定されると、製品テストのためにループされたページのフローは自動的に非表示になります。しかし、ループ内のページはどのようなものでしょうか？

例について考えてみましょう。質問リストには、以下の3つの質問があります。

1. このブランドの車を所有したことがありますか？
2. どのモデルを所有したことがありますか？
3. このブランドで所有する車をどのように評価しますか？

回答者が特定のブランドを所有したことがない場合、評価はされません。

無効なページが回答者に表示されないよう、フロー制御が使用されます。

## データ連携

全ての質問は非常に一般的です。データ連携により、前の回答された内容が、後の調査コンテンツと連携されます。以下の質問は、

ブランドに関してどう思いますか？

以下のようになります。

BMWに関してどう思いますか？

これはもちろん BMW ループのみに表示されます—各ループに適したブランド。より高度なデータパイプは、選択するモデルリストの利用です。データパイプなしの、モデルに関する質問は、テキストで答える、一般的な質問になってしまいます。

所有する BMW のモデルを入力する

テキストリストでできることは、ほとんどありません。統計分析は平均的になってしまいます。次の項では、データパイプにより、車のモデルと以下のような質問をどのように連携するか見てみましょう。

どの BMW のモデルを所有したことがありますか？

- 1 シリーズ
- 3 シリーズ
- 5 シリーズ
- 7 シリーズ

## 選択リンク

選択リンクとは、過去のリストに基づく質問リストを表示することです。

例では、選択リンクを最大限に活用して、質問に適切なモデルを対応させています。

このブランドで所有する車をどう評価しますか？

所有したことがある車を各行に配置し、マトリクスで表示します。2つのモデルが選択された場合、マトリクスには2行表示されます。

How would you rate the car(s) you have owned from BMW?

	Very Good					Very Bad				
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
1 Series	<input type="radio"/>									
3 Series	<input type="radio"/>									

# 製品テストの例

この項の目的のために、おかしくならないように、製品テストの全ての重要な要素を表示する例を考えてみます（3ブランドをテストします。20ではなく！）。説明した内容は、もちろん、実際に、いかなる規模の製品テストでも使用できます。

## 製品

この例では、「製品」は、車のブランドです。以下の通り、4つのブランドには、4のモデルがあります。

BRAND	Models
BMW	1 Series 3 Series 5 Series 7 Series
Ferrari	599 458 California F70
Honda	Civic Accord Odyssey NSX
Mercedes-Benz	A Class B Class C Class S Class

## 製品に関する質問

各ブランドおよびモデルごとに、以下の質問をしたい。

### ページ1

1. ブランド全体に関する意見は？
2. このブランドを友人にすすめますか？
3. このブランドの車を所有したことがありますか？

### ページ2

1. どのモデルを所有したことがありますか？

### ページ3

1. このブランドで所有したことがある車をどう評価しますか？

## 製品テストを設定する

製品が何か、製品毎のモデルが何か、どのような質問を尋ねるかは分かりました。以下は、我々がとるアプローチです。

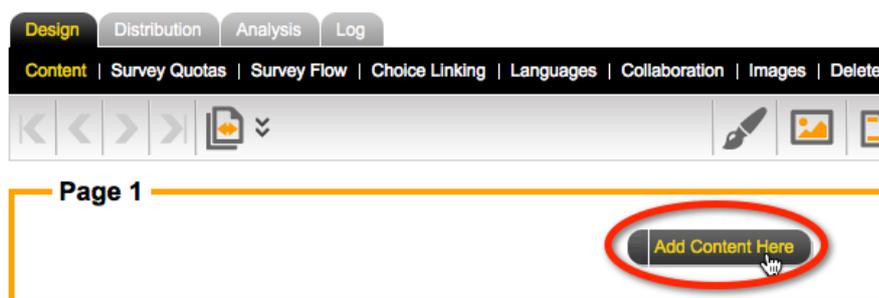
1. 最初の質問の製品リストを設定します
2. 3ページ（ループ元のページ）を追加します
3. 製品質問をページに追加します
4. フロー制御を設定します（特定ブランドの車を所有していない場合、2ページ目と3ページ目を非表示にします）
5. 選択リンクをページ3のマトリクスに使用します
6. 製品テスト管理に必要なページを構築するページループを使用します
7. 製品リストをプレビューします！

# 例を作成する

Web Survey Creator を使用して例を作成します。基礎内容はウェブ調査作成でカバーされているので、省略します。

## 最初の質問

最初の質問設定は非常に簡単です—新しい調査を作成し、1 ページ目の **Add Content Here** をクリックします



複数のブランドが選択ができるように、複数の内容がある**選択質問**を追加します。



選択内容を入力後、それぞれに画像を迅速に入力できます。

```
BMW||IMAGE:Car-BMW.png;;50  
Ferrari||IMAGE:Car-Ferrari.png;;50  
Honda||IMAGE:Car-Honda.png;;50  
Mercedes-Benz||IMAGE:Car-Mercedes.png;;50
```

選択リストの入力フォーマットは以下の通りです

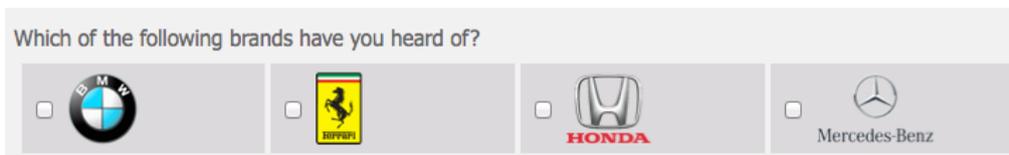
**Choice Text | Choice Value | IMAGE:abc.png ; width ; height**

例では、内容および画像の幅は必要ありません。画像の高さを入力することで、システムが自動的に幅を調整します。

体裁のために、1 行に選択内容を表示し、75%幅を使用します。



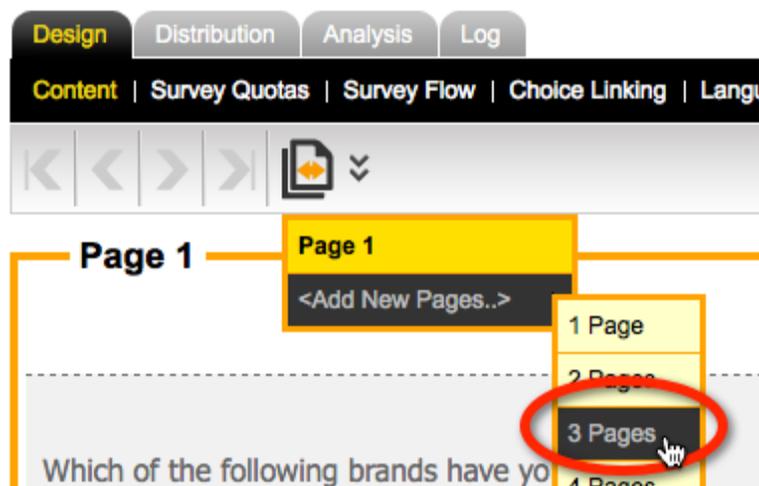
質問を追加すると、以下のように表示されます。



## ループ元のページ

ループ元のページは、ページループ作成時に、各ループ毎に複製されるページです。

これらのページは他のページのように追加されました。Pages ツールバーボタンから、この3 ページを追加できます。



## 製品に関する質問

製品に関する質問は、各ページが前項で説明した順番で追加される必要があります。質問の追加は基本的な手順はマニュアルでカバーされているので、ここでは、ループ準備の質問作成時の違いについて見ていきます。

## ブランド名をデータ連携する

最初の質問は以下の通りです。

### ブランド全体についてどう思いますか？

説明したとおり、これをより具体的なブランドにしたい。例えば、

### BMW についてどう思いますか？

これはデータ連携を通して達成されます。どのようなデータ連携でも、製品質問への質問アクセスコードを追加することにより開始する必要があります。この質問には質問コード **CARBRAND** を付与します。

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]:

では、どのようにこの連携を使用するのでしょうか？通常的环境下では、質問は以下のように表示されます。

[@CARBRAND@]についてどう思いますか？

質問は動作するでしょうか？最初の直観が、正しいと思える場合、この質問を使って、完成させる方法を検討する必要があります（各ページループごとに4回コピーされます）

---

データ連携は、ページループのためにコピーされたページで使用される際、異なると考えられます。ループごとに、異なる内容を表示する必要があります。

---

現在のループに対応する選択に直接対応するために、データ連携が使用される必要があります。

[@CARBRAND:N@]についてどう思いますか？

ページループの作成によりコピーされ、以下のデータ連携を持つ4つのページが作成されます。

[@CARBRAND:1@]についてどう思いますか？

@CARBRAND:2@]についてどう思いますか？

[@CARBRAND:3@]についてどう思いますか？

@CARBRAND:4@]についてどう思いますか？

これらのデータ連携は以下のように変換されます。

BMW についてどう思いますか？

Ferrari についてどう思いますか？

Honda についてどう思いますか？

Mercedes-Benz についてどう思いますか？

## ブランドのモデルをデータ連携する

選択した各ブランドごとに、モデルのリストが表示される必要があります。これらの詳細を質問の回答に連携する必要があります。

以下のどのモデルを所有したことがありますか？

これは2つの質問を生じます。

1. 各ブランドのモデルはどこに格納されるか？
2. どのように、これらのモデルを、所有モデルに関する質問に、連携させますか？

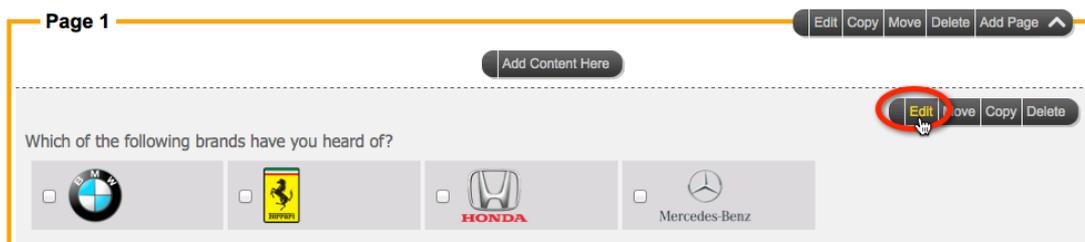
まず、モデルの格納問題について、検討しましょう。ブランドのモデルの格納および、ブランドに適用される他の事項に関する答えは、**選択タグ**を使用することです。

これらのタグは、どのようなテキストデータでも持つことができます。タグは簡単な構造を持っています。

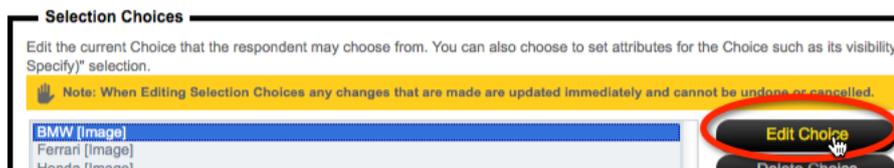
**TAGNAME: Value**

以下により、選択タグが設定されます。

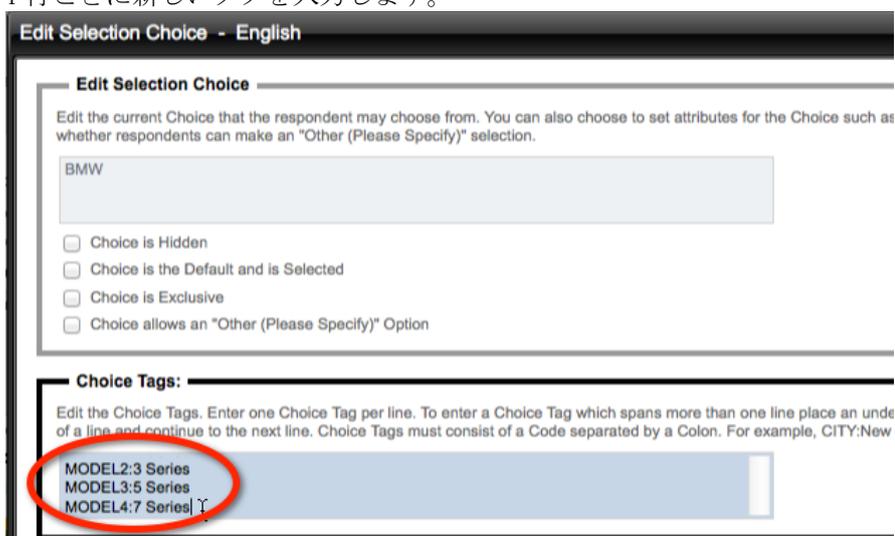
1. Edit ボタン をクリックすることにより、質問を編集します。



2. 質問の選択肢を編集します。



3. 1 行ごとに新しいタグを入力します。



4. 選択肢を保存し、他の選択肢についても繰り返します。

以下のフォーマットを使用して、選択肢が最初に追加される際に、タグは他の選択内容とともに追加されることに注意してください。

```
BMW||IMAGE:Car-BMW.png;;50|MODEL1:1 Series|MODEL2:3 Series|MODEL3:5 Series|MODEL4:7 Series
Ferrari||IMAGE:Car-Ferrari.png;;50|MODEL1:599|MODEL2:458|MODEL3:California|MODEL4:F70
Honda||IMAGE:Car-Honda.png;;50|MODEL1:Civic|MODEL2:Accord|MODEL3:Odyssey|MODEL4:NSX
Mercedes-Benz||IMAGE:Car-Mercedes.png;;50|MODEL1:A Class|MODEL2:B Class|MODEL3:C Class|MODEL4:S Class
```

選択肢に対する全てのタグが追加されると、それらはデータ連携を通して、利用可能となります。

質問の内容に連携します。

以下のどのモデルを所有したことがありますか？

これは、データ連携内容として、この質問の選択肢を設定することにより可能です。

```
[@CARBRAND:N|tag:MODEL1@]
[@CARBRAND:N|tag:MODEL2@]
[@CARBRAND:N|tag:MODEL3@]
[@CARBRAND:N|tag:MODEL4@]
```

これらのコードは、システムに、データ連携のために何を選択し、およびその選択により表示するためのタグを伝えます。質問は以下のように表示されます。

Which of the following models of [@CARBRAND:N@] have you owned?

[@CARBRAND:N|tag:MODEL1@]  [@CARBRAND:N|tag:MODEL2@]  [@CARBRAND:N|tag:MODEL3@]

該当者が BMW を選択した場合、質問は調査内容に以下のように表示されます。

Which of the following models of BMW have you owned?

1 Series  3 Series  5 Series

## フロー制御

質問の回答に基づきページを非表示にするためにフロー制御が使用されます。この例では、以下の質問があります。

### 1 ページ

このブランドの車を所有したことはありますか？

### 2 ページ

以下のどのモデルを所有したことがありますか？

### 3 ページ

このブランドで所有したことがある車を、どう評価しますか？

回答者が該当するブランドの車を所有したことがない場合、明らかに、2 ページと 3 ページは、非表示にする必要があります。2 ページのモデルのリストのどれも回答者が所有したことがない場合、3 ページは非表示にする必要があります。

調査フローをより簡単に設定する方法があります。

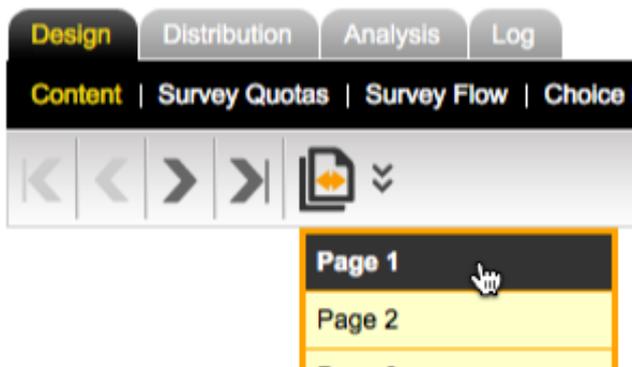
---

フロー制御およびページグループ両方が、設定の一部として、ページに関連します。ページを見分けやすいよう、ページに名前を付けましょう。

---

残りの各ページは、以下のように、編集します。

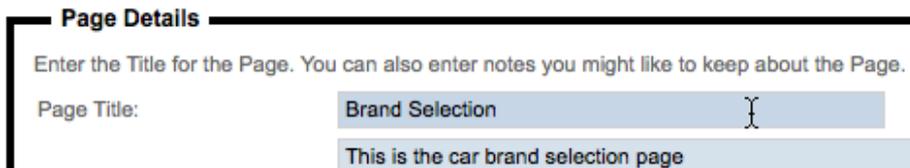
1. 名前を付けたいページにいることを確認します。



2. ページ内容を編集するには、Edit ボタンをクリックします。



3. 新しいページ名を入力し、保存します。



4. 新しいページ名はページ上部に表示されます。



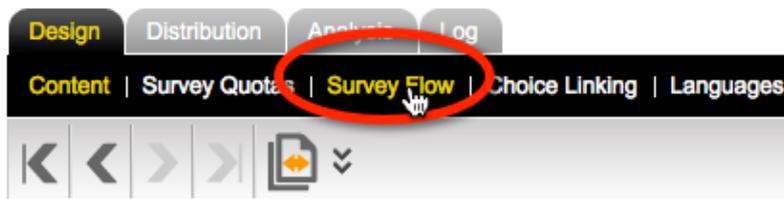
全ページを以下の用に変更します。

Page 1	Brand Selection
Page 2	Brand Opinion
Page 3	Models Owned
Page 4	Model Opinion

フローを設定する準備ができました。フロー制御は Web Survey Creator の *Survey Flow* メニューから設定可能です。

各フローは以下のように追加できます。

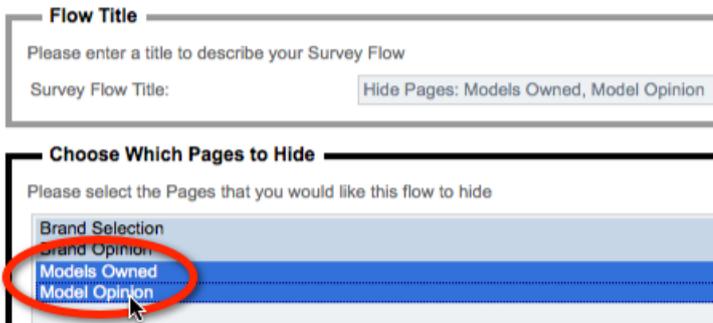
1. Survey Flow メニューをクリックします。



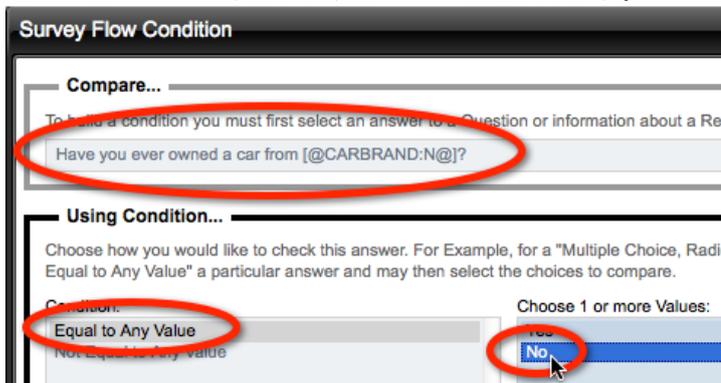
2. ツールバーの New Survey Flow ボタンをクリックします。



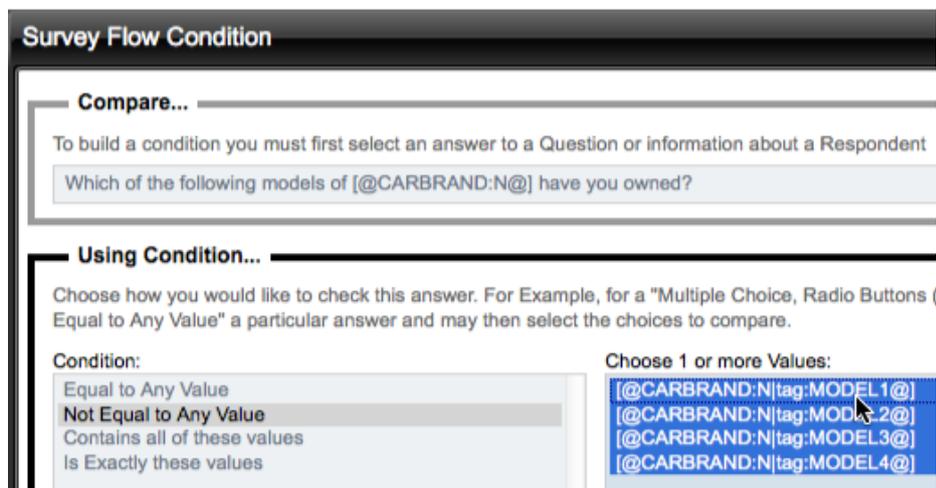
3. 非表示にしたいページを選択します。



4. 選択したページを非表示にするルールを選択します。



モデルに関連するフローも同じ方法で作成されます。“Model Opinion” ページを非表示にするためのルールが、どのモデルも選択されていないかどうか、チェックすることになっています。



## 選択リンク

調査で作成された選択肢に基づき、質問内で適切な選択肢のみを表示するために、選択リンクが使用されます。これを理解する最も良い方法は、以下の例を考えることです。

モデルに関する質問は、以下のように表示されます

### Which of the following models of BMW have you owned?

<input checked="" type="checkbox"/> 1 Series	<input checked="" type="checkbox"/> 3 Series	<input type="checkbox"/> 5 Series	<input type="checkbox"/> 7 Series
--	--	-----------------------------------	-----------------------------------

回答が1シリーズ、と3シリーズを所有したことがある場合、以下の質問は意味をなしません。

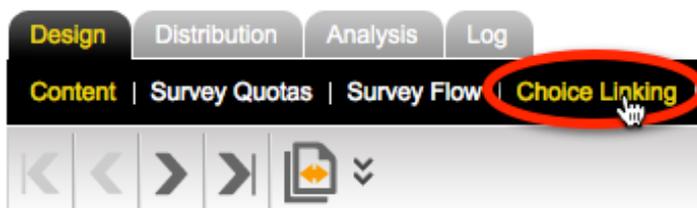
### How would you rate the car(s) you have owned from BMW?

	Very Good					Very Bad				
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
1 Series	<input type="radio"/>									
3 Series	<input type="radio"/>									
5 Series	<input type="radio"/>									
7 Series	<input type="radio"/>									

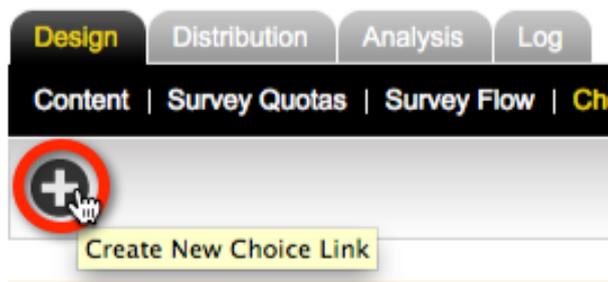
所有したことの無い、5シリーズと7シリーズに関して質問するのは、意味をなしません。これには**選択リンク**が使用されます（マトリクス内に選択したモデルだけを表示したい）

以下の用に選択リンクを設定します。

1. Choice Linking メニューをクリックします。



2. New Choice Link ボタンをクリックします。



3. 選択リンクを設定します。

**Choose a Target Content Question to be Linked (All Shown)**

Shown here are Content Questions which contain Selection Choices or Question Rows. To create a link between choice "Choice" in another Content Question. Content Questions such as Choice Questions, Matrix Questions and Ranking Questions control if the Choice or Row will be visible to respondents based on the selection of the linked Choice. NOTE: You cannot link a Choice to a Choice.

**Brand Opinion**  
What is your overall opinion of [ @CARBRAND:N@ ]?  
Would you recommend [ @CARBRAND:N@ ] to your friends?  
Have you ever owned a car from [ @CARBRAND:N@ ]?

**Models Owned**  
Which of the following models of [ @CARBRAND:N@ ] have you owned?

**Model Opinion**  
How would you rate the car(s) you have owned from [ @CARBRAND:N@ ]?

**Select a Choice Selection from "How would you rate the car(s) you..." to be Linked**

Shown here are Choices and Question Rows for the currently selected Content Question. Select a Choice or Question Row to link to the Source Content Question.

5  
4  
3  
2  
Very Bad

**Question Rows**  
[ @CARBRAND:N|tag:MODEL1@ ]  
[ @CARBRAND:N|tag:MODEL2@ ]  
[ @CARBRAND:N|tag:MODEL3@ ]  
[ @CARBRAND:N|tag:MODEL4@ ]

**Choose a Source Content Question to Link to the Selected Question Row**

Shown here are Content Questions which contain Selection Choices or Question Rows. Choose a Source Content Question to link to the selected Question Row. Only Content Questions from Pages prior to the Page of the selected Content Question are shown.

**Brand Selection**  
Which of the following brands have you heard of?

**Brand Opinion**  
What is your overall opinion of [ @CARBRAND:N@ ]?  
Would you recommend [ @CARBRAND:N@ ] to your friends?  
Have you ever owned a car from [ @CARBRAND:N@ ]?

**Models Owned**  
Which of the following models of [ @CARBRAND:N@ ] have you owned?

**Choose a Target Choice from "Which of the following models of..." to Link to**

Select one or more Choices from this Content Question to Link to

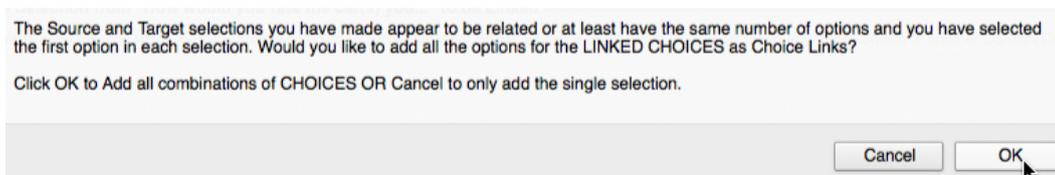
Choice: [ @CARBRAND:N|tag:MODEL1@ ]  
[ @CARBRAND:N|tag:MODEL2@ ]  
[ @CARBRAND:N|tag:MODEL3@ ]  
[ @CARBRAND:N|tag:MODEL4@ ]

**Choose when the selected Question Row will be shown**

You can choose when the selected Question Row will be shown based on the selection state of the Linked Question Choice. In this case choose "Show When Selected"

Show When Selected  
 Show when NOT Selected

4. 他の選択肢の選択リンクの完了支援を了承します。



ページループ作成に必要な全てのコンテンツを含む、4 ページの調査ができました。

## ページループを構築する

ページループの設定が準備の全てです。本項でこれまでに行った全てが、必要な準備作業の種類を示しています。

---

ページループの設定自体は常にデザインの最後に行います。ページループは効果的な大量のコピー作業であり、ループ構築前に含まれないものは、各ループにも含まれません。作業をダブルチェックしましょう！

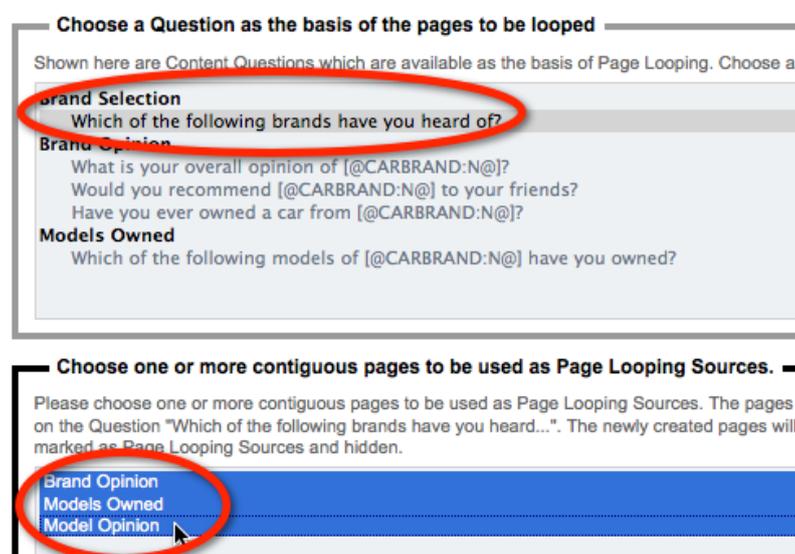
---

ページループの構築は、以下のように、非常に簡単なプロセスです。

1. Page Loop ツールバーボタンをクリックし、ドロップダウンメニューから Create Page Loop を選択します。



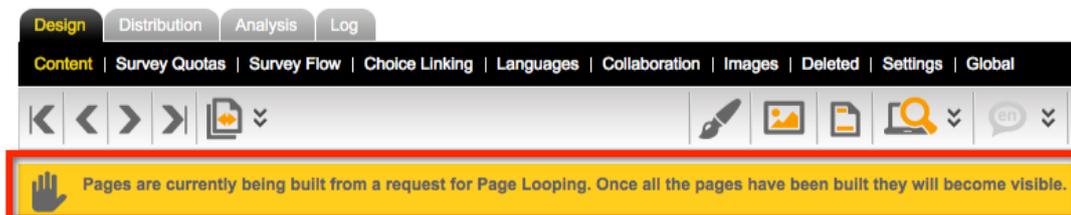
2. ループおよびループのための 3 つのブランドページの基本となる Brand Question を選択します。



3. Create New Page Loop ボタンをクリックします。



4. 直ちに Design タブに戻ります (ループされるページがバックグラウンドで作成されます。ループページがまだ作成されていないことを示す警告メッセージが表示されます)



5. プロセスが完了したら、警告は消え、デザイン内に、ループページが残されます。



## ページループ (何が起こったのか!?)

ページループを使用すると何が起こるか正確に理解することは重要です。調査内の4つのページで何が起こるか考えてみましょう。

### ブランド選択ページ



このページは変化しません（ループしません）。他のページは、このページのブランド質問の選択肢を基にループします。

### オリジナルなオピニオンページ

Brand Opinion [Loop Source, Hidden]
Models Owned [Loop Source, Hidden]
Model Opinion [Loop Source, Hidden]

元のページは調査内にまだあります。それらは全てのループページの基礎を形成しています。以下の例外を除き、常に全く同じです。

- 現在「ループ元」というフラグが付与されているページ
- 現在非表示となっているページ

これらのページは回答者に表示されることはありません。主にバックアップとして調査内に保管されます。（ループページを削除する必要があり、再作成する場合、これらのオリジナルなページから再作成します）

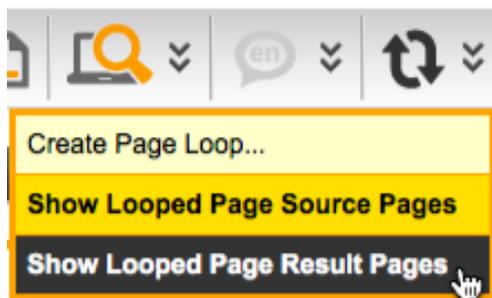
### ループされたオピニオンページ

Brand Opinion (BMW) [Loop Result]	Brand Opinion (Honda) [Loop Result]
Models Owned (BMW) [Loop Result]	Models Owned (Honda) [Loop Result]
Model Opinion (BMW) [Loop Result]	Model Opinion (Honda) [Loop Result]
Brand Opinion (Ferrari) [Loop Result]	Brand Opinion (Mercedes-Benz) [Loop Result]
Models Owned (Ferrari) [Loop Result]	Models Owned (Mercedes-Benz) [Loop Result]
Model Opinion (Ferrari) [Loop Result]	Model Opinion (Mercedes-Benz) [Loop Result]

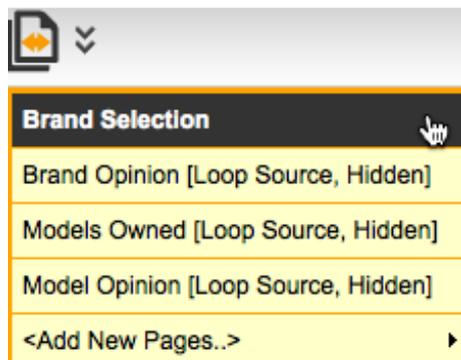
これらは、元の質問の選択肢ごとに作成されているページです。コピーされるページの選択肢ごとの内容とともに、ページ名の一部としてオリジナルな名前（これらのページを適切に名付ける、他の良い理由）を使用します。

## 全ページで何の処理をするのか？

多数の選択肢に基づくページループが設定される場合、調査で表示されるページが急に増えることはほとんどありません。これは、非常に早く、手に負えなくなってしまいます。幸い、**Page Loop** ツールバーボタンから非常に簡単に、ループ元ページとループ結果ページをオフにできます。



ループ結果ページをオフにする場合、ページのリストは、簡易ループデザインに非常に似ています。



全ページが表示されていない場合は、ページ統合または移動のような特定の機能は実行できないことに注意してください。

## ページループで、しなければならないことと、してはいけないこと

ループに含まれるページの全てのフロー、連携および選択リンクを設定しなければならない

特別な理由がなければ、ループ結果ページを修正してはいけない。変更は特定のページでのみ行われる。

避けることが可能ならば、断片的な方法で、ループされたページを追加または削除してはいけない

元の質問を変更する場合（無回答など）、全てのループ結果ページ削除し、全部のページループを再構築しなければならない

---

# スクリプティング 入門

---

今日、利用可能な最も高度な Web Survey Creation ツールは、シンプルで非技術的インターフェースを介して驚くべき数の機能を提供します。

しかしながら、特定の「1 回限り」の機能が調査で必要な場合があります。これがスクリプティングが必要な場合です。



# スクリプティングとは何か？

このマニュアルの目的のために、ウェブ調査作成の観点から、スクリプティングを検討します。Web Survey Creator 内のすべてのスクリプティングは **JavaScript** で作成されています。

---

スクリプティングは、英語のような言語を使用する、調査ロジックの記述、または調査インターフェース操作のための手法です。

---

スクリプトを使用する場合、事前に定義されたインターフェース（最初に設計されたものだけに限定）を使わずに、ソフトウェアに何かをどのように実行する必要があるか、パワフルな言語で説明します。

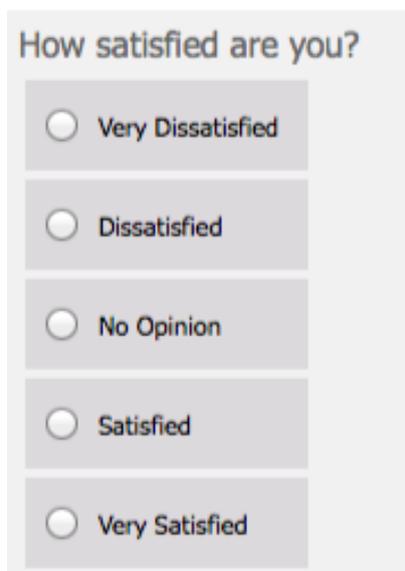
## スクリプティングを行うか、行わないか？

他に方法がない場合、スクリプティングは素晴らしいです。しかしながら他の方法がある場合、複雑になるので、スクリプティングは避けた方が良いです。

スクリプティングは、標準調査設計インターフェースで不可能な機能にのみ使用するべきです。

良い点	悪い点
スクリプティングは、標準インターフェースを使用するよりも非常にパワフル	自分自身でスクリプトのロジックを構築する必要がある
スクリプティングを通して複雑な問題が解決可能	利用可能な機能および使用方法を理解する必要がある。スクリプトにバグがないことを、保証しなければならない
JavaScript の標準機能すべてが利用可能	JavaScript が提供するメリットを得るために、学習すべきことが多い

以下のような、簡単な選択質問の例を考えてみましょう。



How satisfied are you?

Very Dissatisfied

Dissatisfied

No Opinion

Satisfied

Very Satisfied

この質問のデフォルトの回答を「特に何も思わない（No Opinion）」にする場合、以下のようにスクリプトを使って回答を選択します。

```

var question = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('HOWSATISFIED');

if(question){

    var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question, 3);

    if(choice){

        var isSelected = wscScripting.selectChoice(question, choice);    } }

```

これは動作するものの、質問内容を設定するには複雑すぎる方法です。簡単な方法は「特に何も思わない (No Opinion) 」をデフォルトにすることです。

これはスクリプティングする際の、シンプルなルールの例です。

---

スクリプティングでできることは、必ずしもすべきことを意味しません。スクリプティング以外に不可能な機能を作成するためだけにスクリプティングを使用します。

---

## JavaScript 入門

JavaScript はウェブページに双方向性を追加するために作成されました。これは、軽量級のプログラミング言語 (スクリプティング言語として知られている) で、ウェブページに組み込まれます。

Web Survey Creator は、いくつかの理由で、スクリプティングに JavaScript を使うよう設計されました。

### JavaScript は最も人気がある

JavaScript はインターネットで最も人気のあるスクリプティング言語です。これは、使用方法を知っている人が多いことを意味します。(あなたが知らない場合、知っている人を容易に探すことができます)

まだ、JavaScript で記述する方法が分からない場合でも、人気があるということは、簡単に利用できるということなので、学習するのに時間がかからないでしょう。

## JavaScript はどこでも動作する

JavaScript は以下を含むすべての主要なブラウザすべてで動作します。（PCおよびモバイル端末両方で）

- Internet Explorer
- Firefox
- Chrome
- Safari
- Opera

調査のために記述したスクリプトがどこでも作動することを意味するので、これは重要です。

## JavaScript はイベントに反応する

調査にスクリプトを追加する場合に、スクリプトを実行するタイミングを制御できることが重要です。例えば、あなたは、調査ページがロードされたらすぐに、スクリプトを実行したいかもしれません。

JavaScript は、イベントに反応します。そのため、この種の制御は容易です。スクリプト実行時に、以下を選択することができます。

- いつページがロードされるか
- いつ調査クオータデータがロードされるか
- Next または Submit ボタンの可視性テスト
- 調査ページがバリデーションされる前
- Next または Submit ボタンのクリック時
- Previous ボタンのクリック時

これに加え、JavaScript はラジオボタンがクリックされる、または、テキストフィールドにテキストがタイプされるようなイベントを引き起こします。このマニュアルで後で見るように、これにより、高度な双方向性を提供できます。

## JavaScript の基本

ウェブ調査の世界を冒険する前に、JavaScript の使用時に基本的なコンセプトを理解することは重要です。

### <script> タグ

JavaScript は常に <script> タグ内に含まれます。以下は is always contained within a <script> tag. 以下は、単一行の JavaScript の例です。

```
<script type="text/javascript">
document.getElementById("demo").innerHTML=Date();
</script>
```

Web Survey Creator は、スクリプトを使用するたびに自動的に<script>タグが含まれるので、独自のスクリプトにこのタグを入れる必要はありません。

## JavaScript は大文字と小文字を区別する

いくつかのスクリプティング言語や HTML と違い、JavaScript は 大文字と小文字を区別します。

JavaScript を記述し、それが正しいように見えるのに、動作しない場合、最初にチェックするのは、関数または変数の文字が間違っていないかチェックすることです。

ブラウザに“Hello World” と記述する簡単な JavaScript について考えましょう。

```
document.write("Hello World");
```

以下のように入力された場合、動作しません。

```
document.Write("Hello World");
```

唯一の違いは、“Write”の大文字だけです。

```
document Write("Hello World");
```

このエラーを見落とすことがいかに簡単か分かるでしょう。Web Survey Creator のために作成された特殊関数を含む、任意の JavaScript 関数を使用する時、常にシンプルなルールに従います。

---

スクリプトすべてに、常に正しい文字を使ってください！

---

## JavaScript コードの要点

JavaScript コード は JavaScript 文の配列です。それらは、記述されている順序通りに、実行されます。セミコロンで各文を終了することをおすすめします。

```
document.write("Hello World");
document.write("This is written with JavaScript!");
```

## コメントの挿入

説明が必要な場合、コメントは//で始まる行により追加されます。

```
// Let's write something to the browser...
document.write("Hello World");
document.write("This is written with JavaScript!");
```

複数のコメント行を追加する場合、/\*で開始し、\*/で終了します。

```
/*
Let's write something to the browser...
This will add multiple lines to the browser
*/
document.write("Hello World");
document.write("This is written with JavaScript!");
```

## JavaScript 変数

JavaScript 変数は値または式を保持するために使用されます。変数は  $x$  のような短い名前、または好きな色など、より分かりやすい名前を持っています。

以下に注意することが重要です。

- 変数名は大文字と小文字を区別します( $y$  と  $Y$  は異なる変数)
- 変数名の先頭文字は英文字、\$ 記号またはアンダースコア文字です
- 変数は `var` キーワードで宣言されます

```
var x;  
var FavoriteColor;
```

変数の宣言後、変数は空白です（まだ値がない）。しかしながら、変数宣言時に、変数に値を設定できます。

```
var x = 100;  
var FavoriteColor = "Red";
```

スクリプト構築開始時に見ていきますが、変数はさまざまな方法で操作されます。例えば変数で演算を行います。

```
var y = x - 100;  
var z = y + 100;
```

## JavaScript 算術演算子

演算子	内容	例	結果
+	加算	$x=y+2$	$x=7$ $y=5$
-	減算	$x=y-2$	$x=3$ $y=2$
*	乗算	$x=y*2$	$x=10$ $y=5$
/	除算	$x=y/2$	$x=2.5$ $y=5$
%	率	$x=y\%2$	$x=1$ $y=5$

### + 演算子と文字列を使う

文字列を処理する際、以下の用に、+演算子が2つ以上の文字列の連結に使用されます。

```
txt1="The weather looks";  
txt2="pretty good today";  
txt3=txt1+" "+txt2;
```

このスクリプトの結果は、変数 `txt3` がテキスト “The weather looks pretty good today” を持つということです。

## JavaScript 比較演算子

変数 `x=5` があると仮定します。

演算子	内容	例
<code>==</code>	等しい	<code>x==5</code> is true
<code>===</code>	完全に等しい(値およびタイプ)	<code>x===5</code> is true <code>x===”5”</code> is false
<code>!=</code>	等しくない	<code>x!=8</code> is true
<code>&gt;</code>	より大きい	<code>x&gt;8</code> is false
<code>&lt;</code>	より小さい	<code>x&lt;8</code> is true
<code>&gt;=</code>	以上	<code>x&gt;=5</code> is true
<code>&lt;=</code>	以下	<code>x&lt;=4</code> is false

比較演算は、値を比較する条件文に使用され、結果に応じてアクションを実行します。

いくつかスクリプトを記述開始する際にこれを見ていきます。

## JavaScript 論理演算子

変数 `x=5` と `y=3` があると仮定します。

演算子	内容	例
<code>&amp;&amp;</code>	and	<code>(x &lt; 10 &amp;&amp; y &gt; 1)</code> is true
<code>  </code>	or	<code>(x==5    y==5)</code> is false
<code>!</code>	not	<code>!(x==y)</code> is true

## The JavaScript 条件演算子

JavaScript には、いくつかの条件に基づき値を設定する条件演算子もあります。

```
variablename=(condition)?value1:value2
```

例は以下の通りです。

```
var visitor="PRES";  
var greeting=(visitor=="PRES")?"Dear President ":"Dear ";  
document.write(greeting);
```

## JavaScript 条件文

条件文は異なる条件が満たされる時、異なることを実行するために使用されます。

JavaScript では、以下のように条件式が使用されます。

*if* 文 – 条件が正しい場合、コードを実行するためにこの文を使用します

*if...else* 文 -条件が正しい場合、コードを実行し、条件が誤りの場合、他のコードを実行するためにこの文を使用します

*if...else if...else* 文 - 複数コードブロックから1つを選択実行するためにこの文を使用します

*switch* 文 - 複数コードブロックから1つを選択実行するためにこの文を使用します

条件文の例は以下の通りです。

```
var d = new Date()
var time = d.getHours()
if (time<10)
{
    document.write("<b>Good morning</b>");
}
else if (time>=10 && time<16)
{
    document.write("<b>Good day</b>");
}
else
{
    document.write("<b>Hello World!</b>");
}
```

The use of a *switch* 文 can を使用するの、スクリプトで適切なコードを実行するための、非常に優れた方法です。

以下はその例です。

まず、一度評価されている式 *n* (ほとんどの場合、変数) があります。式の値は、それぞれのケース毎に比較されます。コードは次のケースを自動的に実行するのを防ぐために、*Break* を使用します。

```
//You will receive a different greeting based
//on what day it is. Note that Sunday=0,
//Monday=1, Tuesday=2, etc.

var d=new Date();
var theDay=d.getDay();
switch (theDay)
{
case 5:
    document.write("Finally Friday");
    break;
case 6:
    document.write("Super Saturday");
    break;
case 0:
    document.write("Sleepy Sunday");
    break;
default:
    document.write("I'm looking forward to this weekend!");
}
```

## JavaScript ループ

コードを記述する際、同じコードブロックを何度も繰り返し実行することがあります。スクリプトで、複数のほぼ同じ行を追加する代わりに、以下の用にループを使用してタスクを実行します。

JavaScript では、2種類のループがあります。

*for* – コードブロックを特定の回数実行するループ

*while* – 特定の条件が正しい場合、コードブロックを実行するループ

*for* ループのフォーマットは以下の通りです。

```
for (variable=startvalue;variable<=endvalue;variable=variable+increment)
{
code to be executed
}
```

以下は *for* ループの例です。

```
var i=0;
for (i=0;i<=5;i++)
{
document.write("The number is " + i);
document.write("<br />");
}
```

*while* ループ は似た構造を持っています。 *while* ループのフォーマットは以下のとおりです。

```
while (variable<=endvalue)
{
code to be executed
}
```

以下は *while* ループの例です。

```
var i=0;
while (i<=5)
{
document.write("The number is " + i);
document.write("<br />");
i++;
}
```

*while loop* のバリエーションは *do...while* ループです。これはコードブロックを一度実行し、特定の条件が正である限り、繰り返します。

```
var i=0;
do
{
  document.write("The number is " + i);
  document.write("<br />");
  i++;
}
while (i<=5);
```

The *break* 文はループを解除し、ループ後のコードを実行し続けます。

```
var i=0;
for (i=0;i<=10;i++)
{
  if (i==3)
  {
    break;
  }
  document.write("The number is " + i);
  document.write("<br />");
}
```

*continue* 文は現在のループを解除し、次の値で続けます。

```
var i=0
for (i=0;i<=10;i++)
{
  if (i==3)
  {
    continue;
  }
  document.write("The number is " + i);
  document.write("<br />");
}
```

# WSC でスクリプトを追加する

Web Survey Creator は、他の調査コンテンツ同様、スクリプトを追加できます。質問の追加方法が分かる場合、スクリプティングの方法は分かります！

スクリプティングは非常に強力な機能です。ソフトウェアの2つの最も上位のバージョンで使用できるように設計されています（MR Premium 版および MR Ultimate 版）

<b>MR Premium Solo</b> Our Premium MR Plan	<b>MR Ultimate Solo</b> The Ultimate MR Plan
Single User	Single User
Unlimited Respondents	Unlimited Respondents
Unlimited Questions	Unlimited Questions
10,000 Responses/Month *	20,000 Responses/Month *
30,000 Responses/Quarter *	60,000 Responses/Quarter *
120,000 Responses/Year *	240,000 Responses/Year *

## WSC スクリプティングのオブジェクト

WSC で記述したスクリプトは2つの特定のオブジェクトにアクセスします。これらのオブジェクトを使用すると、現在のページおよび複数タスクを実行支援するヘルプで示されている質問にアクセスできるようになります。

1. args (引数)
2. wscScripting

### args (引数)

引数はイベントのステータスを設定するのに使用される単一の isValid アイテムを持っています。これは特に、現在のプロセスを継続するイベントエンジンに確認することに、関連しています。例えば、Next または Previous ボタンイベントに true を設定する必要があります。そうでなければ、このプロセスは中断され、継続されません。

Property:	<b>isValid</b>
Return Value:	boolean - Is the current process Valid
Example:	<pre>var isOkay = true; if (isOkay) {     // All my changes allow me to continue     args.isValid = true; }</pre>

### wscScripting

wsc スクリプティングオブジェクトは、スクリプトで使用するように設定されている、すべてのカスタムメソッドへのアクセスを提供します。これらのメソッドはこのマニュアルで説明します。

## スクリプティングでどのように質問を使用するか

調査のスクリプティングは、任意の調査（質問）の基本要素に、必然的にアクセスする必要があります。スクリプト内から、質問にアクセスするには、質問が正しく設定される必要があります。

スクリプティングのために準備する際に、質問に対して行う唯一のことは、**質問アクセスコード**を付与することです。

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]: **FROMQU**

アクセスコードを付与する際に、いくつかの簡単なルールがあります。

1. 特定の質問のための、各コードは固有である必要があります
2. コードは文字および数字であり、スペースは使いません
3. コードは少なくとも2文字以上である必要があります
4. コードには大文字が適用されます

アクセスコードが設定されると、質問へのアクセスは、簡単なプロセスになります。

`AgetQuestionByDataPipingCode` を取得するためのコールは、スクリプトで質問オブジェクトを返します。

```
// Get the question to load the value from
var oFromTextQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('FROMQU');
```

## 調査にスクリプティングを追加する方法

Web Survey Creator にスクリプティング質問を追加するのは、システムに他のコンテンツを追加するのに、似ています。その手順は以下の通りです。

1. 新しいコンテンツを追加するには、調査デザイナーで Add Content Here ボタンをクリックします。



2. 追加したいコンテンツタイプとして、JavaScript Script Question を選択します。

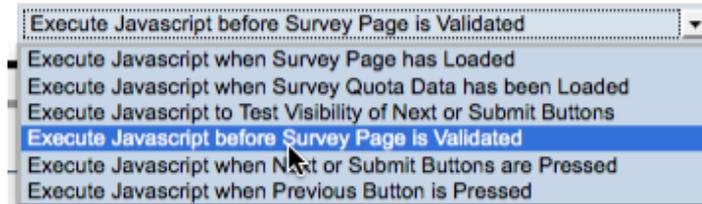


設定する内容は4つの部分から構成されます。

1. スクリプトの説明(テキスト)
2. 質問のためのコンテナを表示するかどうか。調査ページに表示される何らかのスクリプトする際、コンテナを表示する必要があります。（「背後」ロジックでスクリプティングを行うのとは反対に）

Show a Content Container for this Javascript to use

3. スクリプトが実行される際の選択肢。後の章で、異なる実行回数を選択する理由を説明します。



4. スクリプト自体の内容。The content of the script itself. 前に述べた通り、これは<script>タグ（または関数参照）なしの標準 JavaScript です。（効果的に使用するスクリプトの「中身」です）

```
JavaScript to be Executed
Enter the Javascript to be executed. This script will be executed at point selected.
1 // Get the EMAIL question using it's data code
2 var oQuestion1 = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('EMAIL');
3 // Check if it is valid
4
5 // Mark it as initially false
6 args.isValid = false;
7
8 if (oQuestion1) {
```

追加されたら、スクリプトは、選択した時点で、WSCにより実行されます。

困難な部分は、スクリプトの書き方を理解しているか、確認することです。これは、このマニュアルの残りの部分の主題です。



---

# スクリプティング #101: データ処理

---

スクリプティングの中で最も一般的な用途の1つは、調査質問に入力された回答に基づいて、いくつかのロジックを実行することです。これには、データがスクリプトにより「読み込み」される必要があります。

スクリプティングにより調査で入力されたデータを修正することも一般的です。これには、データがスクリプトにより「書き出し」される必要があります。本章は、スクリプティングによる調査データの「読み込み」「書き出し」の方法を説明します。



# スクリプトのデータを操作する

スクリプティングで調査データをロードし、保存するのは比較的簡単です。しかしながら、スクリプティングの説明に入る前に、理解する必要があるいくつかの基本ルールがあります。

## ルール #1: 各質問タイプのためのスクリプト

質問のタイプが、ローディングおよび保存がどのように実行される必要があるか、決定します。

例えば、テキスト質問は、単純にテキストを格納します。ロードおよび保存のためのスクリプトは以下の通りです。

```
// Get the question to load the value from
var oFromTextQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('FROMQU');
// Get the value from the question
var oGetValue = wscScripting.getValue(oFromTextQ);

// Get the question to write the value to
var oToTextQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('TOQU');
// Save the value to the question
wscScripting.setValue(oToTextQ, oGetValue);
```

上記のスクリプトは、テキスト質問が単一のテキスト値を持つので、非常に簡単です。複数選択質問について考えてみましょう。この質問タイプに対する回答は、複数の選択肢です。

複数選択質問から値を取得し保存するために、テキスト質問より多くの作業が必要になります。可能な全ての選択肢をループさせ、その選択肢が選択されたか理解する必要があります。これらの選択肢は、新しい質問中で選択されていなければなりません。

```
// Get the question to load the value from
var oFromTextQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('FROMQU');
// Get the value from the question
var oGetValue = wscScripting.getValue(oFromTextQ);

// Get the question to write the value to
var oToTextQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('TOQU');
// Save the value to the question
wscScripting.setValue(oToTextQ, oGetValue);

// Get the question to load the value from
var oFromMultiChoice = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('FROMQU');
// Get the question to write the value to
var oToMultiChoice = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('TOQU');

// Loop through the values in the question
for (i=1; i<=oToMultiChoice.choices.length; i++)
{
    // See if the value is selected in the from question
    var oSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(oFromMultiChoice, i);
    if (oSelected)
    {
        // The value was selected - make it selected in the to question
        wscScripting.selectChoiceByValue(oToMultiChoice, i);
    }
}
```

お分かりのように、より複雑な質問タイプなので、より複雑です。原則はしかしながら同じです。データを処理するための正しい方法を介して、念入りに作業する必要があります。

## ルール#2:データロケーションがスクリプト構文に影響する

JavaScript がどのように動作するか、の技術的な境界内で、スクリプティングによる質問データを取り扱いは行われる必要があります。

では、これは何を意味するのでしょうか？

---

JavaScript のスクリプトはブラウザ上で実行されます。技術的には、JavaScript はどこからでもデータにアクセス可能で、スピードとセキュリティを考慮し、スクリプトが現在のページで利用可能なデータを取得できると規定しています。

---

## 現在のページの質問からデータを取得する

現在のページからデータを取得するように、制限されている場合、現在のページの質問は取得しやすいはずで

Absolutely!

実際、前の例は、現在のページの質問からすべてのデータにアクセスします。質問タイプにかかわらず、データの取得は常に同じです。

```
// Get the question to load the value from
var oFromTextQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('FROMQU');
```

これは非常に簡単です。残念ながら、実際には使用されないで、役に立ちません。ほぼ常にデータは、現在のページ以外の質問からロードするからです。

## 前ページの質問からデータを取得する

質問のためのデータを読み取る場合、この質問は調査の前ページに表示されることが多いです。この質問のデータは現在のページでは利用不可能です。なぜなら質問が現在のページにはないからです。

前ページの質問からデータにアクセスするためには、スクリプトがロードされる必要があることを明示する必要があります。前の例を参考にすると、質問が前ページにある場合、スクリプトは以下のように変更される必要があります。

```
// Get the question to load the value from
var oFromTextQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('[@FROMQU#DATA#@]');
```

質問が異なるページにある場合、質問のためのコードは、データ連携コードのフォーマットをとりま

質問にアクセスするコードのシンタックス以外は、すべてスクリプトで同じように動作します。

## 読み込みおよび書き出し（基本）

これまでに、いくつかの基本的なスクリプト機能を説明するために、スクリプトの断片を見てきました。では、スクリプトでの質問に対する、データの読み書きに関して、フルスクリプトで詳細を見てみましょう。

この例のために、最もシンプルなスクリプトの質問タイプ、テキスト質問を使用します。

### テキスト質問にデータを書き出す

調査で質問にデータを書き出すのに必要な手順を見てみましょう。最初から始めます。

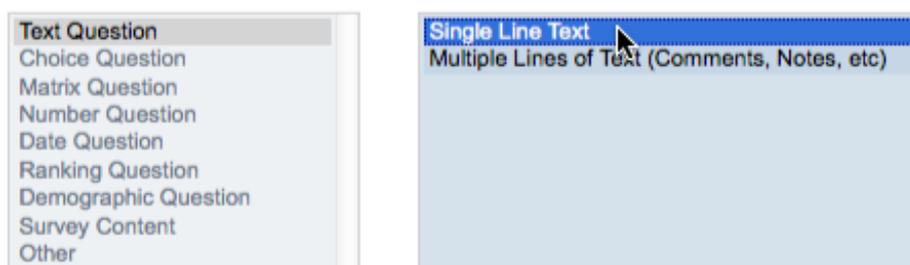
#### テキスト質問を作成する

質問作成はこのマニュアルで前に説明しましたが、主要な手順は以下の通りです。

1. Add Content Here ボタンをクリックします。



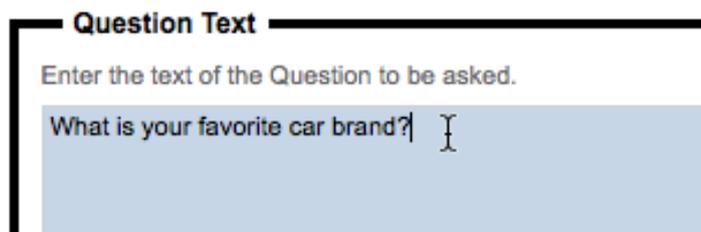
2. Single Line Text 質問を選択します。



3. 質問アクセスコード（**Question Access Code**）を入力します。このコードはスクリプティングに使用されることに注意してください。それなしには、この質問はスクリプトでアクセスできません。

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]: CARBRAND

4. 質問テキストを入力します。



5. Save Content ボタンをクリックします。



質問をデザイナーに表示されます。固有のアクセスコードが質問の上に目立つように表示されます。

 This Question has an access code of CARBRAND

What is your favorite car brand?

## テキスト質問にデータを書き出す

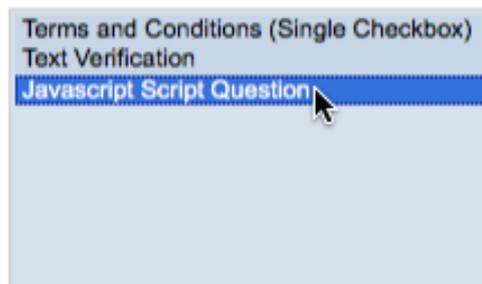
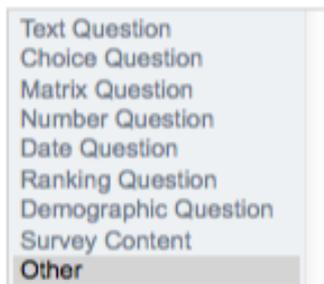
テキスト質問にデータを書き出すには、いくつかのスクリプトを追加する必要があります。ページをロードする際に、テキスト質問に「わからない」を設定してみましょう。

このスクリプトを設定するステップは以下のとおりです。

1. Add Content Here ボタンをクリックします。



2. Javascript Script Question を選択します。



3. スクリプトの簡単な説明を入力します。

**Javascript Information**

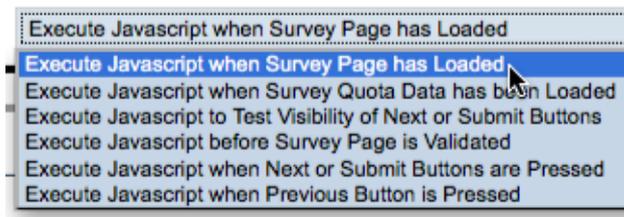
Please enter any short notes that will assist to distinguish this Javascript entry of any other e you wish to have a Content Container rendered so that your script may insert content into th

We want our CARBRAND question to be set to "I don't know" as soon as the page loads.

4. スクリプトを使用して調査ページにカスタムインターフェースを作成しないので、コンテンツコンテナを必要ありません。

Show a Content Container for this Javascript to use

- ページのロード時にスクリプトを実行するよう選択します。



- スクリプトを入力します。

```

JavaScript to be Executed
Enter the Javascript to be executed. This script will be executed at point selected.

1 // Get the question
2 var oTextQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('CARBRAND');
3
4 if (oTextQuestion) // The question was loaded successfully
5 {
6
7 // Set the question value. Note the use of \ ' in the text, since
8 // using ' in a string is not directly allowed
9
10 wscScripting.setValue(oTextQuestion, 'I don\'t know');
11
12 }
13
14 // Always return true unless you want to indicate a failure
15 // in the script
16 args.isValid = true;
  
```

- Save Content ボタンをクリックします。



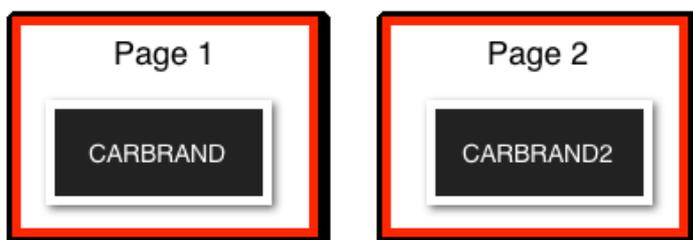
## スクリプト要素

以下の表は学習し理解しておくことが重要なスクリプト断片を強調しています。

目的	主要スクリプト断片
使用する質問のロード	wscScripting.getQuestionByDataPipingCode
質問への書き出し	wscScripting.setValue

## テキスト質問からのデータ読み込み

では、テキスト質問からどのようにデータを読み込むか考えてみましょう。この例のために、2 ページの調査を使用します。それぞれのページには単一のテキスト質問があります。



既に最初の質問は作成済みです。2番目の質問の作成は、固有のコード CARBRAND2 を付与することを除けば、全く同じです。

今することは、最初の質問にあるテキストで、2番目の質問を満たすことです。これは、CARBRAND から読み込み、CARBRAND2 に書き出すことです。

このためのスクリプトは以下の通りです。

```
// Get the question we want to load the data from
// It's on a different page, so note the syntax of the code
var oFromTextQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode( '[@CARBRAND#DATA#@]' );

if ( oFromTextQuestion ) // The question was loaded successfully
{

    // Get the value from the question
    var oGetValue = wscScripting.getValue(oFromTextQuestion);

    // Get the question we want to save the data to
    // It's on this page, so note the syntax of the code
    var oToTextQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode( 'CARBRAND2' );

    if ( oToTextQuestion ) // The question was loaded successfully
    {

        wscScripting.setValue(oToTextQuestion, oGetValue);

    }
}

// Always return true unless you want to indicate a failure
// in the script
args.isValid = true;
```

## スクリプト要素

以下の表は学習し理解しておくことが重要なスクリプトの断片を強調しています。

目的	主要スクリプト断片
前ページからの質問のロード	Must use <code>[@CARBRAND#DATA#@]</code> syntax
質問の値の読み込み	<code>wscScripting.getValue</code>

## 他の質問タイプのためのデータスクリプティング

スクリプティングは、あなたが既に理解していることを考慮すれば、いくつかのバリエーションを作成し、他の機能を追加することが全てです。これは、基本に関する強力な知識を持ち、それから構築することが重要な理由です。

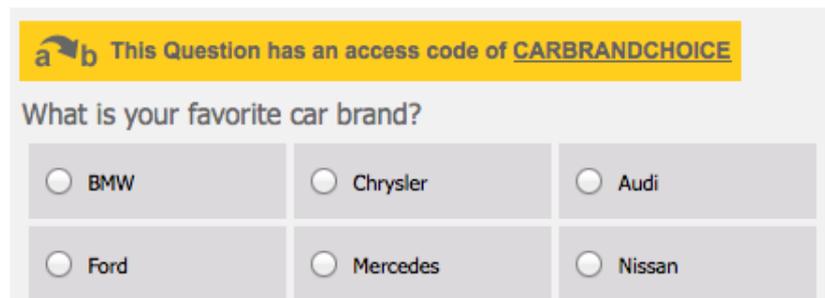
どのようにテキスト質問から、データを保存し、取得するか理解しました。他の全ての質問はこの知識のバリエーションです。スクリプティングでアクセスする他の主要質問タイプについて見てみましょう。

## 選択質問

選択質問はテキスト質問に比べると少しトリッキーです。平板なテキストではなく、スクリプトで保存またはロードする必要がある「データ」は「選択肢」（または複数選択肢）です。それで、無理のある質問が生じます。

スクリプトで選択肢をどうやって取り扱いますか？

この質問に回答するには、以下の例を考えてみましょう。



The screenshot shows a survey question interface. At the top, a yellow banner contains the text "This Question has an access code of CARBRANDCHOICE". Below the banner, the question is "What is your favorite car brand?". There are six radio button options arranged in two rows of three: BMW, Chrysler, Audi in the first row, and Ford, Mercedes, Nissan in the second row.

これは固有コード `CARBRANDCHOICE` を持つ選択質問です。スクリプトで質問を取得する方法は既に分かっています（テキスト質問と同じ）。ここで理解する必要があるのは、スクリプトでこの質問タイプの値をどのように設定するかということです。

### 選択肢に値を割り当てる

スクリプティングをより簡単にするために、選択質問を設定する際にやるべきことがあります。各選択肢に数値を割り当てることです。これは質問が最初に追加される際に、`automatically apply values to the choices` を選択することにより可能です。

Automatically apply Values to All Choices



これを行うために、この質問例の選択肢は以下のようになります。

値	内容
1	BMW
2	Ford
3	Chrysler
4	Mercedes
5	Audi
6	Nissan

値を持つ選択肢は、これらの値を参照することによって、直接スクリプトで管理することができます。したがって、スクリプトで操作した選択肢を使用する質問を作成する際、2つのことをおすすめします。

各選択肢に数値を割り当てる

それらの値が固有であること

## 選択質問にデータを書き出す

質問例を Audi に設定するとしましょう。これを行うスクリプトは以下の通りです。

```
// Get the question
var oChoiceQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('CARBRANDCHOICE');

if (oChoiceQuestion ) // The question was loaded successfully
{

    // Audi has the value 5. Let's set the answer for the question to 5.
    var isSelected = wscScripting.selectChoiceByValue(oChoiceQuestion, 5);

}

// Always return true unless you want to indicate a failure
// in the script
args.isValid = true;
```

## スクリプト要素

以下の表は学習し理解しておくことが重要なスクリプトの断片を強調しています。

目的	主要スクリプト断片
質問に設定する選択肢を選ぶ	wscScripting.selectChoiceByValue

## 選択質問からデータを読み込む

選択質問のデータを読み込むことは、各選択肢をループし、それらが実際に選択されているか確認する、という問題です。

```
// Get the source question (we want to read from)
var oChoiceQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('@CARBRANDCHOICE#DATA#');

if (oChoiceQuestion ) // The question was loaded successfully
{
    // Get the target question (we want to write to)
    var oChoiceQuestion2 = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('CARBRANDCHOICE2');

    if (oChoiceQuestion2 ) // The question was loaded successfully
    {
        for (i=1; i<=oChoiceQuestion.choices.length; i++) // Loop through the choice values
        {
            var oSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(oChoiceQuestion, i);

            if (oSelected) // What the item we are looking at selected?
            {
                // Yes it was - select the same choice in the target question
                wscScripting.selectChoiceByValue(oChoiceQuestion2, i);
            }
        }
    }
}

// Always return true unless you want to indicate a failure
// in the script
args.isValid = true;
```

## スクリプト要素

以下の表は学習し理解しておくことが重要なスクリプトの断片を強調しています。

目的	主要スクリプト断片
選択肢のループを作成する	<code>for (i=1; i&lt;=oChoiceQuestion.choices.length; i++)</code>
選択肢が選択されたかテストする	<code>wscScripting.isChoiceSelectedByValue</code>

## 複数選択質問はどのように動作するか？

複数選択質問に対する読み込みおよび書き出しは、複数アイテムが選択されるということに対処することを除けば、単一選択質問に似た方法で動作します。

単一選択質問では、1つの値だけという定義により、特定の値が選択されると、他の値を自動的に選択解除します。複数選択質問では、値の選択解除について、自分自身で対処しなければなりません。

複数選択質問に対処する場合、前の例から、コードを以下のように修正する必要があります。

以下の代わりに

```
var oSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(oChoiceQuestion, i);

if (oSelected) // What the item we are looking at selected?
{
    // Yes it was - select the same choice in the target question
    wscScripting.selectChoiceByValue(oChoiceQuestion2, i);
}
```

選択されない値に対処する必要があります。

```
var oSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(oChoiceQuestion, i);

if (oSelected) // What the item we are looking at selected?
{
    // Yes it was - select the same choice in the target question
    wscScripting.selectChoiceByValue(oChoiceQuestion2, i);
}
else
{
    // No it wasn't - deselect the same choice in the target question
    wscScripting.deselectChoiceByValue(oChoiceQuestion2, i);
}
```

## スクリプト要素

以下の表は学習し理解しておくことが重要なスクリプトの断片を強調しています。

目的	主要スクリプト断片
選ばれない選択肢を解除する	<code>wscScripting.deselectChoiceByValue</code>

## 数値質問

数値質問に対処する場合、テキスト質問と全く同じように取り扱われます。以下の例から気づくように、テキスト値と同様に、数値を ( ) 内に配置します。

```
// Get the question
var oNumberQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('CARPRICE');

if (oNumberQuestion ) // The question was loaded successfully
{

    // Set the starting number for this question to $25000
    wscScripting.setValue(oNumberQuestion, '25000');

}

// Always return true unless you want to indicate a failure
// in the script
args.isValid = true;
```

---

数値質問の質問タイプがありますが、上記と同様に動作します。これはスターレーティングとスライドバー質問を含みます。

---

## マトリクス質問

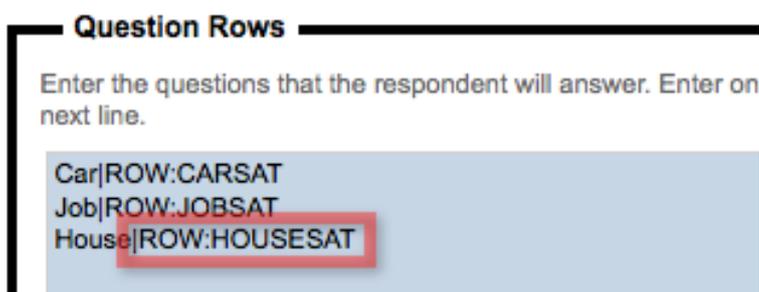
マトリクス質問はより複雑な質問タイプの1つです。各マトリクスの行が質問になっています。どうやってスクリプトで質問を取得するか理解しています。固有アクセスコードを使います。ここでの質問は、どうやって各行を取得するか？です。

### マトリクス行を取得する

マトリクスの各行は、それ自身の選択質問と考えることができます。行を取得する場合、標準選択質問と似た方法で、それを操作することが可能です。

マトリクス行は、アクセスコードを持たないので、行を識別するための別の方法が必要です。行を認識し、使用するための主要手順は以下の通りです。

1. マトリクスに行を作成する際、アクセスしたい各行には、値のあるタグを付与する必要があります。例えば、タグ“ROW”を呼び出します。



2. スクリプトで行を取得します。

```
var oMatrix = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('MYMATRIX');  
  
if (oMatrix)  
{  
    var oRow = wscScripting.getRowByTagValue(oMatrix, 'ROW', 'JOBSAT');  
}
```

## マトリクス行に対する書き出しまたは読み込み

以下は、値がグリッドで選択された場合、どのように確認するか、またグリッドにどのように値を設定するかを示すコード断片です。

```
//Get the Job Satisfaction Row  
var oRow = wscScripting.getRowByTagValue(oMatrix, 'ROW', 'JOBSAT');  
// Are values 1 or 2 selected?  
var isSelected = wscScripting.isAnyMatrixChoiceSelectedByValue(oMatrix, new Array(1,2), oRow)  
  
// Is Value 3 selected  
var isSelected2 = wscScripting.isMatrixChoiceSelectedByValue(oMatrix, 3, oRow )  
  
// Select Value 4 in the Row  
var isSelected3 = wscScripting.selectMatrixChoiceByValue(oMatrix, 4, oRow )
```

## スクリプト要素

以下の表は学習し理解しておくことが重要なスクリプトの断片を強調しています。

目的	主要スクリプト断片
読み込み/書き出しを行う、行を取得する	wscScripting.getRowByTagValue
値の1つが選択されたか確認する	wscScripting.isAnyMatrixChoiceSelectedByValue
単一の値が選択されたか確認する	wscScripting.isMatrixChoiceSelectedByValue
マトリクス行に値を設定する	wscScripting.selectMatrixChoiceByValue

---

# スクリプティング#101: 回答のバリデーション

---

Web Survey Creator は、ハイエンドの市場調査ツールで期待される全ての標準バリデーション機能を内蔵して提供します。「1回限り」のバリデーションがあり、それが非常に調査特有のものである場合、スクリプト化される必要があります。

本章では調査の中で、スクリプトを使用したカスタムバリデーションの設定方法について見ていきます。



# バリデーションは何をするか？

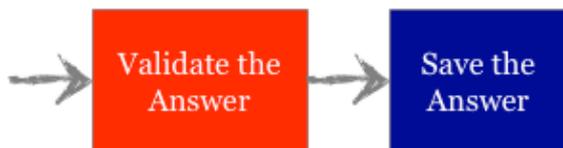
典型的な質問のライフサイクルについて考える際、それは以下のように示されます。



これは、素晴らしく、簡単ですが、主要な質問に対処できません。

入力された回答が無効な場合、どうしますか？

これが、バリデーションが入る場所ですー保存する前に、回答が正しいか「バリデーション」します。バリデーションプロセスは、回答を保存する直前に行います。



## バリデーションの例

最も簡単なバリデーションの例は、必須チェックです。これは、回答が入力されているかのチェックも伴います。

例えば、調査は回答者氏名を尋ねます。これは、誰が回答を作成したか識別するために使用されます。そのため、氏名が入力されていることが重要です。氏名に関する質問に必須チェックは配置するのは、回答者が氏名を入力するまで、調査を続けられないことを確実にするためです。

Web Survey Creator では、回答者が調査ページから離れると、ただちに実行されます（*Next* ボタンまたは *Submit* ボタンのクリック）

The screenshot shows a survey form with the title "Please enter your name". Below the title are three input fields: "Title", "First Name", and "Last Name". At the bottom of the form, there are two buttons: "Previous" on the left and "Submit" on the right. The "Submit" button is circled in red, indicating it is the focus of the validation process.

バリデーションが失敗した場合、調査は進まず、質問に対してバリデーションが失敗した理由を説明する警告が与えられます。

**This question is mandatory and you must complete an answer.**

**Please enter your name**

## スクリプトなしでバリデーション可能

Web Survey Creator は、ソフトウェアで利用可能な多様な質問タイプのための一連の標準バリデーション機能を持っています。バリデーションが必要であることを示すチェックボックスをチェックし、バリデーションに関連する詳細設定を行うことにより、これらのバリデーションが設定されます。

**Number Validation**

**Number Range must be validated**

You can specify the minimum and maximum value that a number has to be.

---

Number Range:                      Between  And

Displayed Error Message when number is outside of range:      This answer may only contain a numeric value between {NumberMin} and {NumberMax}

バリデーションは、バリデーションが失敗した場合に表示される全てのバリデーションメッセージを備えています。Web Survey Creator には、10 以上の主要言語に対応する、バリデーション用の標準メッセージがあります。必要であれば、バリデーション設定の一部として、これらのメッセージは変更可能です。

異なる質問タイプに使用可能な標準バリデーションは以下の通りです。

テキスト質問		
単一行／複数行	必須	
	フォーマット	E メールアドレス、テキストのみ、数字のみ、URL、電話番号、郵便番号、社会保障番号
	長さ	最小、最大

選択質問		
単一選択	必須	
複数選択	必須	
	選択数	最小、最大

数値質問		
数値	必須	
	フォーマット	整数、小数、US 通貨、ユーロ通貨、整数パーセンテージ、小数パーセンテージ
	範囲	最小、最大

ほとんどの他の質問タイプは単に、必須バリデーションだけです。

# スクリプティングを使用したバリデーション

## なぜスクリプト化されたバリデーションが必要か？

標準バリデーションは、調査に入力されたデータが有効化確認するには十分です。より高度な調査では、しかしながら、いくつかの制約があります。

- 適用される「ロジック」が非常に初歩的
- 質問間のバリデーションが不可能

そこで、これらの制約を超えてバリデーションを行うために、スクリプト化されたバリデーションが必要になります。

## スクリプト化されたバリデーションはどのように動作するか？

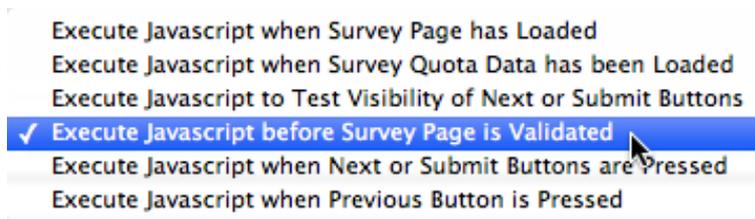
全てのバリデーションには2つのプロセスがあります。

1. バリデーションロジックを実行する
2. ロジックが失敗した場合、
  - a. 警告メッセージを表示する
  - b. 調査の進行を止める

スクリプト化されたバリデーションは最初の手順を変えます。は数回のクリックにより作成された簡易ロジックを、スクリプトを使用してさくせいされた、より能力の高いロジックに置き換えます。

## スクリプト化されたバリデーションロジック

スクリプトは異なるタイミングで実行するよう設定されます。バリデーションスクリプトは、調査ページが検証される前に設定される必要があります。



これは、next または submit ボタンがクリックされた後、WSCが次のページに移動する（または調査が完了する）前に、スクリプトが実行されることを意味します。



バリデーションスクリプトの内容は、完全にあなた次第です。WSC は以下に関与します。

1. バリデーションが成功か失敗か
2. バリデーションが失敗した場合、どのようなエラーテキストが表示されるか？

バリデーションが成功した場合、スクリプトは以下を設定します。

```
args.isValid = true;
```

バリデーションが失敗した場合、スクリプトは以下を設定しなければなりません。

```
args.isValid = false;
```

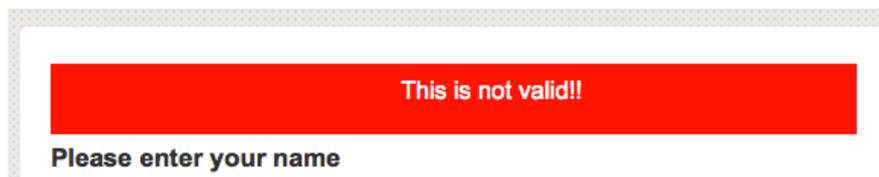
バリデーション失敗は、現在のページの調査を止めます。スクリプトは、WSCに、どのバリデーションテキストを表示するか、どの質問に表示するか指示する必要があります。

```
wscScripting.setValidation(oQuestion, 'This is not valid!');
```

このマニュアルの次の項で、これらがどのように動作するか見てみます。

## 回答者に表示されるもの

回答者には2番目のバリデーションプロセスの結果だけが示されます—警告メッセージ。そして、調査は停止されます。そのため、回答者にとってみれば、スクリプト化されたバリデーションは標準バリデーションと全く同じように見えます（検証された質問の上のボックスに表示されます）。



## スクリプト化されたバリデーションの例

飛行機旅行に関する調査をします。この調査は最後に乗った、オーストラリア国内のフライトに関連しています。調査で以下の機能を実現しようとしています。

尋ねたい主要な2つの質問は、

1. オーストラリアのどこから、飛行機に乗りましたか？
2. オーストラリアのどの行き先まで飛行機に乗りましたか？

回答者が有効なデータを入力したか確認をしたい。具体的には、回答者は同じ出発地から同じ目的地には行けません。

2つの質問は、以下の通りです。



Which Australian destination did you fly <b>FROM</b> ?		
<input type="radio"/> Adelaide	<input type="radio"/> Canberra	<input type="radio"/> Perth
<input type="radio"/> Brisbane	<input type="radio"/> Darwin	<input type="radio"/> Sydney
<input type="radio"/> Cairns	<input type="radio"/> Melbourne	

**Which Australian destination did you fly TO?**

<input type="radio"/> Adelaide	<input type="radio"/> Canberra	<input type="radio"/> Perth
<input type="radio"/> Brisbane	<input type="radio"/> Darwin	<input type="radio"/> Sydney
<input type="radio"/> Cairns	<input type="radio"/> Melbourne	

## バリデーションスクリプトを準備する

スクリプトの内容に焦点を当てる前に、準備する必要があります。

### 質問に固有アクセスコードを付与する

質問に以下のアクセスコードを付与します。

**DEPARTURECITY**

**ARRIVALCITY**

質問にこれらのコードを追加します。これらこのコードが追加されたことが確認できるよう、デザイナーで表示されます。

**a b** This Question has an access code of **DEPARTURECITY**

**Which Australian destination did you fly FROM?**

<input type="radio"/> Adelaide	<input type="radio"/> Canberra
<input type="radio"/> Brisbane	<input type="radio"/> Darwin
<input type="radio"/> Cairns	<input type="radio"/> Melbourne

Add Content Here Group Content Split P

**a b** This Question has an access code of **ARRIVALCITY**

**Which Australian destination did you fly TO?**

<input type="radio"/> Adelaide	<input type="radio"/> Canberra
<input type="radio"/> Brisbane	<input type="radio"/> Darwin
<input type="radio"/> Cairns	<input type="radio"/> Melbourne

### 選択肢が値を持つことを確認する

選択肢にアクセスする最も簡単な方法は、スクリプティングにより各選択肢を数値に対応させることです。そのため、選択肢が値を持つことを確認する必要があります。

これは、選択肢が追加される時点で行われます。

Automatically apply Values to All Choices

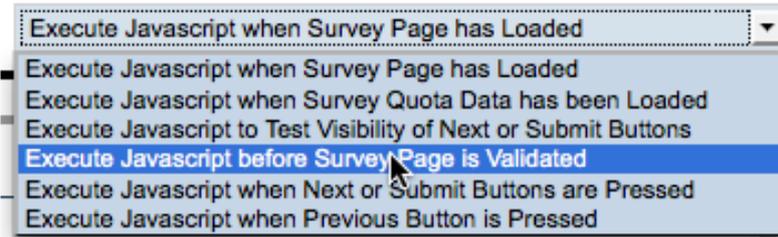


## スクリプトを記述する

バリデーションスクリプトは前章で学習した、質問データのローディングと、前項のバリデーション手法を使用します。一度、スクリプトに取り組んでみましょう。

### スクリプトを実行するタイミングを選択する

スクリプトを作成したら、それが適切な時間に実行されるか確認する必要があります。調査ページが検証される前に、スクリプトが実行する必要があります。



### 質問を取得する

バリデーションは常に対象となるデータが必要です。いくつかのルールを組み合わせた比較にはスクリプトによる質問のローディングが明らかに必要です。例では2つの質問をロードする必要があります。

```
// Get our Questions
var oDep = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('DEPARTURECITY');
var oArr = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('ARRIVALCITY');
```

### データをテストする

質問のテストはこのスクリプトの主要機能です。努力して理解する必要があります。

両方の質問に同じ選択がされているか決定する最も良い方法は何でしょうか？

wscScripting オブジェクトは、値が選択されているかテストできます。

```
var oSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(
```

2つの選択質問で同じ選択がされたかどうかを知る最も簡単な方法は、選択肢をループさせることです。標準ループは以下の通りです。

```
for (i=1; i<=oQuestion.choices.length; i++)
```

このループは1から質問に対する選択の総数まで、数えます。

これまでの知識をすべて一緒にまとめると、データをテストするスクリプトは、以下のように作成されます。

```

// Get our Questions
var oDep = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('DEPARTURECITY');
var oArr = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('ARRIVALCITY');

if (oDep && oArr)
{
    // Loop through the choices...
    for (i=1; i<=oDep.choices.length; i++)
    {
        // Was this choice selected as the departure city?
        var oDepSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(oDep, i);
        // Was this choice selected as the arrival city?
        var oArrSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(oArr, i);

        if ( oDepSelected && oArrSelected) // Same selection! Invalid!
        {
            // Need to throw a validation error
        }
        else
        {
            // No error
        }
    }
}

```

これは素晴らしいです—今度は、バリデーション自体に対処する必要があります。

## 調査を止める

データが無効な場合、調査の現在のページで、次のページに移動するか、提出しないよう、止める必要があります。これは、以下により行われます。

```
args.isValid = false;
```

これは、ほとんどのスクリプトとは全く異なります。事実、バリデーション失敗などのエラーを示さなければ、スクリプトは、以下により、正常終了します。

```
args.isValid = true;
```

## バリデーションメッセージを表示する

調査が警告なしに止まると、回答者は非常に不快になります。回答者が何が起きているか分かるように、スクリプトが視覚的な警告を提供する必要があります。

これは、バリデーションメッセージを1つまたは複数の質問に対して付与し、バリデーションエラーであるということを表示することにより可能になります。

```
wscScripting.setValidation( oQuestion, 'Not Valid!');
```

バリデーションメッセージが質問に付与されたら、クリアされるまで付与されたままです。そのため、質問がバリデーションに成功した場合、過去に質問に追加されたバリデーションメッセージがクリアされることが重要です。

```
wscScripting.clearValidation( oQuestion);
```

## 全部をまとめる：最終スクリプト

カスタムバリデーション作成する全てについて理解しました。最終のバリデーションスクリプトは以下ようになります。

```
// Get our Questions
var oDep = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('DEPARTURECITY');
var oArr = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('ARRIVALCITY');
var bValid;

if (oDep && oArr)
{
  // Loop through the choices...
  for (i=1; i<oDep.choices.length; i++)
  {
    // Was this choice selected as the departure city?
    var oDepSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(oDep, i);
    // Was this choice selected as the arrival city?
    var oArrSelected = wscScripting.isChoiceSelectedByValue(oArr, i);

    if ( oDepSelected && oArrSelected) // Same selection! Invalid!
    {
      // Need to throw a validation error
      wscScripting.setValidation(oArr, 'Invalid location choice!');
      bValid = false;
      break; // No need to continue looping - error found
    }
    else
    {
      // Clear the validation text
      wscScripting.clearValidation(oArr);
      bValid = true;
    }
  }
}
args.isValid = bValid;
```

無効なデータが入力された際に、回答者に表示されるインターフェースは、以下ようになります。

The screenshot shows a survey interface with two identical question blocks. The top block asks "Which Australian destination did you fly FROM?" and has radio buttons for Adelaide, Brisbane, Cairns, Melbourne, Perth, Sydney, and Canberra. Brisbane is selected. The bottom block asks "Which Australian destination did you fly TO?" and has the same options. A red banner with the text "Invalid location choice!" is positioned between the two question blocks, indicating a validation error.



---

# スクリプティング#101: インターフェース

---

JavaScriptは、クライアント側のスクリプト言語で、ブラウザで表示されるよう、完全に管理し、操作するよう配置されています。

本章ではスクリプティングによる調査の処理のいくつかの例を見ていきます。



# インターフェース微調整の概要

インターフェース微調整は、既存の調査の要素を取り扱う場合、間違いなく、高度なトピックです。これまで説明した他のスクリプトの使用と比較して、インターフェース微調整はより複雑で、構造化されておらず、あなたの HTML、CSS および JavaScript の知識のレベルに、より直接関連しています。

本章で示されているスクリプトは単に可能ないくつかの例です。

インターフェースに対してできる最も一般的なことは、以下の見出しのスクリプトを使用することです。

1. 新しいコンテンツを作成する (例、ページのHTML コンテンツ)
2. 既存のコンテンツを修正する (例、既存の質問のレイアウトを修正する)
3. 対話型のインターフェース要素 (例、ボタンのクリックへの対応)

本章では、これらそれぞれの例について考えます。

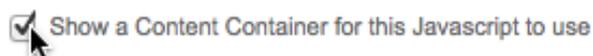
## スクリプトを使用してコンテンツを作成する

最もシンプルなインターフェース微調整の形式は、調査ページのカスタムコンテンツの追加です。この状況で必要なすべてのスクリプトは、スクリプトが採用されるページのコンテナです。

### コンテンツコンテナを使用する

ページでコンテンツコンテナを使用するために、2つのステップがあります。

1. スクリプト設定の “Show Content Container” チェックボックスをチェックします。



2. スクリプトのコンテナにアクセスします。現在のスクリプトのコンテナは、常に以下の `{QuestionContainer}` を使用するコードでアクセスされます。

```
var oContainer = wscScripting.getElementById('{QuestionContainer}');
```

スクリプトにコンテナがあれば、それに行いたいことはすべて可能です。例えば、それに簡単な HTML を配置することができます。

```
var oContainer = wscScripting.getElementById('{QuestionContainer}');

if (oContainer)
{
    // NOTE: when adding to innerHTML - put everything in a temp
    // variable first, as innerHTML will attempt
    // to complete missing tags for each line you add to it.
    var content = '';

    content += '<strong>Hello World!</strong> This is some HTML.';

    oContainer.innerHTML = content;
}

args.isValid = true;
```

このスクリプトはページに以下のコンテンツを表示する結果になります。

Hello World! This is some HTML.

## 既存のコンテンツを修正する

この説明の目的のために、既存コンテンツの簡単な修正について見てみましょう。この例では、以下の質問で開始します。

There have been many changes within our company over the past two years to help streamline our operations and create a strong financial base for the future. Do you feel the changes that have been made have affected how you view our company in a negative way?

YES

NO

### 質問のレイアウトを修正する

Web Survey Creator に表示される質問は、質問の幅、ページ全体での値の表示など、いくつかのレイアウトオプションを提供します。このケースでは、何か少し違うことをします—ページの中央に *Yes/No* の選択肢を表示します。

この質問の選択肢は、テーブルにあるので、スクリプトで必要なのは、中央に配置されるよう、そのテーブルを修正することです。

質問に対して、YES/NO の固有コードが付与されます。スクリプト（ページのロード時に実行される）にはこの質問のテーブルを取得し、以下のように中央に配置する必要があります。

```

// Get our question object
var oVote = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('YESNO');

if (oVote) // If the question object is valid...
{
  // Get the table used for the question
  var oTable = wscScripting.getElementById(oVote.identity + '_table');

  if (oTable)
  {
    // Do something with the table
    // Change the left and right margins
    oTable.style.marginLeft = 'auto';
    oTable.style.marginRight = 'auto';

  }
}

args.isValid = true;

```

このスクリプトを使用することにより、以下のように表示するよう、質問のレイアウトを変更しました。

There have been many changes within our company over the past two years to help streamline our operations and create a strong financial base for the future. Do you feel the changes that have been made have affected how you view our company in a negative way?

YES

NO

### 前のボタンを非表示にする

Web Survey Creator は、調査ページのボタンを非表示または表示にすることができます。これは全体設定です。全部ではなく 1 ページだけボタンを表示する場合、どうすればよいでしょうか？幸い、インターフェースのあらゆる面で、スクリプトにアクセス可能です。1つのページのボタンを非表示にするスクリプトを記述してみましょう。

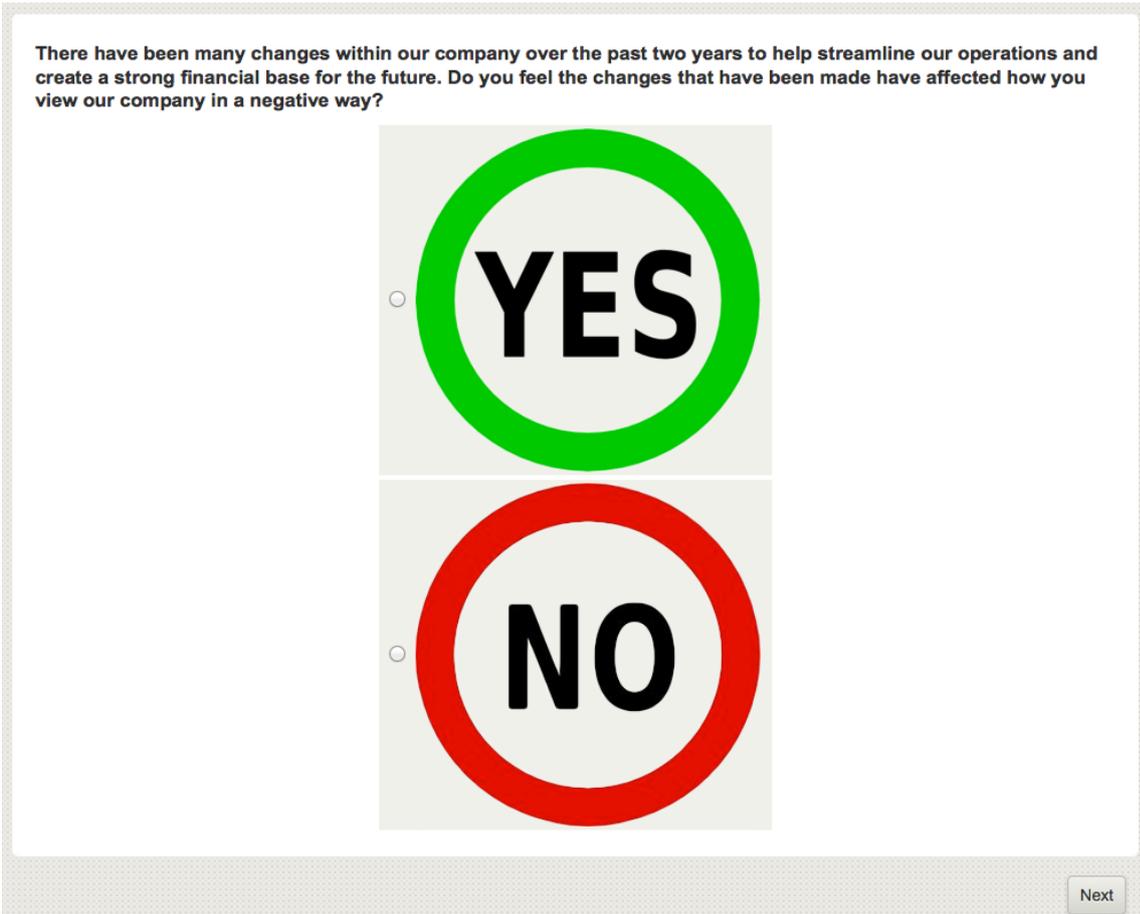
スクリプトでボタンにアクセスする方法を理解したら、非常に簡単なスクリプトの記述になります。

```
// Get the previous button
var oButton = wscScripting.getElementById('previousbutton');

if (oButton) // If the button object is valid...
{
    // Change the button style so the button is not shown
    oButton.style.display = 'none';
}

args.isValid = true;
```

ページは以下のように表示されます（前のボタンは表示されない）



There have been many changes within our company over the past two years to help streamline our operations and create a strong financial base for the future. Do you feel the changes that have been made have affected how you view our company in a negative way?

YES

NO

Next

## UI イベントに対処する

### どのイベントが関連するか？

スクリプトにより関連するイベントがいくつかあります。入力デバイスの主なイベントを以下に示します。

デバイス	イベント	内容
マウス	<i>click</i>	ポインティングデバイスのボタンがクリックされると起動されます。クリックは同じ画面ロケーションでマウスを押す、およびリリースすることとして定義されます。
	<i>dblclick</i>	ポインティングデバイスのボタンが2回クリックされると起動します。
	<i>mousedown</i>	ポインティングデバイスのボタンが押されると起動します。
	<i>mouseup</i>	ポインティングデバイスのボタンがリリースされると起動します。
	<i>mouseover</i>	要素の上にポインティングデバイスを移動すると起動します
	<i>mousemove</i>	要素の上にポイントデバイスがあるときに、移動すると起動します
	<i>mouseout</i>	要素からポインティングデバイスが離れると起動します
キーボード	<i>keydown</i>	キーボードでキーが押されると（キープレス前）起動します
	<i>keypress</i>	キーダウン後、キーボードでキーが押されると起動します
	<i>keyup</i>	キーボードでキーがリリースされると起動します

以下のように、調査ページのコンテンツ変更に関連する他のイベントがあります。

イベント	内容
<i>select</i>	テキストフィールドでユーザーがテキストを選択すると起動します（インプット、テキストエリアを含む）
<i>change</i>	コントロールがインプットフォーカスを失い、その値がフォーカス取得後に変更されると起動します
<i>focus</i>	要素がポインティングデバイスまたはタブナビゲーションによりフォーカスされると起動します
<i>blur</i>	ポインティングデバイスまたはタブナビゲーションによりフォーカスを失うと」起動します

## どのようにイベントは使用されるか？

イベントを使用するには、3つのことを行う必要があります。

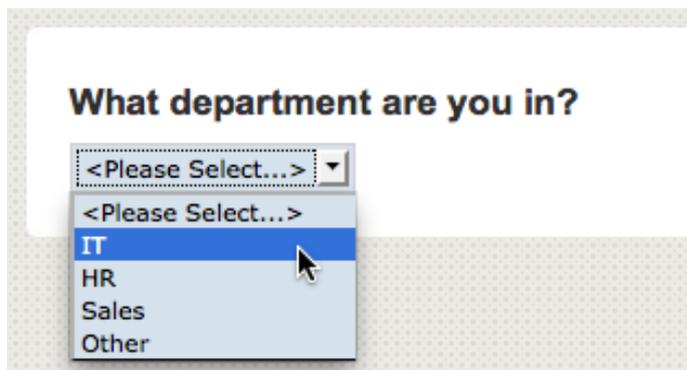
1. イベントをHTMLインターフェース要素に関連づける必要があります（例えば、変更のチェックとテキストフィールド）
2. よく注意したいイベントを選択する必要があります(select, change, focus 等)
3. イベントが起動されると何が起きるかスクリプトする必要があります

### HTMLインターフェース要素を取得する

インターフェース要素の取得アクションは、どのタイプの質問をスクリプトするかにより異なります。一つのインプットコントロールのみがある簡単な質問（テキスト、ドロップダウンおよび数値質問）の場合、HTMLインターフェース要素は比較的簡単に取得できます。

### 簡単なインターフェース要素を取得する

固有コード DEPARTMENT を持つドロップダウンリスト質問があるとします。



以下のスクリプトでは、この質問に HTML 要素をロードします。

```
// Get the Question
var oQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('DEPARTMENT');

if (oQuestion)
{
    // Get the HTML Element for this Question
    var HTMLElementForQuestion = $('#' + oQuestion.identity);
}
}
```

### 質問選択インターフェース要素を取得する

イベントスクリプトを選択質問に関連付けるのは、大変便利です。しかしながら、選択質問が複数のインターフェース要素を持つ場合、トリッキーです。固有コード DEPARTMENTCHOICE を持つドロップダウンリスト質問があるとしましょう。

### What department are you in?

 IT  
 HR  
 Sales  
 Other

以下のスクリプトでは、この質問の選択肢に HTML 要素をロードします。

```
// Get the Question
var oQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('DEPARTMENTCHOICE');

if (oQ)
{
    // Get the HTML Elements for each choice
    var ChoiceButtonIT = $('#' + oQ.identity + '_' + oQ.choices[0].identity);
    var ChoiceButtonHR = $('#' + oQ.identity + '_' + oQ.choices[1].identity);
    var ChoiceButtonSales = $('#' + oQ.identity + '_' + oQ.choices[2].identity);
    var ChoiceButtonOther = $('#' + oQ.identity + '_' + oQ.choices[3].identity);
}
}
```

選択肢へのアクセスはゼロベースであることに注意してください。そのため、最初の選択肢にすると、実際に取得します。

`oQ.choices[0].identity`

## 複雑なインターフェース要素

より複雑な質問タイプに対処する場合、インターフェース要素をイベントに関連づけるのは、トリッキーです。固有コード DEPARTMENTSUM を持つ、加算質問があるとします。

**How many hours a week do you spend dealing with people from these departments?**

	Hours
IT	<input type="text" value="6"/>
HR	<input type="text" value="10"/>
Sales	<input type="text" value="15"/>
Other	<input type="text" value="6"/>
<b>Total 37 hours</b>	

加算質問は一つの列（例では時間）と、複数行があるマトリクスで有効です。イベントを他の数値要素に関連付ける場合、最初に行を取得する必要があります。行を取得する最も簡単な方法は、特定の行のタグと値を探すことです。

```
// Get the Question
var oQ = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('DEPARTMENTSUM');

if (oQ)
{
    // Get the Row by looking for a specific tag with a specific value
    var rowObject = wscScripting.getRowByTagValue(constantSum, 'ROWTAG', 'OtherRow');

    if (rowObject)
    {
        // Get the HTML Element for the numeric input box
        // We need to refer to both the row, and the column (choice)
        var inputBox = $('#'+oQ.identity+'_'+rowObject.identity+'_'+oQ.choices[0].identity);
    }
}
```

## イベントを関連付ける

HTML 要素があれば、イベントの関連付けは非常に簡単です。適切なイベントが HTML 要素に関連付けられ、イベントが発生されるたびに、関数が実行されます。

```

// Get the Question
var oQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('DEPARTMENT');

if (oQuestion)
{

    // Get the HTML Element for this Question
    var HTMLElementForQuestion = $('#' + oQuestion.identity);

    // Do something when the value changes
    $(HTMLElementForQuestion).bind('change',
        function()
        {

            // Script to run goes here

        });
}

args.isValid = true;

```

## UI イベントの例

本章で前に説明した、質問タイプの1つの例を考えてみましょう。

### 「その他」があるドロップダウンリスト

ラジオボタンまたはチェックボックスで表示される選択質問の、「その他」にはテキストボックスが含まれます。ドロップダウンリストにはこの機能はありません。しかしながら、スクリプティングを使用して、これを追加できます。必要なのは、「その他」に関するテキスト質問で、他が選択される場合、非表示になります。

スクリプトを設定する前の質問は以下のように表示されます。

The screenshot shows a form with two sections. The first section is titled "What department are you in?" and contains a dropdown menu with the text "<Please Select...>". The second section is titled "Other, Please Specify." and contains a text input field.

「その他、具体的には」の質問は、「その他」が選択された場合だけに表示したい（これが、スクリプトにしてほしいことです）。2つの質問には以下の固有コードがあります。

**DEPARTMENT**

**OTHERDEPARTMENT**

```

// Get the Drop-down
var oDD = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('DEPARTMENT');
// Get the "Other" text question
var oOther = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('OTHERDEPARTMENT');

if (oDD && oOther)
{ // We want to only show the other question if the DD = 4 (Other)

    // Get the HTML Element for Drop Down List
    var HTMLElementForDD = $('#' + oDD.identity);
    // Get the HTML Element for Other Specify box
    var HTMLElementForOther = $('#' + oOther.identity);

    // What Choice is currently selected?
    var aSelectedItem = wscScripting.getSelectedChoices(oDD);

    if (aSelectedItem)
    {
        if (aSelectedItem.value != 4) // Other is not selected
        {
            // Hide the other text question on the load
            $('#' + oOther.containerName).hide();
        }
    }

    // Do something when the value of the Drop-Down changes
    $(HTMLElementForDD).bind('change',
        function() {

            var LocalHTMLElementForDD = $('#' + oDD.identity);
            var LocalHTMLElementForOther = $('#' + oOther.containerName);
            // Get the "Other" choice for testing
            var oChoice = wscScripting.getChoiceByValue(oDD, 4);

            if (LocalHTMLElementForDD.val() == oChoice.identity)
            { // They chose the other choice - show "Other"
                LocalHTMLElementForOther.fadeIn('slow', function() {});
            }
            else
            { // They didn't choose the other choice
                LocalHTMLElementForOther.fadeOut('slow', function() {});
            }

        });

    });

args.isValid = true;

```

---

# スクリプティング#101: ページおよび選択肢の順 序付け

---

すべての調査は特定のフローに従っています。最も簡単に言うと、1ページから次のページに、1つの選択肢から次の選択肢へという順序で調査が作成されます。

しかしながら、調査フローは、回答者ごとに異なる、非常に特殊な方法で管理される必要があることもあります。これは、スクリプティングが必要な場合です。

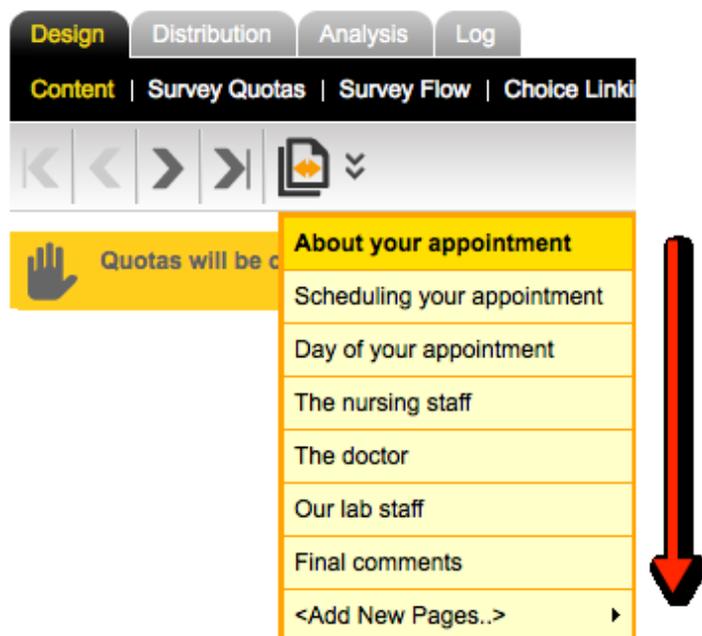


# デザイナーのページ順序

ページ順序の管理方法を考える前に、まずスクリプティングなしのページ順序について考えましょう。

## 基本的なページ順序

基本的なページ順序はコンテンツマネージャーで調査に追加された順番により決定されます。



新しいページを調査に追加する際、既存ページの上部にある適切なボタンをクリックすることにより、既存ページの前、または後に追加されます。



これはもちろん、最も基本的な調査システムでも動作する、ページ順序の方法です。

## ページをランダム化する

全員がページを同じ順序で見ると、以下のような、予測できない影響があるかもしれません。

1. 長い調査の前のページでのより良い質の回答（後のページは回答者の疲労の影響がある）
2. 調査の回答が、回答者が調査の前の部分で見た質問の影響を受ける（回答者は前を見たことがあるので、異なる反応をする）

では、順序が結果のデータを変えるのであれば、どうやって問題を最小にできるのでしょうか？

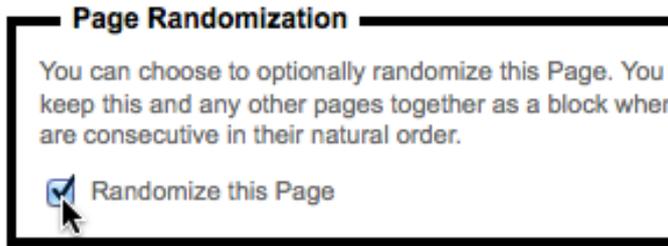
ページ順序が回答に与える影響を最小化する唯一の効果的な方法は、順序のバイアスを均等に分散することです。ページ順序はランダム化する必要があります。

Web Survey Creator で標準的なページランダム化を使用するために、以下が必要です。

1. ランダム化したい最初のページを編集します



2. ランダム化のチェックボックスをチェックします



3. ランダム化でグループ化したいページがある場合、ブロックコードを入力します

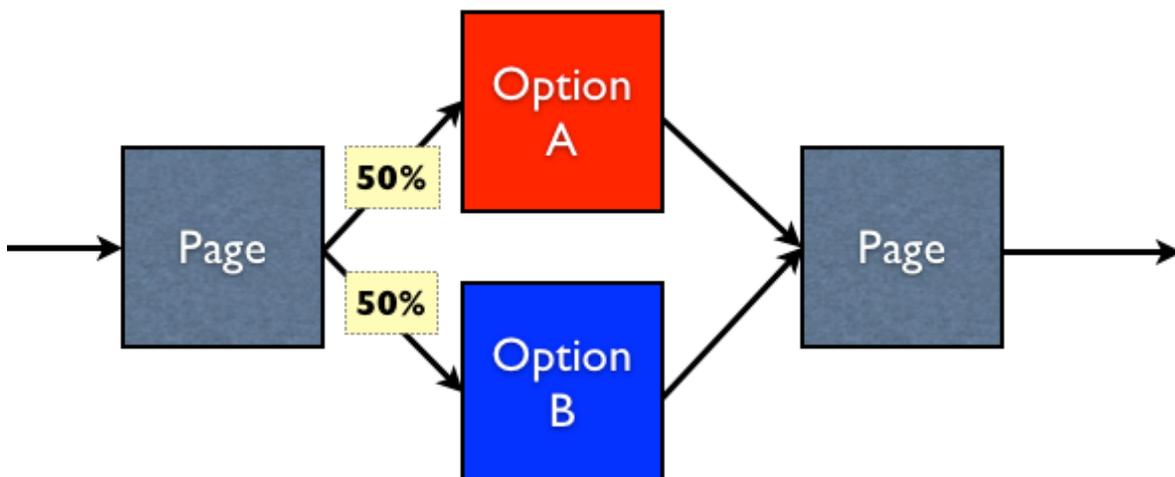


4. ページを保存します
5. 続いてランダム化したい各ページについて繰り返します

## ランダム化の他の方法 (A/B テスト)

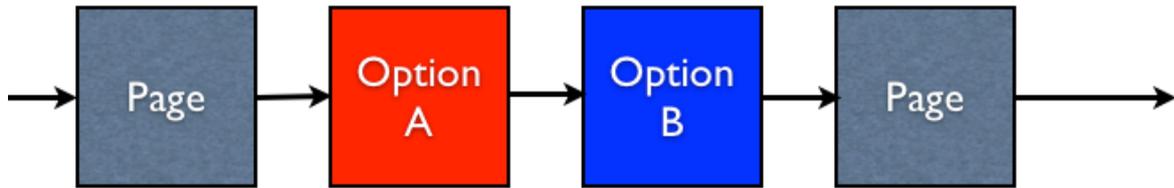
AB テストのユーザーは、回答率を向上させ、または他の望ましい結果を得るために、どの変数が最も効果的か分かるように、複数サンプルをディストリビューションします。順序が効果的となるために、テストはコントロールと他の戦術で意味のある違いを検出する機会があるよう、十分な規模の対象者に届く必要があります。

多くの対象者にアクセスするのが比較的簡単なウェブ調査は AB テストを使用する素晴らしい候補です。AB テストの簡単な例を、以下に示します。



50%の回答者がオプション A ページに行き、50%の回答者がオプション B ページに行くようにします。この結果を実現するのは、ランダム化のもう一つの例です。

Web Survey Creator で回答者が回答開始すると、ただちにランダム番号を割り当てられます。この番号は、さまざまなことに使用されます (その一つが AB テスト)。AB テストの設定は、フロー制御により行われます。AB テストがある調査の構造は、



ABテストを作成するには、オプション A ページを 50%、オプション B ページを 50%の割合で非表示にしたい。

オプション A ページを非表示にするには、以下のフローが必要です。

回答者には、ABテストランダム番号を使用します（常に 1 から 100 の間の番号）。番号が 51 未満の場合、オプション A ページを非表示にします（番号は 1 以上以下 50 以下）

オプション B ページを非表示にするのは反対のテストです（ABテストランダム番号が 50 を超える場合（番号は 51 以上 100 以下）

もちろんこの方法論は 2 ページのテストだけに適用されるわけではありません（ABテストランダム番号は 100 個の値の一つと等しいので、ランダムに選択される最大 100 オプション間で可能です）。

## スクリプティングによるページの順序付け

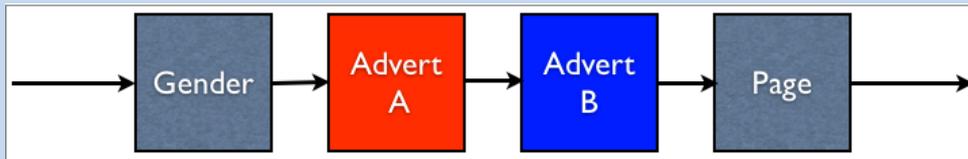
ランダム化は、ページ順に起因するバイアスの影響を分散するのに最適です。しかしながら、ある状況下で問題を引き起こすかもしれないという制限があります。

ランダム化は予測できません（回答者が見るページ順序は回答内容を入力する辞典で決定されます）。

これはほとんどの環境に最適ですが、順序を既知の方法で操作する場合、何が起こるでしょうか？これを実現するには、スクリプティングによりページを修正する必要があります。

例について考えてみましょう。

2つの広告（それぞれ別のページ）を含む調査を作成します。調査の基本フローは以下の通りです。



クライアントは、男性全員に広告 *Advert A* を先に、また女性全員に広告 *Advert B* を表示したい。そのため、ページ順序は、完全なランダムではなく、特定の質問への回答により決定されます。

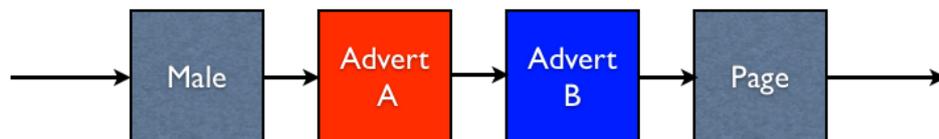
### ページ順序のスク립ティングに何が必要か？

スク립ティングによりページ順序を管理する場合、以下のように正しく、設定する必要があることが、いくつかあります。

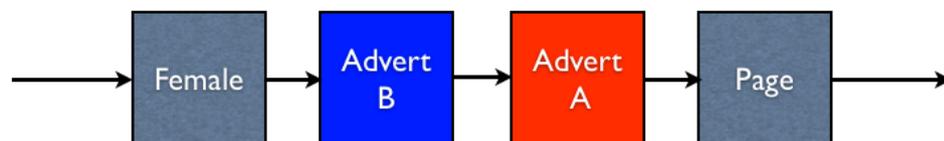
1. **ページ名を付ける**、それにより、スクリプト内で、名前参照できるようになります。例では、ページ名を以下のように編集します。
  - a. Gender
  - b. Advert A
  - c. Advert B
  - d. Next Page
2. **調査の少なくとも1ページをランダム化する**、それにより、システムがページ順序にアクセスするスクリプトがページ内にあることを認識します。少なくとも1ページがランダム化されている限り、調査のどのページも移動することができます。
3. **ページに個別のランダム化ブロックコードを配置する（任意）**、それは、ページにブロックコードでアクセスしたい場合です（ページ名ではなく）
4. **並べ替えのスクリプトを追加する**、それは並べ替えられるページの前に来るページに対して行います（next ボタンがクリックされると実行されます、また調査が進む前に、ページが並べ替えられます）

## 例：性別に基づいてページを配列する

前の例では、男性がこの順序でページを見るように、設定します。



そして、女性はこの順序でページを見ます。



これを実現するために、調査で以下の設定を行います。

1. 調査のページを “Gender” , “Advert A” , “Advert B” および “Next Page” と名付けます。

Gender
Advert A
Advert B
Next Page

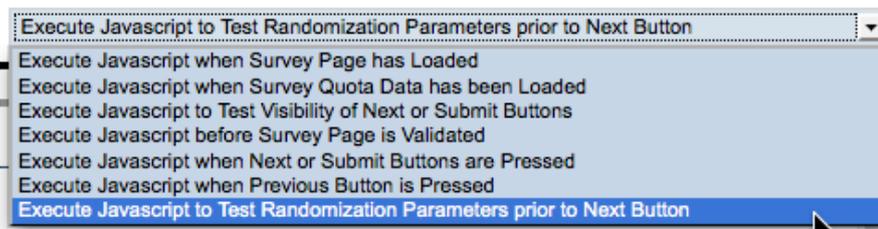
2. 性別に関する質問にアクセスコード “GENDER” を追加します。

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]:

3. 広告ページをランダムに設定し、それにブロックコード “ADVERTS” を付与します。これにより、ブロックコードにより広告ページが取得可能になります。

Randomization:  Randomize this Page Randomization Block Code:

4. ランダム化スクリプトを作成します



---

Web Survey Creator は、2つのことが満たされている限り、ページ順序の変更スクリプトのために、ページで必要なすべてのデータを提供します。（少なくとも調査の1ページがランダム化され、かつ試験ランダム化パラメータスクリプトがテストページに存在する）。  
どちらかが満たされなければ、順序付けは不可能です。

---

さて、ページの順序付けを管理できるよう、調査がすべて設定されました。作成する必要があるスクリプトを見てみましょう。

スクリプトでする必要がある最初のことは、性別に関する質問の値を取得することです。

```
// Did we pick a male or female?
var bMale = false;
var oGender = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('GENDER');
if (oGender != null) {
    var aSelected = wscScripting.getSelectedChoices(oGender);
    if (aSelected != null) {
        bMale = (aSelected[0].value == 1);
    }
}
```

回答者が男性か否か、分かりました。次のステップは、調査のために配列内のページアイテムを取得し、広告ページがこの配列にある場所で動作することです。

```
// Get the page order
var aPages = wscScripting.getPageRandomizationItems();
if (aPages != null) {
    // Find the pages that are blocked as GENDER...
    // We need to changed their order dependant on the gender
    var nOrdinal = -1;
    for(var nPage = 0;nPage<aPages.length;nPage++) {
        if (aPages[nPage].blockCode == 'ADVERTS') {
            // this is the right block
            nOrdinal = nPage;
            break;
        }
    }
}
```

目的	主要スクリプト断片
調査のページを取得する	wscScripting.getPageRandomizationItems

このスクリプトにより、最初の広告を含むページ配列の場所を決定します。このページの後のページが2番目の広告だと分かります。

この例は、ページ内の**ブロックコード**の巧妙な使用方法を示します。入れ替えたい2つのページは、同じブロックコードが付与されます。

#### ADVERTS

これは、スクリプト内で、ページ処理し、ブロックコード“ADVERTS”を探することができることを意味します。このブロックコードがあるページを見つけると、ただちに、2つの広告ページの1つ目を見つけたことが分かります。ブロックコードを使用しない場合、最初の広告ページが分からないので、ページの配列を移動して、を両方のページを名前でチェックする必要があります。

残されているすべてのことは、広告が正しい順序になっているか確認することです。スクリプトの全コード（順序付けを含む）は以下のとおりです。

```

// Did we pick a male or female?
var bMale = false;
var oGender = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('GENDER');
if (oGender != null) {
    var aSelected = wscScripting.getSelectedChoices(oGender);
    if (aSelected != null) {
        bMale = (aSelected[0].value == 1);
    }
}
// Get the page order
var aPages = wscScripting.getPageRandomizationItems();
if (aPages != null) {
    // Find the pages that are blocked as GENDER...
    // We need to changed their order dependant on the gender
    var nOrdinal = -1;
    for(var nPage = 0;nPage<aPages.length;nPage++) {
        if (aPages[nPage].blockCode == 'ADVERTS') {
            // this is the right block
            nOrdinal = nPage;
            break;
        }
    }
    // Did we correctly find this page?
    if (nOrdinal > -1) {
        // if bMale then should be Advert A first
        // if !bMale then should be Advert B first
        // get them so we can flip them
        var oPage1 = aPages[nOrdinal];
        var oPage2 = aPages[nOrdinal + 1];
        // we might already have done this so check the title to be sure
        var sTitle = oPage1.title;
        if (bMale && sTitle == 'Advert B') {
            // Should be Advert A so flip them
            aPages[nOrdinal] = oPage2;
            aPages[nOrdinal + 1] = oPage1;
            // update them
            wscScripting.setPageRandomizationItems(aPages);
        }
        else if (!bMale && sTitle == 'Advert A') {
            // Should be Advert B so flip them
            aPages[nOrdinal] = oPage2;
            aPages[nOrdinal + 1] = oPage1;
            // update them
            wscScripting.setPageRandomizationItems(aPages);
        }
    }
}
args.isValid = true;

```

希望通りに順序付けされたら、スクリプトの最後でのページの保存方法に注意してください。

目的	主要スクリプト断片
調査に戻るようページを保存する	wscScripting.setPageRandomizationItems

## Nutshell のページ順序付け

前の例で見てきたとおり、ページ順序付けのスクリプトは3つの部分があります。

### ステップ 1：現在のページ配列を取得する

スクリプトは、`getPageRandomizationItems` を使用して配列に現在のページオブジェクトを取得します。

```
// Get the page order
var aPages = wscScripting.getPageRandomizationItems();
```

### ステップ 2：ステップ 1 のページ配列を変更する

これはスクリプトの心臓部です（配列でページを移動するために必要なものはすべて行います）。前の例から分かるように、配列からページオブジェクトを取得するのは簡単です。

```
var oPage1 = aPages[nOrdinal];
var oPage2 = aPages[nOrdinal + 1];
```

配列にそれらを戻します。

```
aPages[nOrdinal] = oPage2;
aPages[nOrdinal + 1] = oPage1;
```

### ステップ 3：配列内のページ順序を更新する

配列の操作を終了したら、調査のページ順序を更新するために使用されます。

```
wscScripting.setPageRandomizationItems(aPages);
```

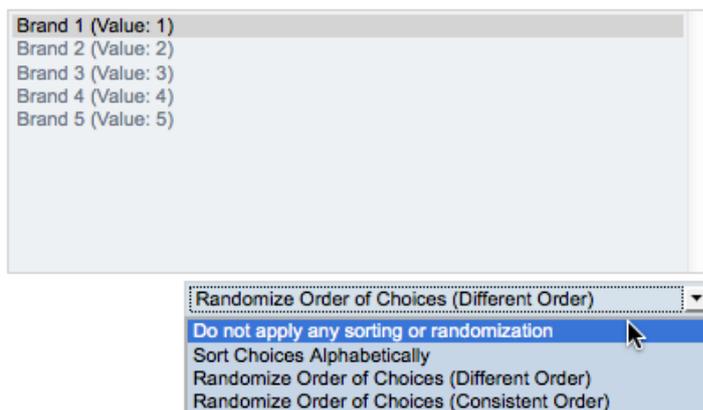
## 選択肢を順序付ける

選択質問は最も簡単な質問タイプの一つで、Web Survey Creator で最もよく使われる質問タイプです。選択質問の例は以下の通りです。

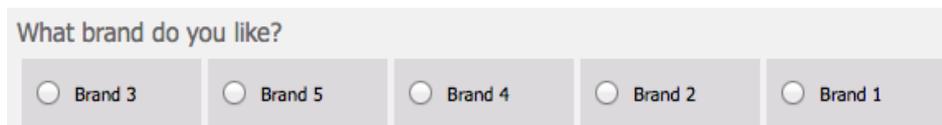


### 選択肢の標準的な順序付け

選択質問の大半は、コンテンツマネージャーに表示されるのと同じように並べられます。以下のように、選択質問を追加または編集する際、他の順序付けオプションを選択することも可能です。



これは選択肢の順序をランダム化する場合、質問例がどのように表示されるかというものです。



アルファベット順のソートとランダム化は非常に便利ですが、選択肢を特定の順序で設定したいこともあります。これは、スクリプティングが選択肢の管理に使用する必要がある場合です。

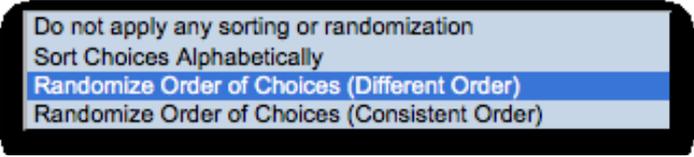
### スクリプト化された選択肢の順序を設定する

選択肢があるすべての質問タイプには、スクリプティングにより管理される選択肢の順序があります。スクリプティングで利用可能な質問は、以下の設定が必要です。

1. 質問にアクセスコードが設定される必要があります。それにより質問がスクリプトで参照可能になります。

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]: BRANDS

2. 選択肢はランダム化される必要があります。それは、質問で2つのランダム化された選択肢の一つを選択することです。



Do not apply any sorting or randomization  
Sort Choices Alphabetically  
Randomize Order of Choices (Different Order)  
Randomize Order of Choices (Consistent Order)

3. 質問はスクリプティングで利用可能にされる必要があります（これがチェックされない場合、システムは選択肢順序が修正可能なページに適切なデータを入れません）



Force Question to be accessible from scripting when using Randomization Scripting  
If this Randomization Scripting is utilized choose whether this question is forced to be available.

## 例：スクリプト化された選択肢配列

選択肢を並び替えるいくつかの理由があります。デモンストレーションの目的のために、不自然ですが、簡単な例を使用します。（ランダム化された選択肢を、スクリプトでアルファベット順にソートします）

### 選択質問

ランダム化され、以下の値を持つ質問から始めましょう。

#### What is your favorite fruit?

Apple

Pear

Banana

Orange

Pineapple

値がアルファベット順になるようにこの質問を記述するには、スクリプティングで使用されるよう最初に、質問を設定する必要があります。

1. スクリプティングでアクセスされるよう、質問にアクセスコードを設定します。

Question Access Code (Optional) [Used for Data Piping, SPSS, etc]: SINGLE |

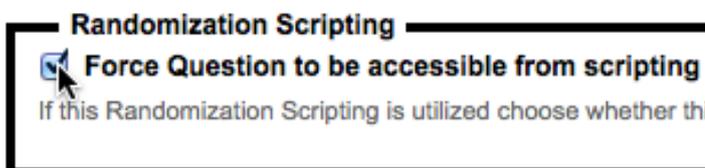
## 2. 質問選択にランダム化を使用します



Apple (Value: 1)  
Pear (Value: 2)  
Banana (Value: 3)  
Orange (Value: 4)  
Pineapple (Value: 5)

How do you want the choices sorted: **Randomize Order of Choices (Different Order)**

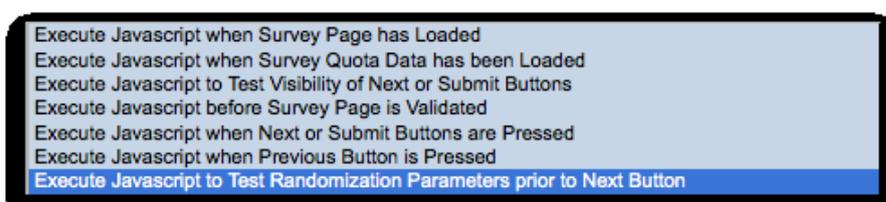
## 3. 質問をスクリプティングでアクセス可能にします



**Randomization Scripting**

**Force Question to be accessible from scripting**  
If this Randomization Scripting is utilized choose whether th

選択肢を並べ替えるスクリプトを記述する必要があります。スクリプトはランダム化パラメータをテストするよう、設定される必要があります（ページ順序付けに使用されるスクリプトと似ています）。



- Execute Javascript when Survey Page has Loaded
- Execute Javascript when Survey Quota Data has been Loaded
- Execute Javascript to Test Visibility of Next or Submit Buttons
- Execute Javascript before Survey Page is Validated
- Execute Javascript when Next or Submit Buttons are Pressed
- Execute Javascript when Previous Button is Pressed
- Execute Javascript to Test Randomization Parameters prior to Next Button**

質問の選択肢の順序を変更するスクリプトは、質問を含むページの前のページに作成しなければなりません。質問と同じページで順序を変更しようとすると、動作しません（スクリプトの実行は遅すぎます）。

スクリプトで最初にする必要があるのは、質問に内容をロードすることです。

```
oQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('SINGLE');  
if (oQuestion) {  
    aRandom = wscScripting.getChoiceRandomizationItems(oQuestion, 0);  
}
```

目的	主要スクリプト断片
質問のための選択肢を取得する	wscScripting.getChoiceRandomizationItems

デモンストレーションのために、選択オブジェクトを調べ、選択肢がアルファベット順になるよう設定します。

各選択肢のテキストで“sortorder”を更新し、配列を再ソートすることにより、これを実現します。

```

// Get the title from the choice
for(var nChoice = 0;nChoice < oQuestion.choices.length;nChoice++) {
  var oChoice = oQuestion.choices[nChoice];
  var sText = oChoice.text;
  var sIdentity = oChoice.identity;
  for(var nRandom = 0;nRandom < aRandom.length;nRandom++) {
    if (aRandom[nRandom].identity.toLowerCase() == sIdentity) {
      aRandom[nRandom].sortOrder = sText.toLowerCase();
      break;
    }
  }
}
// Sort it
aRandom.sort(function(a,b) {
  if (a.sortOrder < b.sortOrder) { return -1 }
  if (b.sortOrder < a.sortOrder) { return 1 }
  if (b.sortOrder == a.sortOrder) { return 0 }
} );

```

配列を再ソートしたら、調査に戻し、保存します。

```

// Update the randoms for updating on next
bSuccess = wscScripting.setChoiceRandomizationItems(oQuestion, aRandom, 0);

```

目的	主要スクリプト断片
質問の選択肢を調査に戻し保存する	wscScripting.setChoiceRandomizationItems

```

var oQuestion;
var aRandom;
var bSuccess;

// Single Selection List
oQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('SINGLE');
if (oQuestion) {
    aRandom = wscScripting.getChoiceRandomizationItems(oQuestion, 0);

    if (aRandom) {

        // Get the title from the choice
        for(var nChoice = 0;nChoice < oQuestion.choices.length;nChoice++) {
            var oChoice = oQuestion.choices[nChoice];
            var sText = oChoice.text;
            var sIdentity = oChoice.identity;
            for(var nRandom = 0;nRandom < aRandom.length;nRandom++) {
                if (aRandom[nRandom].identity.toLowerCase() == sIdentity) {
                    aRandom[nRandom].sortOrder = sText.toLowerCase();
                    break;
                }
            }
        }

        // Sort it
        aRandom.sort(function(a,b) {
            if (a.sortOrder < b.sortOrder) { return -1 }
            if (b.sortOrder < a.sortOrder) { return 1 }
            if (b.sortOrder == a.sortOrder) { return 0 }
        });

        // Update the randoms for updating on next
        bSuccess = wscScripting.setChoiceRandomizationItems(oQuestion, aRandom, 0);
    }
}

args.isValid = true;

```

このスクリプトを実行したら、質問の選択肢は、以下のようにアルファベット順に表示されます。

### What is your favorite fruit?

Apple

Banana

Orange

Pear

Pineapple

## 単レンジマトリクス

では他の選択質問を考えてみましょう（単レンジマトリクス）。例えば、以下のようなマトリクスを使ってみましょう。

**What is your favorite fruit for the following?**

	Apple	Pear	Banana	Orange	Pineapple
Cakes	<input type="radio"/>				
Juice Drinking	<input type="radio"/>				
Late night snack	<input type="radio"/>				
Because you are hungry	<input type="radio"/>				

選択肢順序（列の順序など）を操作できるように、この質問を設定するのは、標準的な選択質問と全く同じです。同じ設定を実行する必要があります。

1. スクリプティングでアクセスできるように質問に**アクセスコード**を設定します。この例では質問にコード “MATRIXSINGLE” を付与します。
2. 質問の選択肢に**ランダム化**を使用します。
3. 質問をスクリプティングで**アクセス**できるようにします。

一つの簡単な違い（質問にアクセスするためのコード）を除けば、スクリプトは簡単な選択質問のスクリプトと全く同じです。

```
// Single Matrix  
oQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('MATRIXSINGLE');
```

---

質問の選択肢にアクセスし修正するのは、単一の選択質問および単レンジマトリクスに使用されたスクリプトと似た方法で動作します（それらは本質的に同一です）。これは選択肢のある他の質問にも当てはまります（ランキング質問など）。

---

マトリクス行をアルファベット順にソートする完全なスクリプトは以下の通りです。

```

var oQuestion;
var aRandom;
var bSuccess;

// Single Matrix
oQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('MATRIXSINGLE');
if (oQuestion) {
  aRandom = wscScripting.getChoiceRandomizationItems(oQuestion, 0);
  if (aRandom) {

    // Get the title from the choice
    for(var nChoice = 0;nChoice < oQuestion.choices.length;nChoice++) {
      var oChoice = oQuestion.choices[nChoice];
      var sText = oChoice.text;
      var sIdentity = oChoice.identity;
      for(var nRandom = 0;nRandom < aRandom.length;nRandom++) {
        if (aRandom[nRandom].identity.toLowerCase() == sIdentity) {
          aRandom[nRandom].sortOrder = sText.toLowerCase();
          break;
        }
      }
    }
    // Just sort by the natural order rather than random
    aRandom.sort(function(a,b) {
      if (a.sortOrder < b.sortOrder) { return -1 }
      if (b.sortOrder < a.sortOrder) { return 1 }
      if (b.sortOrder == a.sortOrder) { return 0 }
    });

    // Update the randoms for updating on next
    bSuccess = wscScripting.setChoiceRandomizationItems(oQuestion, aRandom, 0);
  }
}
args.isValid = true;

```

行はアルファベット順に表示されます。

## What is your favorite fruit for the following?

	Apple	Banana	Orange	Pear	Pineapple
Cakes	<input type="radio"/>				

選択肢はすべての質問タイプで同じです（しかし、マトリクス質問は列がある）。列の管理を選択肢と似ています（列に関連する正しい機能を使用する必要があります）

目的	主要スクリプト断片
質問のための行を取得する	wscScripting.getRowRandomizationItems
調査に質問を戻し行を保存する	wscScripting.setRowRandomizationItems

これは、行をソートするために使用するスクリプトです。

```
var oQuestion;
var aRandom;
var bSuccess;

// Single Matrix
oQuestion = wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('MATRIXSINGLE');
if (oQuestion) {

    aRandom = wscScripting.getRowRandomizationItems(oQuestion);
    if (aRandom) {
        // Get the title from the row
        for(var nRow = 0;nRow < oQuestion.rows.length;nRow++) {
            var oRow = oQuestion.rows[nRow];
            var sText = oRow.text;
            var sIdentity = oRow.identity;
            for(var nRandom = 0;nRandom < aRandom.length;nRandom++) {
                if (aRandom[nRandom].identity.toLowerCase() == sIdentity) {
                    aRandom[nRandom].sortOrder = sText.toLowerCase();
                    break;
                }
            }
        }

        // Sort it
        aRandom.sort(function(a,b) {
            if (a.sortOrder < b.sortOrder) { return -1 }
            if (b.sortOrder < a.sortOrder) { return 1 }
            if (b.sortOrder == a.sortOrder) { return 0 }
        });

        // Update the randoms for updating on next
        bSuccess = wscScripting.setRowRandomizationItems(oQuestion, aRandom);
    }
}

args.isValid = true;
```

質問は以下のようになります（行と列の両方とも、アルファベット順）

## What is your favorite fruit for the following?

	Apple	Banana	Orange	Pear	Pineapple
Because you are hungry	<input type="radio"/>				
Cakes	<input type="radio"/>				
Juice Drinking	<input type="radio"/>				
Late night snack	<input type="radio"/>				

## デュアルレンジマトリクス

すでに単レンジマトリクスで選択肢を取得し、保存する方法は見てきました。選択肢は以下のように取得します。

```
aRandom = wscScripting.getChoiceRandomizationItems(oQuestion, 0);
```

そして、選択肢を以下のように保存します。

```
bSuccess = wscScripting.setChoiceRandomizationItems(oQuestion, aRandom, 0);
```

では、デュアルレンジマトリクスで2番目のマトリクスをどのように取得しますか？

この答は、2行上にあります。デュアルレンジマトリクス以外の質問タイプに対処する場合、取り扱うレンジは、最初のマトリクスです（ファンクションコールに0が指定される）

```
wscScripting.getChoiceRandomizationItems(oQuestion, 0)
```

```
wscScripting.setChoiceRandomizationItems(oQuestion, aRandom, 0)
```

デュアルレンジマトリクスで、2番目のマトリクスから選択肢をロードし、保存する場合、ファンクションコールに1を入力します。

```
wscScripting.getChoiceRandomizationItems(oQuestion, 1)
```

```
wscScripting.setChoiceRandomizationItems(oQuestion, aRandom, 1)
```



---

# スクリプティング リファレンス

---

Web Survey Creator はスクリプティングで使用する特定のオブジェクトとメソッドを提供します。

本章はこれらのオブジェクトとメソッドのためのリファレンスです。



# スクリプティングオブジェクト

カスタム JavaScript が実行される際、2つのオブジェクトにアクセスします。これらのオブジェクトは現在のページに表示される質問、およびさまざまなタスクのヘルプ情報へのアクセスを可能にします。

args

wscScripting

## args (引数)

引数は、イベントのステータスを設定するのに使用される一つのアイテム `isValid` を持っています。これは特に現在のプロセスを継続するイベントエンジンに関連しています。例えば、Next または Previous ボタンイベントに `true` の値を設定する必要があり、さもなければ、プロセスは停止し、継続されません。

プロパティ	<b>isValid</b>
返される値	真偽値 (現在のプロセスが有効)
例	<pre>var isOkay = true;  if (isOkay) {      // All my changes allow me to continue     args.isValid = true;  }</pre>

## wscScripting

wsc スクリプティングオブジェクトでは以下のメソッドが利用可能です。いくつかのメソッドはメソッドと同一のメソッドを含んでいます (番号2で固定)。これらのメソッドは質問に2つのレンジがある場所で使用されます。

例えば、デュアルレンジマトリクス質問はプライマリーレンジおよびセカンダリーレンジから構成されます。

これらの環境では、セカンダリーレンジは2に固定されたメソッドにより利用されます。例えば、`getChoiceByValue2(question, value)`です。この2に固定されたドキュメントメソッドは、それらのプライマリーメソッドにのみドキュメントされます。2番目のレンジが利用可能かどうか、それぞれのメソッドの説明が示しています。

wsc スクリプティングオブジェクトに利用可能なメソッドのリストは以下の通りです。詳細な説明は次の項で提供されます。

**clearValidation(question)**

**derankChoice(question, choice)**

**deselectChoice(question, choice)**

**deselectChoice2(question, choice)**

**deselectChoiceByValue(question, value)**

deselectChoiceByValue2 (question, value)  
getChoiceRandomizationItems (question, matrixnumber)  
getRowRandomizationItems (question)  
getPageRandomizationItems ()  
deselectMatrixChoice (question, choice, row)  
disableQuestion (question)  
enableQuestion (question)  
getABTesting ()  
getBrowserData ()  
getChoiceByTagValue (question, tagName, value)  
getChoiceByTagValue2 (question, tagName, value)  
getChoiceByValue (question, value)  
getChoiceByValue2 (question, value)  
getDateStringFromDate (date)  
getDirection ()  
getDisplayType ()  
getDistribution ()  
getElementById (id)  
getEventData (name)  
getLanguageId ()  
getQuestionByDataPipingCode (dataPipingCode)  
getQuestionByIdentity (identity)  
getQuotaByCode (code)  
getQuotaByIdentity (identity)  
getRecallCode ()  
getRowByTagValue (question, tagName, value)  
getSelectedChoices (question)

`getSelectedChoices2(question)`  
`getSelectedMatrixChoices(question, row)`  
`getSelectedMatrixChoices2(question, row)`  
`getSelectedRanks(question)`  
`getSubstringLeft(str, n)`  
`getSubstringRight(str, n)`  
`getTrimString(str)`  
`getValidators(question)`  
`getValue(question)`  
`hideElement(element)`  
`isAnyChoiceSelected(question, choices)`  
`isAnyChoiceSelected2(question, choices)`  
`isAnyChoiceSelectedByValue(question, values)`  
`isAnyChoiceSelectedByValue2(question, values)`  
`isAnyMatrixChoiceSelected(question, choices, row)`  
`isAnyMatrixChoiceSelected2(question, choices, row)`  
`isAnyMatrixChoiceSelectedByValue(question, values, row)`  
`isAnyMatrixChoiceSelectedByValue2(question, values, row)`  
`isChoiceSelected(question, choice)`  
`isChoiceSelected2(question, choice)`  
`isChoiceSelectedByValue(question, value)`  
`isChoiceSelectedByValue2(question, value)`  
`isMatrixChoiceSelected(question, choice, row)`  
`isMatrixChoiceSelected2(question, choice, row)`  
`isMatrixChoiceSelectedByValue(question, value, row)`  
`isMatrixChoiceSelectedByValue2(question, value, row)`  
`rankChoice(question, choice, rank)`

```
selectChoice(question, choice)

selectChoice2(question, choice)

setChoiceRandomizationItems(question, choices, matrixnumber)

setRowRandomizationItems(question, rows)

setPageRandomizationItems(pages)

selectChoiceByValue(question, value)

selectChoiceByValue2(question, value)

selectMatrixChoice(question, choice, row)

selectMatrixChoice2(question, choice, row)

selectMatrixChoiceByValue(question, value, row)

selectMatrixChoiceByValue2(question, value, row)

setEventData(name, value)

setValidation(question, text)

setValue(question, value)

showElement(element)
```

# Function Reference

Method: **clearValidation(question)**

Parameters: question object - object of the question

Return Value: Nil

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    wscScripting.clearValidation(question);
}
```

Method: **derankChoice(question, choice)**

Parameters: question object - object of the question

choice object - object of a choice

Return Value: Nil

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question, 1);
    if (choice) {

        wscScripting.derankChoice(question, choice);
    }
}
```

Method: **deselectChoice(question, choice)**

**second range**

Parameters: question object - object of the question

choice object - object of a choice

Return Value: boolean - confirmation that the choice was deselected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question, 1);
    if (choice) {

        var isUnselected =
wscScripting.deselectChoice(question, choice);
    }
}
```

Method: **deselectChoiceByValue(question, number)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
number - value of the question choice to check

Return Value: boolean - confirmation that the choice was deselected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var isUnselected =
wscScripting.deselectChoiceByValue(question, 1);
}
```

Method: **deselectMatrixChoice(question, choice, row)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
choice object - object of a choice  
row object - object of a row

Return Value: boolean - confirmation that the choice was deselected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    var row = wscScripting.getRowByTagValue(question, 'bankcode',
'AMER');
    if (row) {

        var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question,
1);
        if (choice) {

            var isUnselected =
wscScripting.deselectMatrixChoice(question, choice, row);
        }
    }
}
```

Method: **disableQuestion(question)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question

Return Value: boolean - confirmation that the choice was disabled

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    var isDisabled = wscScripting.disabledQuestion(question);
}
```

Method: **enableQuestion(question)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question

Return Value: boolean - confirmation that the choice was enabled

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    var isDisabled = wscScripting.enabledQuestion(question);
}
```

Method: **getABTesting()**  
Parameters: Nil  
Return Value: integer - Value (range 1..100) of for use by AB Testing  
Example:

```
var ABTest = wscScripting.getABTesting();

if (ABTest <= 50) { // Split 50:50

}
```

Method: **getBrowserData()**  
Parameters: Nil  
Return Value: object - Browser Object

```
o.browser = Browser Name
o.version = Browser Version
o.OS = Operating System
Example: var browser = wscScripting.getBrowserData();

if (browser.OS == 'Windows') { // The respondent is on a
Windows computer

}
```

Method: **getChoiceByTagValue(question, tagName, value)**  
second range

Parameters: question object - object of the question  
string - name of the tag to search for  
string - value of the tag being searched  
Return Value: object or undefined

```
Example: var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var choice = wscScripting.getChoiceByTagValue(question,
'position', 'Manager');
    if (choice) {

        // I can do something with this choice
    }
}
```

Method: **getChoiceByValue(question, value)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
number - value of the question choice to retrieve

Return Value: object or undefined

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question, 1);
    if (choice) {

        // I can do something with this choice
    }
}
```

Method: **getDateStringFromDate(date)**

Parameters: Date = Value of Date type to be converted to a string in format usable by WSC

Return Value: string = Newly created string in format of YYYY.MM.DD.HH.mm

Example:

```
var newDate = new Date();
var newString = wscScripting.getDateStringFromDate(newDate);

// newString contains today's date
// e.g. 2012.01.31.16.24
```

Method: **getDirection()**

Parameters: Nil

Return Value: string containing:-  
ltr = Left to Right

Example:

```
rtl = Right to Left e.g. Arabic
var direction = wscScripting.getLanguageId();

if (direction == 'rtl') {

    // This is a survey using a RTL language
}
```

Method: **getDisplayType()**

Parameters: Nil

Return Value: string containing:-  
standard = Standard Display  
tablet = Tablet Computer e.g. iPad  
mobile = Mobile Phone / Cellular Phone e.g. iPhone

Example:

```
var display = wscScripting.getDisplayType();

if (display == 'tablet') {

    // This is a tablet based display
}
```

Method: **getDistribution()**  
Parameters: Nil  
Return Value: object or undefined  
Example: 

```
var object = wscScripting.getDistribution();

if (object) {

    // I can do something with this object
}
```

Method: **getElementById(id)**  
Parameters: string - Identity of an Html Element  
Return Value: object or undefined  
Example: 

```
var object = wscScripting.getElementById('mycontrol');
if (object) {

    // I can do something with this element
}
```

Method: **getEventData(name)**  
Parameters: string - Identity of an item of data temporarily stored for later use on the current page only  
Return Value: value or undefined  
Example: 

```
var object = wscScripting.getEventData('myvalue');
if (object) {

    // I can do something with this value
    // Value contains the text 'Hello World!'
}
```

Method: **getLanguageId()**  
Parameters: Nil  
Return Value: string - Two Character Language Code  
Example: 

```
var language = wscScripting.getLanguageId();

if (language == 'fr') {

    // This is a survey using French Language
}
```

Method: **getQuestionByDataPipingCode(dataPipingCode)**  
Parameters: string - Data Piping Code of a Question - Must be a WSC Data Piping Code. If the question is not on the current page then you should use a Data Piping ShortCut to include the question on the current page  
Return Value: object or undefined  
Example: 

```
// Using a data piping code
var object =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (object) {

    // I can do something with this question
}

// Using a data piping symbol if the Question is not on the same page

// The data piping symbol with the code #data# is required to
// tell the system to have the question available
var object2 =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('[@mydatapipingcode#data#@]');
if (object2) {

    // I can do something with this question
}
}
```

Method: **getQuestionByIdentity(identity)**  
Parameters: string - Identity of a Question - Must be a WSC internal identity  
Return Value: object or undefined  
Example: 

```
var object = wscScripting.getQuestionByIdentity('61ce3764-1288-
e111-8eae-0019b9c4ecf3');
if (object) {

    // I can do something with this question
}
}
```

Method: **getQuotaByCode(code)**  
Parameters: string - Code of the Quota  
Return Value: quota object - object of the quota  
Example: 

```
var oQuota = wscScripting.getQuotaByCode('GENDER');
```

Method: **getQuotaByIdentity(identity)**  
Parameters: string - Identity of a Quota - Must be a WSC internal identity  
Return Value: quota object - object of the quota  
Example: 

```
var object = wscScripting.getQuotaByIdentity('61ce3764-1288-
e111-8eae-0019b9c4ecf3');
if (object) {

    // I can do something with this quota
}
}
```

Method: **getRecallCode()**  
Parameters: Nil  
Return Value: string - Unique Code which identifies the response  
Example: 

```
var recallCode = wscScripting.getRecallCode();
```

Method: **getRowByTagValue(question, tagName, value)**  
Parameters: question object - object of the question  
string - name of the tag to search for  
string - value of the tag being searched  
Return Value: object or undefined  
Example: 

```
var question =  
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');  
if (question) {  
  
    var row = wscScripting.getRowByTagValue(question, 'bankcode',  
    'AMER');  
    if (row) {  
  
        // I can do something with this row  
    }  
}  
}
```

Method: **getSelectedChoices(question)**  
**second range**  
Parameters: question object - object of the question  
Return Value: array or undefined  
Example: 

```
var question =  
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');  
if (question) {  
  
    var selectedChoices =  
wscScripting.getSelectedChoices(question);  
    if (selectedChoices) {  
  
        // I can do something with this array  
    }  
}  
}
```

Method: **getSelectedMatrixChoices(question, row)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
row object - object of a row

Return Value: array or undefined

Example:

```

var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var row = wscScripting.getRowByTagValue(question, 'bankcode',
'AMER');
    if (row) {

        var selectedChoices =
wscScripting.getSelectedMatrixChoices(question, row);
        if (selectedChoices) {

            // I can do something with this array
        }
    }
}

```

Method: **getSelectedRanks(question)**

Parameters: question object - object of the question

Return Value: array or undefined

Example:

```

var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var ranks = wscScripting. getSelectedRanks(question);

}

```

Method: **getSubstringLeft(string, number)**

Parameters: string = Base string from which a new string will be extracted  
number = Number of Characters from the Left side of the string  
to be extracted

Return Value: string = Newly extracted string

Example:

```

var newString = wscScripting.getSubstringLeft('Hello World!',
5);

// newString contains 'Hello'

```

Method: **getSubstringRight(string, number)**

Parameters: string = Base string from which a new string will be extracted  
number = Number of Characters from the Right side of the string  
to be extracted

Return Value: string = Newly extracted string

Example:

```

var newString = wscScripting.getSubstringLeft('Hello World!',
5);

// newString contains 'orld!'

```

Method: **getTrimString(string)**  
Parameters: string = Base string from which a new string will be created with spaces at either end of the string removed  
Return Value: string = Newly created string  
Example: 

```
var newString = wscScripting.getTrimString(' Hello World!');

// newString contains 'Hello World!'
```

Method: **getValidators(question)**  
Parameters: question object - object of the question  
Return Value: array  
Example: 

```
Var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var validators = wscScripting.getValidators(question);
    if (validators) {

        // I can do something with this array of validators
    }
}
```

Method: **getValue(question)**  
Parameters: question object - object of the question  
Return Value: value or undefined dependent on the question type  
value only suitable for SingleText, MultipleText, DemographicEmail, DemographicPhone, Number, Slider and DateTime Questions  
Example: 

```
Var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var value = wscScripting.getValue(question);
}
```

Method: **hideElement(string)**  
Parameters: string = id of an Html control to hide  
Return Value: boolean - confirmation that the control was hidden  
Example: 

```
wscScripting.hideElement('mydiv');
```

Method: **isAnyQuestionChoiceSelected(question, choices)**  
second range

Parameters: question object - object of the question  
array - array of choice objects to check

Return Value: boolean - confirmation that the choice is selected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question && question.choices) {
    // Make an array of just 1 choice

    var arrayChoices = new Array();

    arrayChoices.push(question.choices[0]);

    var isSelected =
wscScripting.isAnyQuestionChoiceSelected(question, arrayChoices);
}
```

Method: **isAnyQuestionChoiceSelectedByValue(question, values)**  
second range

Parameters: question object - object of the question  
array - array of number values to check

Return Value: boolean - confirmation that the choice is selected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question && question.choices) {
    // Make an array of values

    var arrayChoices = new Array(1, 2, 3);

    var isSelected =
wscScripting.isAnyQuestionChoiceSelectedByValue(question,
arrayChoices);
}
```

Method: **isAnyQuestionMatrixChoiceSelected(question, choices)**

**second range**

Parameters: question object - object of the question  
array - array of choice objects to check  
row object - object of the row

Return Value: boolean - confirmation that the choice is selected

```
Example: var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question && question.choices) {
    var row = wscScripting.getRowByTagValue(question, 'bankcode',
'AMER');
    if (row) {

        // Make an array of just 1 choice

        var arrayChoices = new Array();

        arrayChoices.push(question.choices[0]);

        var isSelected =
wscScripting.isAnyQuestionChoiceSelected(question, arrayChoices);

    }
}
```

Method: **isAnyQuestionMatrixChoiceSelectedByValue(question, values, row)**

**second range**

Parameters: question object - object of the question  
array - array of number values to check  
row object - object of the row

Return Value: boolean - confirmation that the choice is selected

```
Example: var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question && question.choices) {
    var row = wscScripting.getRowByTagValue(question, 'bankcode',
'AMER');
    if (row) {

        // Make an array of values

        var arrayChoices = new Array(1, 2, 3);

        var isSelected =
wscScripting.isAnyQuestionMatrixChoiceSelectedByValue(question,

arrayChoices, row);

    }
}
```

Method: **isQuestionChoiceSelected(question, choice)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
choice object - object of a choice

Return Value: boolean - confirmation that the choice is selected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question, 1);
    if (choice) {

        var isSelected =
wscScripting.isQuestionChoiceSelected(question, choice);

    }
}
```

Method: **isQuestionChoiceSelectedByValue(question, value)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
number - value of the question choice to check

Return Value: boolean - confirmation that the choice is selected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var isSelected =
wscScripting.isQuestionChoiceSelectedByValue(question, 1);
}
```

Method: **isQuestionMatrixChoiceSelected(question, choice, row)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
choice object - object of a choice  
row object - object of the row

Return Value: boolean - confirmation that the choice is selected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question, 1);
    if (choice) {

        var row = wscScripting.getRowByTagValue(question,
'bankcode', 'AMER');
        if (row) {

            var isSelected =
wscScripting.isQuestionMatrixChoiceSelected(question, choice, row);
        }

    }
}
```

Method: **isQuestionMatrixChoiceSelectedByValue(question, value, row)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
number - value of the question choice to check  
row object - object of the row

Return Value: boolean - confirmation that the choice is selected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var row = wscScripting.getRowByTagValue(question, 'bankcode',
'AMER');
    if (row) {

        var isSelected =
wscScripting.isQuestionChoiceSelectedByValue(question, 1, row);
    }
}
```

Method: **selectChoice(question, choice)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
choice object - object of a choice

Return Value: boolean - confirmation that the choice was selected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question, 1);
    if (choice) {

        var isSelected = wscScripting.selectChoice(question,
choice);
    }
}
```

Method: **selectChoiceByValue(question, number)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
number - value of the question choice to check

Return Value: boolean - confirmation that the choice was selected

Example:

```
var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    var isSelected = wscScripting.selectChoiceByValue(question,
1);
}
```

Method: **selectMatrixChoice(question, choice, row)**  
**second range**

Parameters: question object - object of the question  
choice object - object of a choice  
row object - object of a row

Return Value: boolean - confirmation that the choice was selected

Example:

```

var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    var row = wscScripting.getRowByTagValue(question, 'bankcode',
'AMER');
    var choice = wscScripting.getChoiceByValue(question, 1);
    if (row && choice) {

        var isSelected =
wscScripting.selectMatrixChoice(question, choice, row);
    }
}

```

Method: **setEventData(name, value)**

Parameters: string - Identity of an item of data temporarily stored for later use on the current page only  
object - Value of an item of data temporarily stored for later use on the current page only

Return Value: boolean - confirmation that the value was correctly added

Example:

```

wscScripting.setEventData('myvalue', 'Hello World!');

```

Method: **setValidation(question, text)**

Parameters: question object - object of the question  
string - text of the validation message

Return Value: Nil

Example:

```

var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {
    wscScripting.setValidation(question, 'Something doesnt make
sense!');
}

```

Method: **setValue(question, value)**

Parameters: question object - object of the question  
value - type dependent on question type  
value only suitable for SingleText, MultipleText, DemographicEmail, DemographicPhone, Number, Slider and DateTime Questions

Return Value: Nil

Example:

```

var question =
wscScripting.getQuestionByDataPipingCode('mydatapipingcode');
if (question) {

    wscScripting.setValue(question, 'Hello World!');

}

```

Method: **showElement(string)**  
Parameters: string = id of an Html control to show  
Return Value: boolean - confirmation that the control was shown  
Example: `wscScripting.showElement('mydiv');`

## その他のオブジェクト

以下のオブジェクトがあり、タイプおよび名前で記述されるプロパティを持ちます。

注：プロパティを変更することにより、標準のレンダリングに影響を与えることはできない

### SurveyQuestion

*string* **addressType**

*string* **allRankedText**

*array* [surveychoice] **choices**

*array* [surveychoice] **choices2**

*string* **clearText**

*string* **containerName**

*string* **dataPipingCode**

*number* **defaultValue**

*string* **fieldWidth1**

*string* **fieldWidth2**

*string* **formatType**

*string* **gridHeadingFormat**

*number* **gridTotal**

*string* **identity**

*number* **increment**

*number* **interval**

*boolean* **isCommentsEnabledByDefault**

*boolean* **isHeadingTextVertical**

*boolean* **isLargeComments**

*boolean* **isLength**

*boolean* **isMandatory**

*boolean* **isPivot**

*boolean* **isQuestionOnPage**

*boolean* **isResetAllowed**

*boolean* **isSpecify**

*string* **javascriptBodyName**

*string* **listDirection**

*string* **listType**

*number* **maxIncrement**

*number* **maxValue**

*number* **minValue**

*string* **noneRankedText**

*number* **numberGrids**

*string* **popupType**

*string* **primaryRangeTitle**

*string* **questionNumber**

*string* **rankedText**

*number* **repeatRows**

*string* **resetText**

*string* **rowHeight1**

*string* **rowHeight2**

*array* [surveyrow] **rows**

*number* **scaleIncrement**

*string* **secondaryRangeTitle**

*string* **text**

*string* **textPosition**

*string* **type**

*string* **unRankedText**

## **SurveyChoice**

*number* **grid**

*string* **identity**

*string* **imageHeight**

*string* **imageToolTip**

*string* **imageUrl**

*string* **imageWidth**

*boolean* **isComments**

*boolean* **isDefault**

*boolean* **isExclusive**

*boolean* **isPegged**

*string* **labelText**

*string* **numberPostText**

*string* **numberPreText**

*array* [surveychoicetag] **tags**

*string* **text**

*number* **value**

## **SurveyChoiceTag**

*string* **identity**

*string* **name**

*string* **text**

## SurveyRow

*string* **identity**

*string* **imageHeight**

*string* **imageToolTip**

*string* **imageUrl**

*string* **imageWidth**

*array* [surveyrowtag] **tags**

*string* **text**

## SurveyHierarchicalListItem

*string* **identity**

*string* **description**

*string* parent **Identity**

## SurveyRowTag

*string* **identity**

*string* **name**

*string* **text**

## SurveyQuota

*string* **code**

*string* **identity**

*bool* **isPriority**

*int* **numberLimit**

*int* **numberAllowed**

*int* **numberResponded**

*int* **numberOverflow**

*string* **title**

## SurveyDistribution

*string* **identity**

*array* [surveydistributiontag] **tags**

*string* **title**

### SurveyDistributionTag

*string* **identity**

*string* **name**

*string* **text**

### Browser

*string* **browser**

*string* **OS**

*string* **version**